

岸和田市
男女共同参画に関する市民意識調査
小・中・高校生への意識調査
調査結果報告書

令和7年1月

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	2
II	調査結果.....	3
1	市民	3
	(1) あなたご自身のことについて.....	3
	(2) 男女平等に対する意識について.....	11
	(3) 女性の社会進出について.....	35
	(4) 男性の家事・育児などへの参加について.....	48
	(5) 社会参加について.....	52
	(6) DV（ドメスティック・バイオレンス）について.....	55
	(7) 岸和田市立男女共同参画センターについて.....	75
	(8) 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて.....	78
2	小学生	80
3	中学生	93
4	高校生	113

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第4期きしわだ男女共同参画推進プラン」の計画期間が令和7年度で中間年度となることに伴い、策定から今までの経過状況を確認し、終了年度である令和12年度に向けたこれからの5か年における計画の中間見直しを行うための基礎資料とすることを目的とし意識調査を行いました。

2 調査対象

市民：岸和田市にお住まいの18歳以上の2,400人の方を無作為

小学生：岸和田市の小学5年生の児童

中学生：岸和田市の中学2年生の生徒

高校生：岸和田市立高校に通う高校2年生の生徒

3 調査期間

令和6年11月1日～令和6年11月30日

4 調査方法

市民：郵送による配布・回収及びWEBによる回答

小学生・中学生・高校生：WEBによる回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	2,400通	531通	22.1%
小学生	1,597通	1,130通	70.8%
中学生	1,536通	1,146通	74.6%
高校生	264通	251通	95.1%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

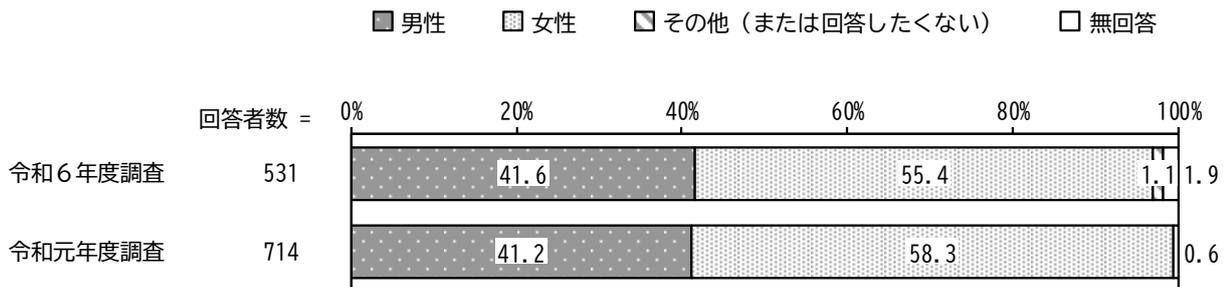
Ⅱ 調査結果

1 市民

(1) あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別は。(○は1つ)

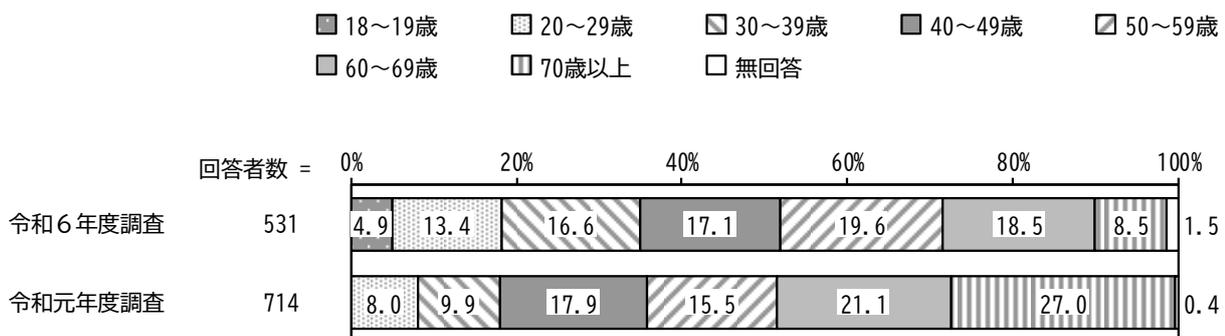
「女性」の割合が55.4%、「男性」の割合が41.6%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 あなたの現在の年齢は。(○は1つ)

「50～59歳」の割合が19.6%と最も高く、次いで「60～69歳」の割合が18.5%、「40～49歳」の割合が17.1%となっています。

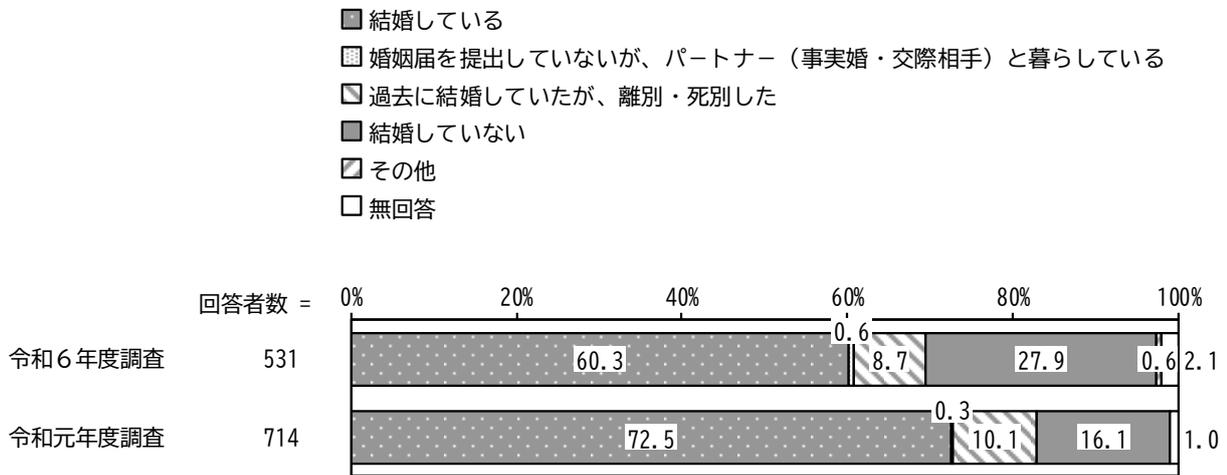
令和元年度調査と比較すると、「20～29歳」「30～39歳」の割合が増加しています。一方、「70歳以上」の割合が減少しています。



問3 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

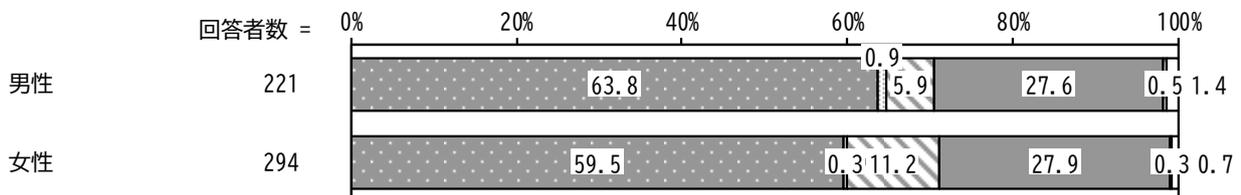
「結婚している」の割合が60.3%と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が27.9%、「過去に結婚していたが、離別・死別した」の割合が8.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「結婚していない」の割合が増加しています。一方、「結婚している」の割合が減少しています。



【性別】

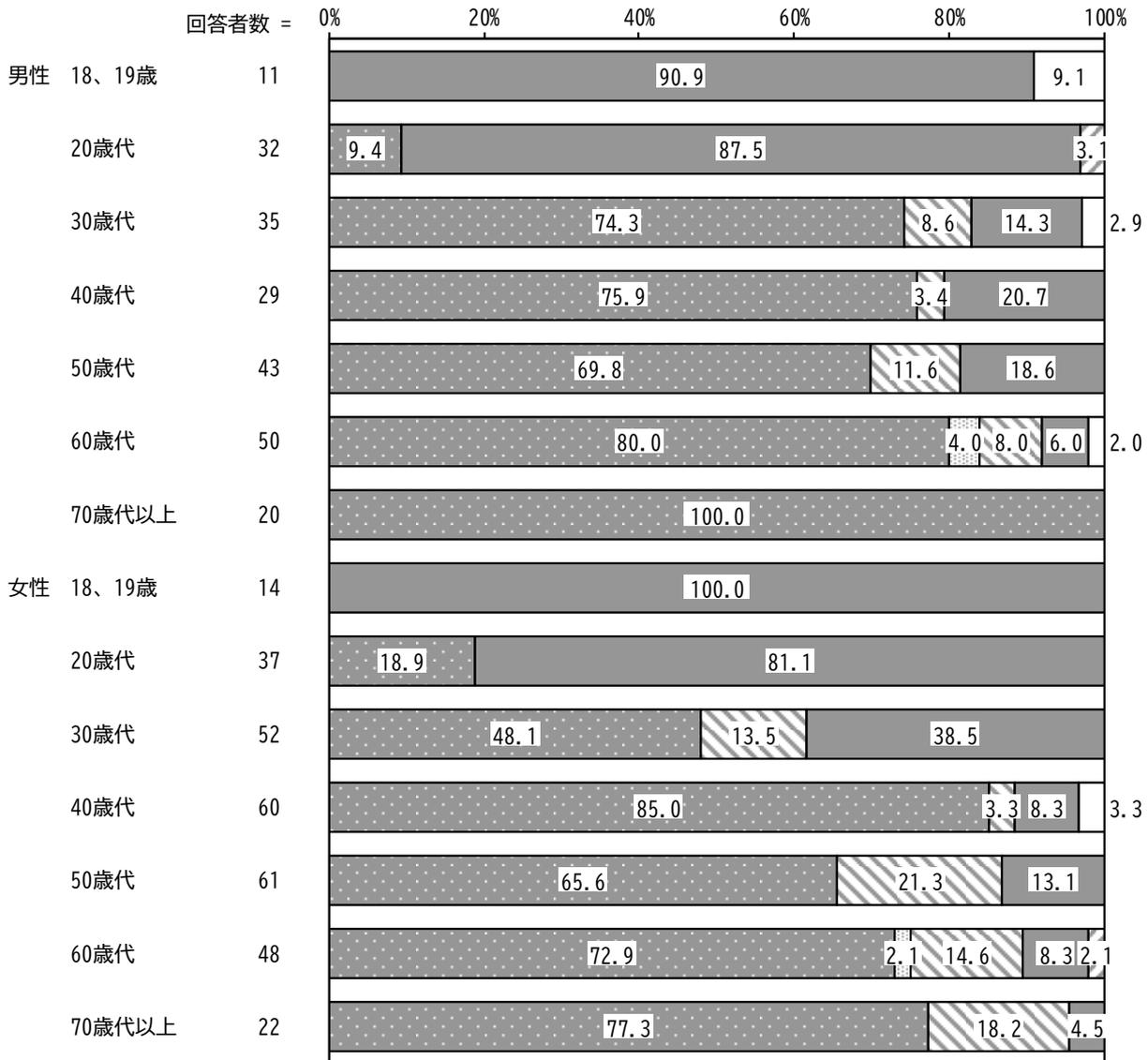
性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年代別】

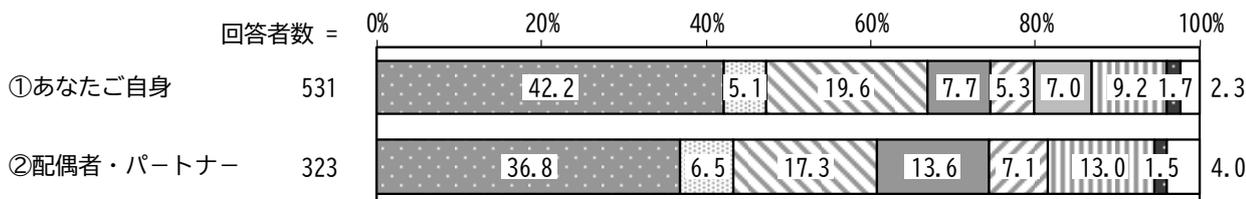
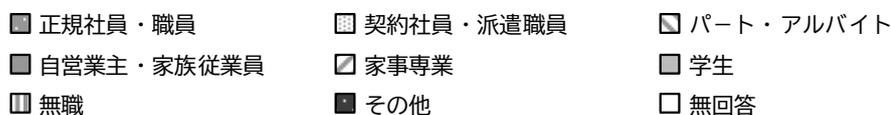
性・年代別にみると、女性 18、19 歳で「結婚していない」の割合が高くなっています。

- 結婚している
- ▨ 婚姻届を提出していないが、パートナー（事実婚・交際相手）と暮らしている
- ▩ 過去に結婚していたが、離別・死別した
- 結婚していない
- ▨ その他
- 無回答



問4 あなたとあなたの配偶者・パートナーの職業は何ですか。(それぞれに○は1つ)
 配偶者・パートナーがいない方は、ご自身の欄だけ記入してください。

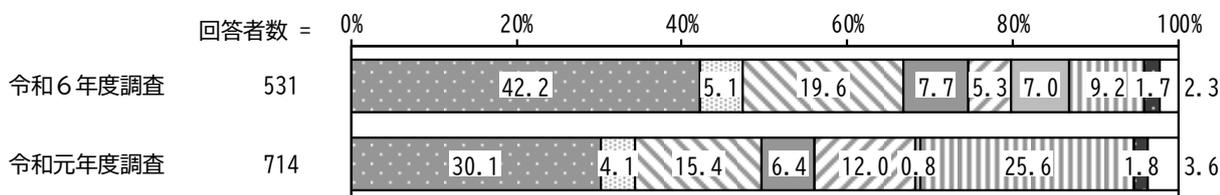
『①あなたご自身』で「正規社員・職員」の割合が、『②配偶者・パートナー』で「自営業主・家族従業員」の割合が高くなっています。



①あなたご自身

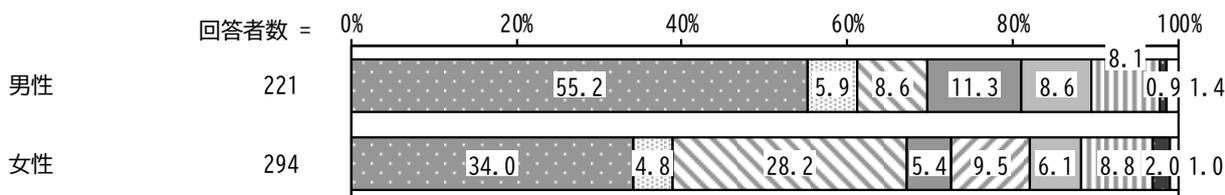
「正規社員・職員」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 19.6%、「無職」の割合が 9.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「正規社員・職員」「学生」の割合が増加しています。一方、「家事専業」「無職」の割合が減少しています。



【性別】

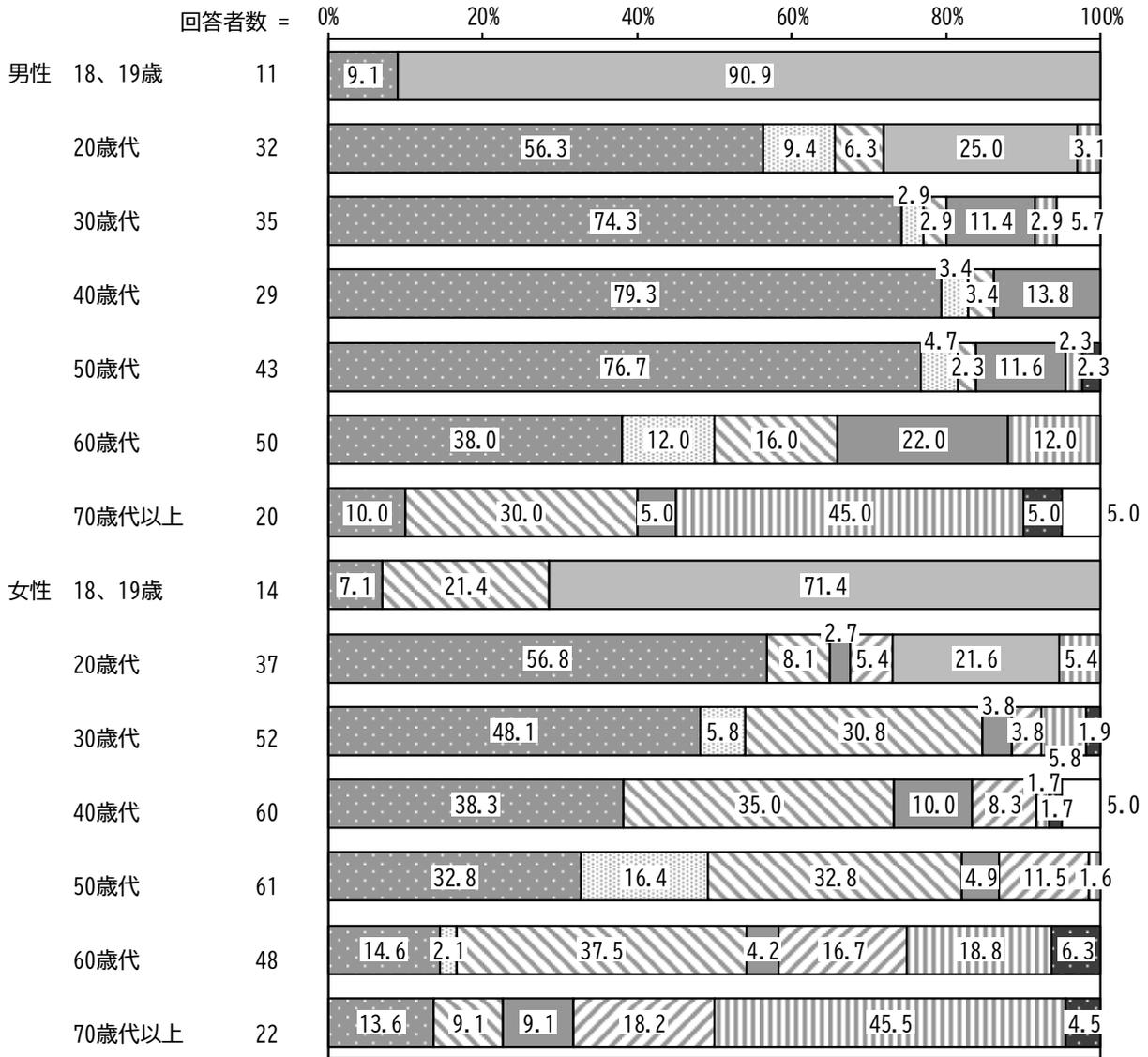
性別にみると、男性で「正規社員・職員」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 40 歳代で「正規社員・職員」の割合が高くなっています。

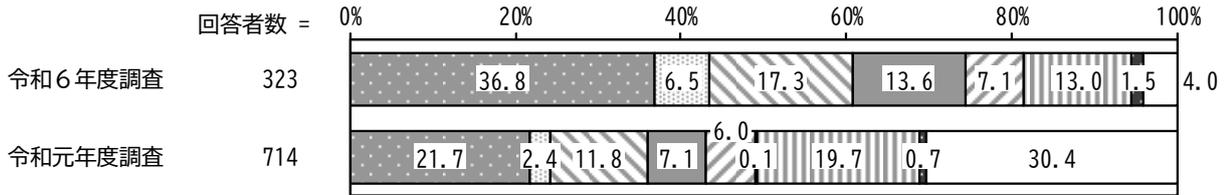
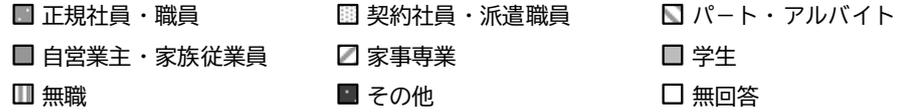
- 正規社員・職員
- 契約社員・派遣職員
- パート・アルバイト
- 自営業主・家族従業員
- 家事専業
- 学生
- 無職
- その他
- 無回答



②配偶者・パートナー

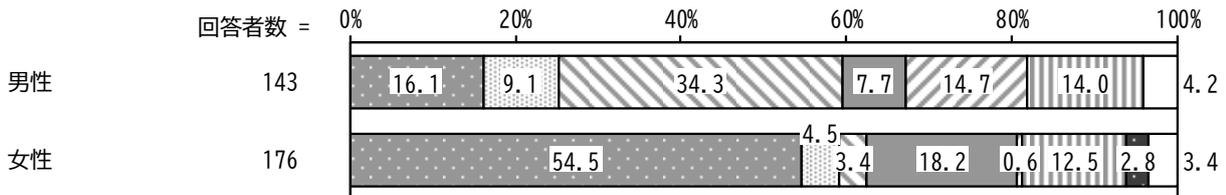
「正規社員・職員」の割合が36.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が17.3%、「自営業主・家族従業員」の割合が13.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「正規社員・職員」「パート・アルバイト」「自営業主・家族従業員」の割合が増加しています。一方、「無職」の割合が減少しています。



【性別】

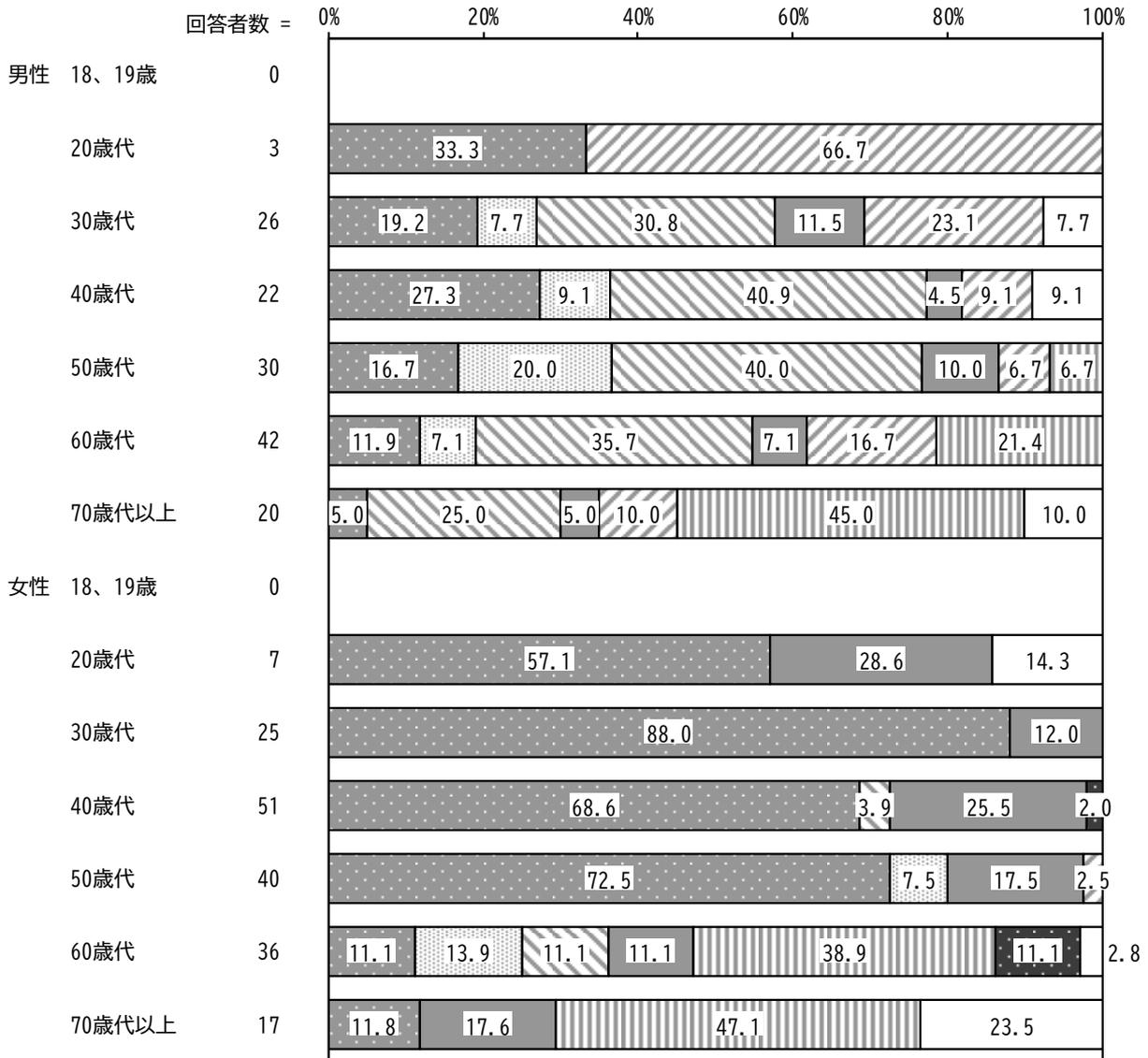
性別にみると、女性で「正規社員・職員」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 30 歳代で「正規社員・職員」の割合が高くなっています。

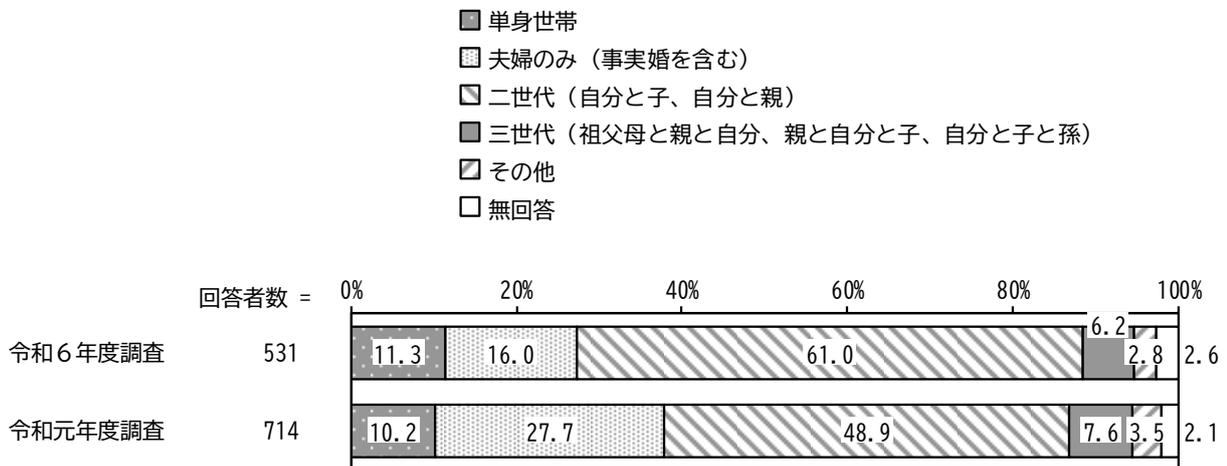
- 正規社員・職員
- 契約社員・派遣職員
- パート・アルバイト
- 自営業主・家族従業員
- 家事専業
- 学生
- 無職
- その他
- 無回答



問5 あなたの家族構成は次のどれですか。(○は1つ)

「二世代（自分と子、自分と親）」の割合が61.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ（事実婚を含む）」の割合が16.0%、「単身世帯」の割合が11.3%となっています。

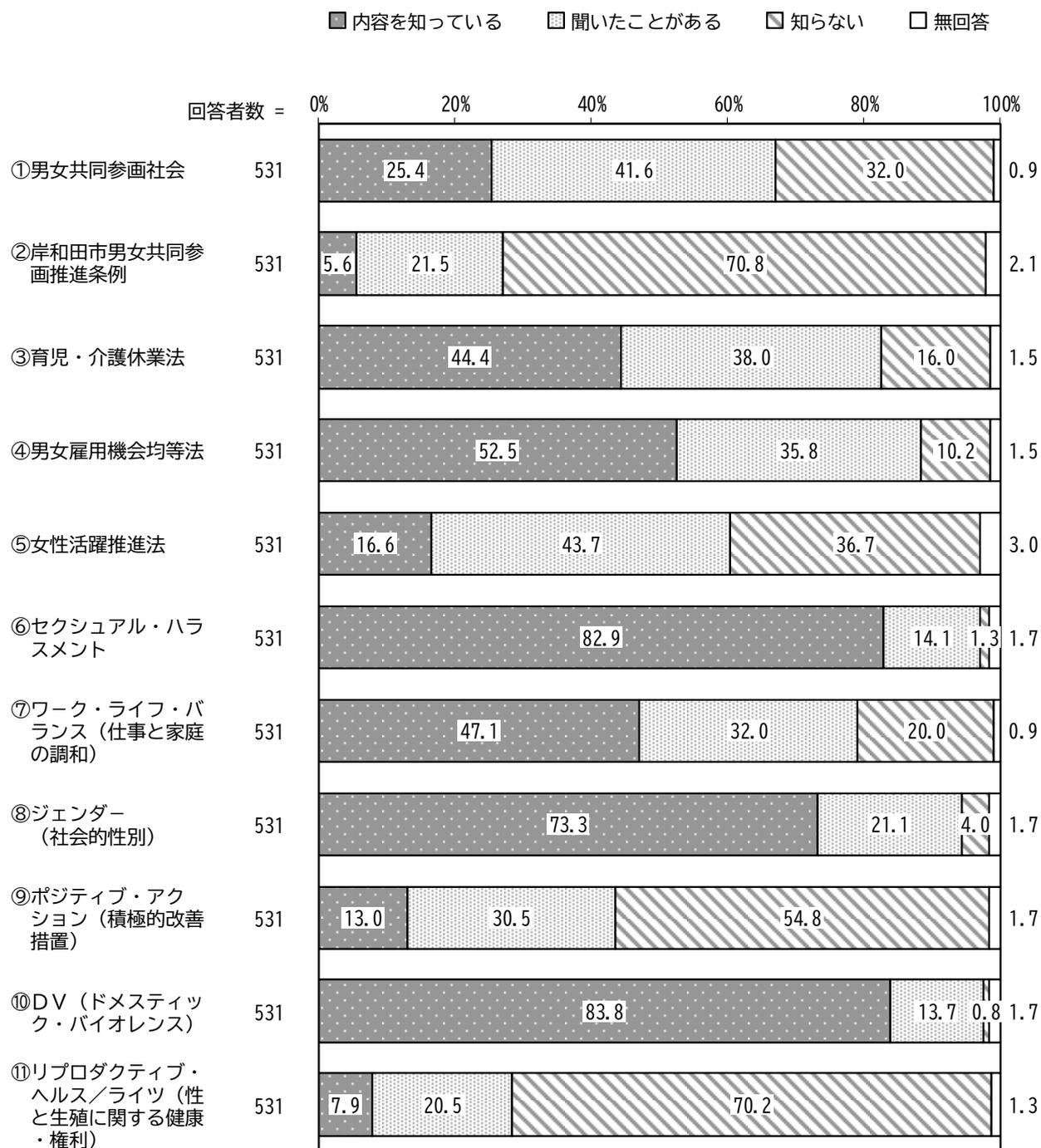
令和元年度調査と比較すると、「二世代（自分と子、自分と親）」の割合が増加しています。一方、「夫婦のみ（事実婚を含む）」の割合が減少しています。



(2) 男女平等に対する意識について

問6 あなたは、次にあげる言葉などを知っていますか。(それぞれに○は1つ)

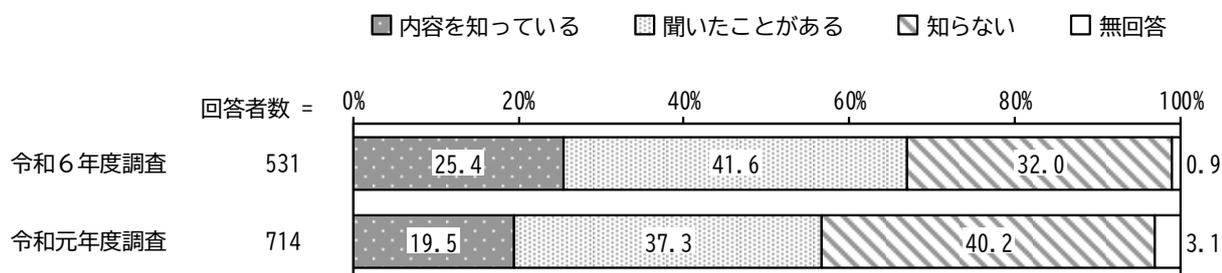
『②岸和田市男女共同参画推進条例』『⑪リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）』で「知らない」の割合が、『⑥セクシュアル・ハラスメント』『⑩DV（ドメスティック・バイオレンス）』で「内容を知っている」の割合が高くなっています。



①男女共同参画社会

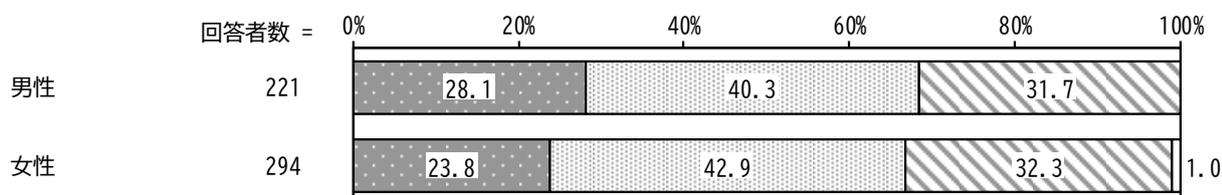
「聞いたことがある」の割合が41.6%と最も高く、次いで「知らない」の割合が32.0%、「内容を知っている」の割合が25.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「内容を知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



【性別】

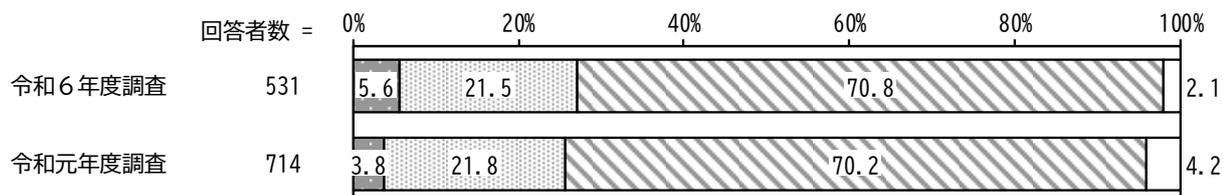
性別にみると、大きな差はみられません。



②岸和田市男女共同参画推進条例

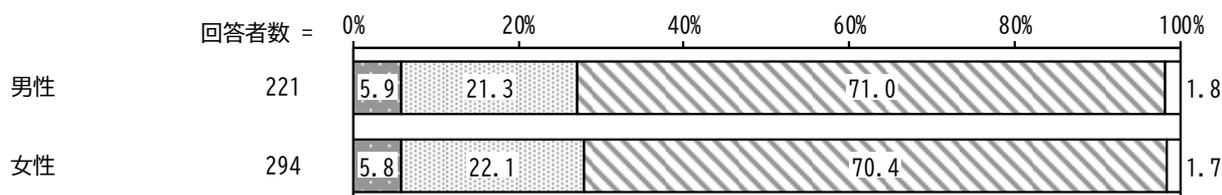
「知らない」の割合が70.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が21.5%、「内容を知っている」の割合が5.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

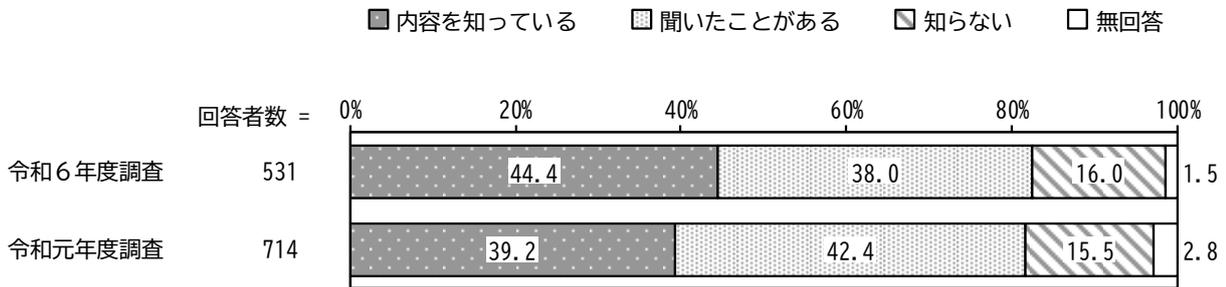
性別にみると、大きな差はみられません。



③育児・介護休業法

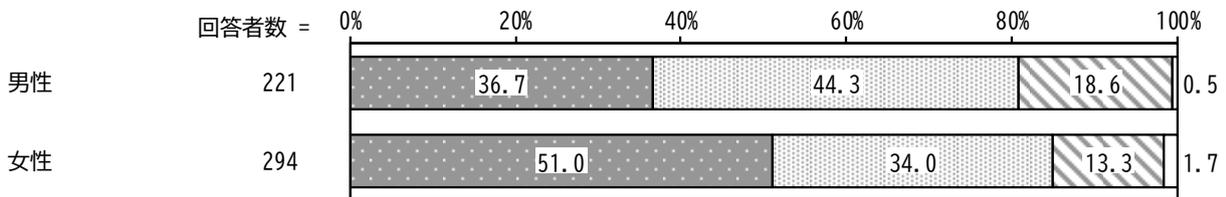
「内容を知っている」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 38.0%、「知らない」の割合が 16.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「内容を知っている」の割合が増加しています。



【性別】

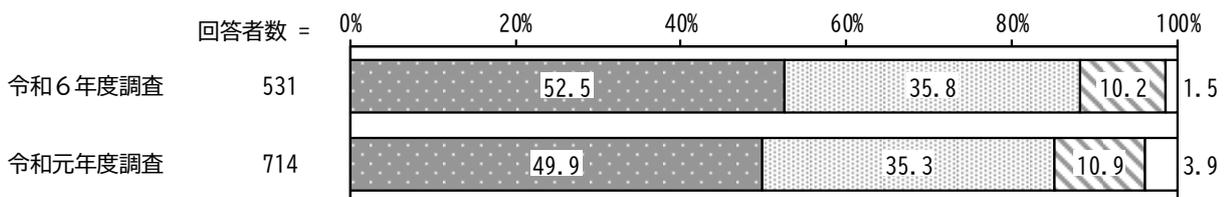
性別にみると、女性で「内容を知っている」の割合が高くなっています。



④男女雇用機会均等法

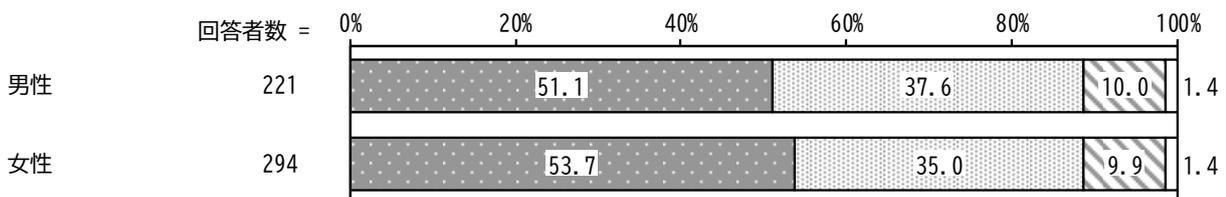
「内容を知っている」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 35.8%、「知らない」の割合が 10.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

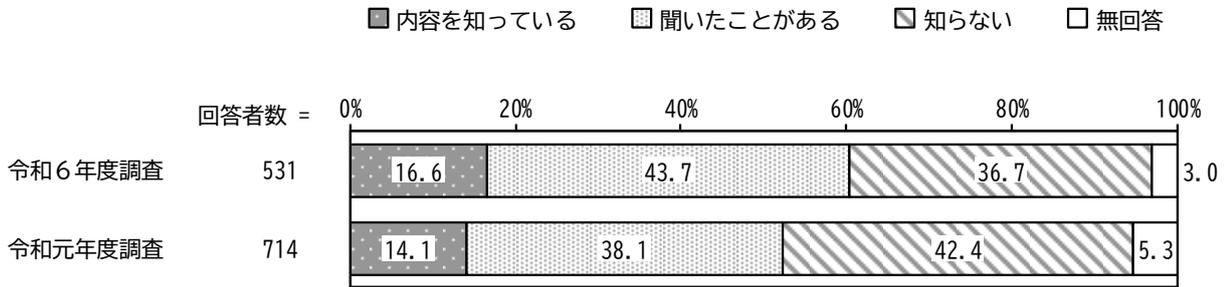
性別にみると、大きな差はみられません。



⑤女性活躍推進法

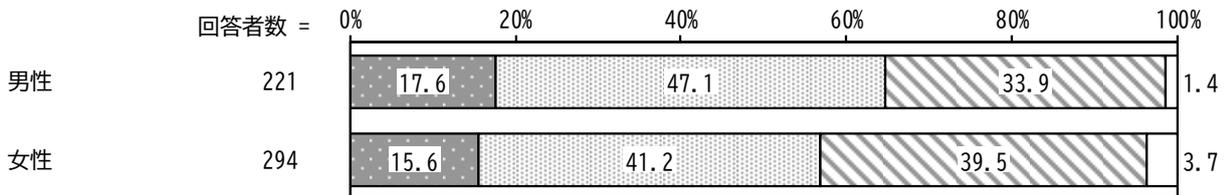
「聞いたことがある」の割合が43.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が36.7%、「内容を知っている」の割合が16.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「聞いたことがある」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



【性別】

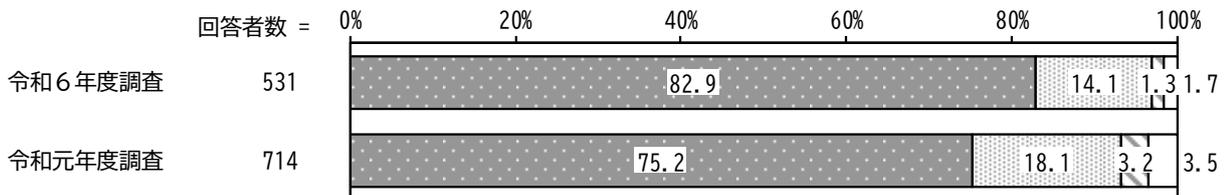
性別にみると、大きな差はみられません。



⑥セクシュアル・ハラスメント

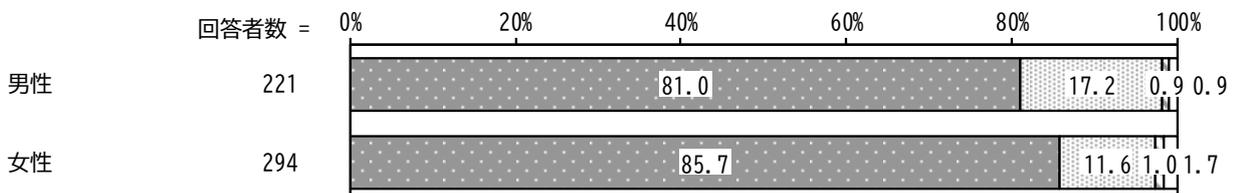
「内容を知っている」の割合が82.9%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が14.1%、「知らない」の割合が1.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「内容を知っている」の割合が増加しています。



【性別】

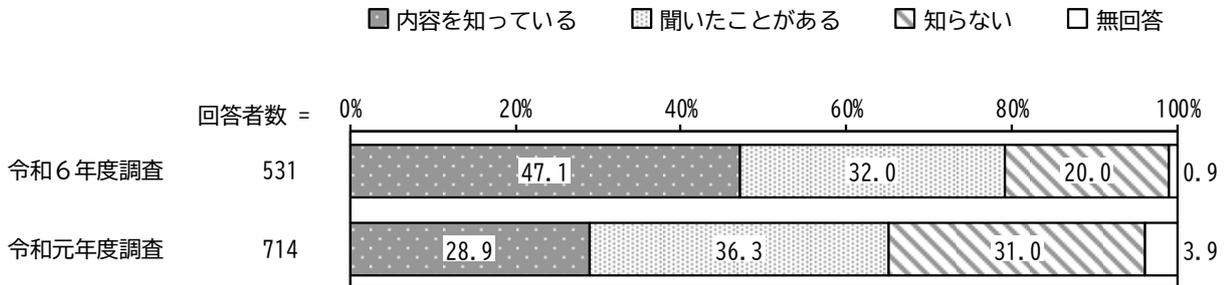
性別にみると、大きな差はみられません。



⑦ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）

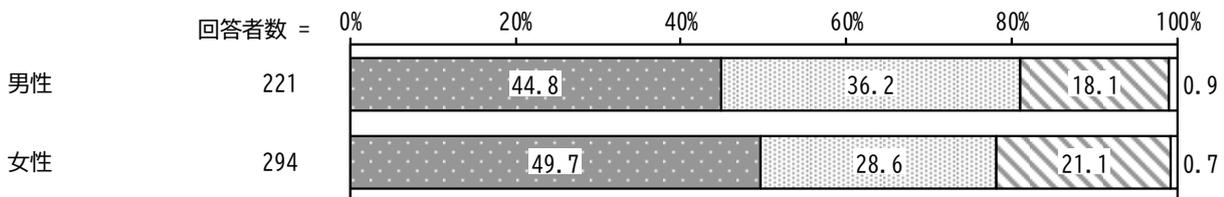
「内容を知っている」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 32.0%、「知らない」の割合が 20.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「内容を知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。



【性別】

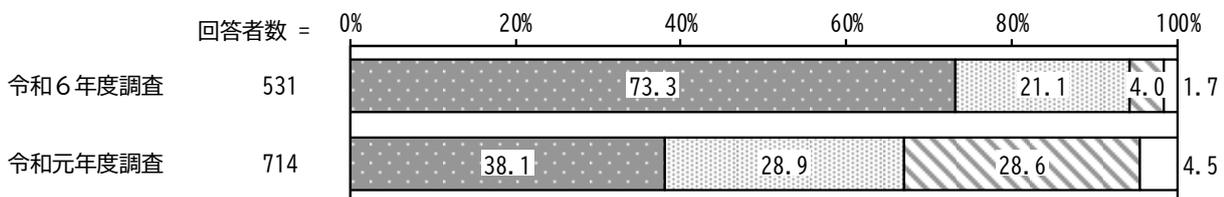
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧ジェンダー（社会的性別）

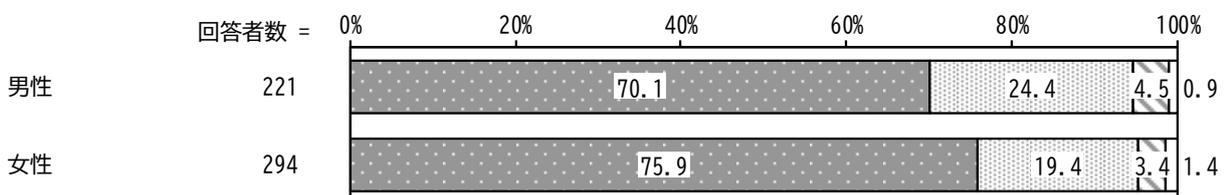
「内容を知っている」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 21.1%、「知らない」の割合が 4.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「内容を知っている」の割合が増加しています。一方、「聞いたことがある」「知らない」の割合が減少しています。



【性別】

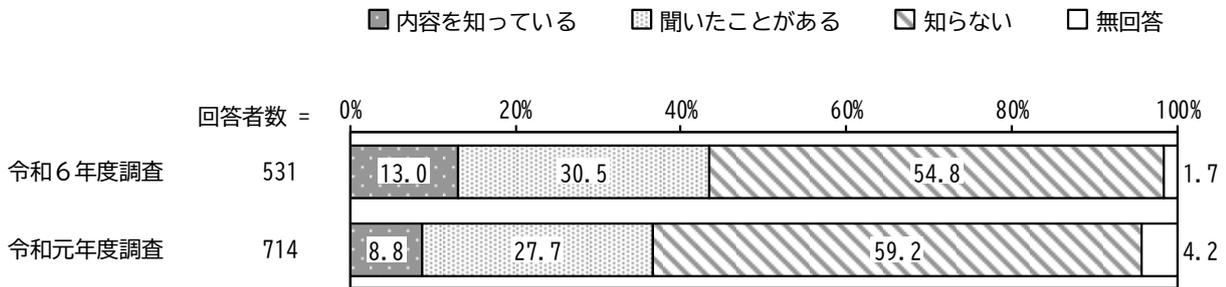
性別にみると、大きな差はみられません。



⑨ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

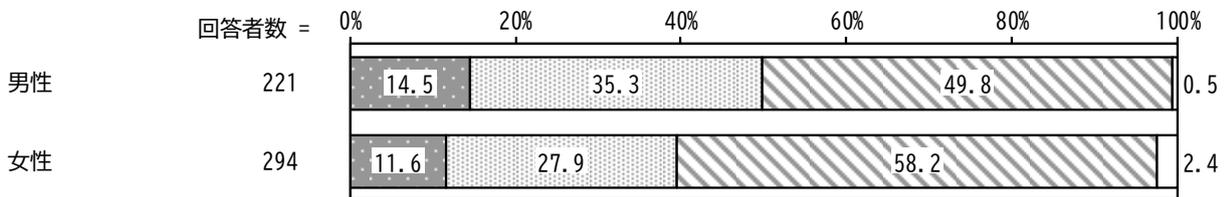
「知らない」の割合が54.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が30.5%、「内容を知っている」の割合が13.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

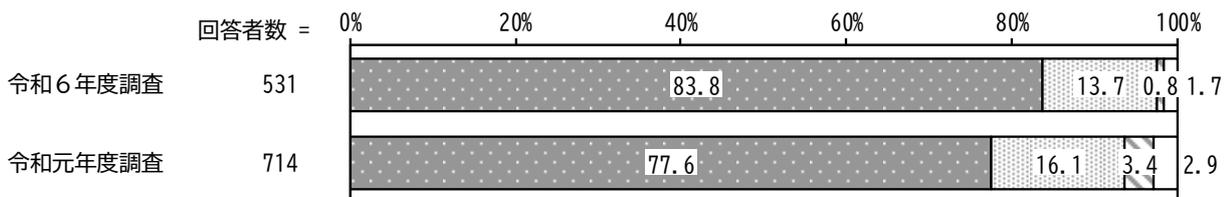
性別にみると、大きな差はみられません。



⑩DV（ドメスティック・バイオレンス）

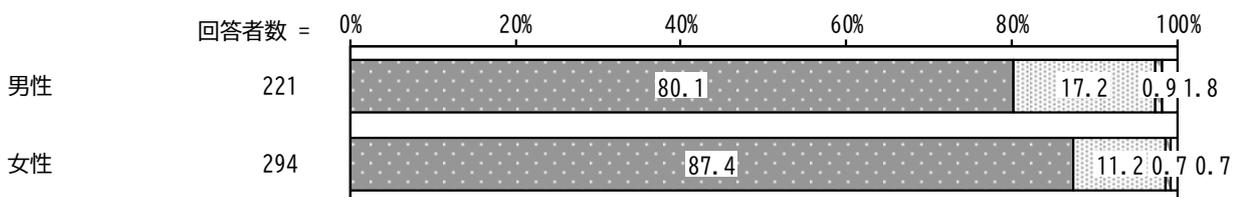
「内容を知っている」の割合が83.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が13.7%、「知らない」の割合が0.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「内容を知っている」の割合が増加しています。



【性別】

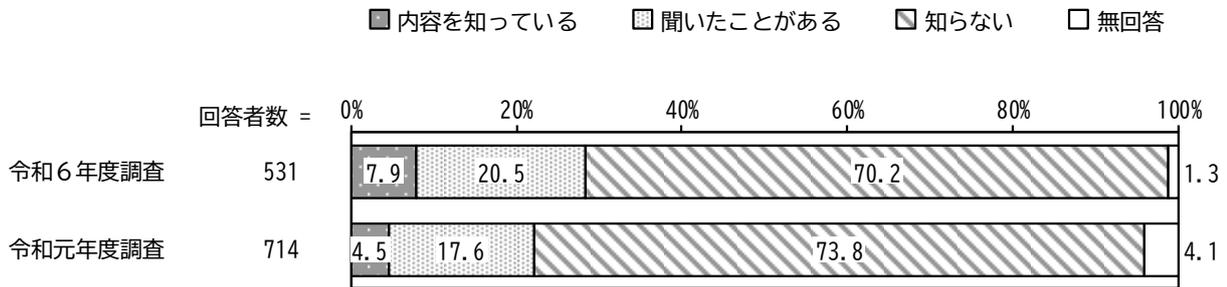
性別にみると、大きな差はみられません。



⑪リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）

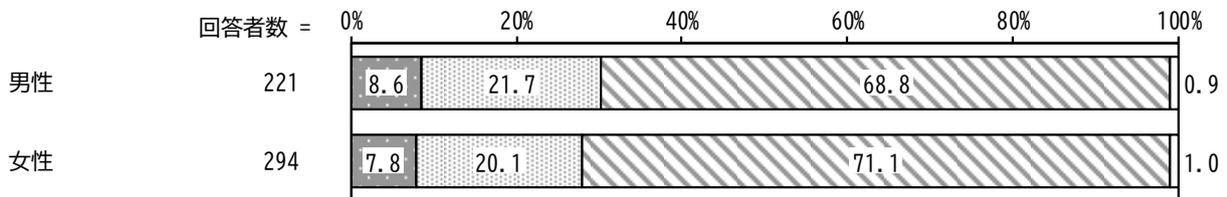
「知らない」の割合が70.2%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が20.5%、「内容を知っている」の割合が7.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

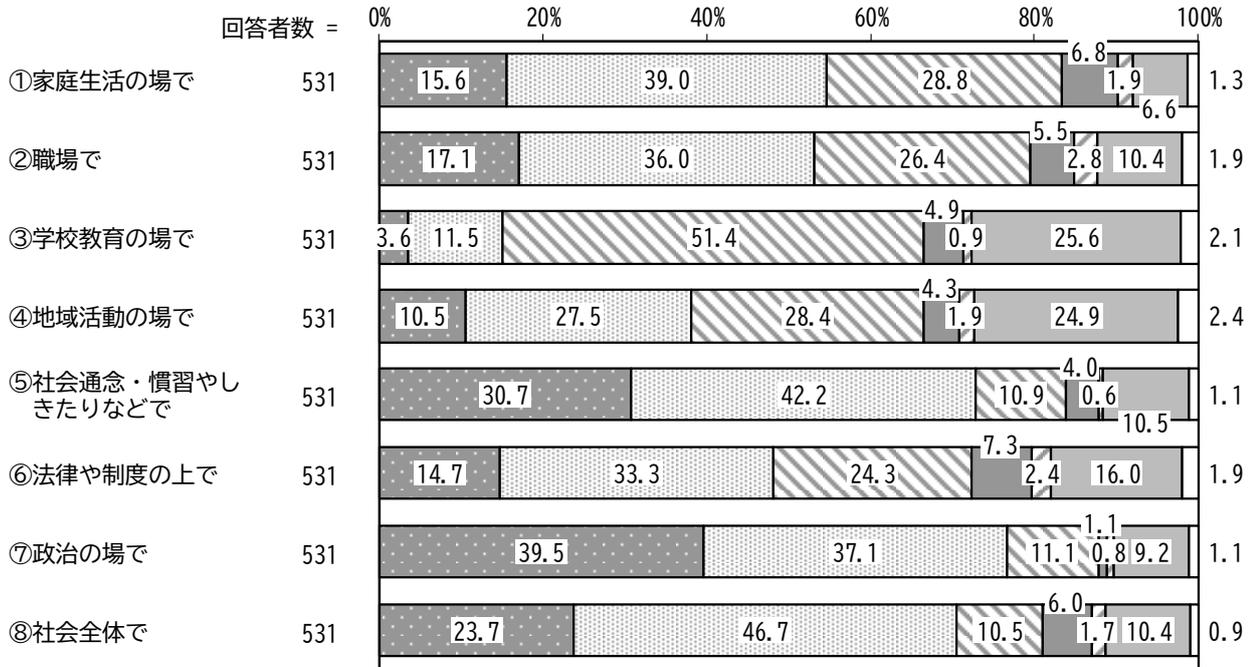
性別にみると、大きな差はみられません。



問7 あなたは、次の分野で男女が平等であると思いますか。（それぞれに○は1つ）

『③学校教育の場で』で「平等である」の割合が、『⑦政治の場で』で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

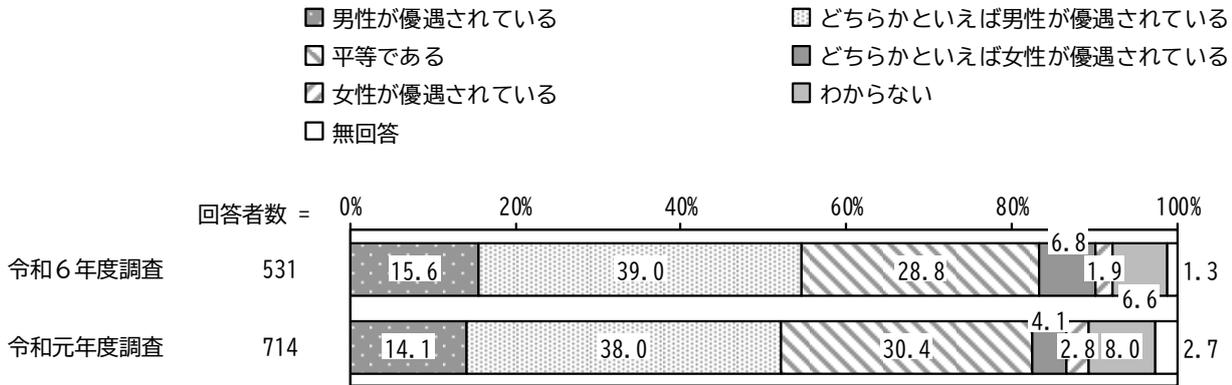
- 男性が優遇されている
- 平等である
- 女性が優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性が優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇されている
- わからない



①家庭生活の場で

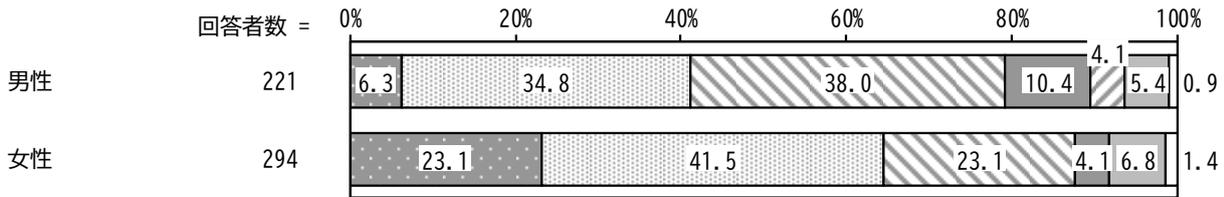
「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 28.8%、「男性が優遇されている」の割合が 15.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

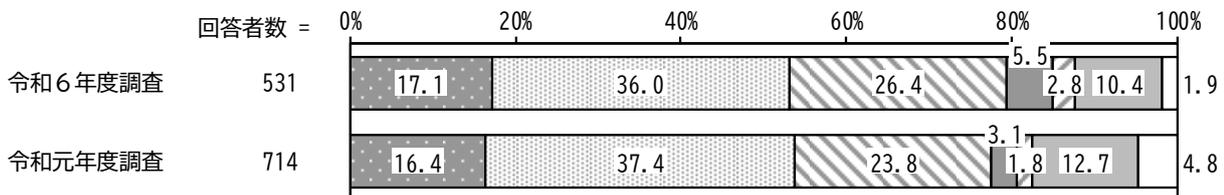
性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



②職場で

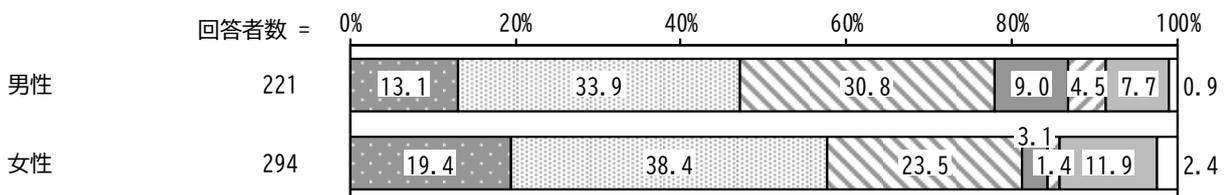
「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 26.4%、「男性が優遇されている」の割合が 17.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

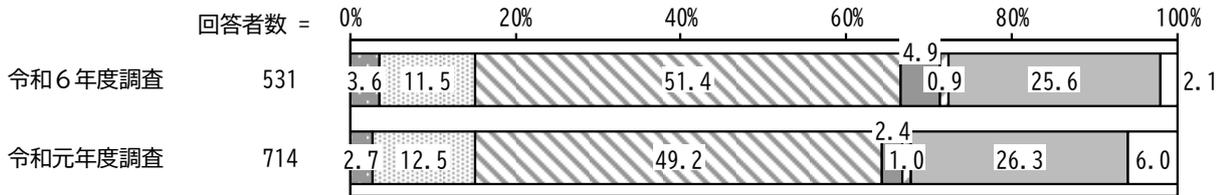
性別にみると、大きな差はみられません。



③学校教育の場で

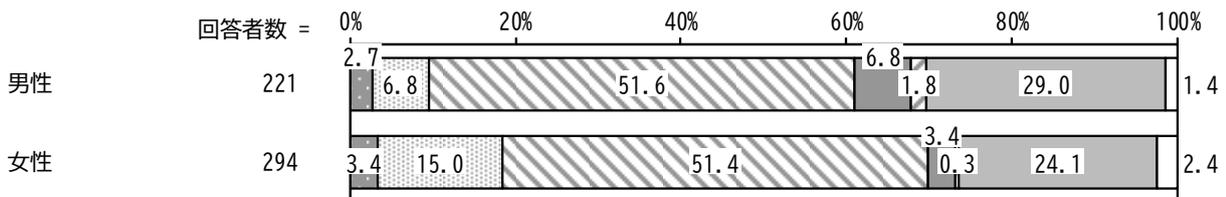
「平等である」の割合が51.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が25.6%、「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が11.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

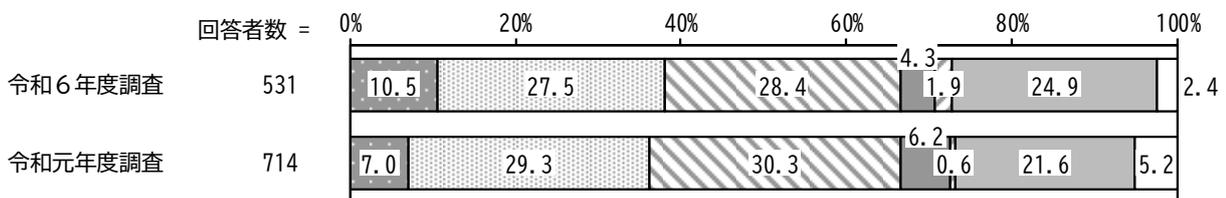
性別にみると、大きな差はみられません。



④地域活動の場で

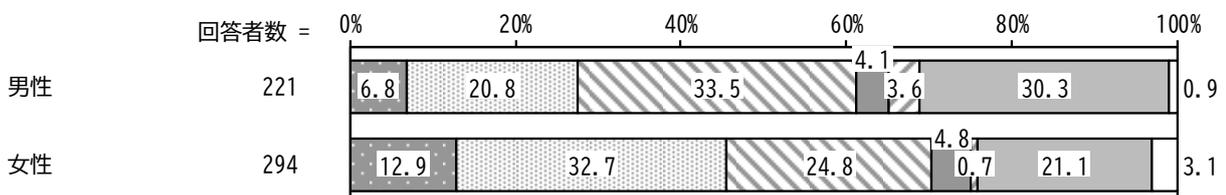
「平等である」の割合が28.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が27.5%、「わからない」の割合が24.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

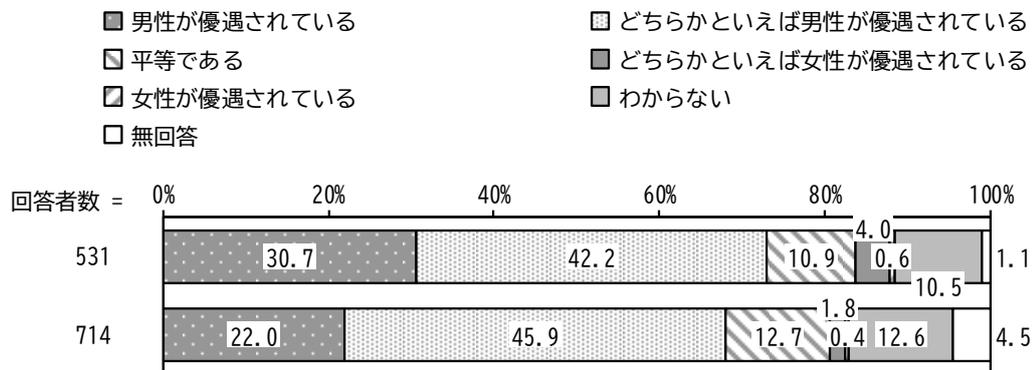
性別にみると、男性で「平等である」「わからない」の割合が高くなっています。



⑤社会通念・慣習やしきたりなどで

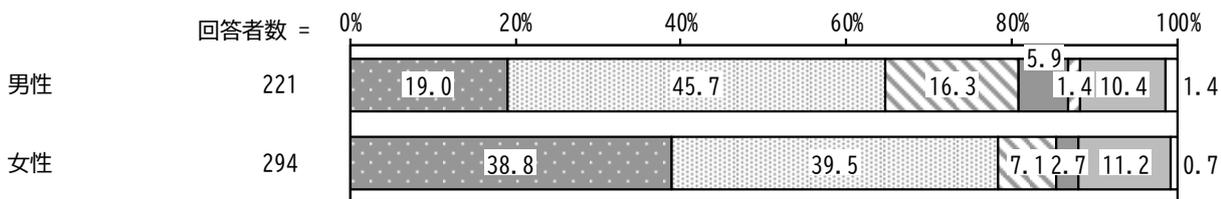
「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「男性が優遇されている」の割合が 30.7%、「平等である」の割合が 10.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」の割合が増加しています。



【性別】

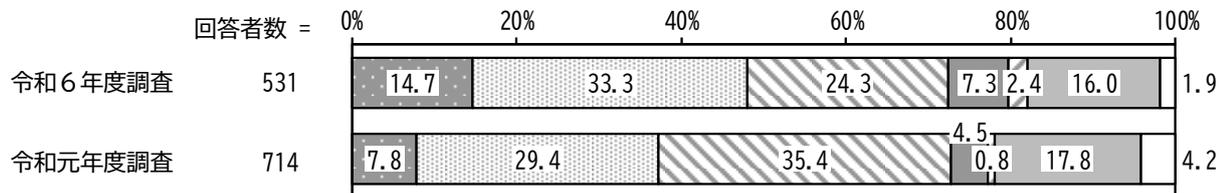
性別にみると、女性で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。



⑥法律や制度の上で

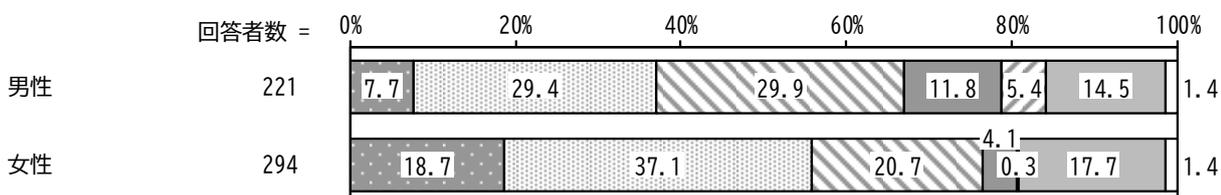
「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 24.3%、「わからない」の割合が 16.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」の割合が増加しています。一方、「平等である」の割合が減少しています。



【性別】

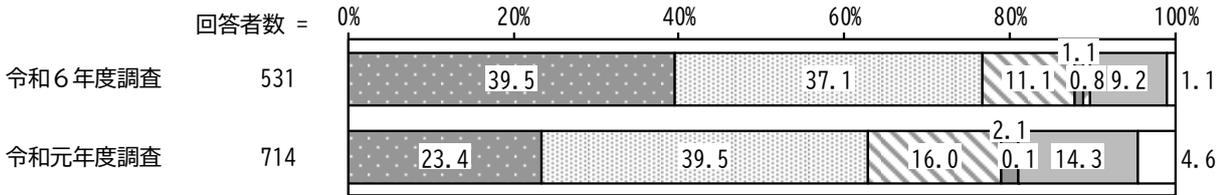
性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



⑦政治の場で

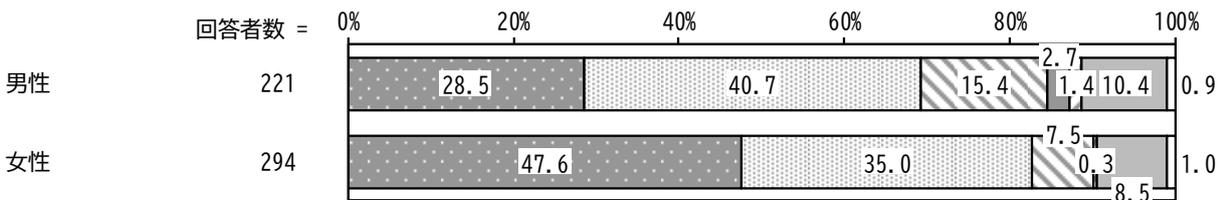
「男性が優遇されている」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 37.1%、「平等である」の割合が 11.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



【性別】

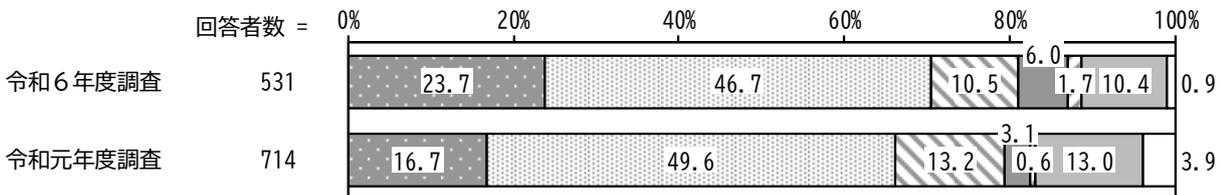
性別にみると、女性で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。



⑧社会全体で

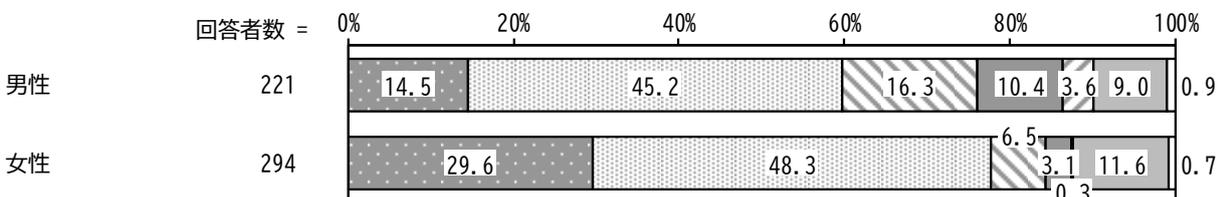
「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「男性が優遇されている」の割合が 23.7%、「平等である」の割合が 10.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「男性が優遇されている」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。

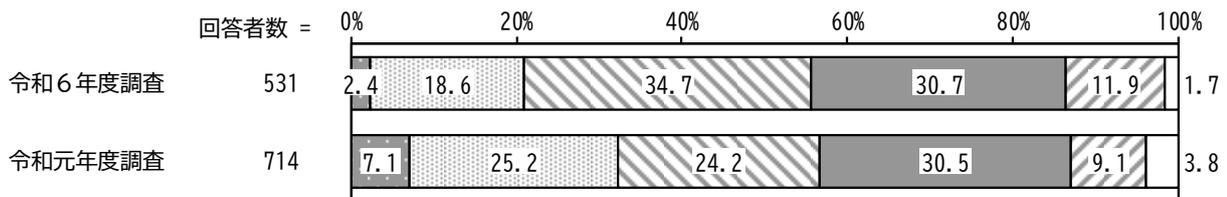


問8 あなたは、「男は仕事をし、女は家事・育児をすべきである」という考え方について、どのように思いますか。(〇は1つ)

「反対」の割合が34.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば反対」の割合が30.7%、「どちらかといえば賛成」の割合が18.6%となっています。

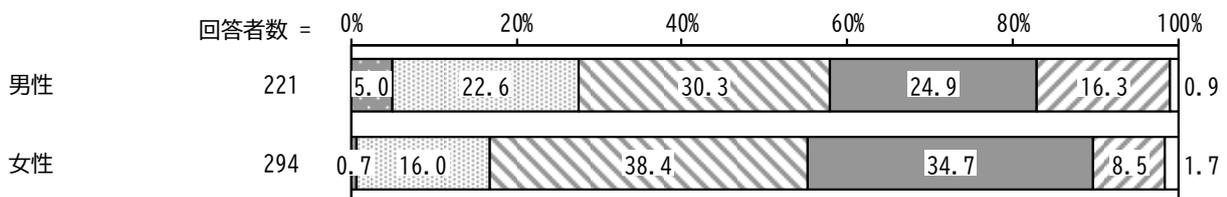
令和元年度調査と比較すると、「反対」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば賛成」の割合が減少しています。

■ 賛成 □ どちらかといえば賛成 ▨ 反対 ■ どちらかといえば反対 ▩ わからない □ 無回答



【性別】

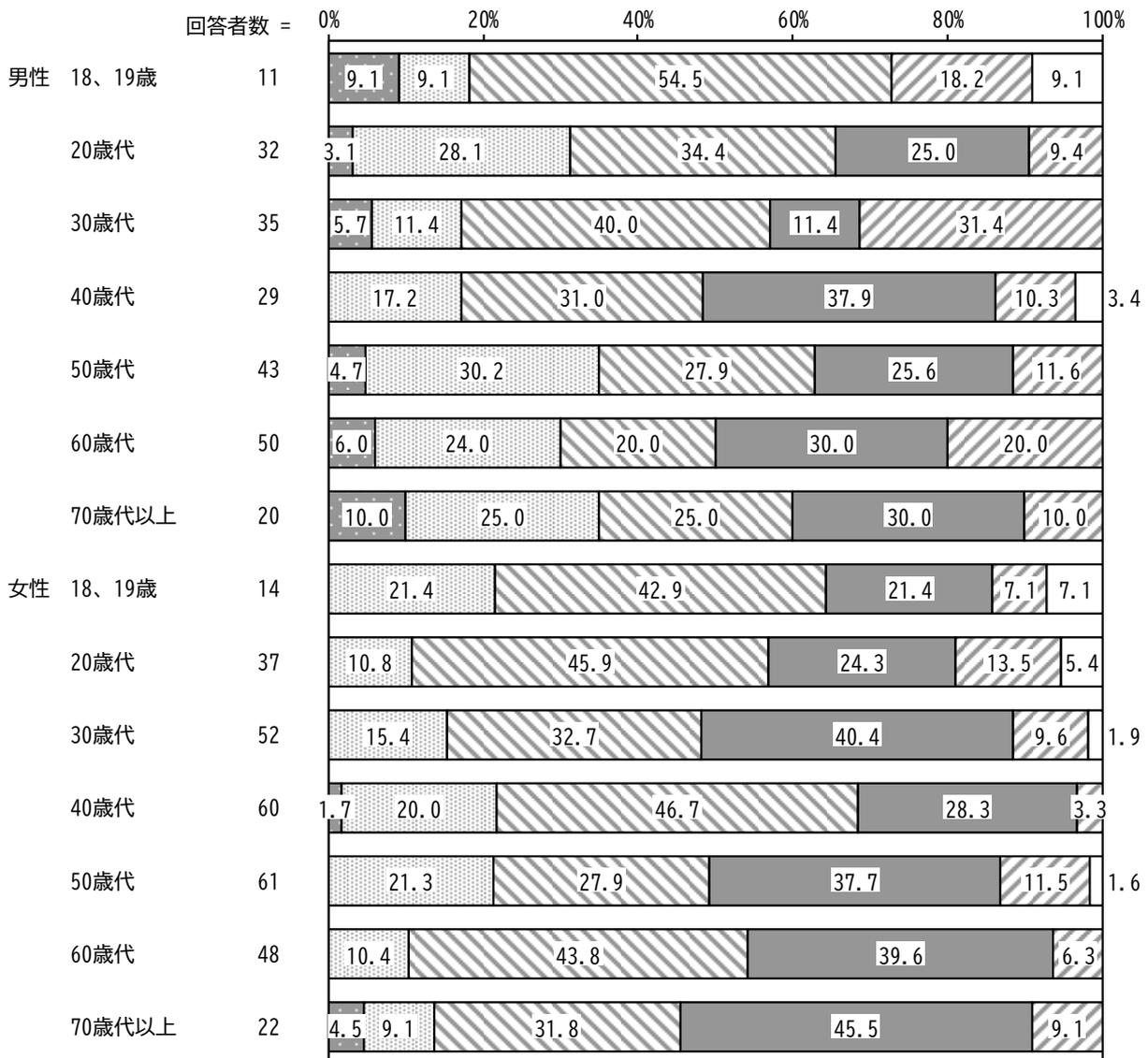
性別にみると、大きな差はみられません。



【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 18、19 歳で「反対」の割合が高くなっています。

■ 賛成 □ どちらかといえば賛成 ▨ 反対 ■ どちらかといえば反対 ▩ わからない □ 無回答

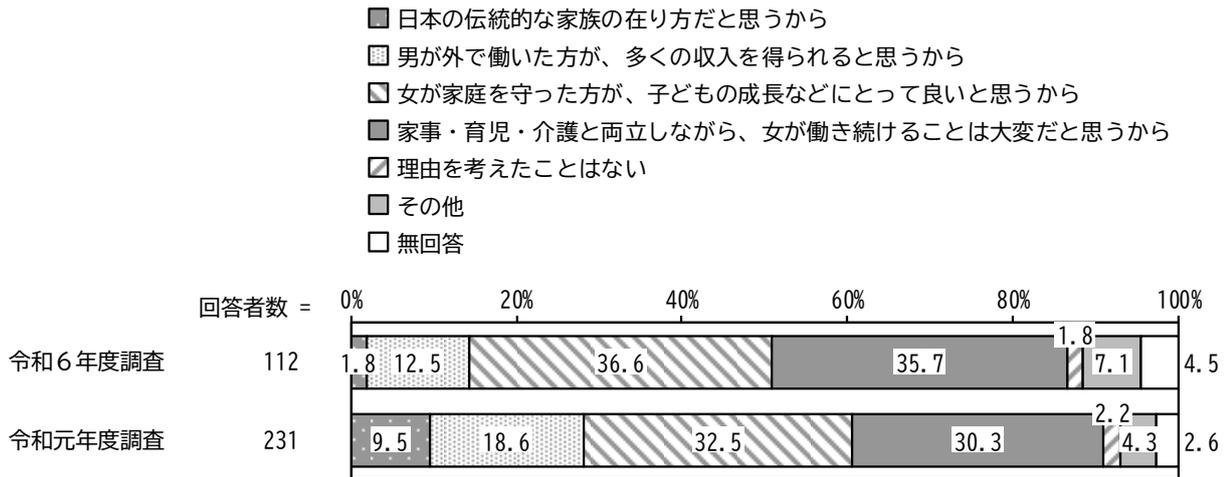


【問8で「賛成」「どちらかといえば賛成」に○をつけた方におたずねします。】

問8-1 その理由は以下のどれに近いですか。(○は1つ)

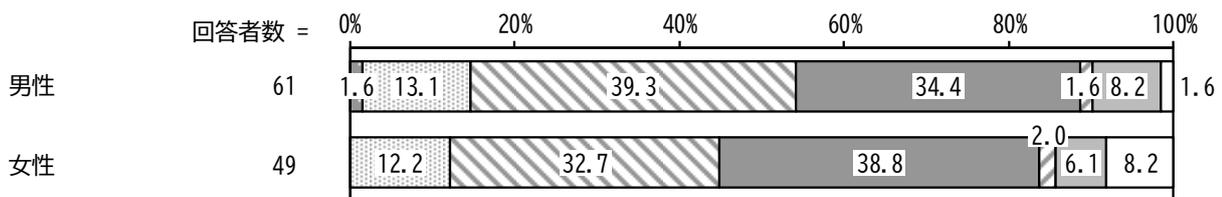
「女が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」の割合が36.6%と最も高く、次いで「家事・育児・介護と両立しながら、女が働き続けることは大変だと思うから」の割合が35.7%、「男が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合が12.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「家事・育児・介護と両立しながら、女が働き続けることは大変だと思うから」の割合が増加しています。一方、「日本の伝統的な家族の在り方だと思うから」「男が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

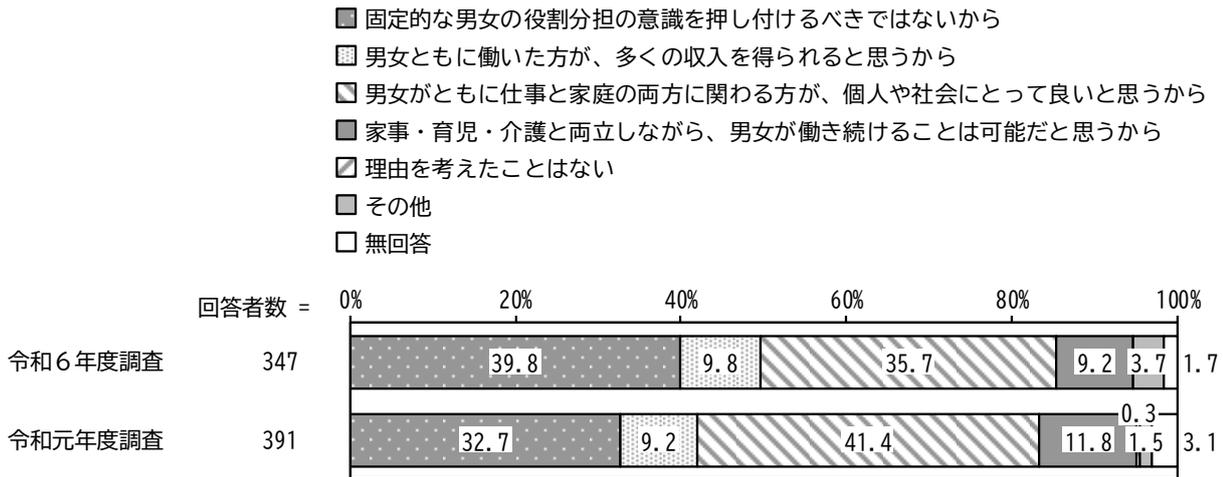


【問8で「反対」「どちらかといえば反対」に○をつけた方におたずねします。】

問8-2 その理由は以下のどれに近いですか。(○は1つ)

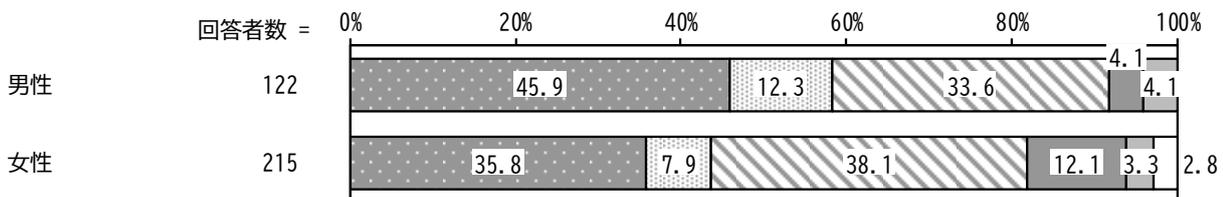
「固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきではないから」の割合が39.8%と最も高く、次いで「男女がともに仕事と家庭の両方に関わる方が、個人や社会にとって良いと思うから」の割合が35.7%、「男女ともに働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合が9.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきではないから」の割合が増加しています。一方、「男女がともに仕事と家庭の両方に関わる方が、個人や社会にとって良いと思うから」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきではないから」の割合が高くなっています。

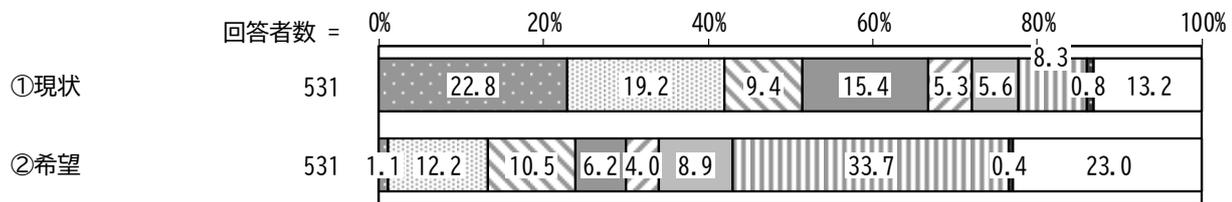


【すべての方におたずねします。】

問9 あなたは、生活の中で「仕事」「家庭」「個人の生活」の3つのうち何を優先していますか。また、何を優先したいですか。（「現状」と「希望」でそれぞれに○は1つ）

『①現状』で「仕事」を優先の割合が、『②希望』で「仕事」と「家庭」と「個人の生活」3つの調和の割合が高くなっています。

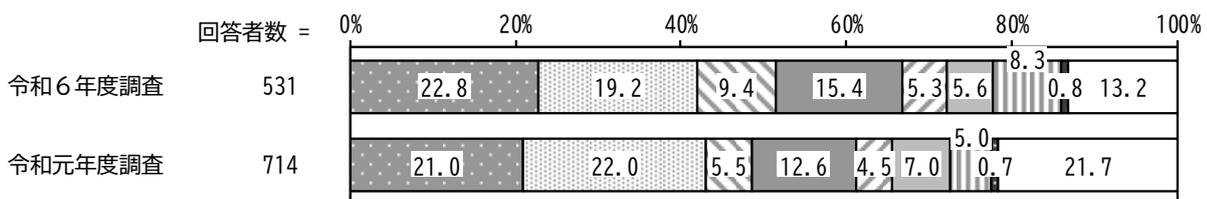
- 「仕事」を優先
- 「家庭」を優先
- 「個人の生活」を優先
- 「仕事」と「家庭」をともに優先
- 「仕事」と「個人の生活」をともに優先
- 「家庭」と「個人の生活」をともに優先
- 「仕事」と「家庭」と「個人の生活」3つの調和
- その他
- 無回答



①現状

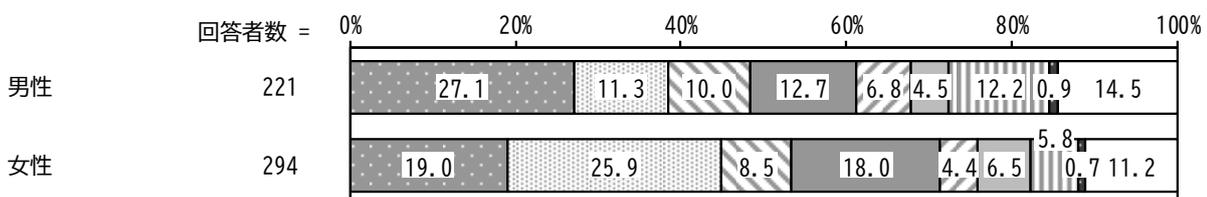
「仕事」を優先の割合が22.8%と最も高く、次いで「家庭」を優先の割合が19.2%、「仕事」と「家庭」をともに優先の割合が15.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、女性で「家庭」を優先の割合が高くなっています。

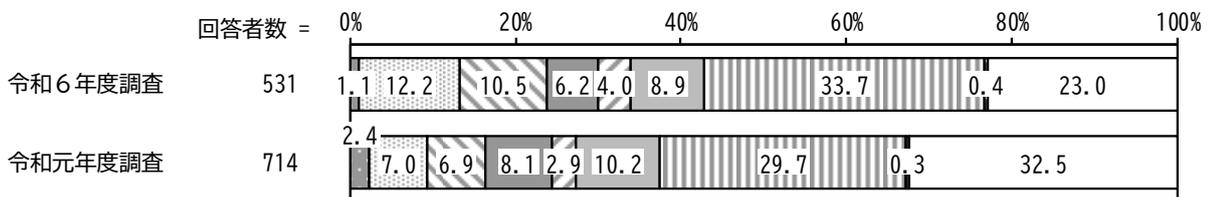


②希望

「仕事」と「家庭」と「個人の生活」3つの調和の割合が33.7%と最も高く、次いで「家庭」を優先の割合が12.2%、「個人の生活」を優先の割合が10.5%となっています。

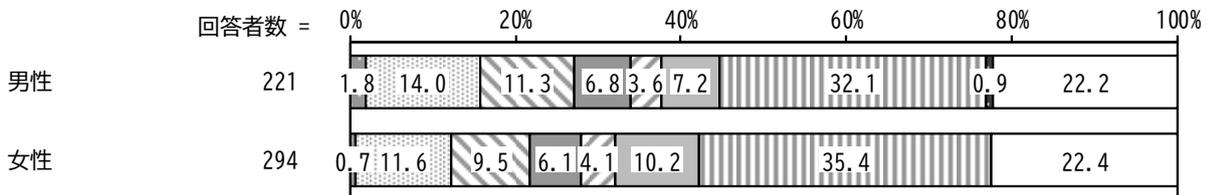
令和元年度調査と比較すると、「家庭」を優先の割合が増加しています。

- 「仕事」を優先
- 「家庭」を優先
- 「個人の生活」を優先
- 「仕事」と「家庭」をともに優先
- 「仕事」と「個人の生活」をともに優先
- 「家庭」と「個人の生活」をともに優先
- 「仕事」と「家庭」と「個人の生活」3つの調和
- その他
- 無回答



【性別】

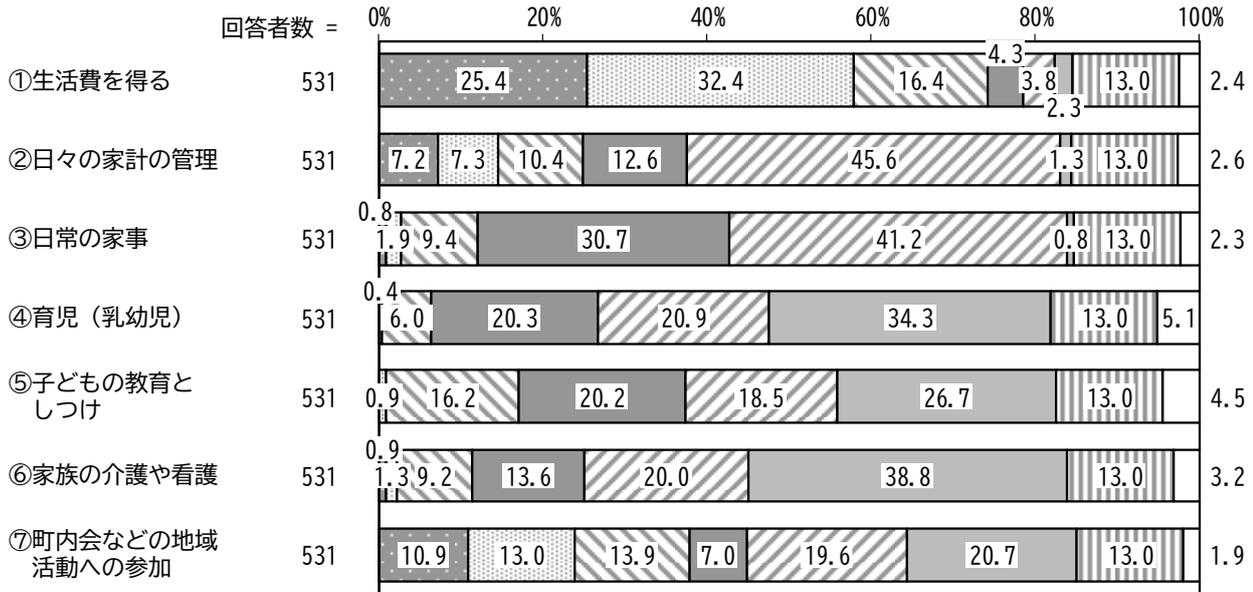
性別にみると、大きな差はみられません。



問10 次のことについて、あなたの家庭では現状として、男女でどのように分担していますか。
(それぞれに○は1つ)

『①生活費を得る』で「男性が中心だが、女性も手伝う」の割合が、『③日常の家事』で「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が高くなっています。

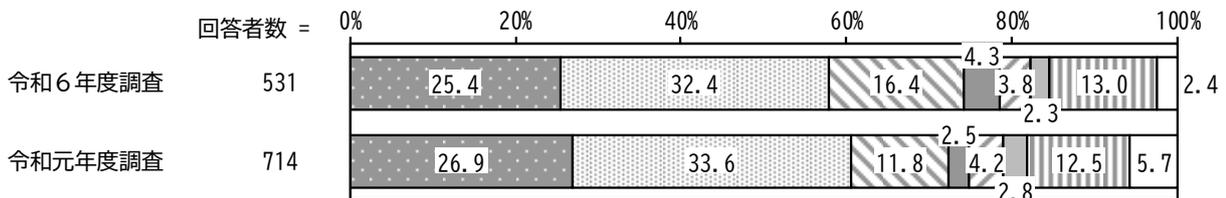
- ほとんど男性がしている ▨ 男性が中心だが、女性も手伝う ▩ 男性と女性が同程度
- 女性が中心だが、男性も手伝う ▨ ほとんど女性がしている ■ 該当・対象者なし
- 単身者・同性のみの世帯 □ 無回答



①生活費を得る

「男性が中心だが、女性も手伝う」の割合が32.4%と最も高く、次いで「ほとんど男性がしている」の割合が25.4%、「男性と女性が同程度」の割合が16.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

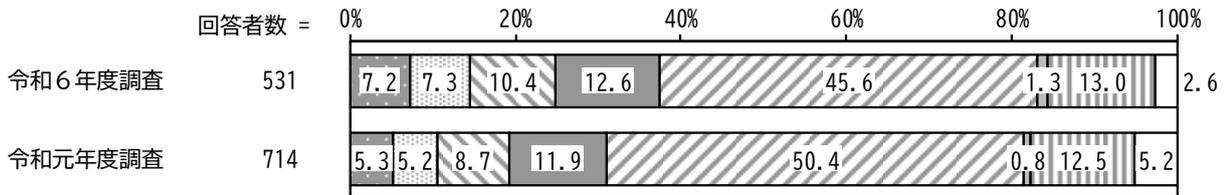


②日々の家計の管理

「ほとんど女性がしている」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「単身者・同性のみの世帯」の割合が 13.0%、「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が 12.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

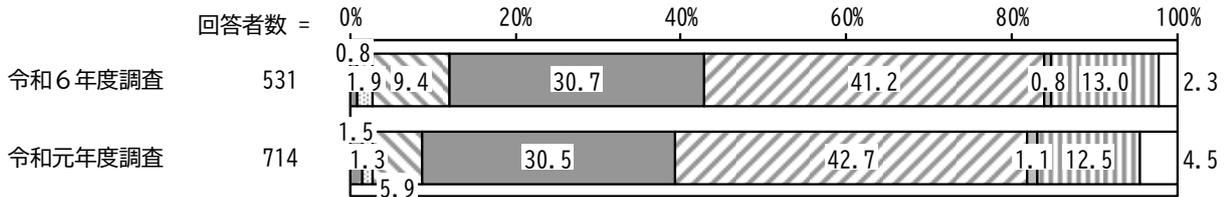
- ほとんど男性がしている □ 男性が中心だが、女性も手伝う □ 男性と女性が同程度
- 女性が中心だが、男性も手伝う □ ほとんど女性がしている □ 該当・対象者なし
- 単身者・同性のみの世帯 □ 無回答



③日常の家事

「ほとんど女性がしている」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が 30.7%、「単身者・同性のみの世帯」の割合が 13.0%となっています。

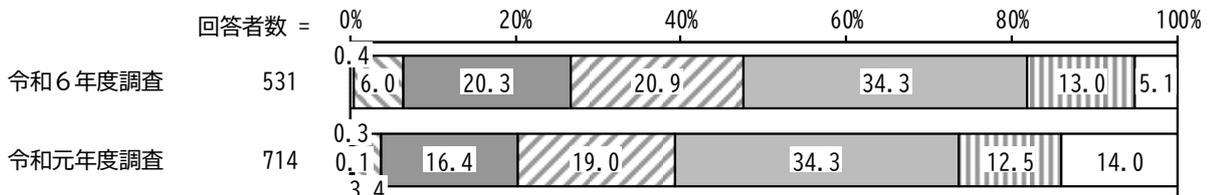
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



④育児（乳幼児）

「該当・対象者なし」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「ほとんど女性がしている」の割合が 20.9%、「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が 20.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

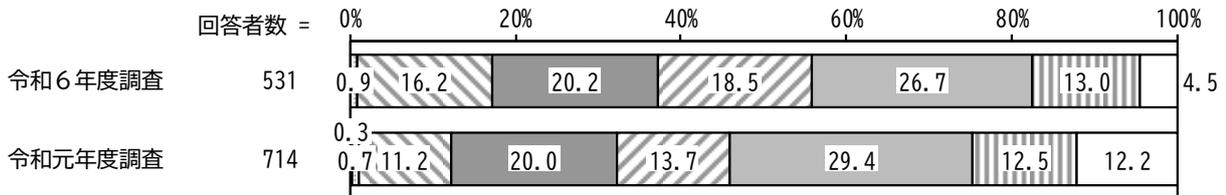


⑤子どもの教育としつけ

「該当・対象者なし」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が 20.2%、「ほとんど女性がしている」の割合が 18.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

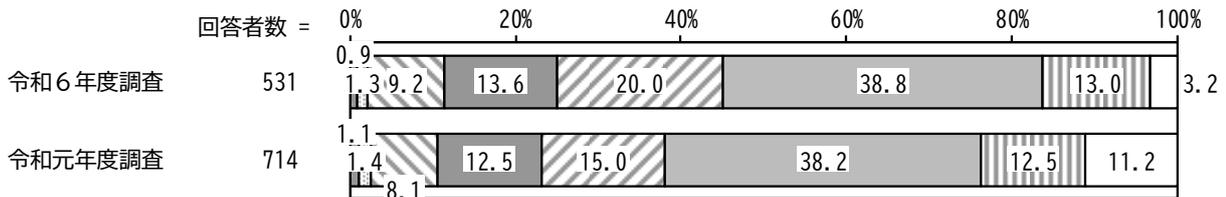
- ほとんど男性がしている ▨ 男性が中心だが、女性も手伝う ▩ 男性と女性が同程度
- 女性が中心だが、男性も手伝う ▨ ほとんど女性がしている ■ 該当・対象者なし
- 単身者・同性のみの世帯 □ 無回答



⑥家族の介護や看護

「該当・対象者なし」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「ほとんど女性がしている」の割合が 20.0%、「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が 13.6%となっています。

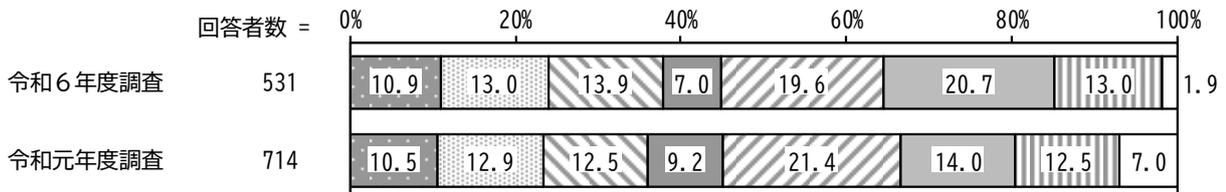
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



⑦町内会などの地域活動への参加

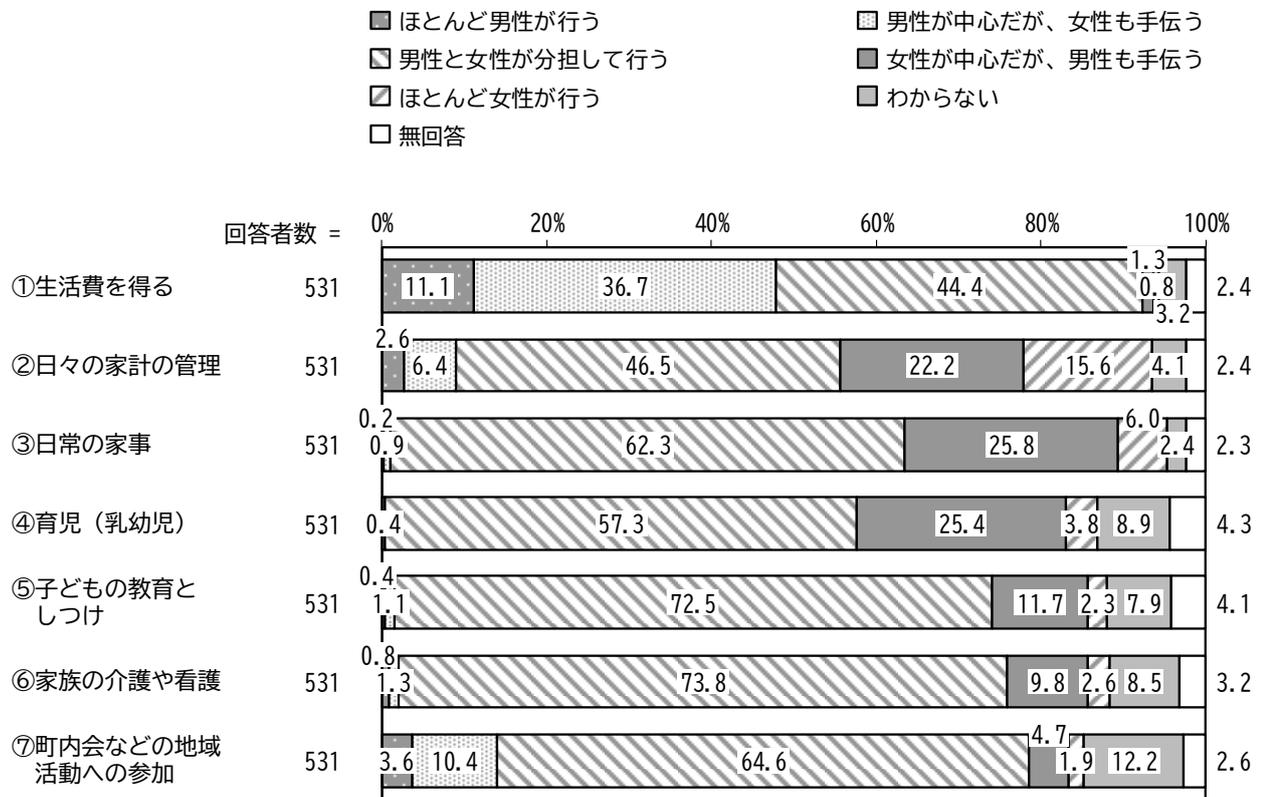
「該当・対象者なし」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「ほとんど女性がしている」の割合が 19.6%、「男性と女性が同程度」の割合が 13.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「該当・対象者なし」の割合が増加しています。



問 11 次のことについて、あなたの希望としては、男女でどのように分担したいと思いますか。
(それぞれに○は1つ)

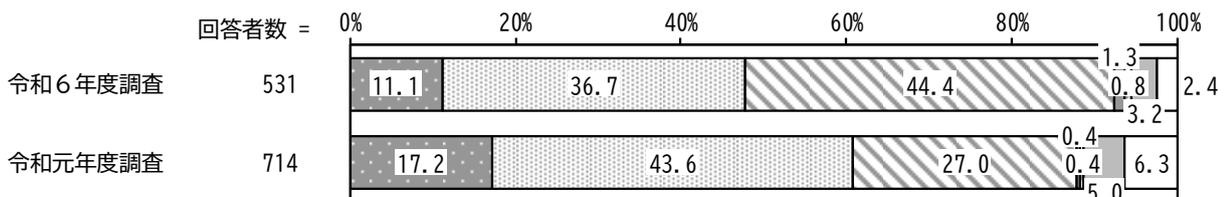
『①生活費を得る』で「男性が中心だが、女性も手伝う」の割合が、『②日々の家計の管理』で「ほとんど女性が行う」の割合が高くなっています。また、『⑤子どもの教育としつけ』『⑥家族の介護や看護』で「男性と女性が分担して行う」の割合が高くなっています。



①生活費を得る

「男性と女性が分担して行う」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「男性が中心だが、女性も手伝う」の割合が 36.7%、「ほとんど男性が行う」の割合が 11.1%となっています。

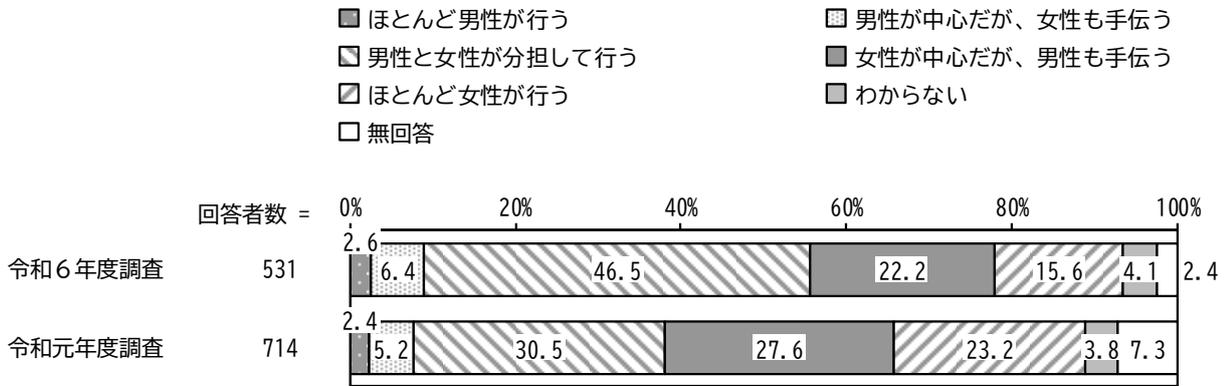
令和元年度調査と比較すると、「男性と女性が分担して行う」の割合が増加しています。一方、「ほとんど男性が行う」「男性が中心だが、女性も手伝う」の割合が減少しています。



②日々の家計の管理

「男性と女性が分担して行う」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が 22.2%、「ほとんど女性が行う」の割合が 15.6%となっています。

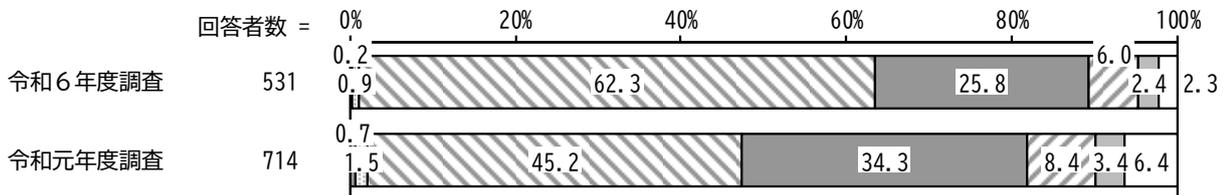
令和元年度調査と比較すると、「男性と女性が分担して行う」の割合が増加しています。一方、「女性が中心だが、男性も手伝う」「ほとんど女性が行う」の割合が減少しています。



③日常の家事

「男性と女性が分担して行う」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が 25.8%、「ほとんど女性が行う」の割合が 6.0%となっています。

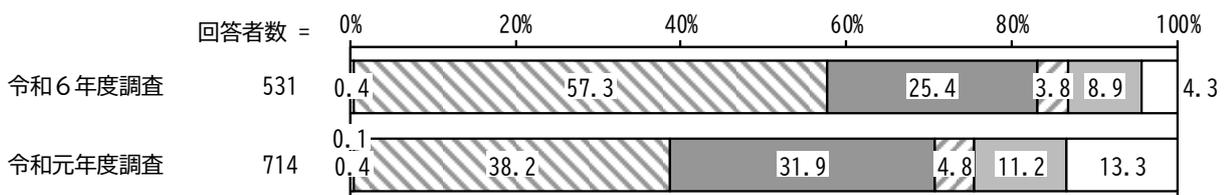
令和元年度調査と比較すると、「男性と女性が分担して行う」の割合が増加しています。一方、「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が減少しています。



④育児（乳幼児）

「男性と女性が分担して行う」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が 25.4%、「わからない」の割合が 8.9%となっています。

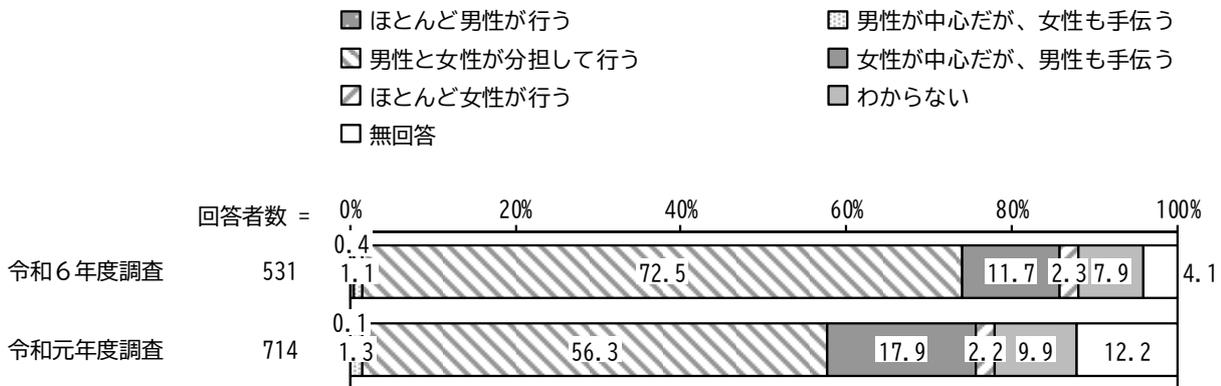
令和元年度調査と比較すると、「男性と女性が分担して行う」の割合が増加しています。一方、「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が減少しています。



⑤子どもの教育としつけ

「男性と女性が分担して行う」の割合が72.5%と最も高く、次いで「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が11.7%、「わからない」の割合が7.9%となっています。

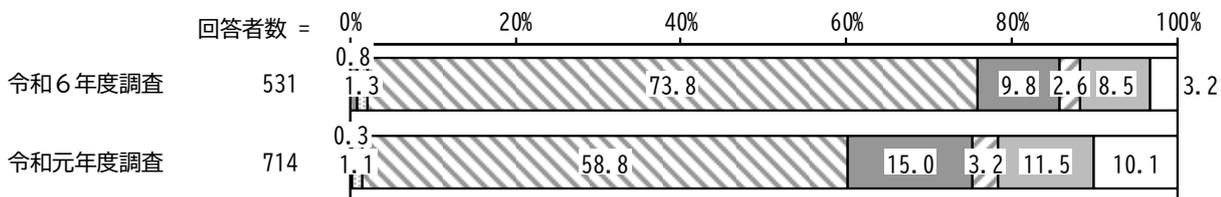
令和元年度調査と比較すると、「男性と女性が分担して行う」の割合が増加しています。一方、「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が減少しています。



⑥家族の介護や看護

「男性と女性が分担して行う」の割合が73.8%と最も高く、次いで「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が9.8%、「わからない」の割合が8.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「男性と女性が分担して行う」の割合が増加しています。一方、「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が減少しています。



⑦町内会などの地域活動への参加

「男性と女性が分担して行う」の割合が64.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が12.2%、「男性が中心だが、女性も手伝う」の割合が10.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「男性と女性が分担して行う」の割合が増加しています。

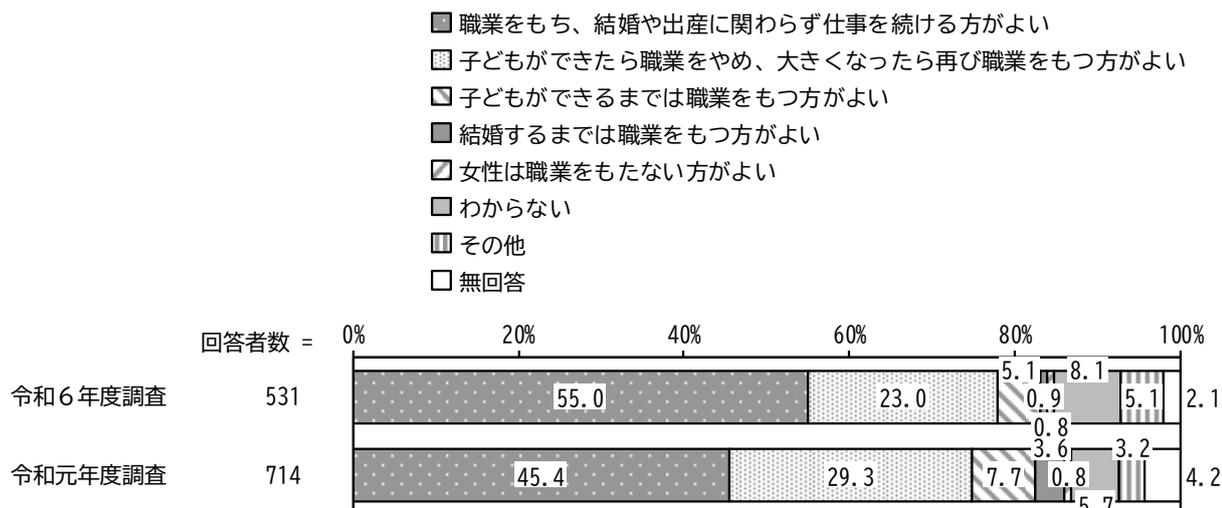


(3) 女性の社会進出について

問12 女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

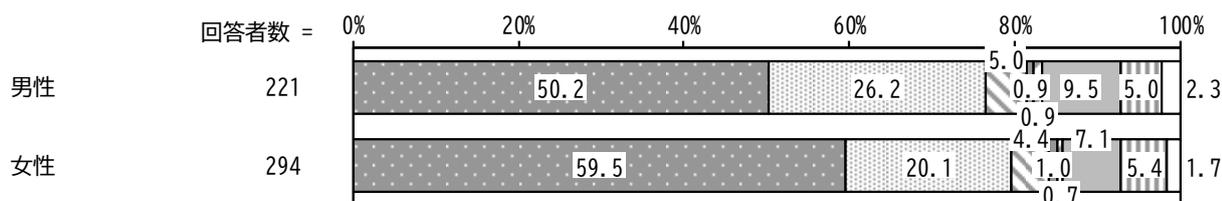
「職業をもち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける方がよい」の割合が55.0%と最も高く、次いで「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合が23.0%、「わからない」の割合が8.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「職業をもち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける方がよい」の割合が増加しています。一方、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合が減少しています。



【性別】

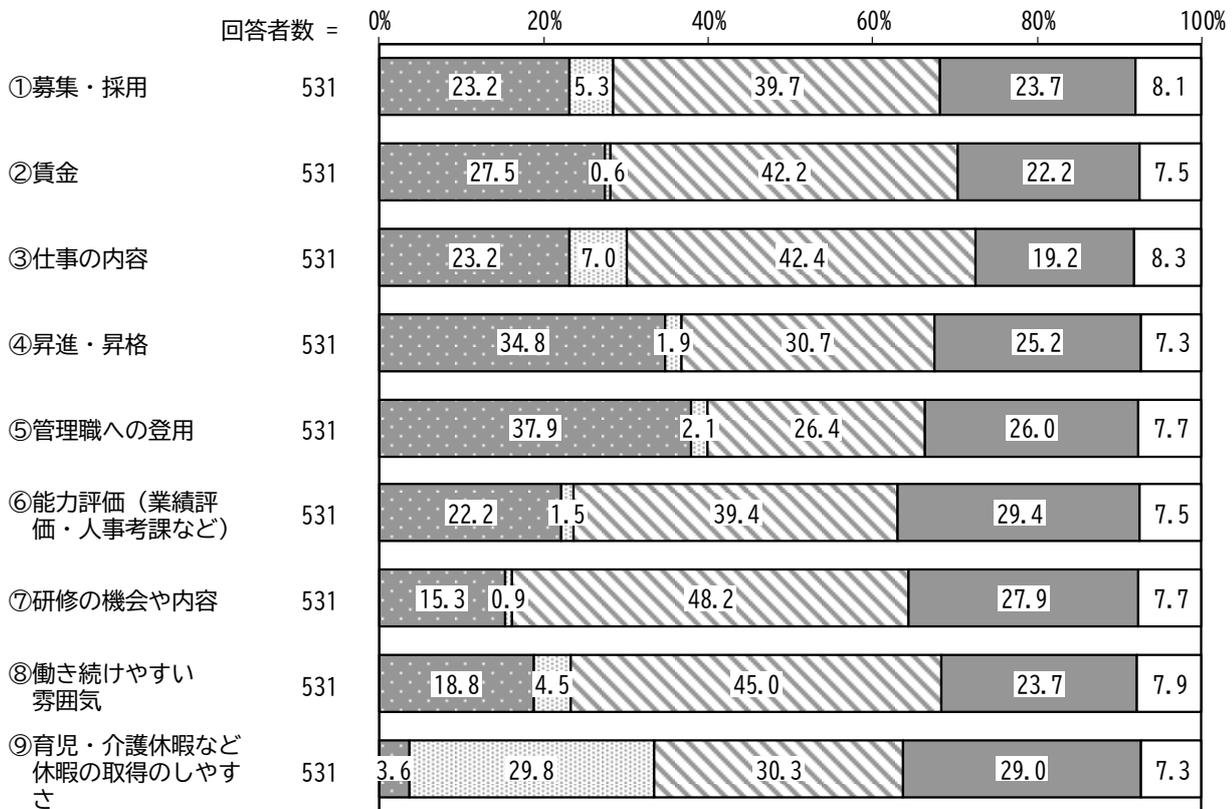
性別にみると、大きな差はみられません。



問 13 あなたは、今の職場で性別によって差があると思いますか。(それぞれに○は1つ)

『⑨育児・介護休暇など休暇の取得のしやすさ』で「女性が優遇されている」の割合が高くなっています。

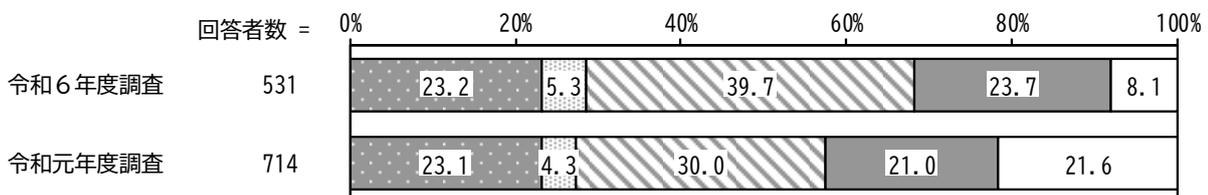
■ 男性が優遇されている □ 女性が優遇されている ▨ 平等である ■ わからない □ 無回答



①募集・採用

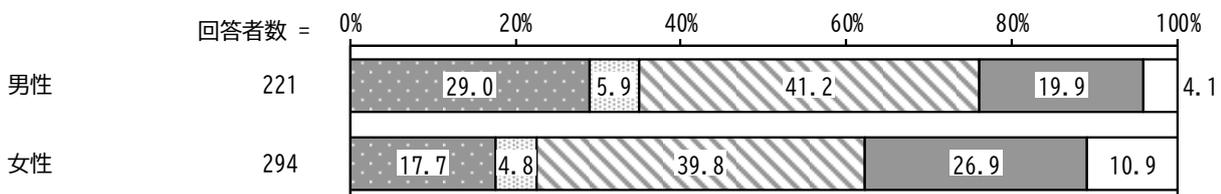
「平等である」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 23.7%、「男性が優遇されている」の割合が 23.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

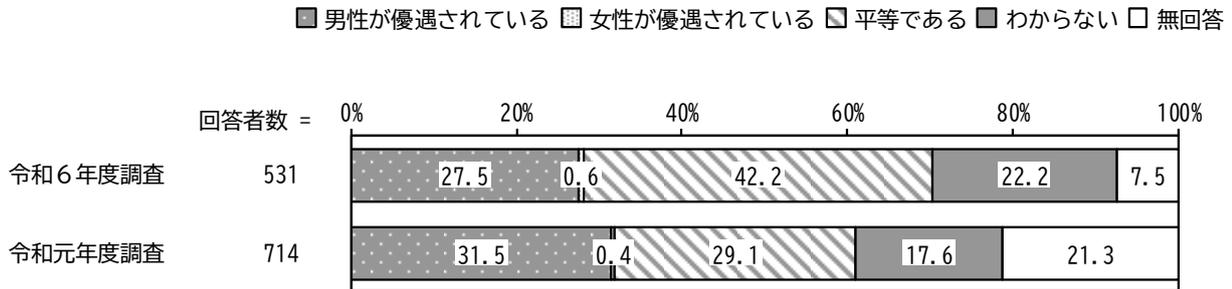
性別にみると、男性で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。



②賃金

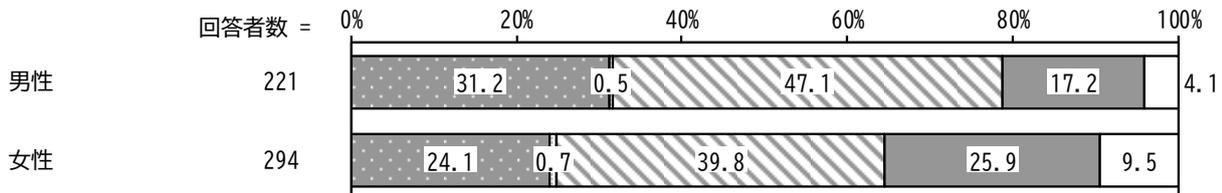
「平等である」の割合が42.2%と最も高く、次いで「男性が優遇されている」の割合が27.5%、「わからない」の割合が22.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

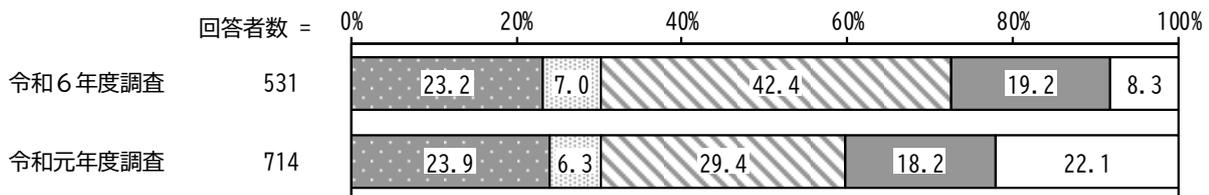
性別にみると、大きな差はみられません。



③仕事の内容

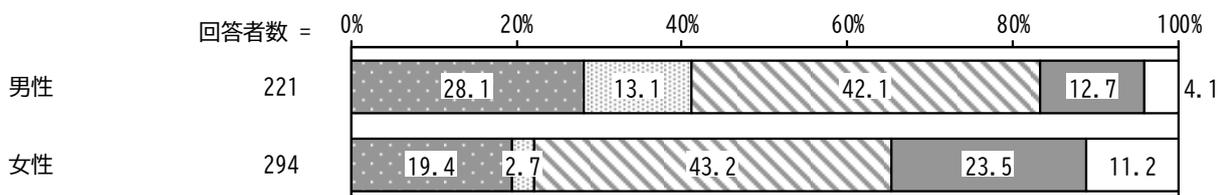
「平等である」の割合が42.4%と最も高く、次いで「男性が優遇されている」の割合が23.2%、「わからない」の割合が19.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

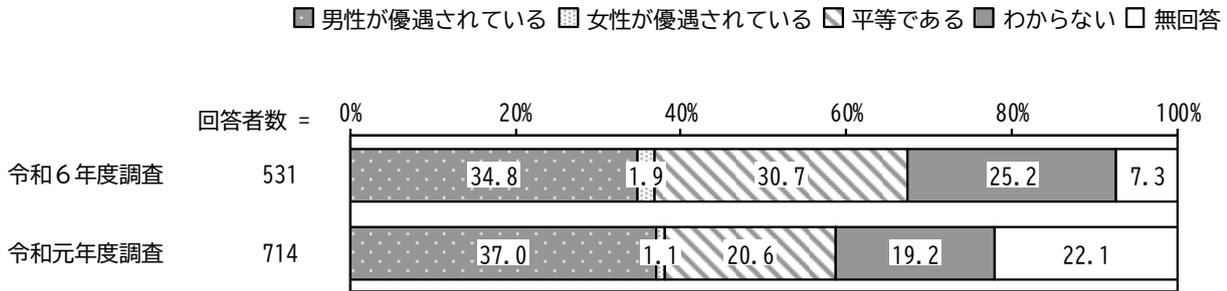
性別にみると、大きな差はみられません。



④昇進・昇格

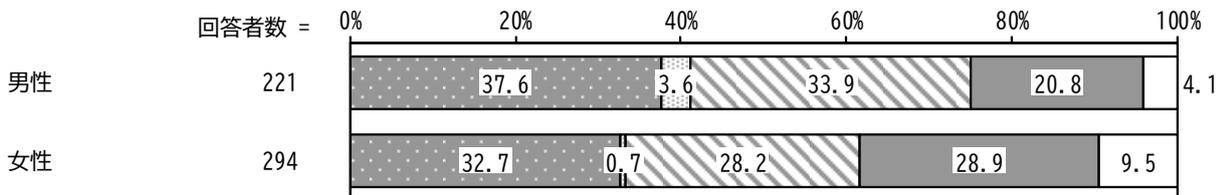
「男性が優遇されている」の割合が34.8%と最も高く、次いで「平等である」の割合が30.7%、「わからない」の割合が25.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「平等である」「わからない」の割合が増加しています。



【性別】

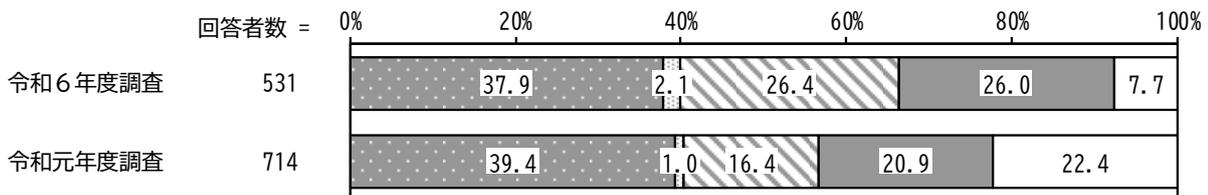
性別にみると、大きな差はみられません。



⑤管理職への登用

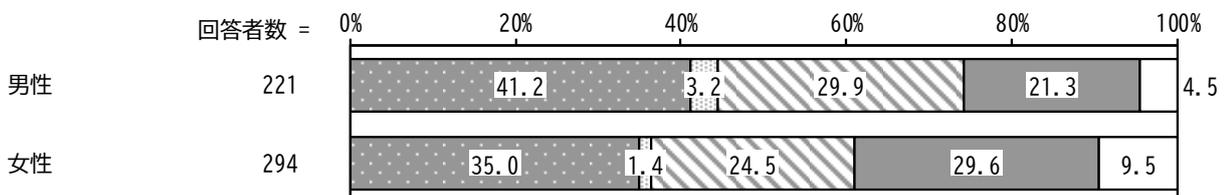
「男性が優遇されている」の割合が37.9%と最も高く、次いで「平等である」の割合が26.4%、「わからない」の割合が26.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「平等である」「わからない」の割合が増加しています。



【性別】

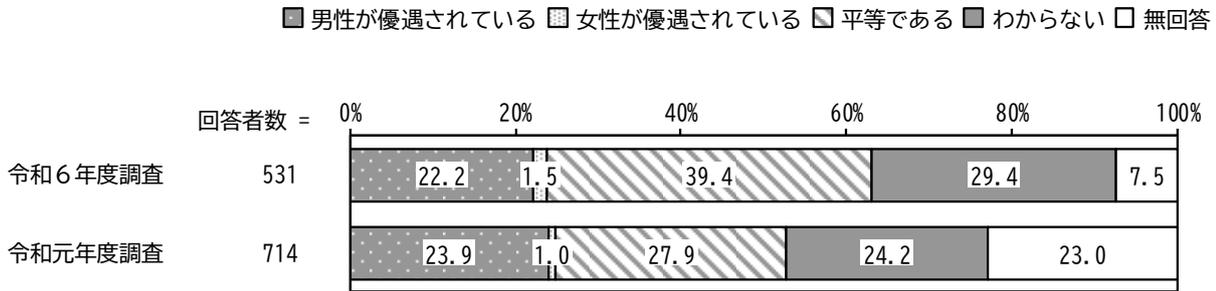
性別にみると、大きな差はみられません。



⑥能力評価（業績評価・人事考課など）

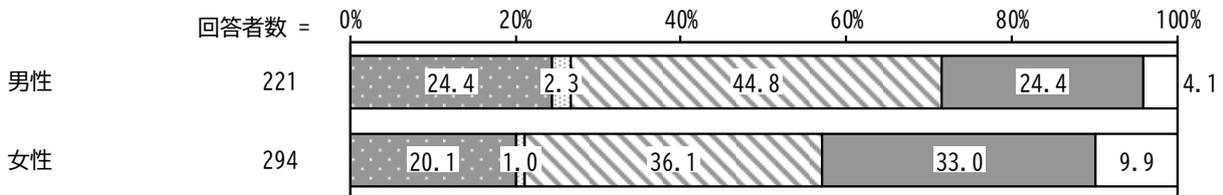
「平等である」の割合が39.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が29.4%、「男性が優遇されている」の割合が22.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「平等である」「わからない」の割合が増加しています。



【性別】

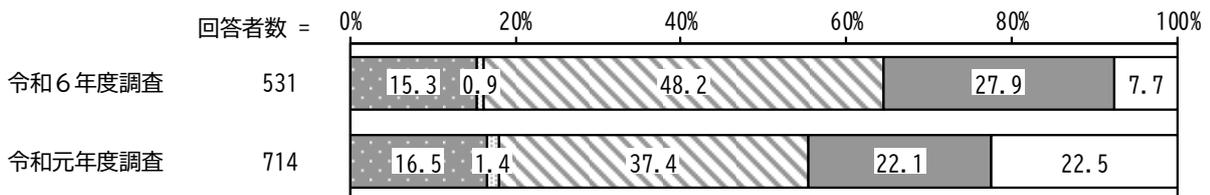
性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



⑦研修の機会や内容

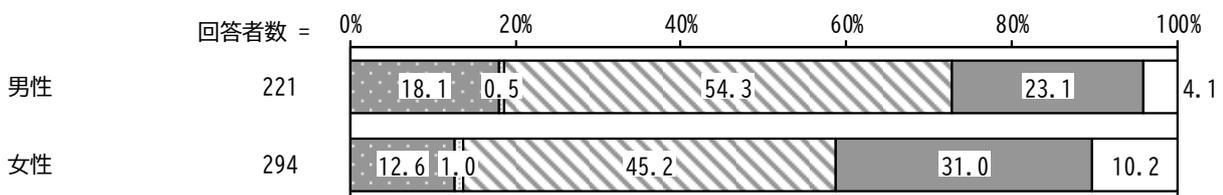
「平等である」の割合が48.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が27.9%、「男性が優遇されている」の割合が15.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「平等である」「わからない」の割合が増加しています。



【性別】

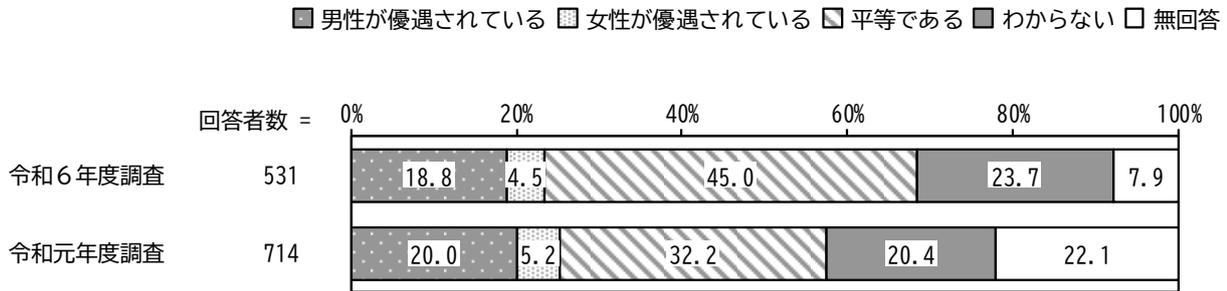
性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



⑧働き続けやすい雰囲気

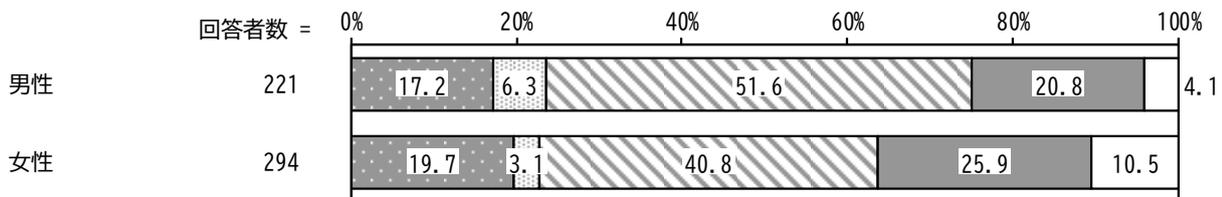
「平等である」の割合が45.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.7%、「男性が優遇されている」の割合が18.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



⑨育児・介護休暇など休暇の取得のしやすさ

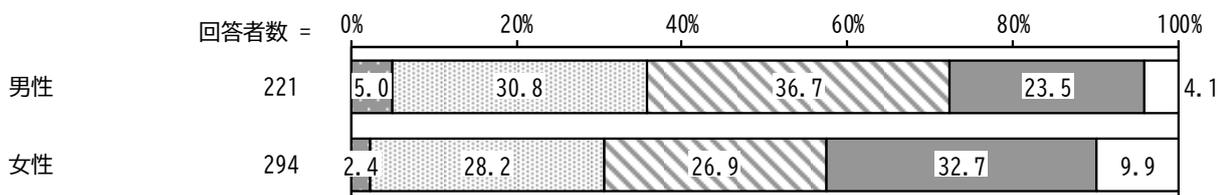
「平等である」の割合が30.3%と最も高く、次いで「女性が優遇されている」の割合が29.8%、「わからない」の割合が29.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。



【性別】

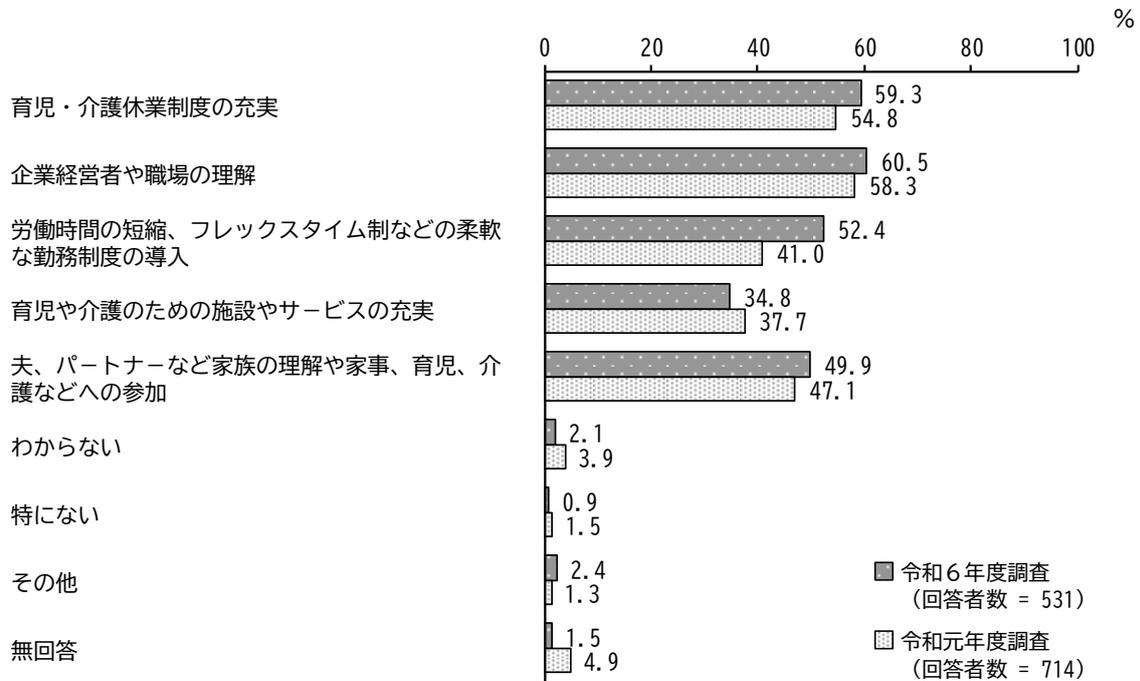
性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



問 14 あなたは、出産・子育て・介護などの理由で、女性が仕事を辞めずに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「企業経営者や職場の理解」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「育児・介護休業制度の充実」の割合が 59.3%、「労働時間の短縮、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」の割合が 52.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「労働時間の短縮、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「夫、パートナーなど家族の理解や家事、育児、介護などへの参加」の割合が高くなっています。

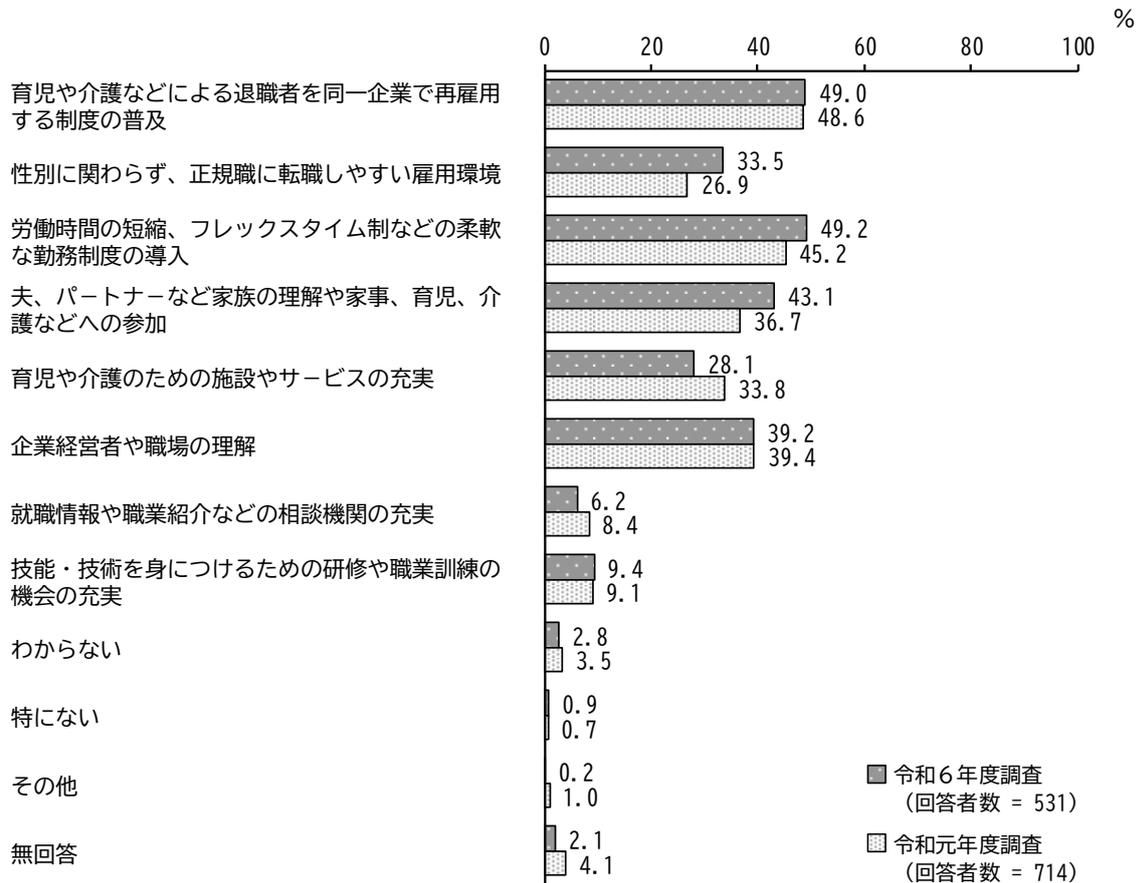
単位：%

区分	回答者数 (件)	育児・介護休業制度の充実	企業経営者や職場の理解	労働時間の短縮、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入	育児や介護のための施設やサービスの充実	夫、パートナーなど家族の理解や家事、育児、介護などへの参加	わからない	特にない	その他	無回答
全体	531	59.3	60.5	52.4	34.8	49.9	2.1	0.9	2.4	1.5
男性	221	64.7	62.0	48.9	34.4	39.4	1.8	1.8	1.8	2.3
女性	294	55.4	59.2	55.8	35.4	57.1	1.7	0.3	3.1	1.0

問 15 あなたは、出産・子育て・介護などの理由で仕事を辞めた後、女性が再就職しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「労働時間の短縮、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」の割合が49.2%と最も高く、次いで「育児や介護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及」の割合が49.0%、「夫、パートナーなど家族の理解や家事、育児、介護などへの参加」の割合が43.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「性別に関わらず、正規職に転職しやすい雇用環境」「夫、パートナーなど家族の理解や家事、育児、介護などへの参加」の割合が増加しています。一方、「育児や介護のための施設やサービスの充実」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「育児や介護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及」の割合が高くなっています。

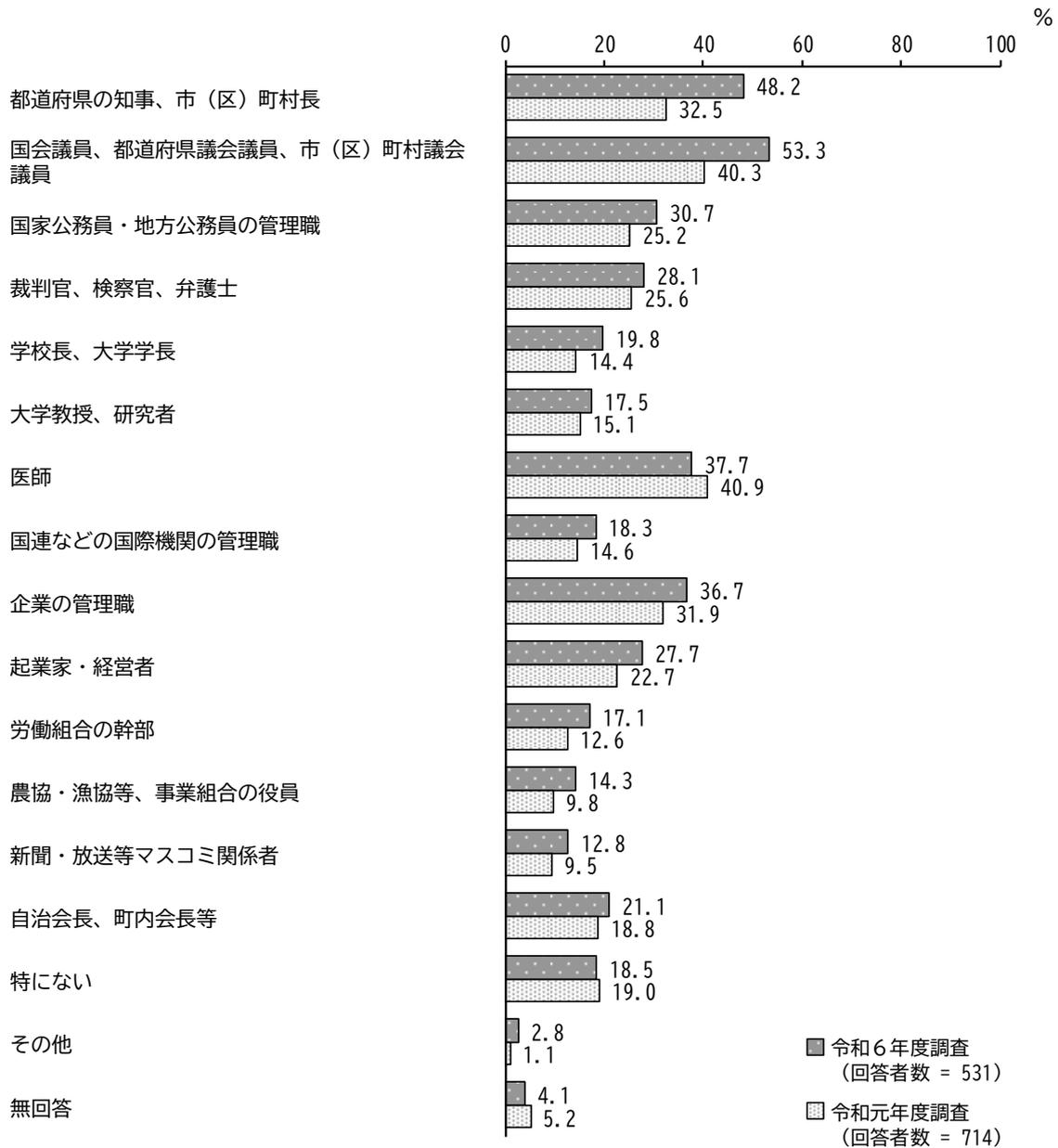
単位：%

区分	回答者数 (件)	育児や介護などによる退職者を同一企業で再雇用する制度の普及	性別に関わらず、正規職に転職しやすい雇用環境	労働時間の短縮、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入	夫、パートナーなど家族の理解や家事、育児、介護などへの参加	育児や介護のための施設やサービスの充実	企業経営者や職場の理解	就職情報や職業紹介などの相談機関の充実	技能・技術を身につけるための研修や職業訓練の機会の充実	わからない	特にない	その他	無回答
全体	531	49.0	33.5	49.2	43.1	28.1	39.2	6.2	9.4	2.8	0.9	0.2	2.1
男性	221	56.6	33.9	40.7	33.5	27.1	42.1	6.3	7.7	3.6	1.8	0.5	2.3
女性	294	43.2	33.7	56.5	49.7	28.9	36.4	6.1	10.5	2.4	0.3	-	2.0

問16 次にあげるような職業や役職において、今後女性がもっと増える方が良いと思うのはどれですか。(〇はいくつでも)

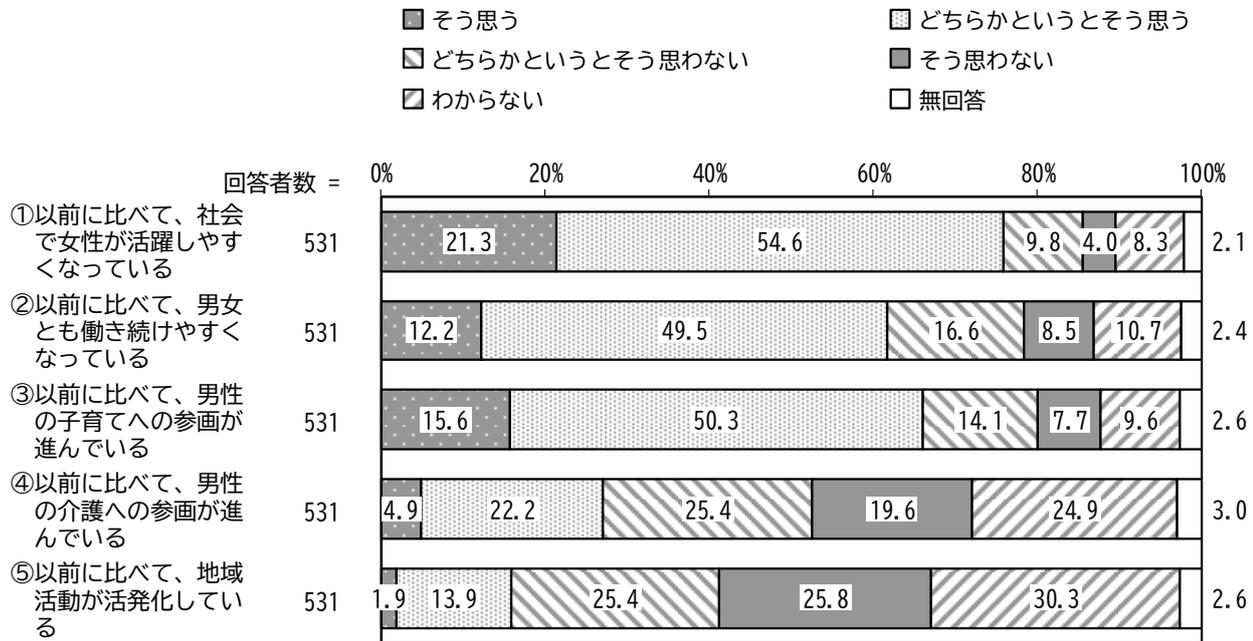
「国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員」の割合が53.3%と最も高く、次いで「都道府県の知事、市（区）町村長」の割合が48.2%、「医師」の割合が37.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「都道府県の知事、市（区）町村長」「国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員」「国家公務員・地方公務員の管理職」「学校長、大学学長」の割合が増加しています。



問 17 あなた自身の経験に照らして、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
(それぞれに○は1つ)

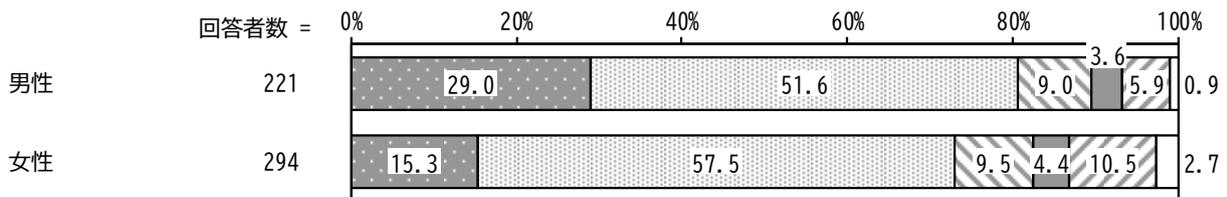
『①以前に比べて、社会で女性が活躍しやすくなっている』で「そう思う」の割合が、『④以前に比べて、男性の介護への参画が進んでいる』『⑤以前に比べて、地域活動が活発化している』で「どちらかというと思わない」の割合が高くなっています。



①以前に比べて、社会で女性が活躍しやすくなっている

【性別】

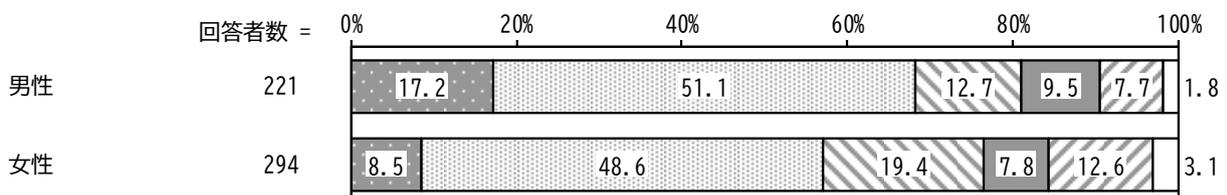
性別にみると、男性で「そう思う」の割合が高くなっています。



②以前に比べて、男女とも働き続けやすくなっている

【性別】

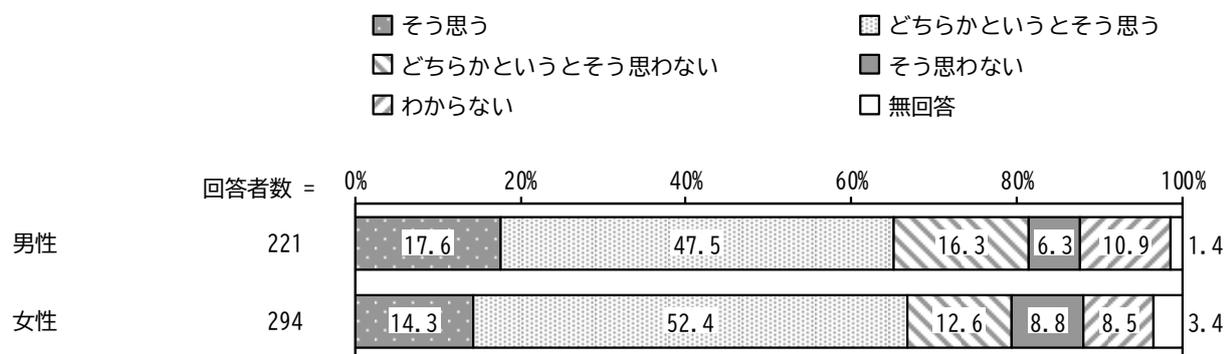
性別にみると、男性で「そう思う」の割合が高くなっています。



③以前に比べて、男性の子育てへの参画が進んでいる

【性別】

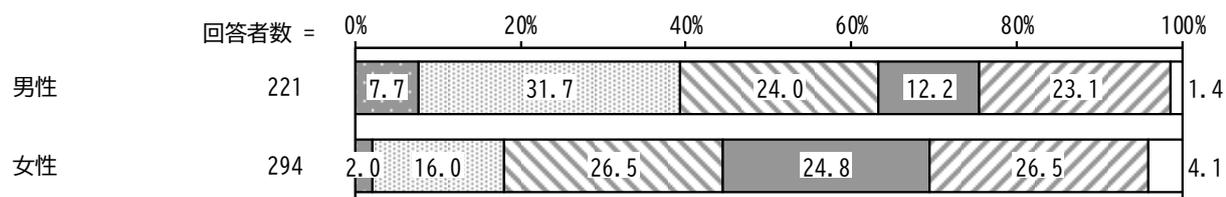
性別にみると、大きな差はみられません。



④以前に比べて、男性の介護への参画が進んでいる

【性別】

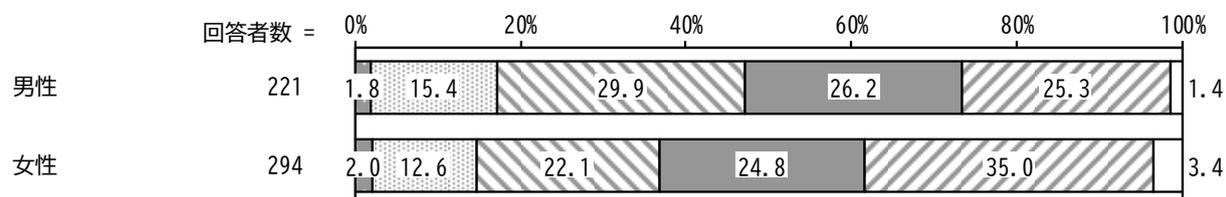
性別にみると、男性で「どちらかというと思う」の割合が高くなっています。



⑤以前に比べて、地域活動が活発化している

【性別】

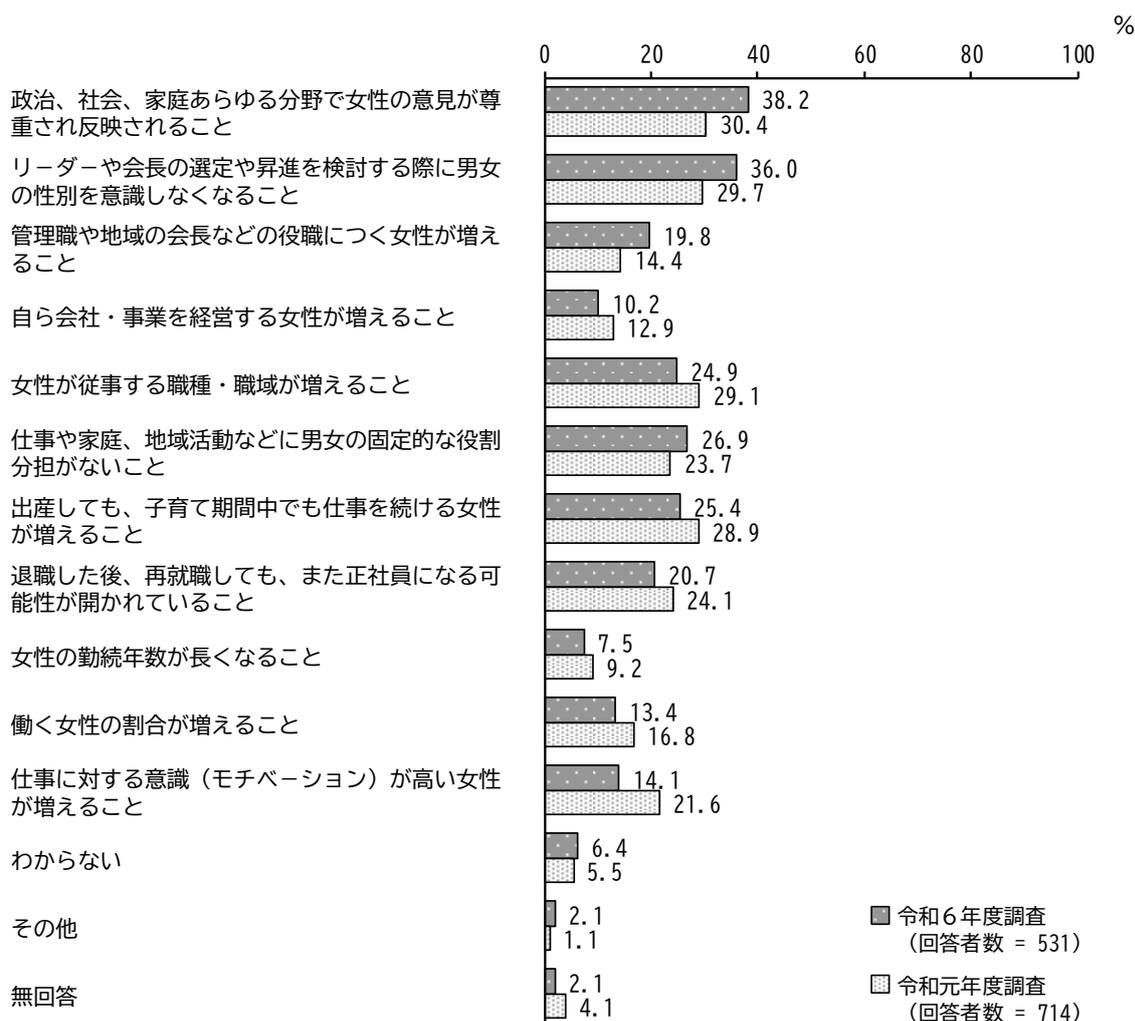
性別にみると、大きな差はみられません。



問 18 あなたは、「女性の活躍が推進されている」とは、どのような状態だと思いますか。
(○は3つまで)

「政治、社会、家庭あらゆる分野で女性の意見が尊重され反映されること」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「リーダーや会長の選定や昇進を検討する際に男女の性別を意識しなくなること」の割合が 36.0%、「仕事や家庭、地域活動などに男女の固定的な役割分担がないこと」の割合が 26.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「政治、社会、家庭あらゆる分野で女性の意見が尊重され反映されること」「リーダーや会長の選定や昇進を検討する際に男女の性別を意識しなくなること」「管理職や地域の会長などの役職につく女性が増えること」の割合が増加しています。一方、「仕事に対する意識（モチベーション）が高い女性が増えること」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

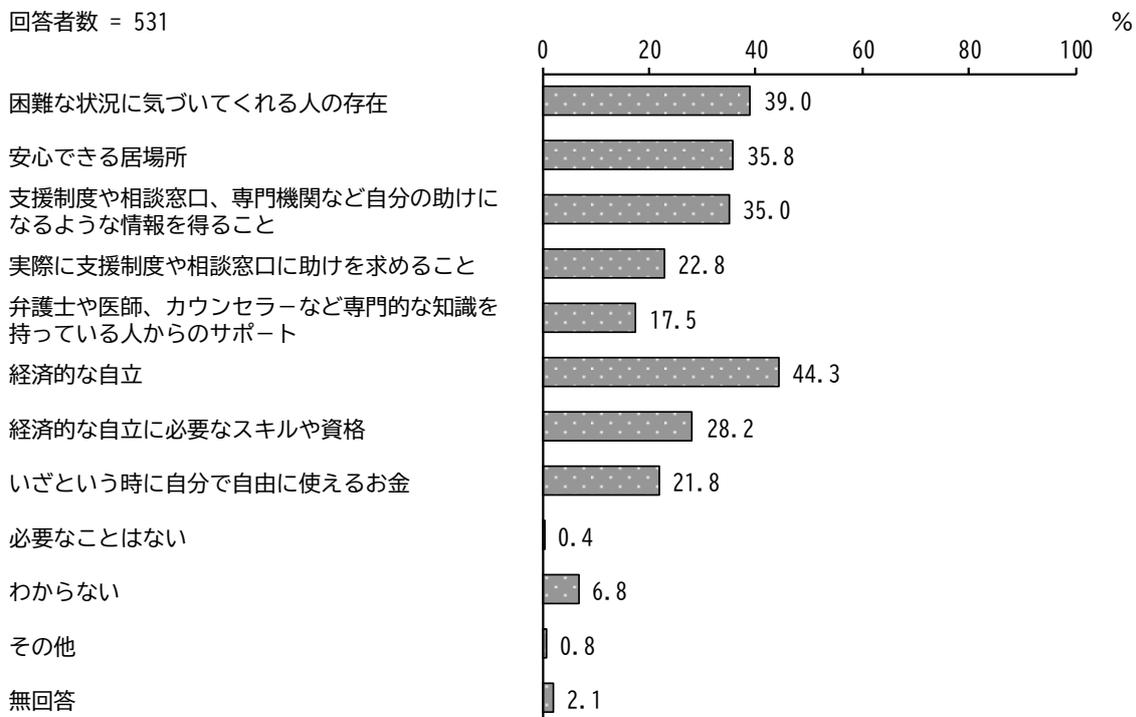
単位：％

区分	回答者数(件)	政治、社会、家庭あらゆる分野で女性の意見が尊重され反映されること	リーダーや会長の選定や昇進を検討する際に男女の性別を意識しなくなること	管理職や地域の会長などの役職につく女性が増えること	自ら会社・事業を営営する女性が増えること	女性が従事する職種・職域が増えること	仕事や家庭、地域活動などに男女の固定的な役割分担がないこと	出産しても、子育て期間中でも仕事を続ける女性が増えること	退職した後、再就職しても、また正社員になる可能性が開かれていること	女性の勤続年数が長くなること	働く女性の割合が増えること	仕事に対する意識(モチベーション)が高い女性が増えること	わからない	その他	無回答
全体	531	38.2	36.0	19.8	10.2	24.9	26.9	25.4	20.7	7.5	13.4	14.1	6.4	2.1	2.1
男性	221	38.5	35.3	21.7	10.0	28.1	22.2	23.1	19.0	4.1	17.6	11.8	6.3	2.7	2.3
女性	294	39.1	35.7	19.0	10.5	22.8	30.6	27.6	21.8	9.9	10.2	16.0	5.8	1.7	2.0

問 19 現在、「女性の福祉」、「人権の尊重や擁護」、「男女平等」といった視点に立ち、困難な問題を抱える女性への支援が求められています。女性が困難な状況から回復するためには、どんなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「経済的な自立」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「困難な状況に気づいてくれる人の存在」の割合が 39.0%、「安心できる居場所」の割合が 35.8%となっています。

回答者数 = 531

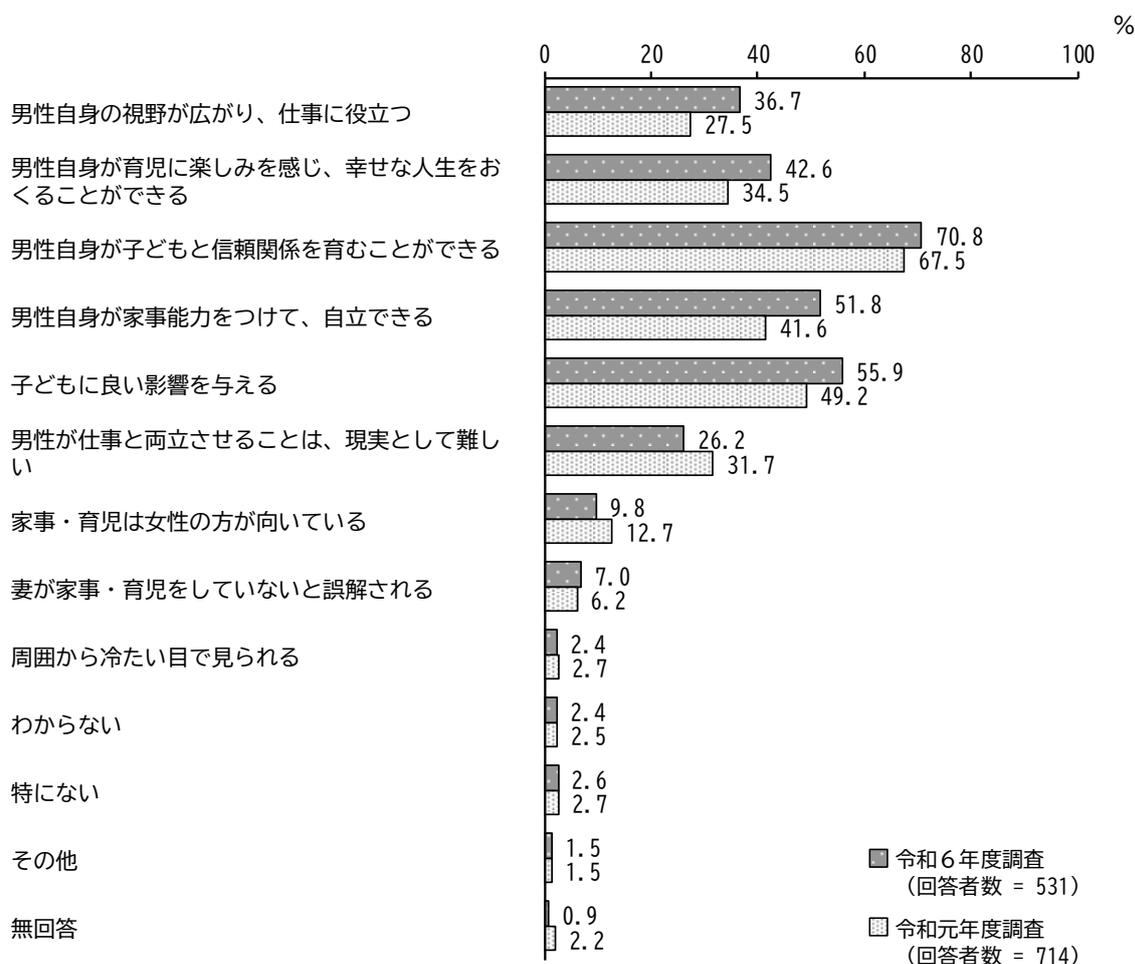


(4) 男性の家事・育児などへの参加について

問 20 男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。
(〇はいくつでも)

「男性自身が子どもと信頼関係を育むことができる」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「子どもに良い影響を与える」の割合が 55.9%、「男性自身が家事能力をつけて、自立できる」の割合が 51.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「男性自身の視野が広がり、仕事に役立つ」「男性自身が育児に楽しみを感じ、幸せな人生をおくることができる」「男性自身が家事能力をつけて、自立できる」「子どもに良い影響を与える」の割合が増加しています。一方、「男性が仕事と両立させることは、現実として難しい」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「子どもに良い影響を与える」の割合が高くなっています。

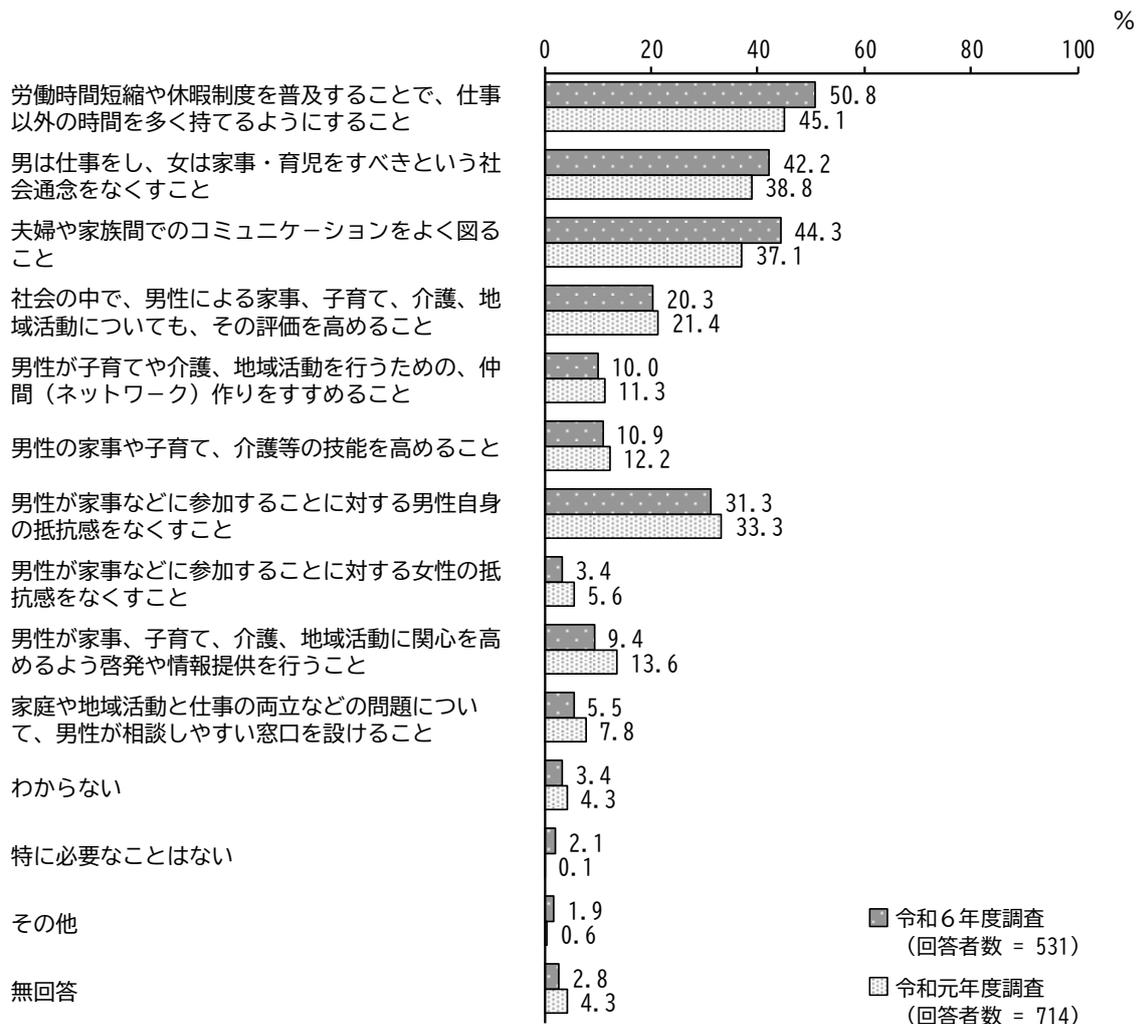
単位：％

区分	回答者数(件)	男性自身の視野が広がり、仕事に役立つ	男性自身が育児に楽しみを感じ、幸せな人生をおくることができる	男性自身が子どもと信頼関係を育むことができる	男性自身が家事能力をつけて、自立できる	子どもに良い影響を与える	男性が仕事と両立させることは、現実として難しい	家事・育児は女性の方が向いている	妻が家事・育児をしていないと誤解される	周囲から冷たい目で見られる	わからない	特にない	その他	無回答
全 体	531	36.7	42.6	70.8	51.8	55.9	26.2	9.8	7.0	2.4	2.4	2.6	1.5	0.9
男性	221	33.5	39.8	69.7	46.6	50.2	29.0	13.1	5.4	2.3	3.2	4.5	0.9	1.4
女性	294	39.5	45.2	73.1	56.1	61.6	22.8	7.5	8.2	2.7	1.4	1.4	2.0	0.7

問 21 今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多く持てるようにすること」の割合が50.8%と最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」の割合が44.3%、「男は仕事をし、女は家事・育児をすべきという社会通念をなくすこと」の割合が42.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多く持てるようにすること」「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、女性で「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	労働時間短縮や休暇制度を普及すること、仕事以外の時間を多く持つようすること	男は仕事をし、女は家事・育児をすべきという社会通念をなくすこと	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること	社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること	男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること	男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
全体	531	50.8	42.2	44.3	20.3	10.0	10.9	31.3
男性	221	54.3	40.3	42.5	18.6	8.6	12.2	24.0
女性	294	49.0	44.2	45.9	21.4	11.2	10.2	36.7

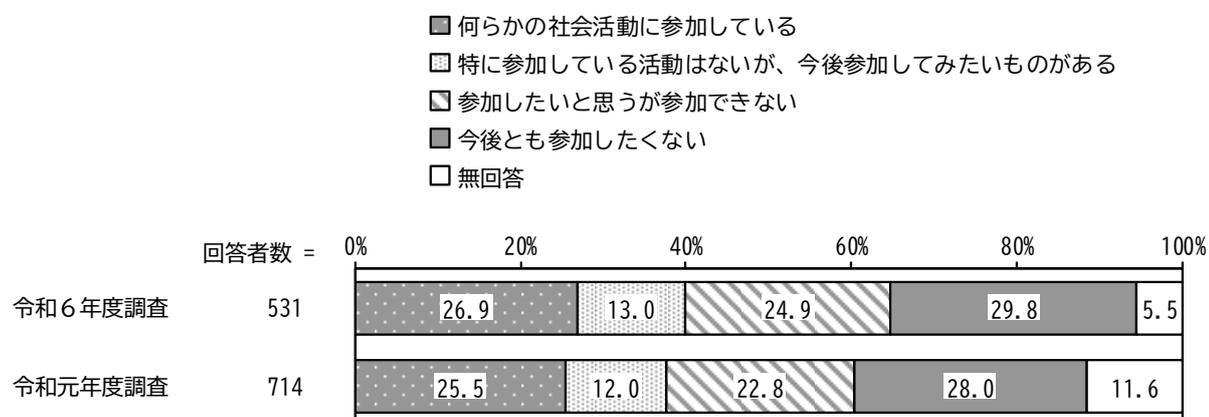
区分	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	わからない	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	3.4	9.4	5.5	3.4	2.1	1.9	2.8
男性	2.7	7.7	4.5	4.5	4.1	2.7	2.3
女性	4.1	10.9	6.5	2.0	0.7	1.0	3.4

(5) 社会参加について

問 22 現在、あなたは地域で社会活動に参加されていますか。(○は1つ)

「今後とも参加したくない」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「何らかの社会活動に参加している」の割合が 26.9%、「参加したいと思うが参加できない」の割合が 24.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

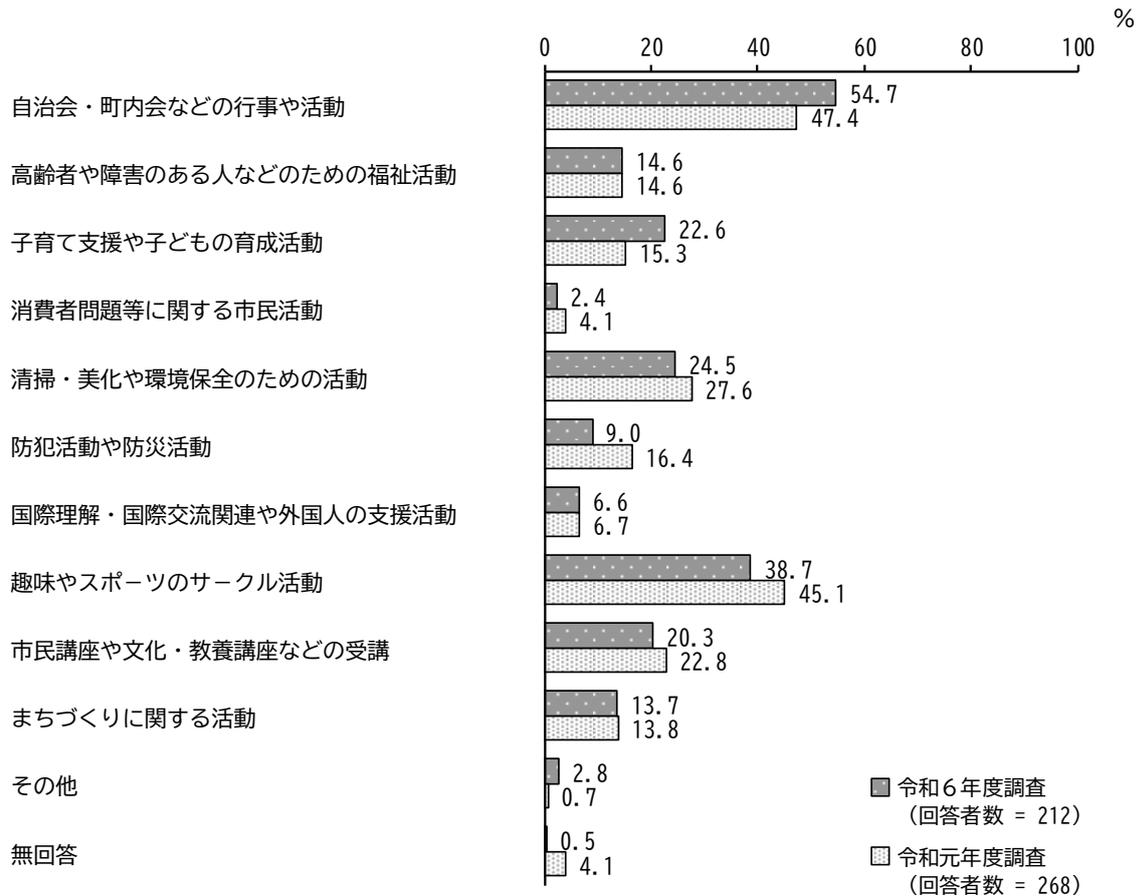
性別にみると、男性で「何らかの社会活動に参加している」の割合が高くなっています。



【問 22 で「何らかの社会活動に参加している」「特に参加している活動はないが、今後参加してみたいものがある」に○をつけた方におたずねします。】

問 22-1 現在、参加しているしていないに関わらず、今後参加してみたいと思う社会活動は何ですか。(○はいくつでも)

「自治会・町内会などの行事や活動」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「趣味やスポーツのサークル活動」の割合が 38.7%、「清掃・美化や環境保全のための活動」の割合が 24.5%となっています。令和元年度調査と比較すると、「自治会・町内会などの行事や活動」「子育て支援や子どもの育成活動」の割合が増加しています。一方、「防犯活動や防災活動」「趣味やスポーツのサークル活動」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「自治会・町内会などの行事や活動」の割合が高くなっています。

単位：%

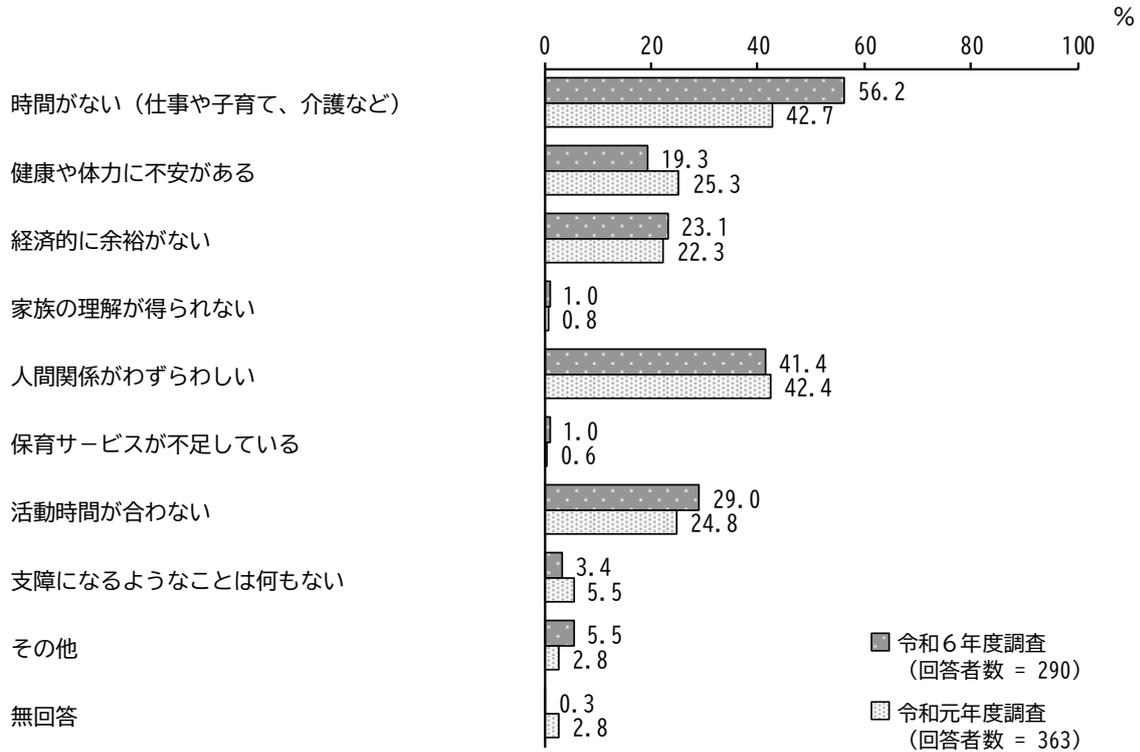
区分	回答者数 (件)	自治会・町内会などの行事や活動	高齢者や障害のある人などのための福祉活動	子育て支援や子どもの育成活動	消費者問題等に関する市民活動	清掃・美化や環境保全のための活動	防犯活動や防災活動	国際理解・国際交流関連や外国人の支援活動	趣味やスポーツのサークル活動	市民講座や文化・教養講座などの受講	まちづくりに関する活動	その他	無回答
全体	212	54.7	14.6	22.6	2.4	24.5	9.0	6.6	38.7	20.3	13.7	2.8	0.5
男性	94	75.5	14.9	20.2	1.1	30.9	16.0	6.4	30.9	7.4	14.9	1.1	1.1
女性	112	36.6	15.2	25.0	3.6	19.6	3.6	6.3	44.6	30.4	11.6	4.5	-

【問 22 で「参加したいと思うが参加できない」「今後とも参加したくない」に○をつけた方におたずねします。】

問 22-2 社会活動に参加できない理由、参加したくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「時間がない(仕事や子育て、介護など)」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」の割合が 41.4%、「活動時間が合わない」の割合が 29.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「時間がない(仕事や子育て、介護など)」の割合が増加しています。一方、「健康や体力に不安がある」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

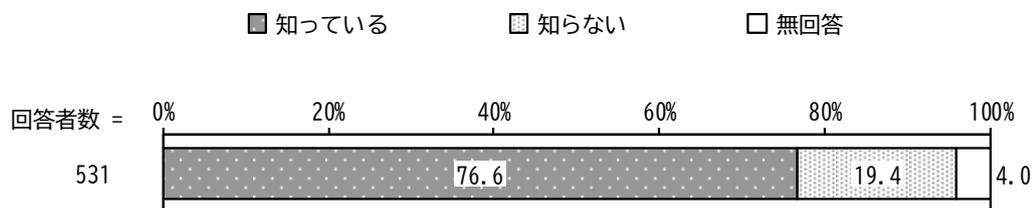
単位：%

区分	回答者数(件)	時間がない(仕事や子育て、介護など)	健康や体力に不安がある	経済的に余裕がない	家族の理解が得られない	人間関係がわずらわしい	保育サービスが不足している	活動時間が合わない	支障になるようなことは何もない	その他	無回答
全体	290	56.2	19.3	23.1	1.0	41.4	1.0	29.0	3.4	5.5	0.3
男性	116	50.0	17.2	19.8	0.9	43.1	-	28.4	2.6	7.8	0.9
女性	166	60.2	19.9	24.7	0.6	40.4	1.2	28.9	4.2	4.2	-

(6) DV (ドメスティック・バイオレンス) について

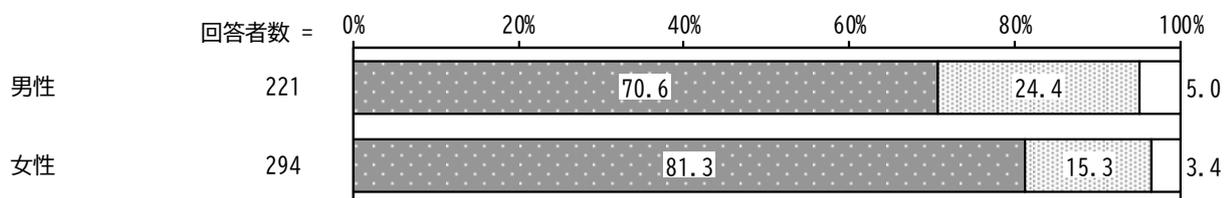
問 23 あなたはDVについて、相談窓口があることを知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が76.6%、「知らない」の割合が19.4%となっています。



【性別】

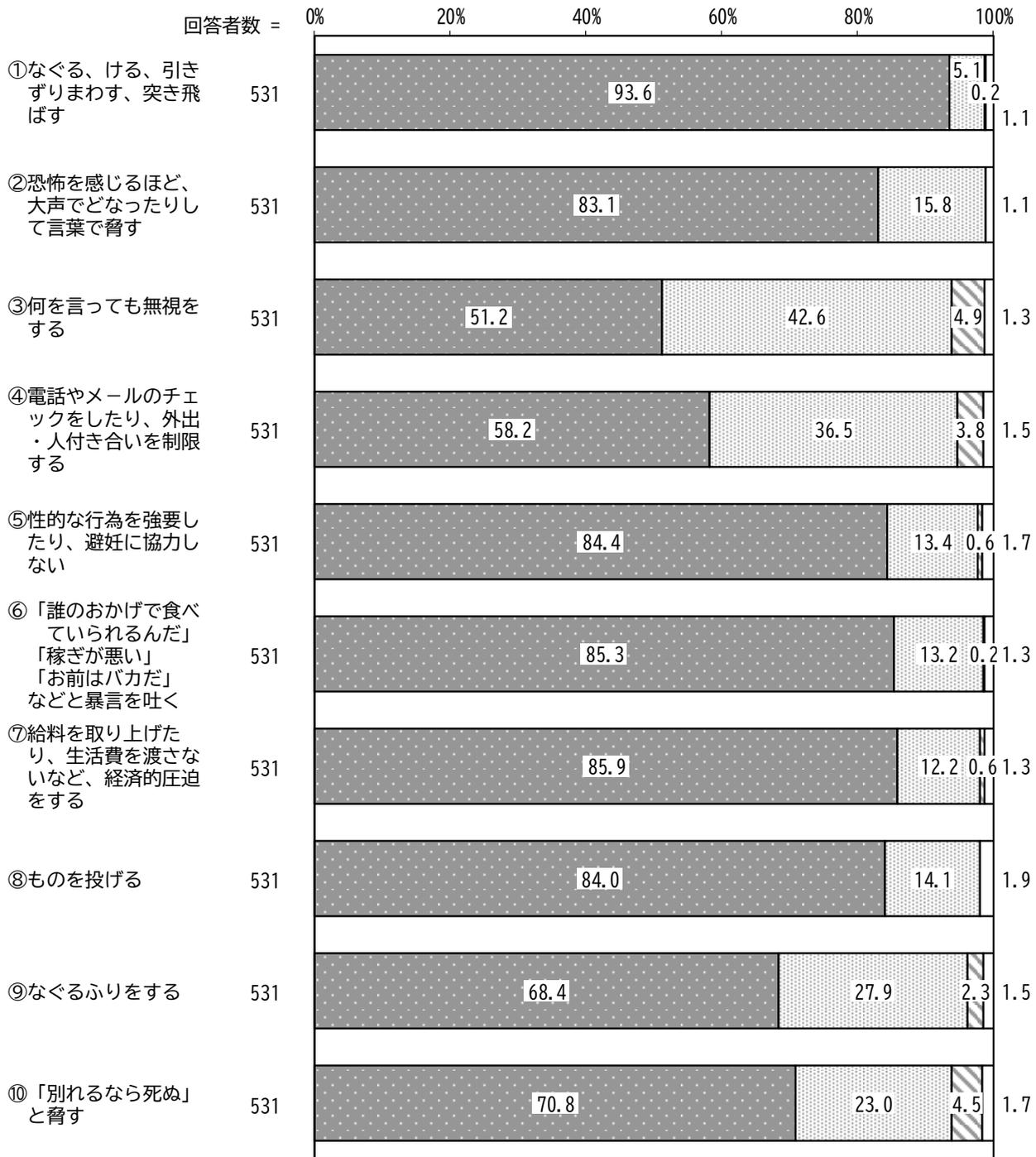
性別にみると、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



問 24 あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーや交際相手の間で行われた場合、それをDVだと思いますか。(それぞれに○は1つ)

『①なぐる、ける、引きずりまわす、突き飛ばす』で「どんな場合でもDVにあたると思う」の割合が、『③何を言っても無視をする』で「DVにあたる場合もそうでない場合もあると思う」の割合が高くなっています。

- どんな場合でもDVにあたると思う
- ▨ DVにあたる場合もそうでない場合もあると思う
- ▧ DVにあたるとは思わない
- 無回答

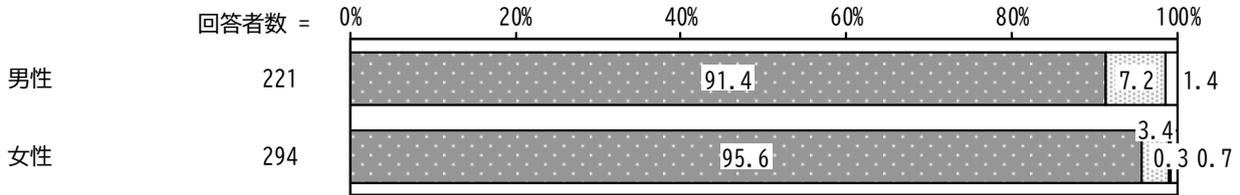


①なぐる、ける、引きずりまわす、突き飛ばす

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

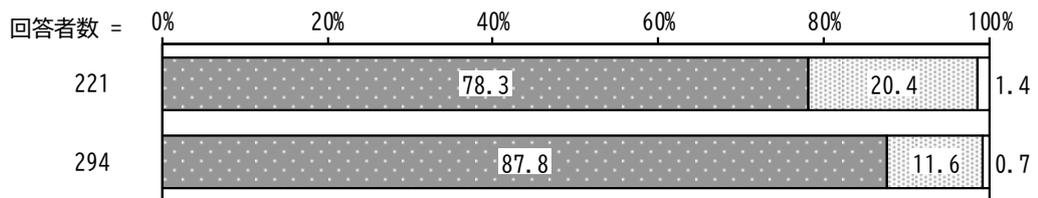
- どんな場合でもDVにあたると思う
- ▨ DVにあたる場合もそうでない場合もあると思う
- ▩ DVにあたるとは思わない
- 無回答



②恐怖を感じるほど、大声でどなったりして言葉で脅す

【性別】

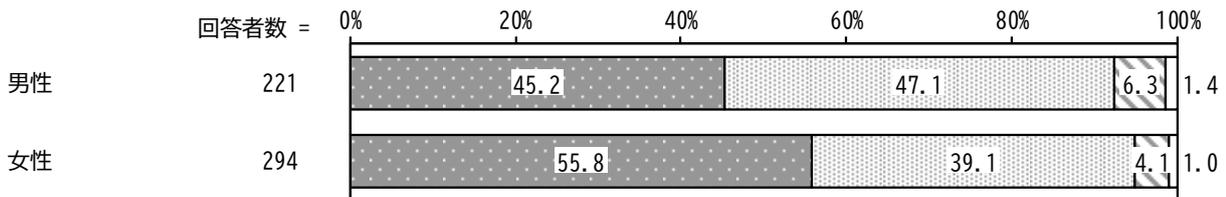
性別にみると、大きな差はみられません。



③何を言っても無視をする

【性別】

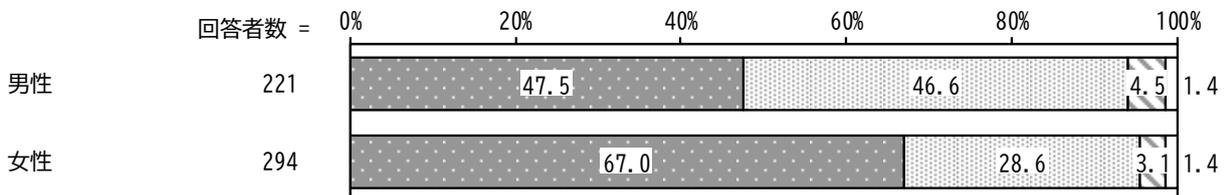
性別にみると、大きな差はみられません。



④電話やメールのチェックをしたり、外出・人付き合いを制限する

【性別】

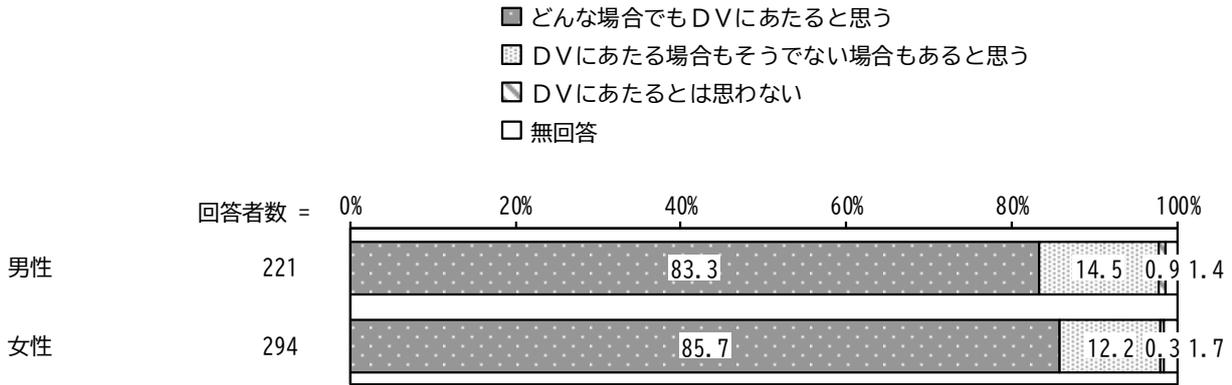
性別にみると、男性で「DVにあたる場合もそうでない場合もあると思う」の割合が高くなっています。



⑤性的な行為を強要したり、避妊に協力しない

【性別】

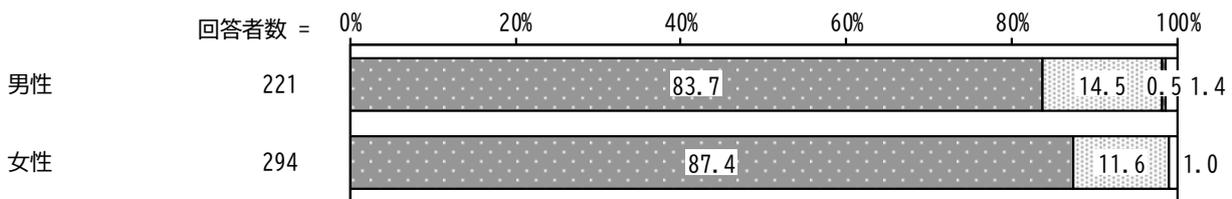
性別にみると、大きな差はみられません。



⑥「誰のおかげで食べていられるんだ」「稼ぎが悪い」「お前はバカだ」などと暴言を吐く

【性別】

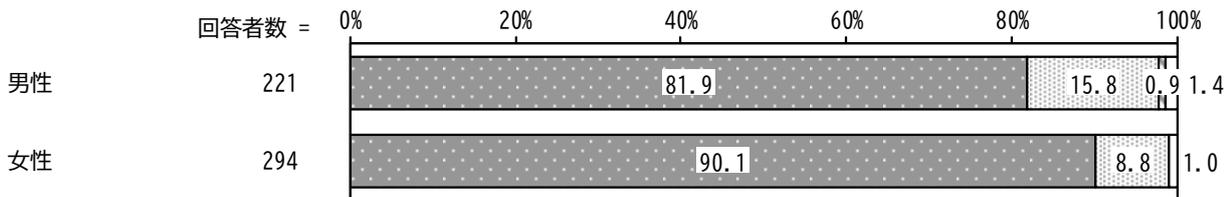
性別にみると、大きな差はみられません。



⑦給料を取り上げたり、生活費を渡さないなど、経済的圧迫をする

【性別】

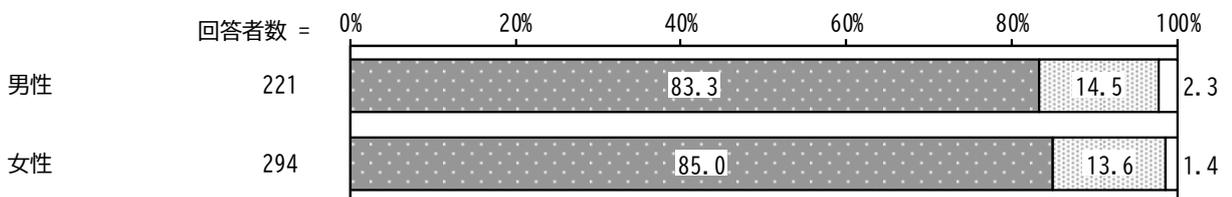
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧ものを投げる

【性別】

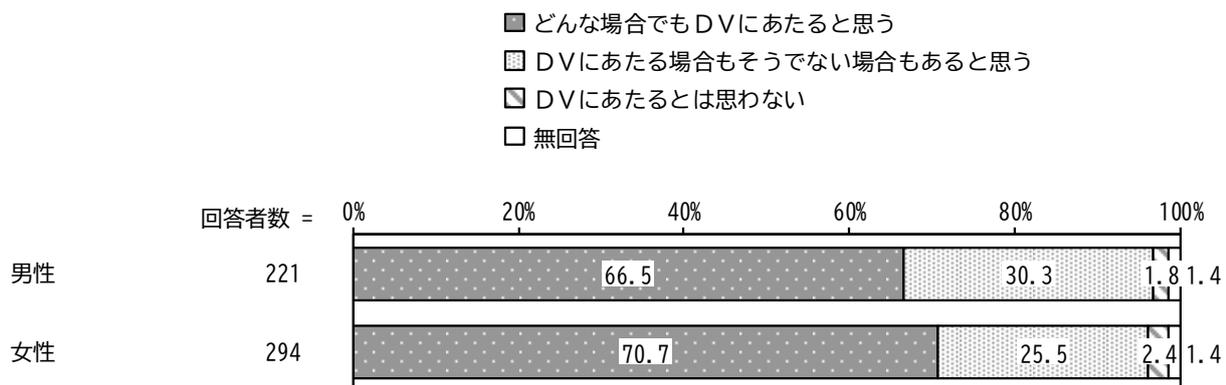
性別にみると、大きな差はみられません。



⑨なぐるふりをする

【性別】

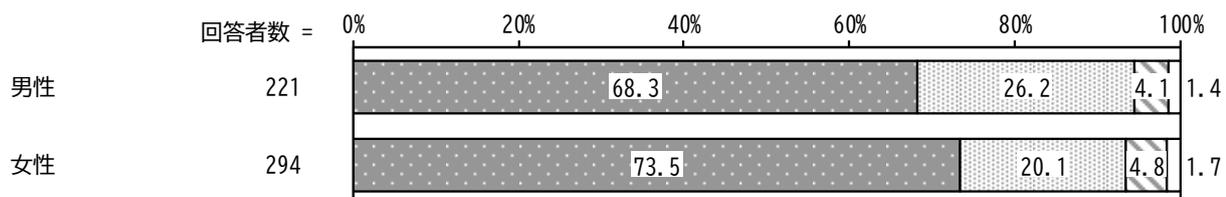
性別にみると、大きな差はみられません。



⑩「別れるなら死ぬ」と脅す

【性別】

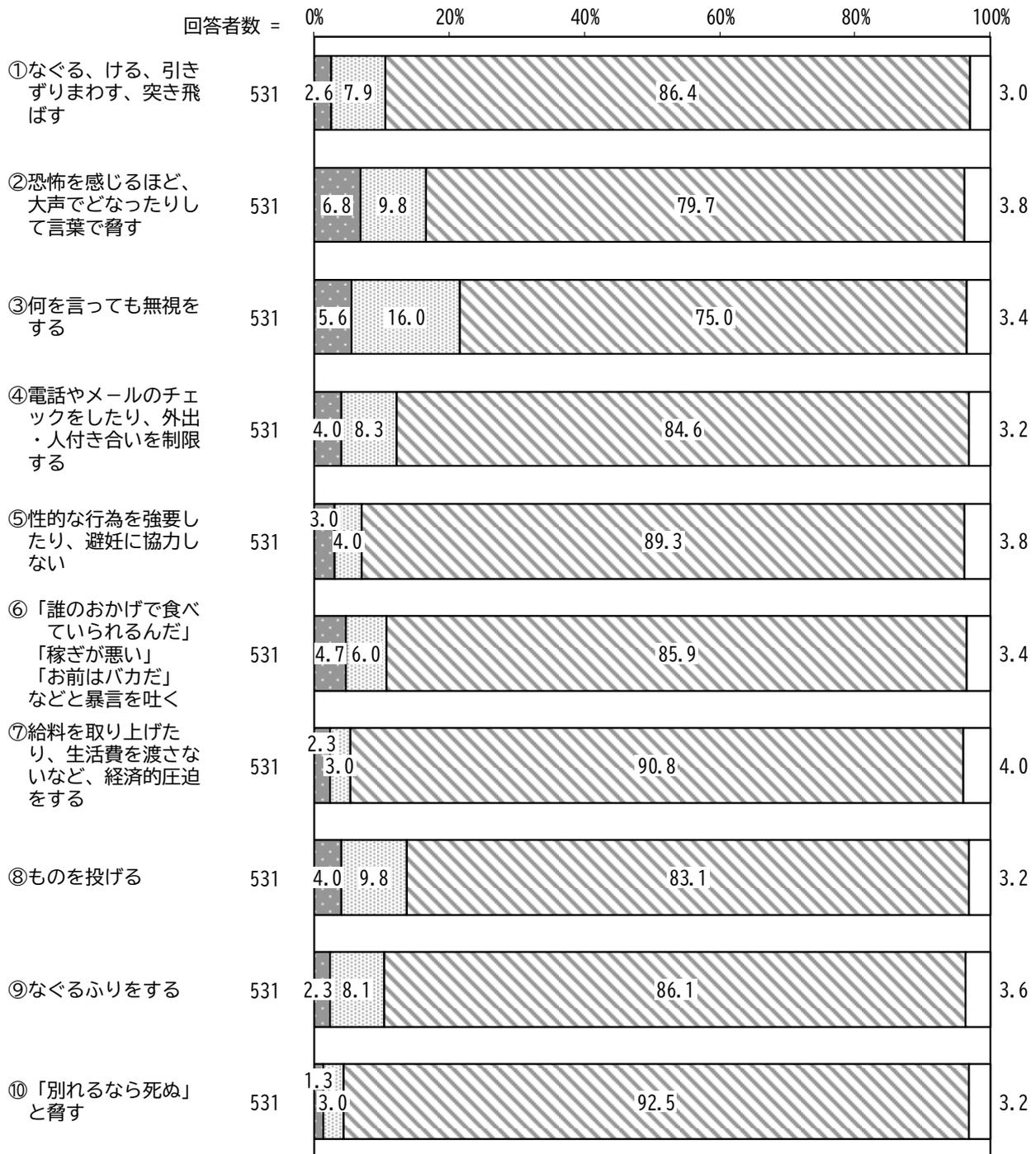
性別にみると、大きな差はみられません。



問 25 あなたは配偶者・パートナーや交際相手に、次のような行為をされことがありますか。
(それぞれに○は1つ)

『③何を言っても無視をする』で「一、二回あった(ある)」の割合が高くなっています。

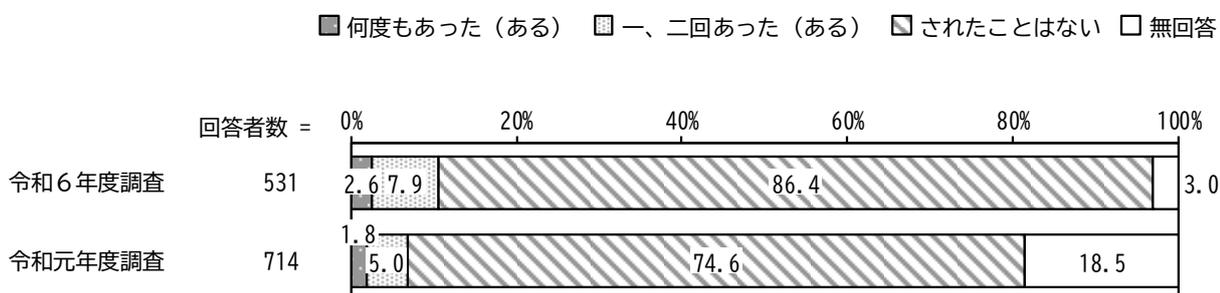
■ 何度もあった(ある) ■ 一、二回あった(ある) ■ されたことはない □ 無回答



①なぐる、ける、引きずりまわす、突き飛ばす

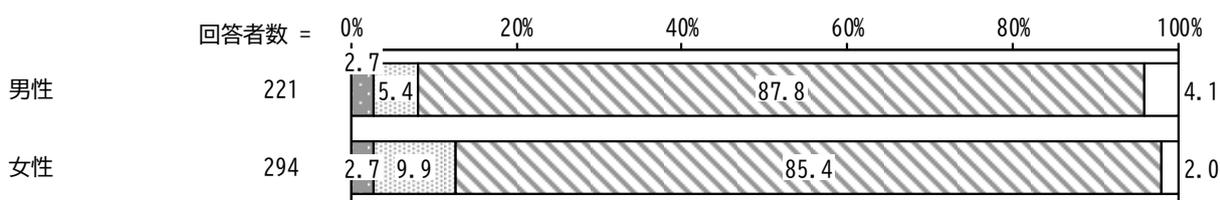
「されたことはない」の割合が86.4%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が7.9%、「何度もあった(ある)」の割合が2.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

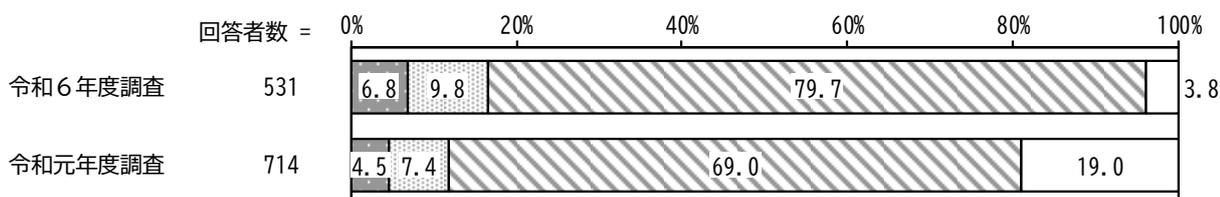
性別にみると、大きな差はみられません。



②恐怖を感じるほど、大声でどなったりして言葉で脅す

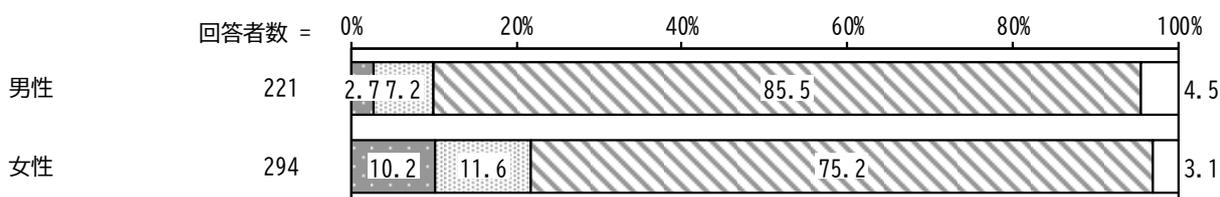
「されたことはない」の割合が79.7%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が9.8%、「何度もあった(ある)」の割合が6.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

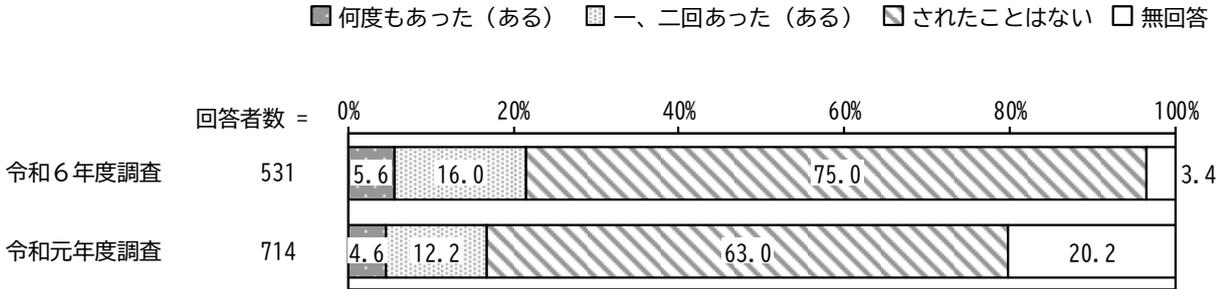
性別にみると、男性で「されたことはない」の割合が高くなっています。



③何を言っても無視をする

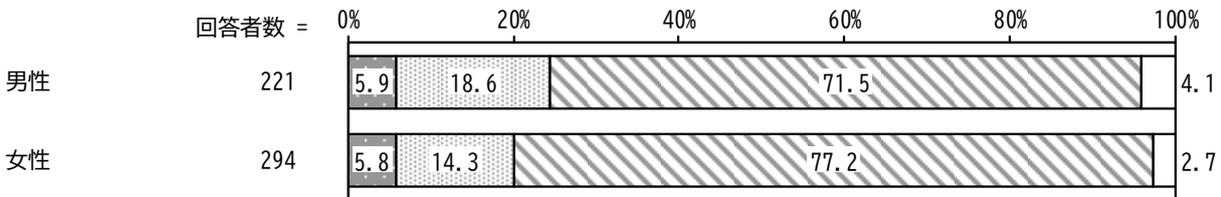
「されたことはない」の割合が75.0%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が16.0%、「何度もあった(ある)」の割合が5.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

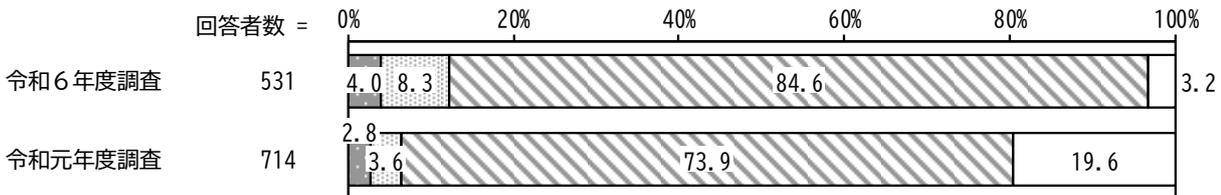
性別にみると、大きな差はみられません。



④電話やメールのチェックをしたり、外出・人付き合いを制限する

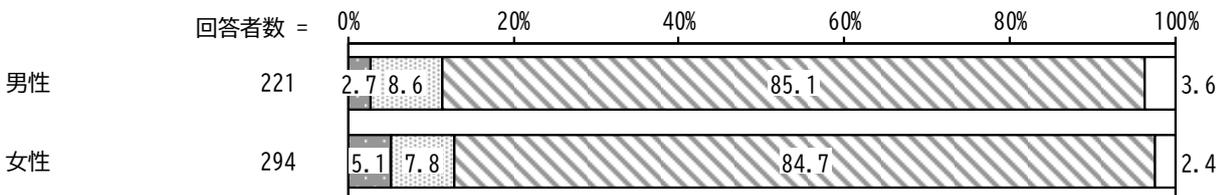
「されたことはない」の割合が84.6%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が8.3%、「何どもあった(ある)」の割合が4.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

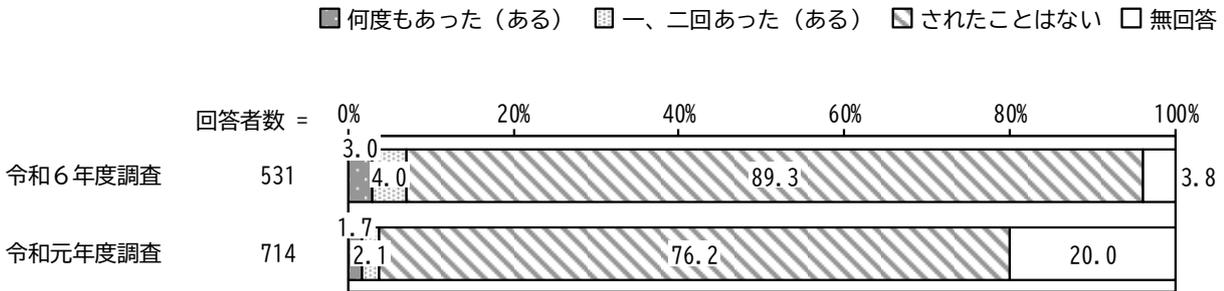
性別にみると、大きな差はみられません。



⑤性的な行為を強要したり、避妊に協力しない

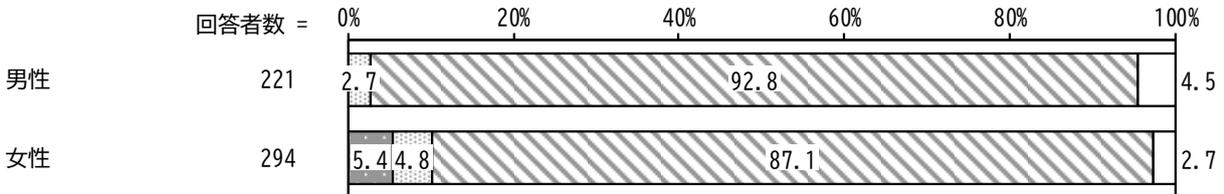
「されたことはない」の割合が 89.3%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が 4.0%、「何度もあった(ある)」の割合が 3.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

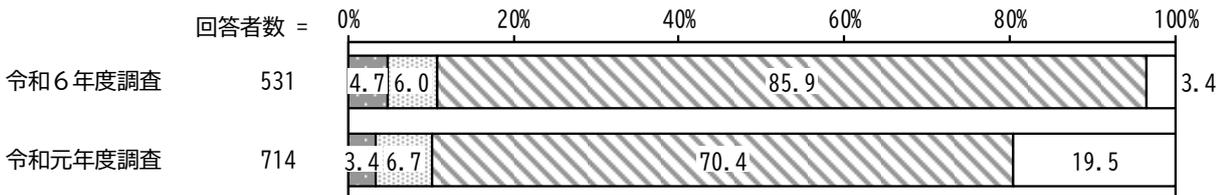
性別にみると、大きな差はみられません。



⑥「誰のおかげで食べていられるんだ」「稼ぎが悪い」「お前はバカだ」などと暴言を吐く

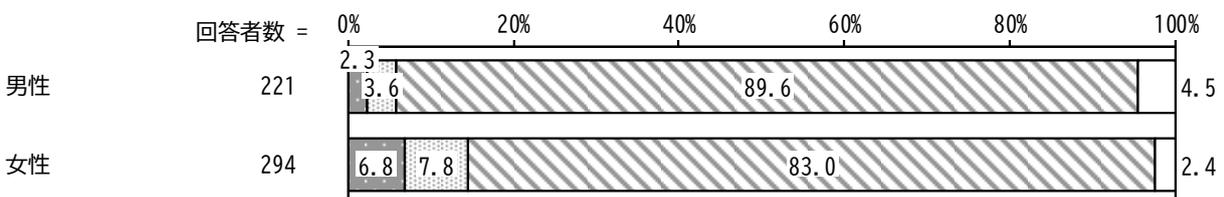
「されたことはない」の割合が 85.9%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が 6.0%、「何どもあった(ある)」の割合が 4.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

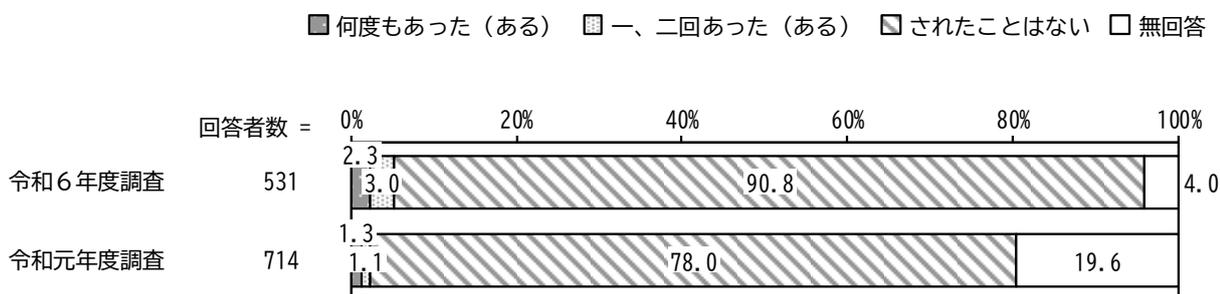
性別にみると、大きな差はみられません。



⑦給料を取り上げたり、生活費を渡さないなど、経済的圧迫をする

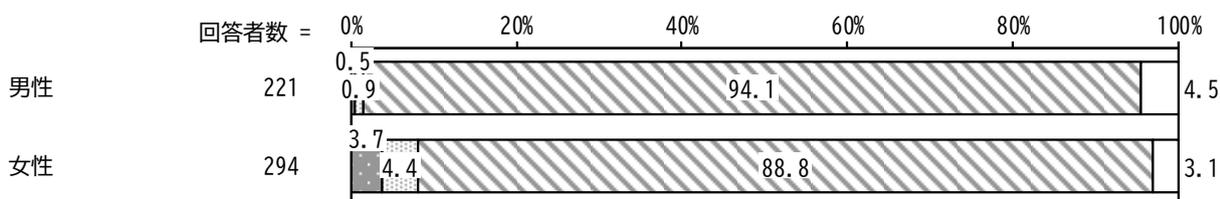
「されたことはない」の割合が90.8%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が3.0%、「何度もあった(ある)」の割合が2.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

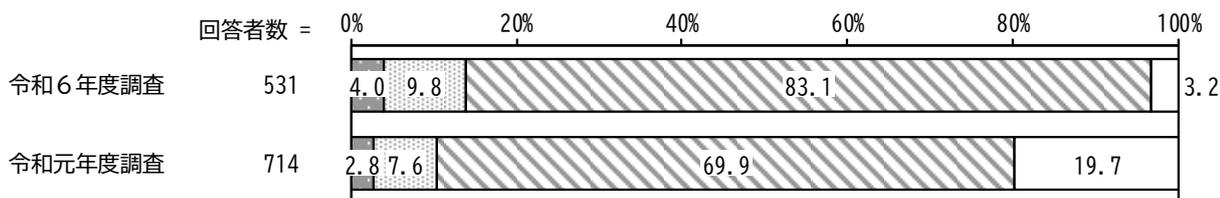
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧ものを投げる

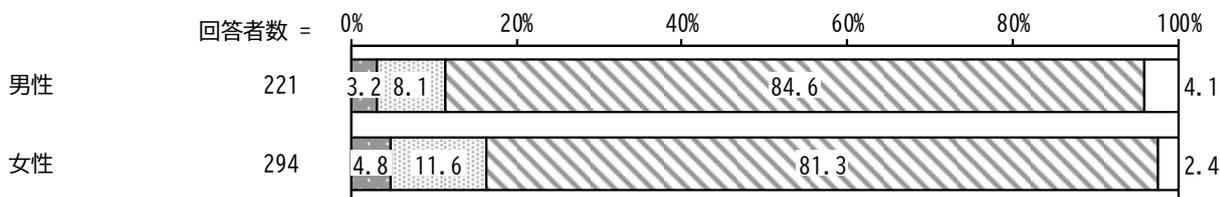
「されたことはない」の割合が83.1%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が9.8%、「何どもあった(ある)」の割合が4.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

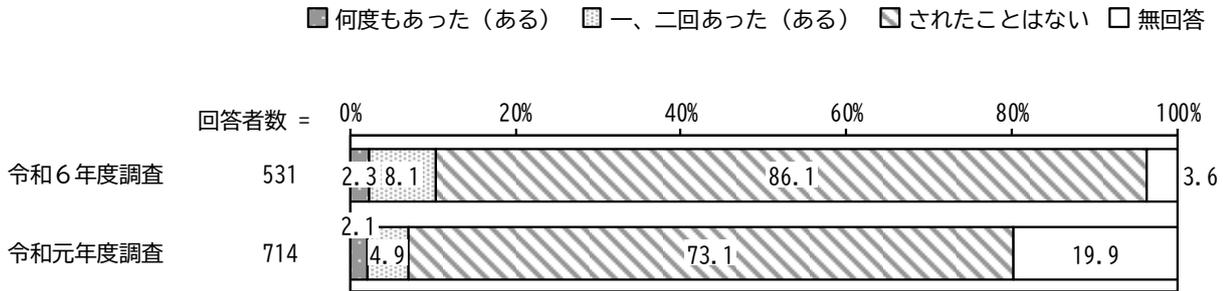
性別にみると、大きな差はみられません。



⑨なぐるふりをする

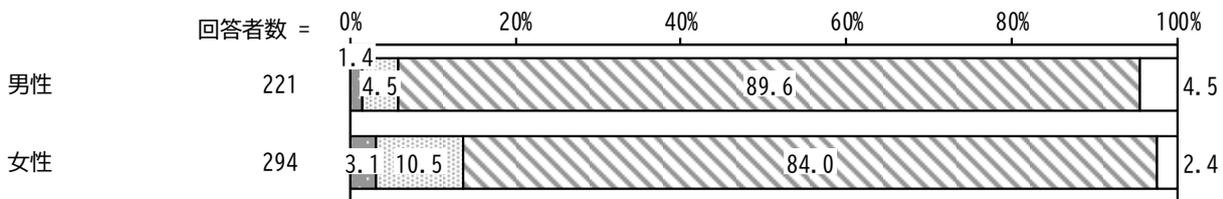
「されたことはない」の割合が86.1%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が8.1%、「何度もあった(ある)」の割合が2.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

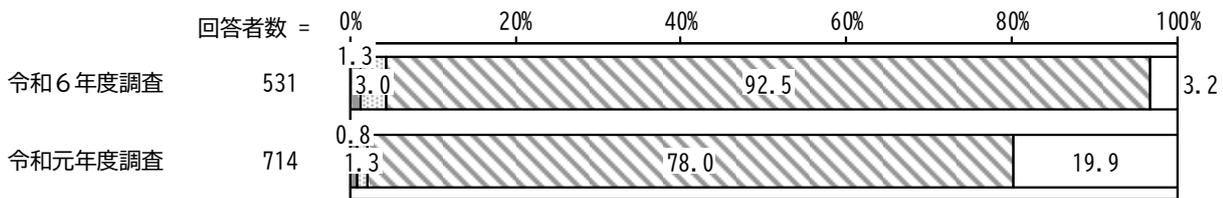
性別にみると、大きな差はみられません。



⑩「別れるなら死ぬ」と脅す

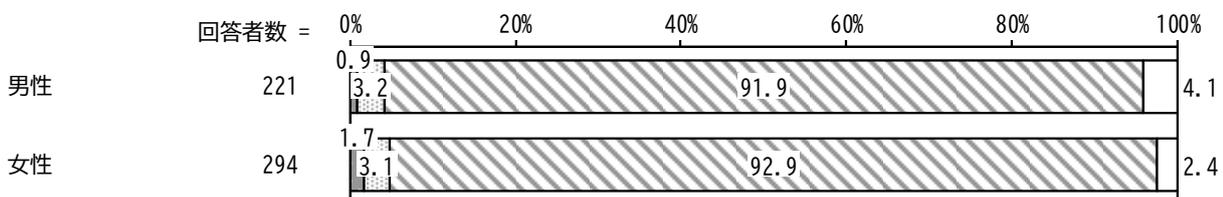
「されたことはない」の割合が92.5%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が3.0%、「何どもあった(ある)」の割合が1.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「されたことはない」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

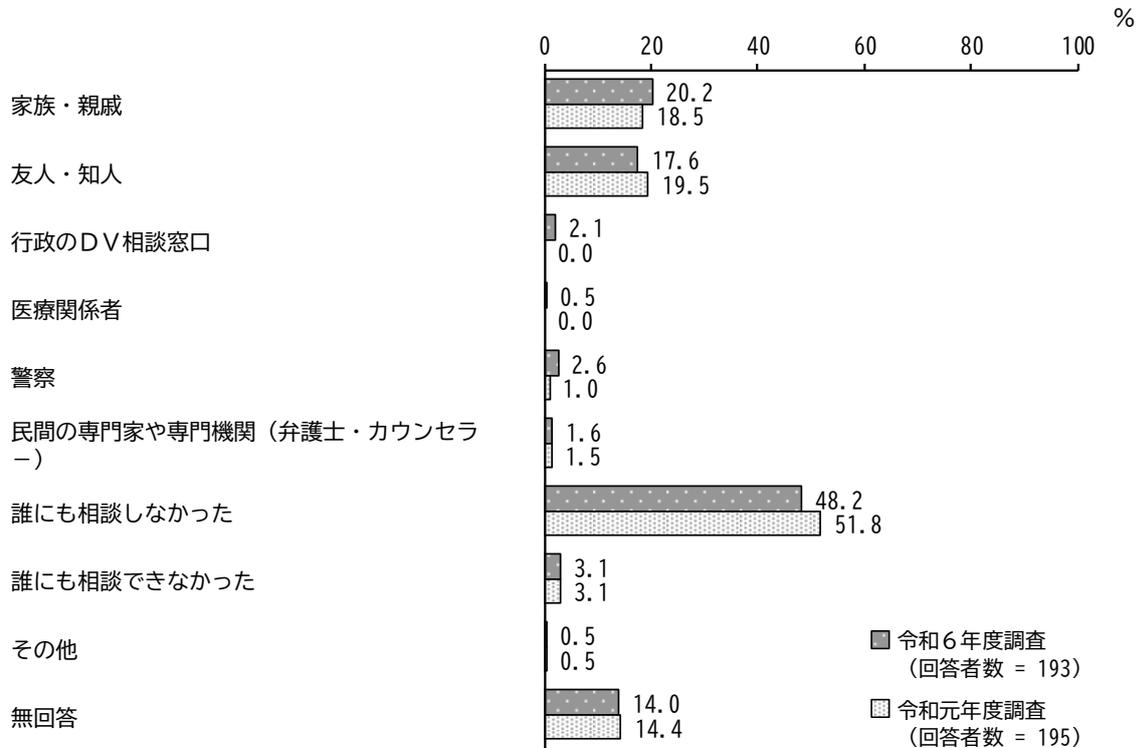


【問 25 で「何度もあった（ある）」「一、二回あった（ある）」に○をつけた方におたずねします。】

問 25-1 どこ（誰）に相談しましたか。（○はいくつでも）

「誰にも相談しなかった」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「家族・親戚」の割合が 20.2%、「友人・知人」の割合が 17.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、女性で「家族・親戚」の割合が高くなっています。

単位：%

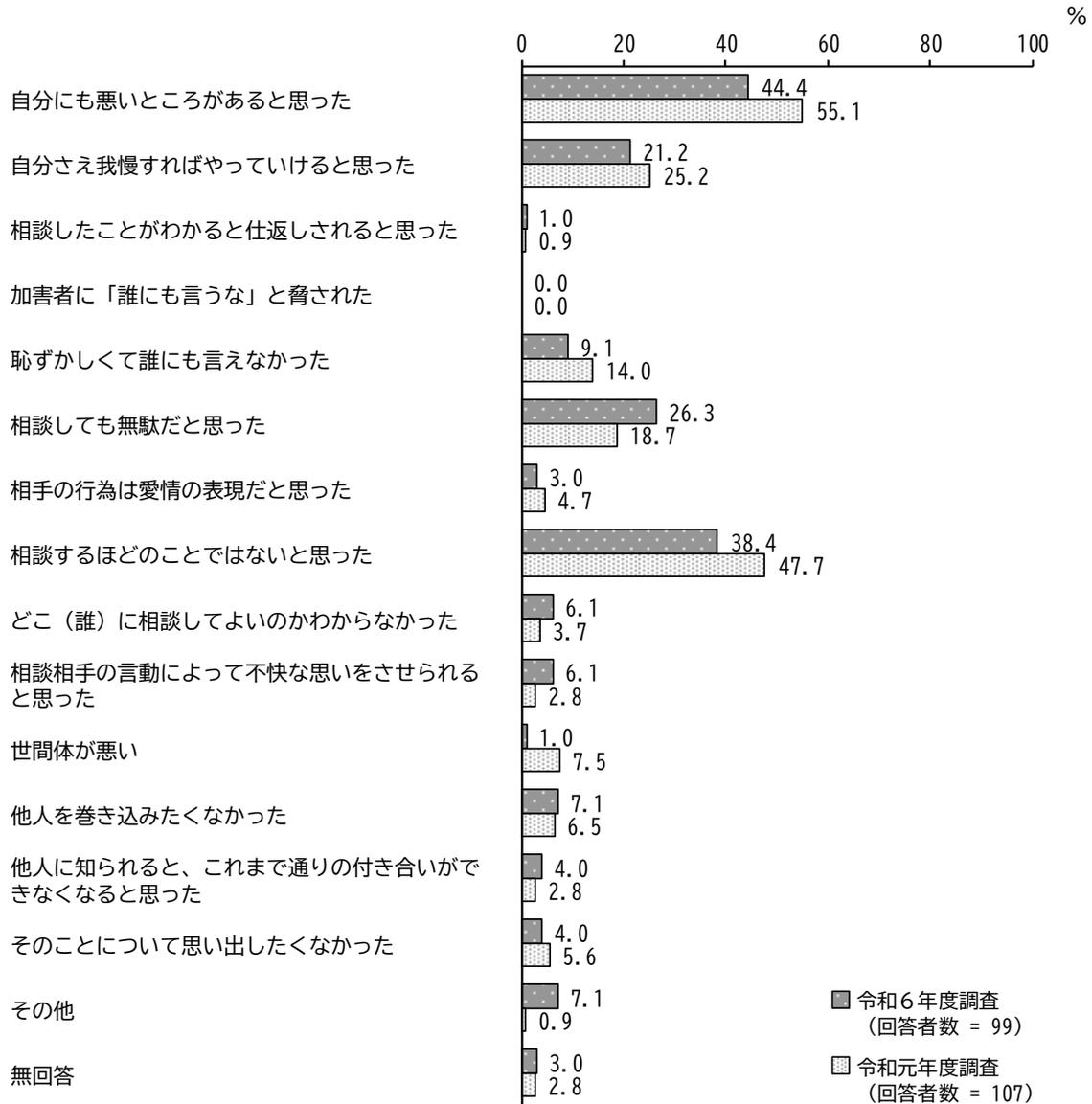
区分	回答者数(件)	家族・親戚	友人・知人	行政のDV相談窓口	医療関係者	警察	民間の専門家や専門機関 (弁護士・カウンセラー)	誰にも相談しなかった	誰にも相談できなかった	その他	無回答
全体	193	20.2	17.6	2.1	0.5	2.6	1.6	48.2	3.1	0.5	14.0
男性	73	6.8	8.2	—	1.4	1.4	—	57.5	2.7	1.4	21.9
女性	114	29.8	24.6	2.6	—	3.5	2.6	41.2	3.5	—	8.8

【問 25－1 で「誰にも相談しなかった」「誰にも相談できなかった」に○をつけた方におたずねします。】

問 25－2 それはなぜですか。(○はいくつでも)

「自分にも悪いところがあると思った」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思った」の割合が 38.4%、「相談しても無駄だと思った」の割合が 26.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「相談しても無駄だと思った」の割合が増加しています。一方、「自分にも悪いところがあると思った」「相談するほどのことではないと思った」「世間体が悪い」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「自分にも悪いところがあると思った」の割合が高くなっています。

単位：％

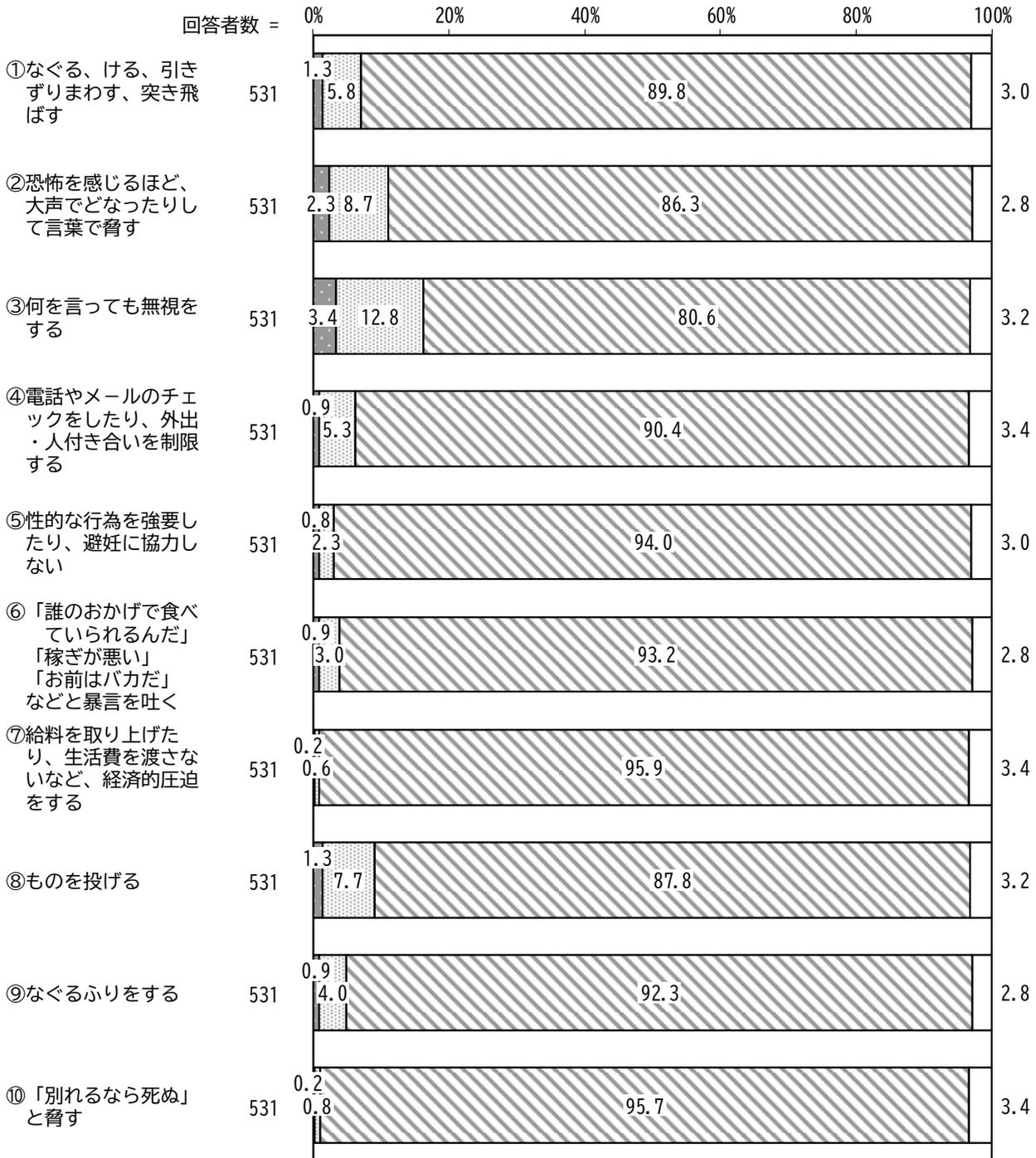
区分	回答者数(件)	自分にも悪いところがあると思った	自分さえ我慢すればやっつけていけると思った	相談したことがわかるかと仕返しされると思った	加害者に「誰にも言うな」と脅された	恥ずかしくて誰にも言えなかった	相談しても無駄だと思った	相手の行為は愛情の表現だと思った	相談するほどのことではないと思った
全体	99	44.4	21.2	1.0	—	9.1	26.3	3.0	38.4
男性	44	59.1	13.6	—	—	4.5	15.9	4.5	40.9
女性	51	29.4	29.4	—	—	13.7	35.3	2.0	37.3

区分	どこ(誰)に相談してよいかわからなかった	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思った	世間体が悪い	他人を巻き込みたくなかった	他人に知られると、これまで通りの付き合いができなくなると思った	そのことについて思い出さなくなかった	その他	無回答
全体	6.1	6.1	1.0	7.1	4.0	4.0	7.1	3.0
男性	4.5	2.3	2.3	6.8	2.3	2.3	9.1	2.3
女性	5.9	7.8	—	7.8	5.9	5.9	5.9	2.0

問 26 あなたは配偶者・パートナーや交際相手に、次のような行為をしたことがありますか。
(それぞれに○は1つ)

『③何を言っても無視をする』で「一、二回あった(ある)」の割合が高くなっています。

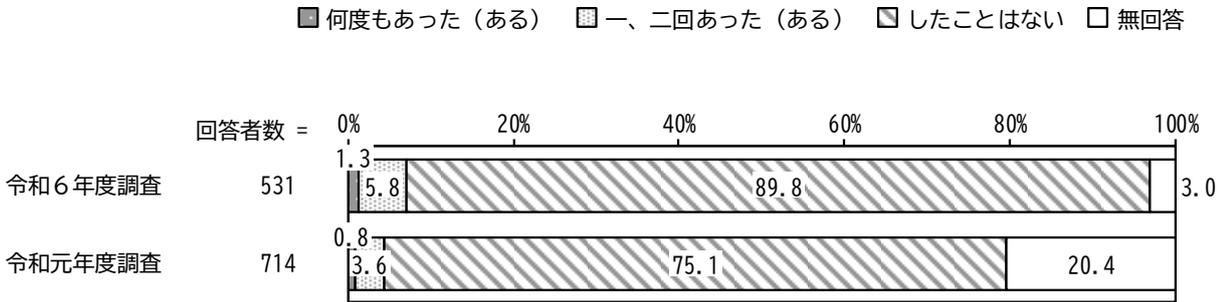
■ 何度もあった(ある) ■ 一、二回あった(ある) ■ したことはない □ 無回答



①なぐる、ける、引きずりまわす、突き飛ばす

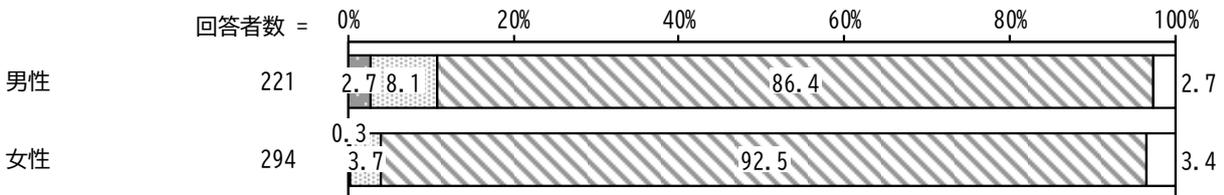
「したことはない」の割合が 89.8%と最も高く、次いで「一、二回あった（ある）」の割合が 5.8%、「何度もあった（ある）」の割合が 1.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

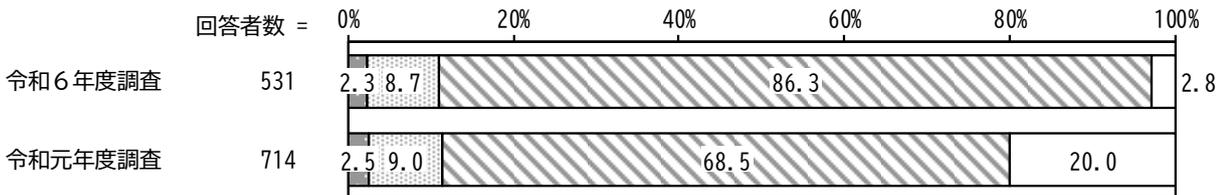
性別にみると、大きな差はみられません。



②恐怖を感じるほど、大声でどなったりして言葉で脅す

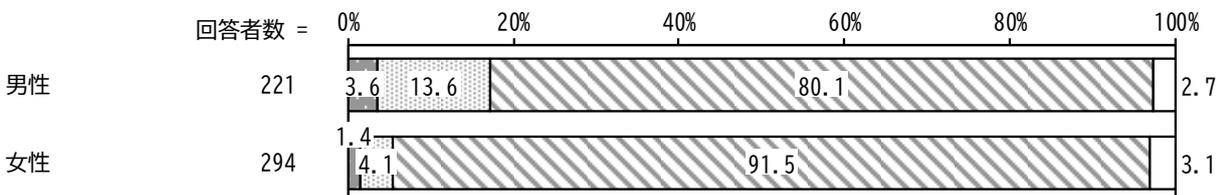
「したことはない」の割合が 86.3%と最も高く、次いで「一、二回あった（ある）」の割合が 8.7%、「何どもあった（ある）」の割合が 2.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

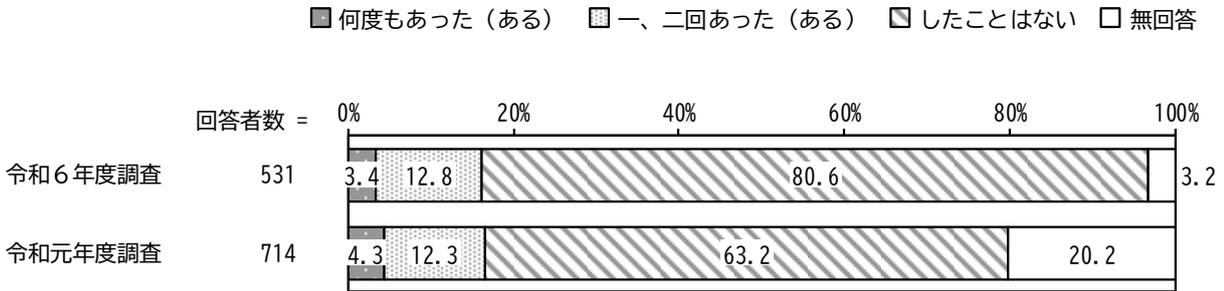
性別にみると、女性で「したことはない」の割合が高くなっています。



③何を言っても無視をする

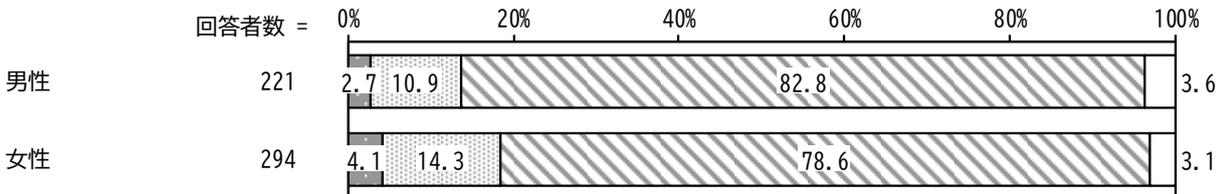
「したことはない」の割合が80.6%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が12.8%、「何度もあった(ある)」の割合が3.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

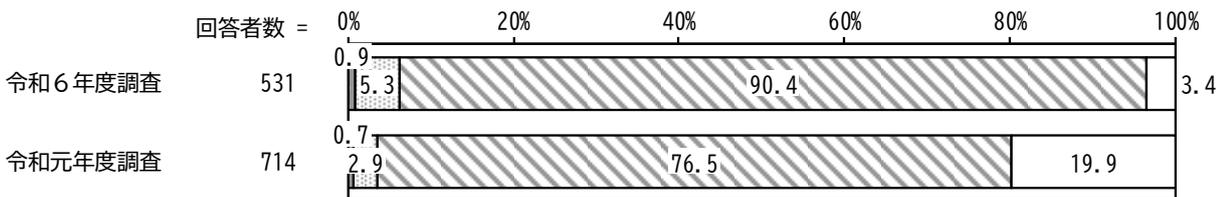
性別にみると、大きな差はみられません。



④電話やメールのチェックをしたり、外出・人付き合いを制限する

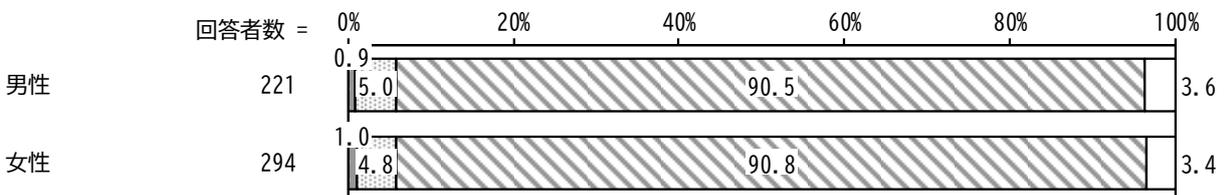
「したことはない」の割合が90.4%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が5.3%、「何どもあった(ある)」の割合が0.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

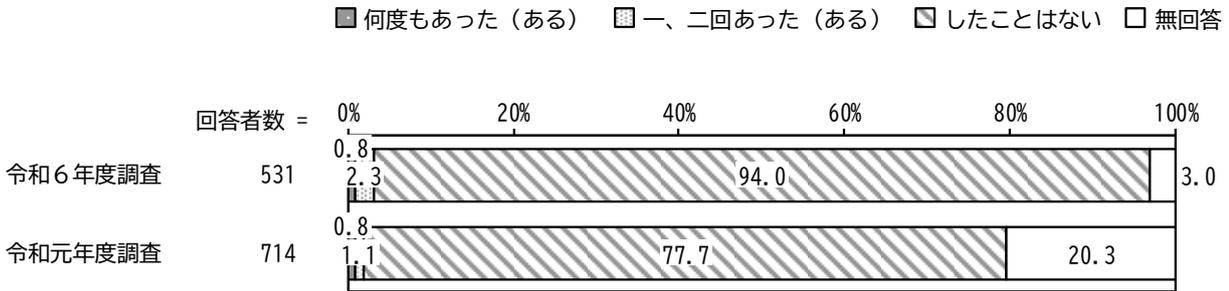
性別にみると、大きな差はみられません。



⑤性的な行為を強要したり、避妊に協力しない

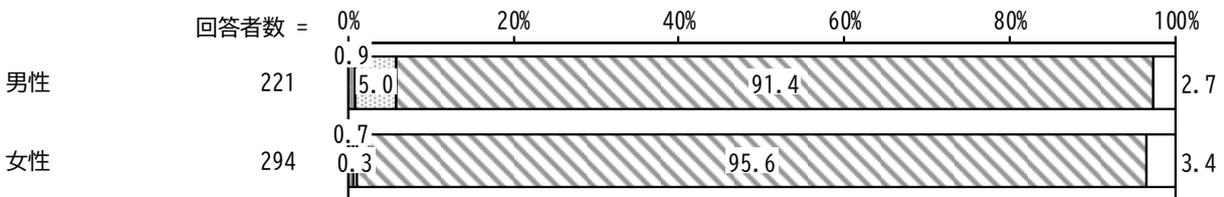
「したことはない」の割合が94.0%と最も高く、次いで「一、二回あった（ある）」の割合が2.3%、「何度もあった（ある）」の割合が0.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

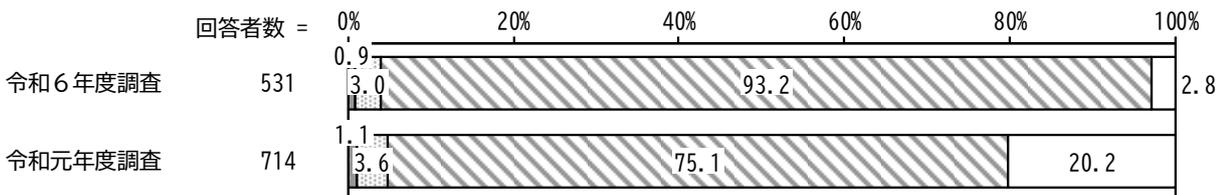
性別にみると、大きな差はみられません。



⑥「誰のおかげで食べていられるんだ」「稼ぎが悪い」「お前はバカだ」などと暴言を吐く

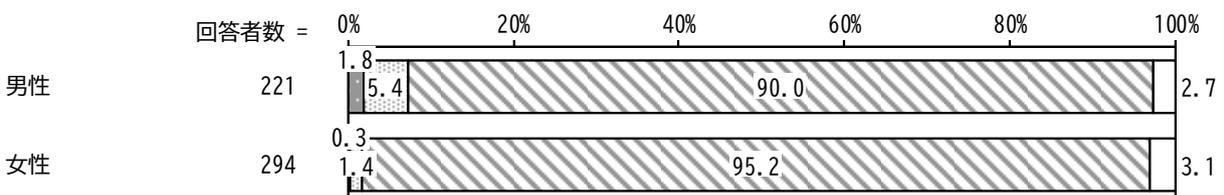
「したことはない」の割合が93.2%と最も高く、次いで「一、二回あった（ある）」の割合が3.0%、「何度もあった（ある）」の割合が0.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

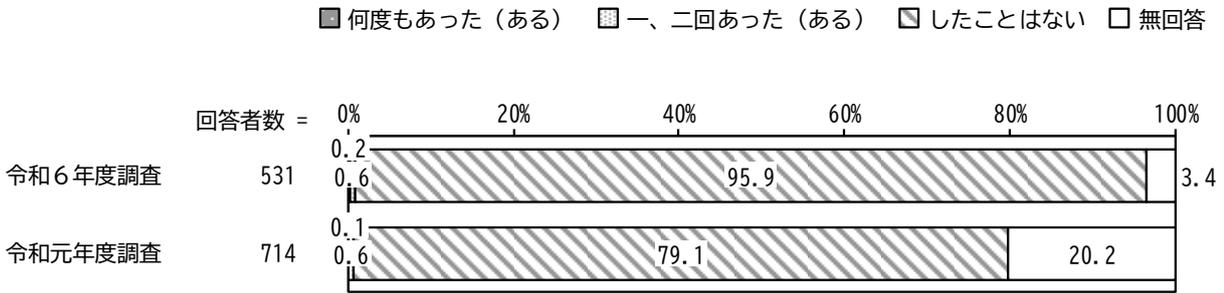
性別にみると、大きな差はみられません。



⑦給料を取り上げたり、生活費を渡さないなど、経済的圧迫をする

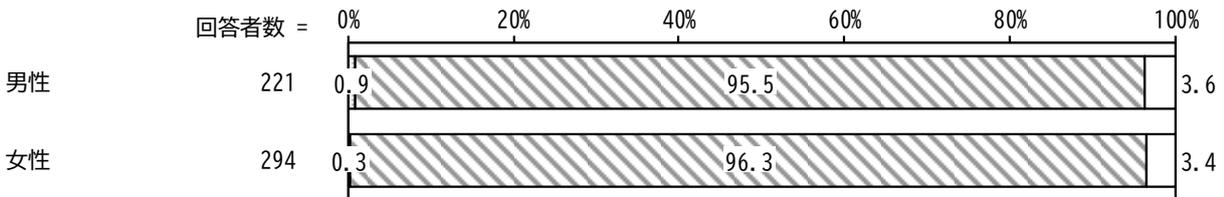
「したことはない」の割合が95.9%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が0.6%、「何度もあった(ある)」の割合が0.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

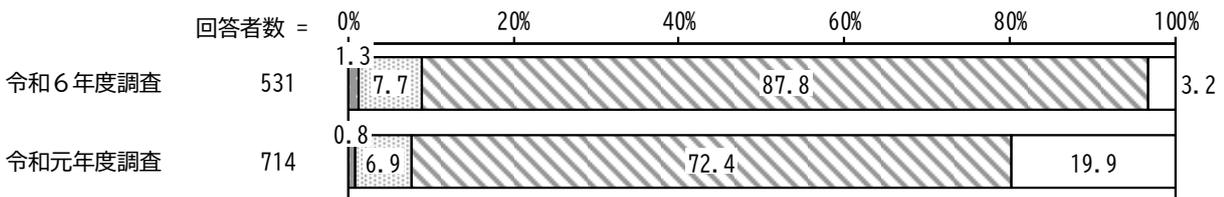
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧ものを投げる

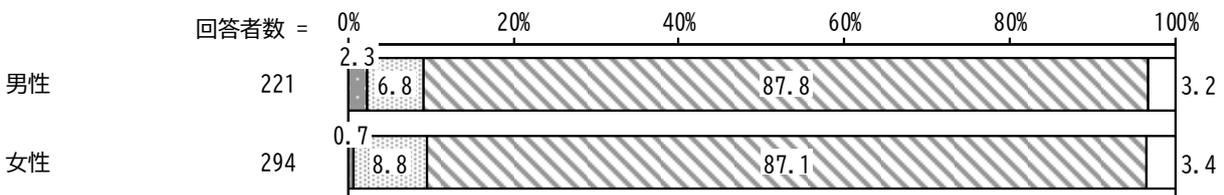
「したことはない」の割合が87.8%と最も高く、次いで「一、二回あった(ある)」の割合が7.7%、「何どもあった(ある)」の割合が1.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

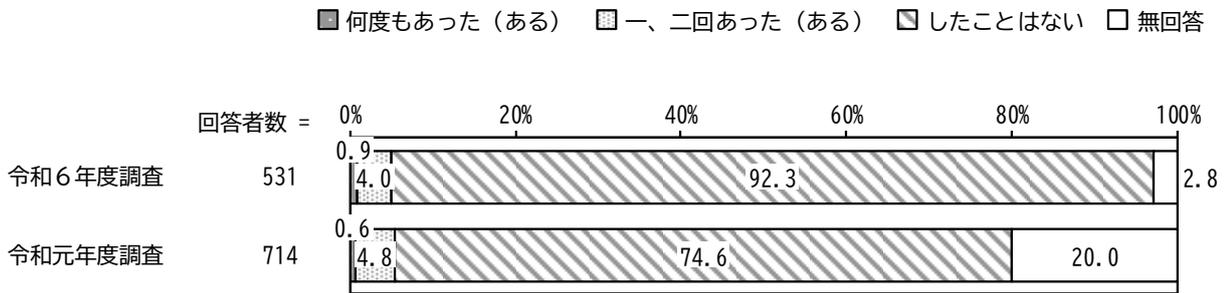
性別にみると、大きな差はみられません。



⑨なぐるふりをする

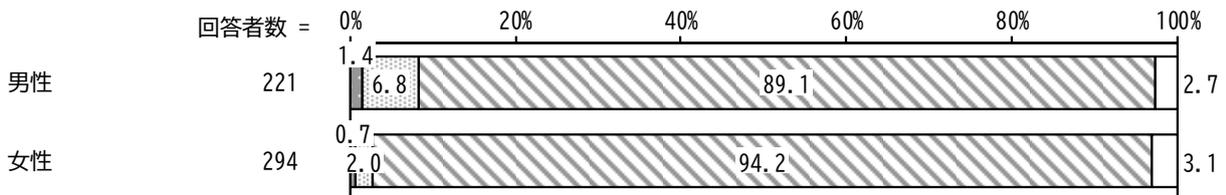
「したことはない」の割合が92.3%と最も高く、次いで「一、二回あった（ある）」の割合が4.0%、「何度もあった（ある）」の割合が0.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

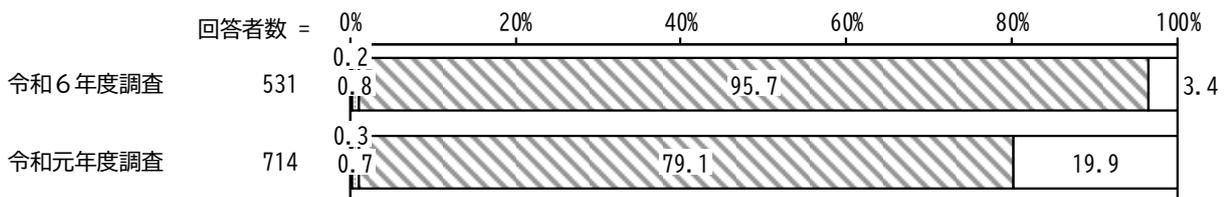
性別にみると、大きな差はみられません。



⑩「別れるなら死ぬ」と脅す

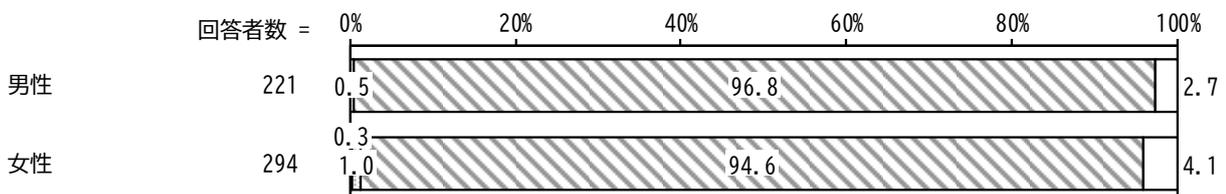
「したことはない」の割合が95.7%と最も高く、次いで「一、二回あった（ある）」の割合が0.8%、「何どもあった（ある）」の割合が0.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

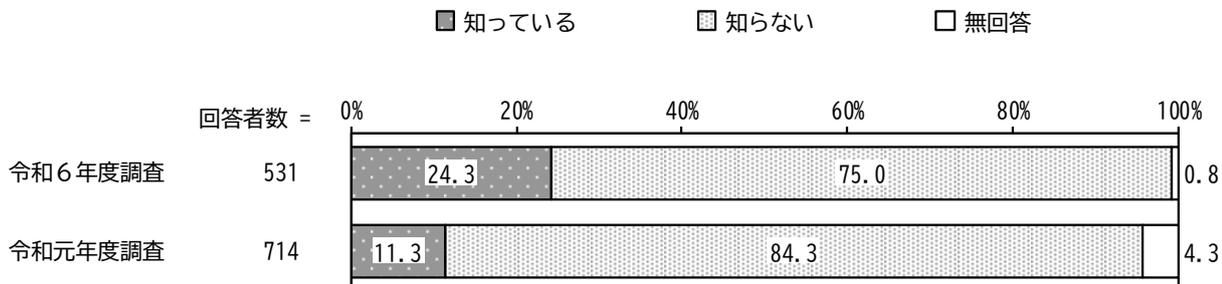
性別にみると、大きな差はみられません。



(7) 岸和田市立男女共同参画センターについて

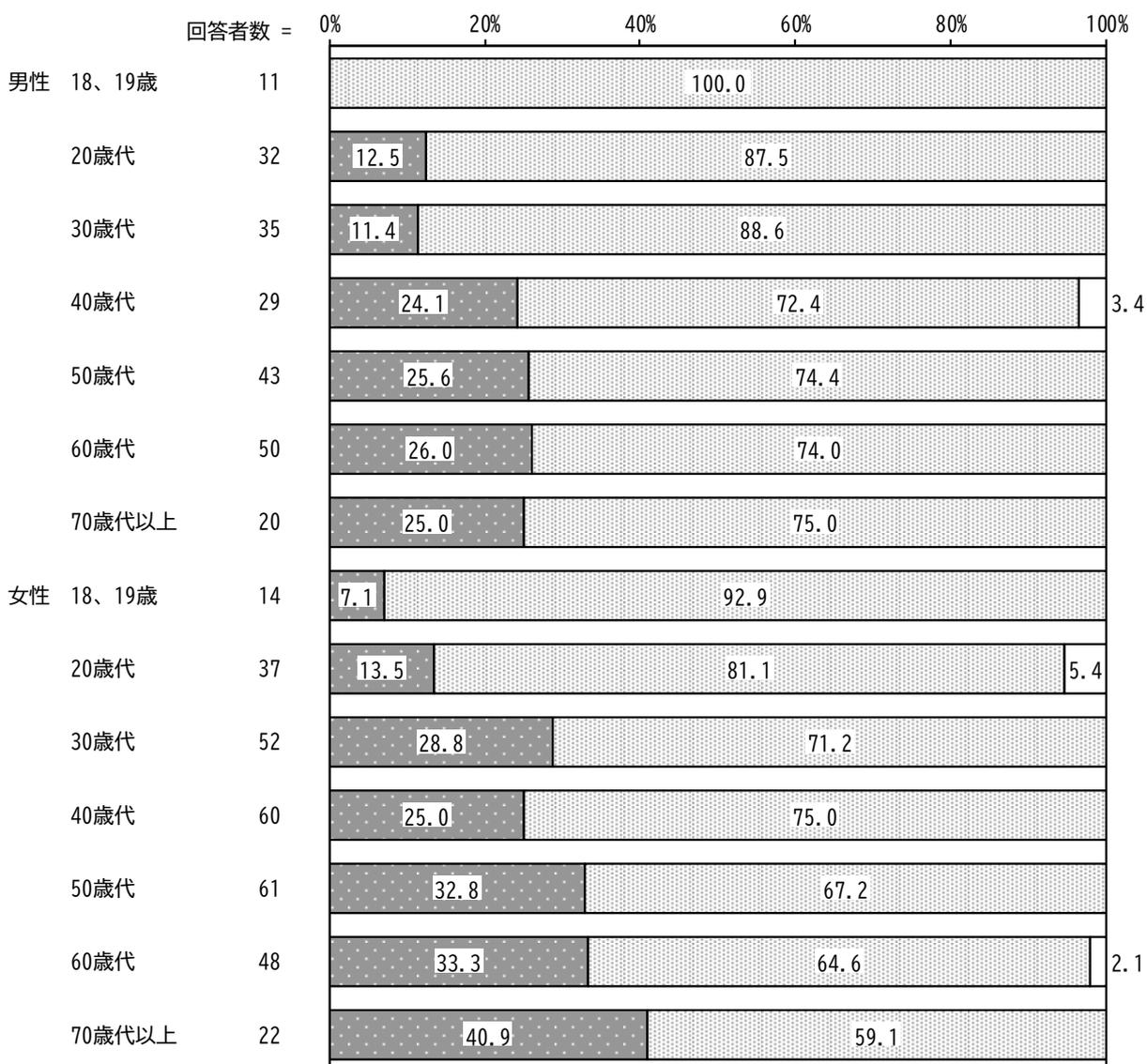
問 27 あなたは、岸和田市立男女共同参画センターを知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が24.3%、「知らない」の割合が75.0%となっています。
 令和元年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。



【性・年代別】

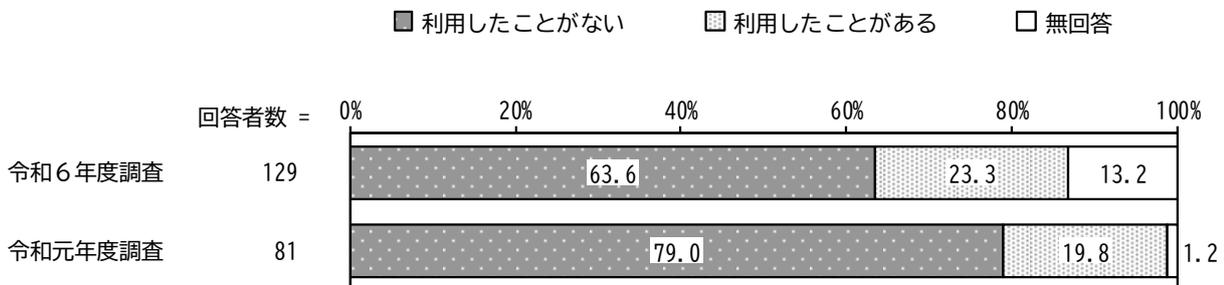
性・年代別にみると、男性18、19歳で「知らない」の割合が高くなっています。



【問 27 で「知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問 27-1 あなたは、岸和田市立男女共同参画センターを利用したことがありますか。
(○は1つ)

「利用したことがない」の割合が 63.6%、「利用したことがある」の割合が 23.3%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「利用したことがない」の割合が減少しています。

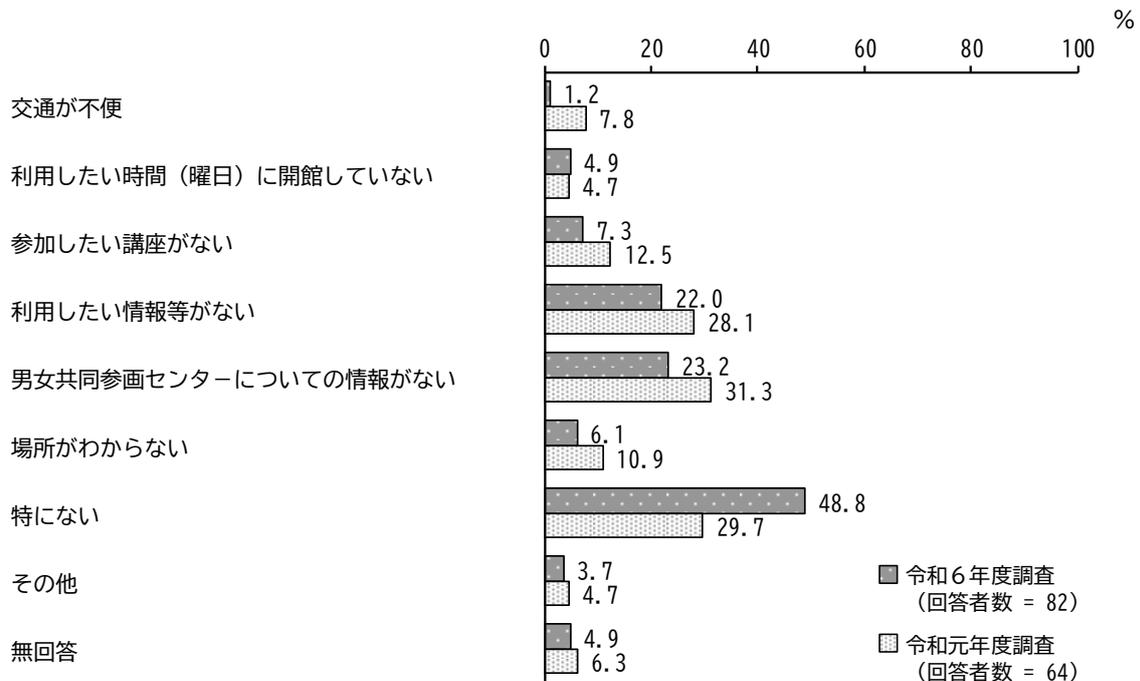


【問 27-1 で「利用したことがない」に○をつけた方におたずねします。】

問 27-2 利用したことがないのはなぜですか。(○は3つまで)

「特にない」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「男女共同参画センターについての情報がない」の割合が 23.2%、「利用したい情報等がない」の割合が 22.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。一方、「交通が不便」「参加したい講座がない」「利用したい情報等がない」「男女共同参画センターについての情報がない」の割合が減少しています。

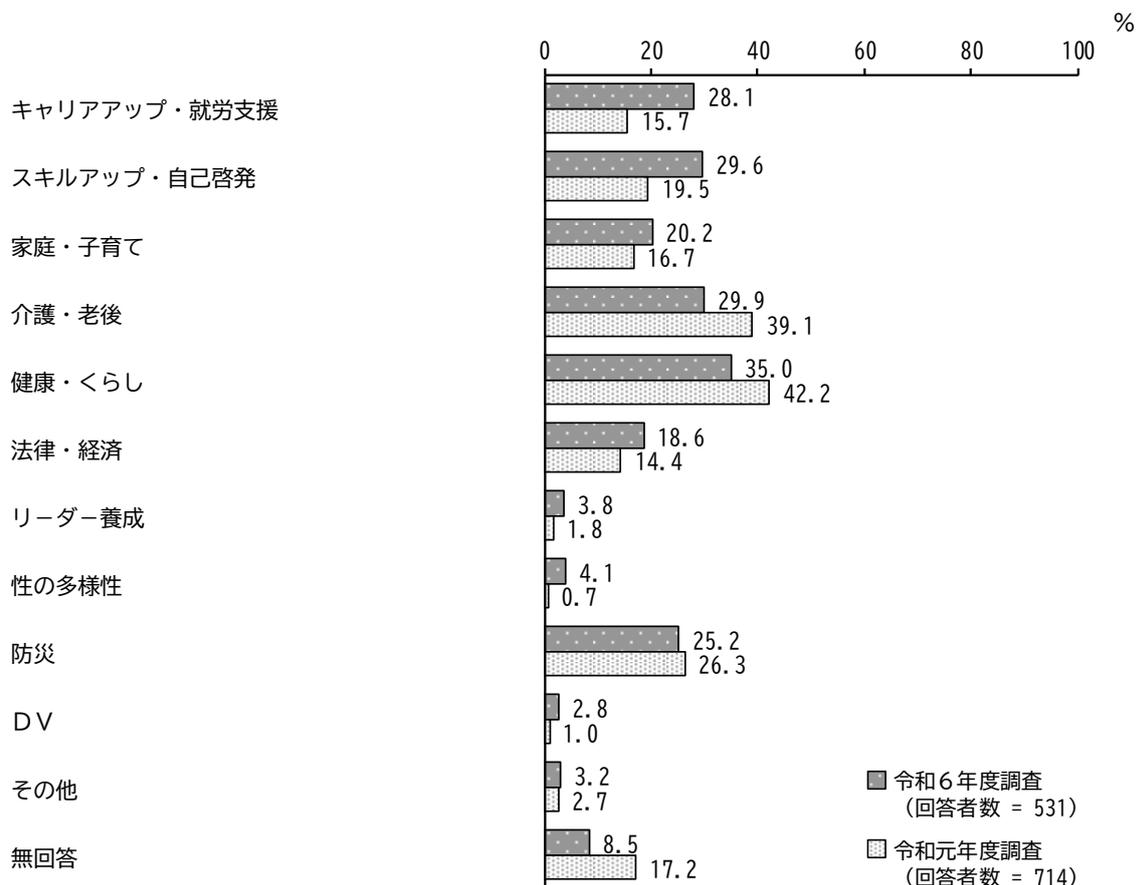


【すべての方におたずねします。】

問 28 岸和田市立男女共同参画センターでは、さまざまな講座を開催しています。興味があるテーマは何ですか。(〇は3つまで)

「健康・暮らし」の割合が35.0%と最も高く、次いで「介護・老後」の割合が29.9%、「スキルアップ・自己啓発」の割合が29.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「キャリアアップ・就労支援」「スキルアップ・自己啓発」の割合が増加しています。一方、「介護・老後」「健康・暮らし」の割合が減少しています。

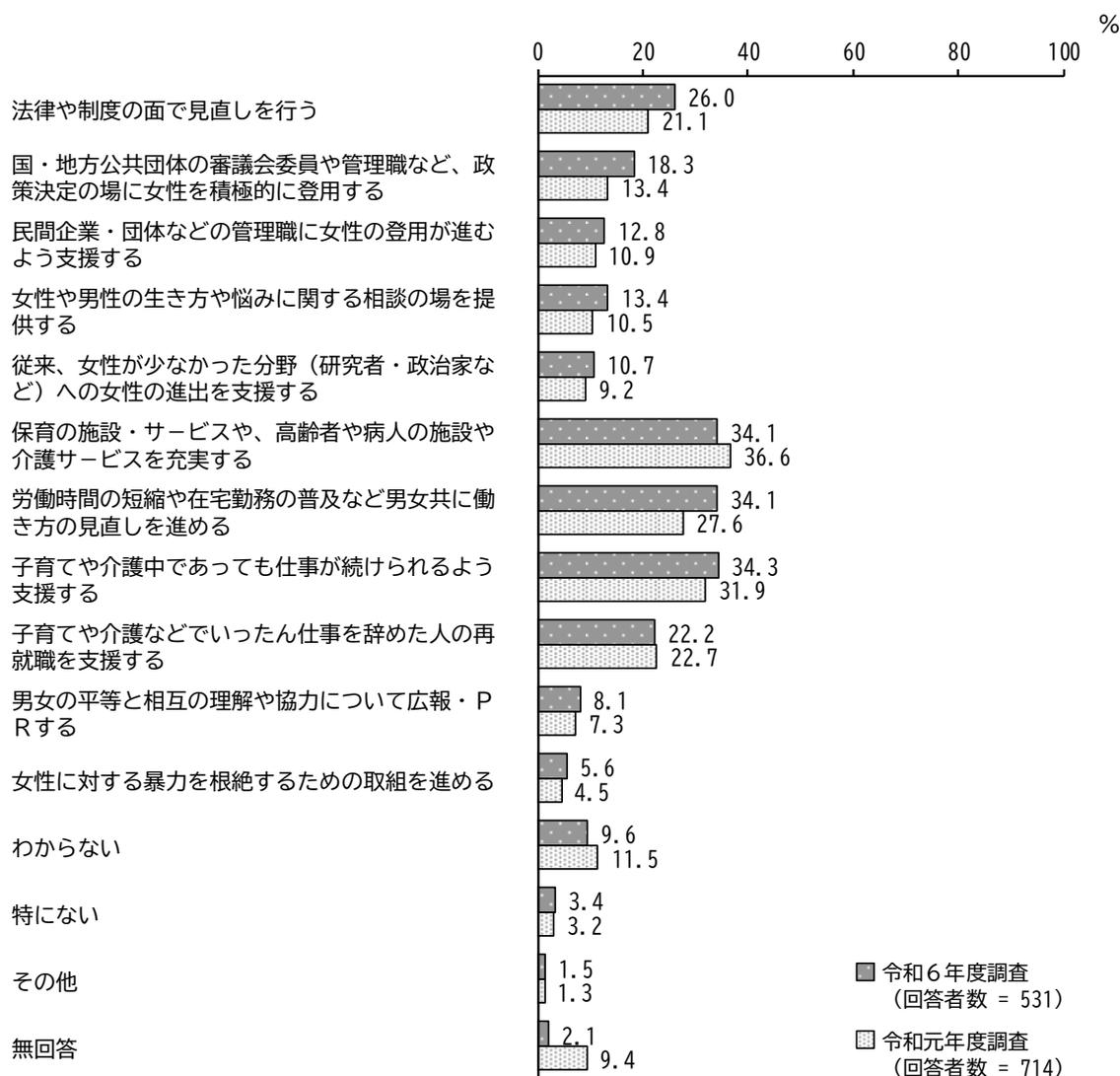


(8) 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

問 29 男女共同参画社会を実現するために、今後、行政はどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める」の割合が 34.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

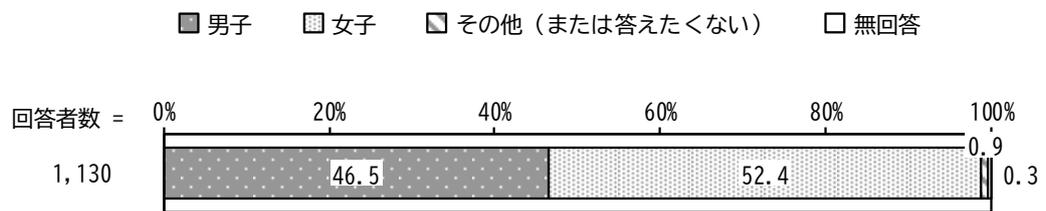
区分	回答者数(件)	法律や制度の面で見直しを行う	国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する	女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	従来、女性が少なかった分野(研究者・政治家など)への女性の進出を支援する	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
全体	531	26.0	18.3	12.8	13.4	10.7	34.1	34.1
男性	221	29.4	17.2	12.2	14.0	10.4	29.0	31.7
女性	294	22.8	18.4	13.6	13.3	10.9	38.1	36.7

区分	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする	女性に対する暴力を根絶するための取組を進める	わからない	特にない	その他	無回答
全体	34.3	22.2	8.1	5.6	9.6	3.4	1.5	2.1
男性	31.2	19.0	10.4	5.0	10.9	4.1	1.8	2.3
女性	36.7	24.8	6.8	5.4	8.5	3.1	1.0	2.0

2 小学生

問1 あなたの性別は。(1つだけ選ぶ)

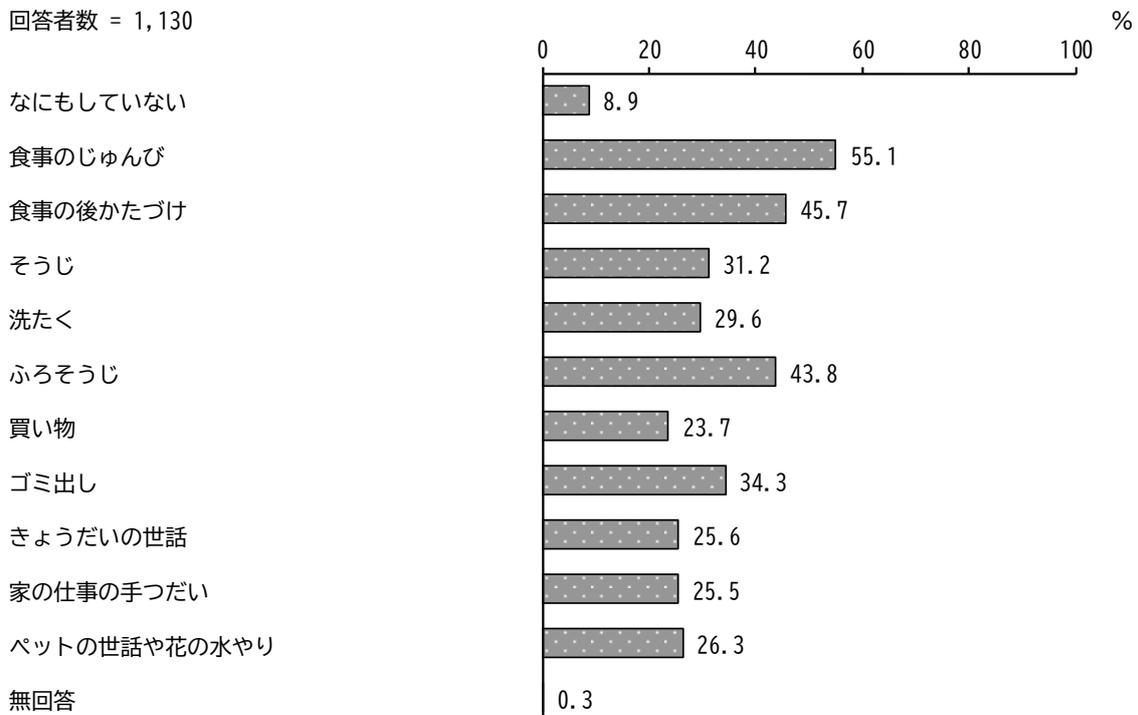
「女子」の割合が52.4%、「男子」の割合が46.5%となっています。



問2 あなたは、家の中でどのようなお手つだいをしますか。(いくつでもえらんでよい)

「食事のじゅんび」の割合が55.1%と最も高く、次いで「食事の後かたづけ」の割合が45.7%、「ふろそうじ」の割合が43.8%となっています。

回答者数 = 1,130



【性別】

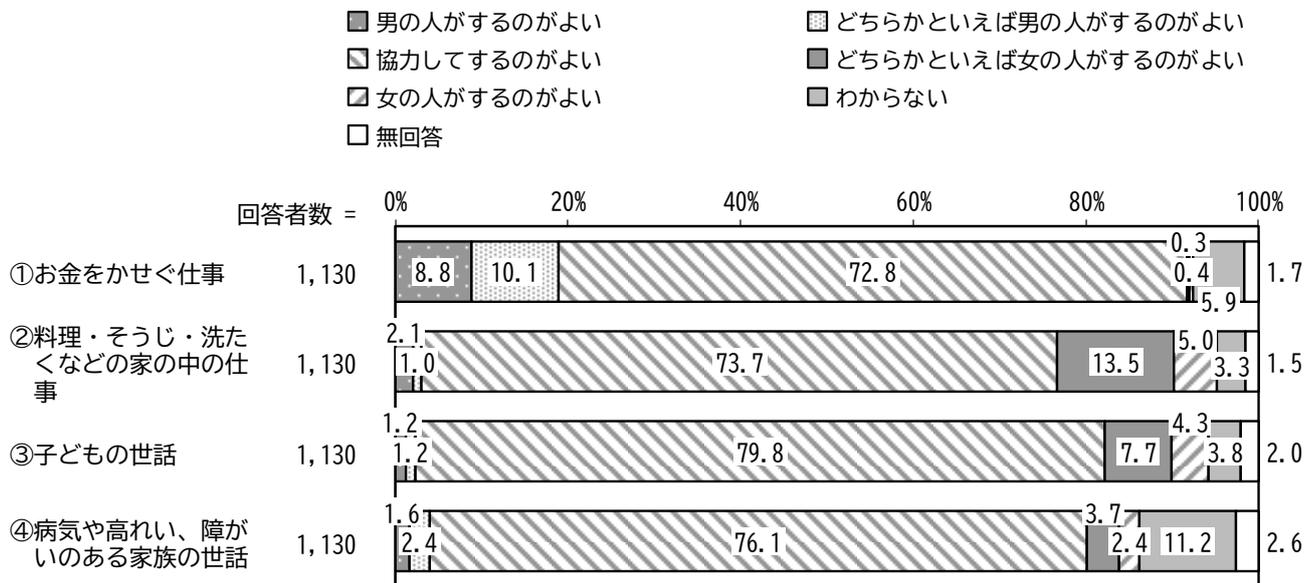
性別にみると、男子で「ゴミ出し」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	なにもしていない	食事のじゅんび	食事の後かたづけ	そうじ	洗たく	ふろそうじ	買い物	ゴミ出し	きょうだいの世話	家の仕事の手つだい	ペットの世話や花の水やり	無回答
全体	1,130	8.9	55.1	45.7	31.2	29.6	43.8	23.7	34.3	25.6	25.5	26.3	0.3
男子	525	10.7	50.5	40.6	31.4	27.8	46.5	24.6	40.4	22.3	24.0	23.4	0.6
女子	592	6.8	59.5	50.3	30.7	30.9	41.6	23.0	29.1	28.4	26.5	29.1	—
その他(または答えたくない)	10	50.0	40.0	30.0	20.0	30.0	30.0	10.0	20.0	20.0	30.0	10.0	—

問3 あなたは、次のようなことは、だれがするのが一番よいと思いますか。
(それぞれ1つだけえらぶ)

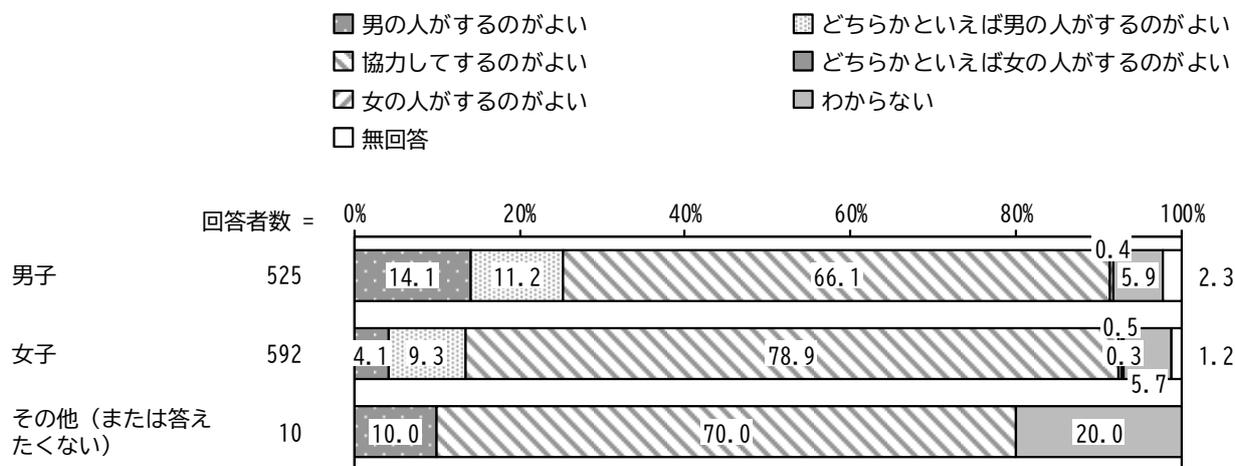
すべての項目で「協力してするのがよい」の割合が最も高くなっています。また、『①お金をかせぐ仕事』で「男の人がするのがよい」「どちらかといえば男の人がするのがよい」の割合が、『②料理・そうじ・洗たくなどの家の中の仕事』で「どちらかといえば女の人がするのがよい」の割合が高くなっています。



①お金をかせぐ仕事

【性別】

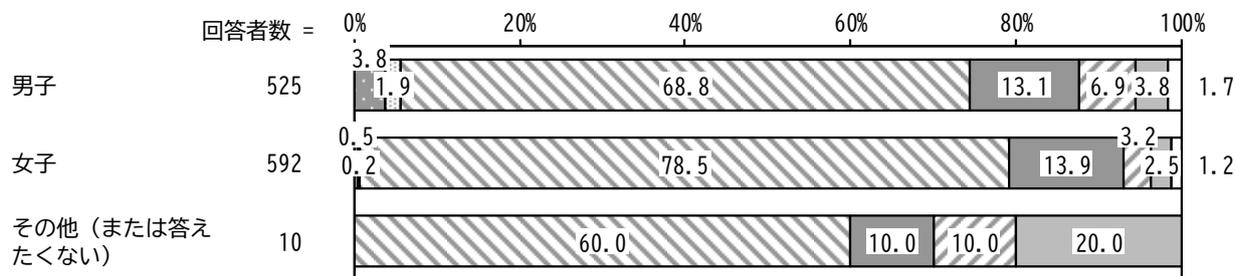
性別にみると、女子で「協力してするのがよい」の割合が高くなっています。



②料理・そうじ・洗たくなどの家の中の仕事

【性別】

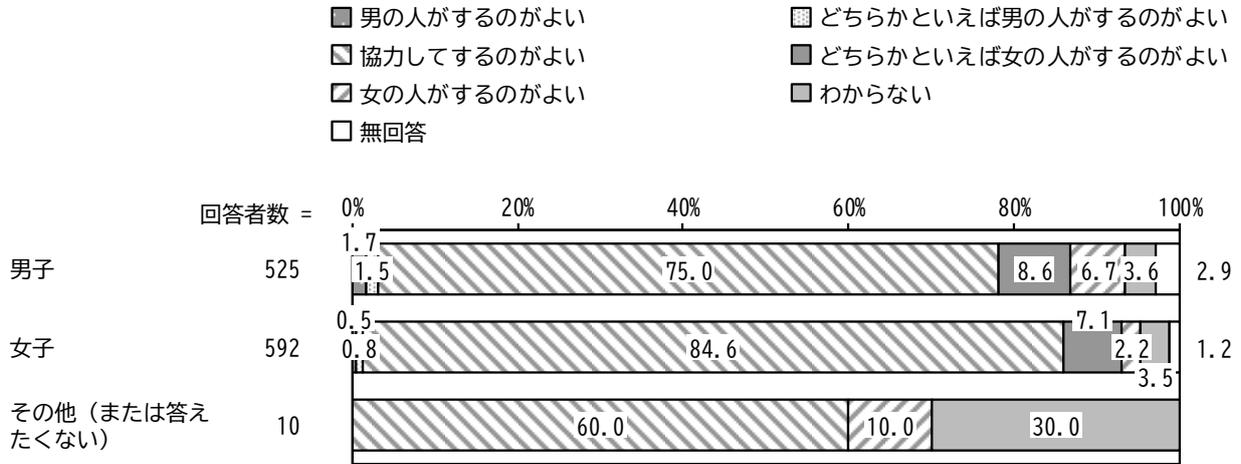
性別にみると、大きな差はみられません。



③子どもの世話

【性別】

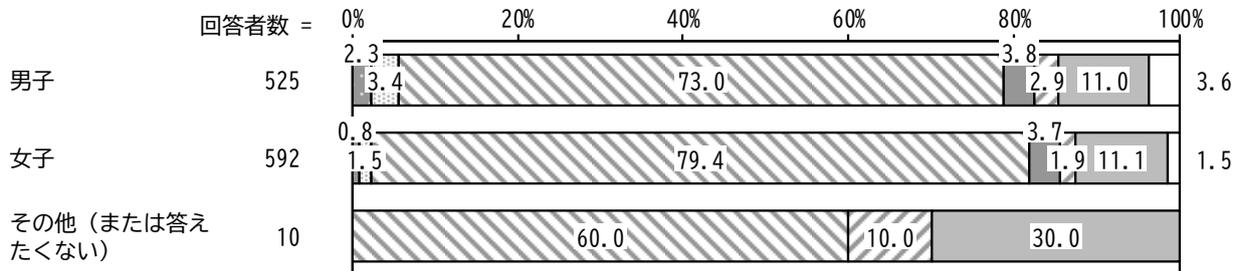
性別にみると、大きな差はみられません。



④病気や高れい、障がいのある家族の世話

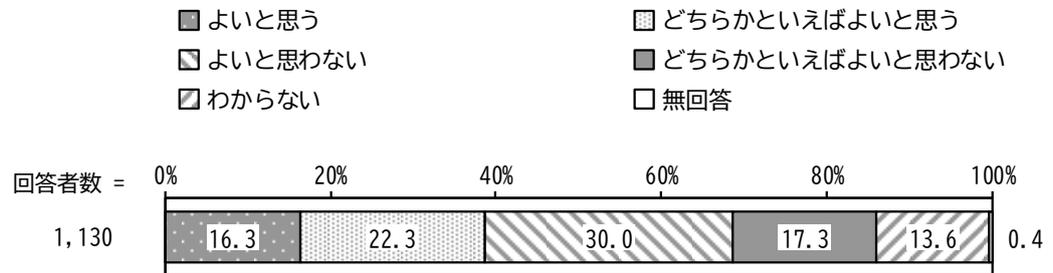
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



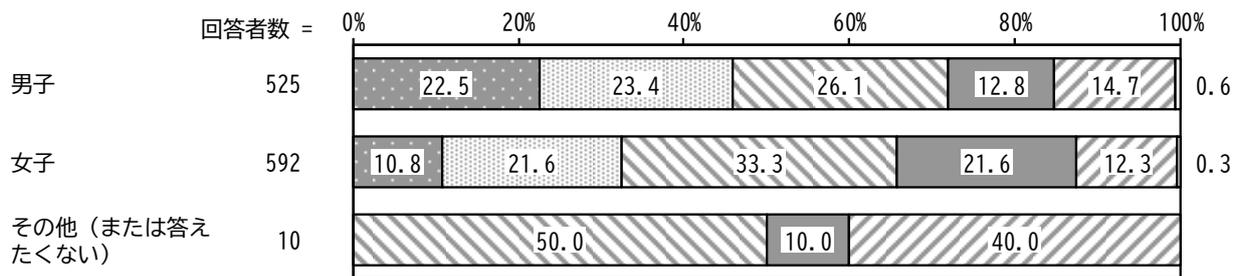
問4 「男の人は外で仕事をしてお金をかせぎ、女の人は家で料理やそうじ、子どもの世話などをする」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。
(1つだけえらぶ)

「よいと思わない」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「どちらかといえばよいと思う」の割合が 22.3%、「どちらかといえばよいと思わない」の割合が 17.3%となっています。



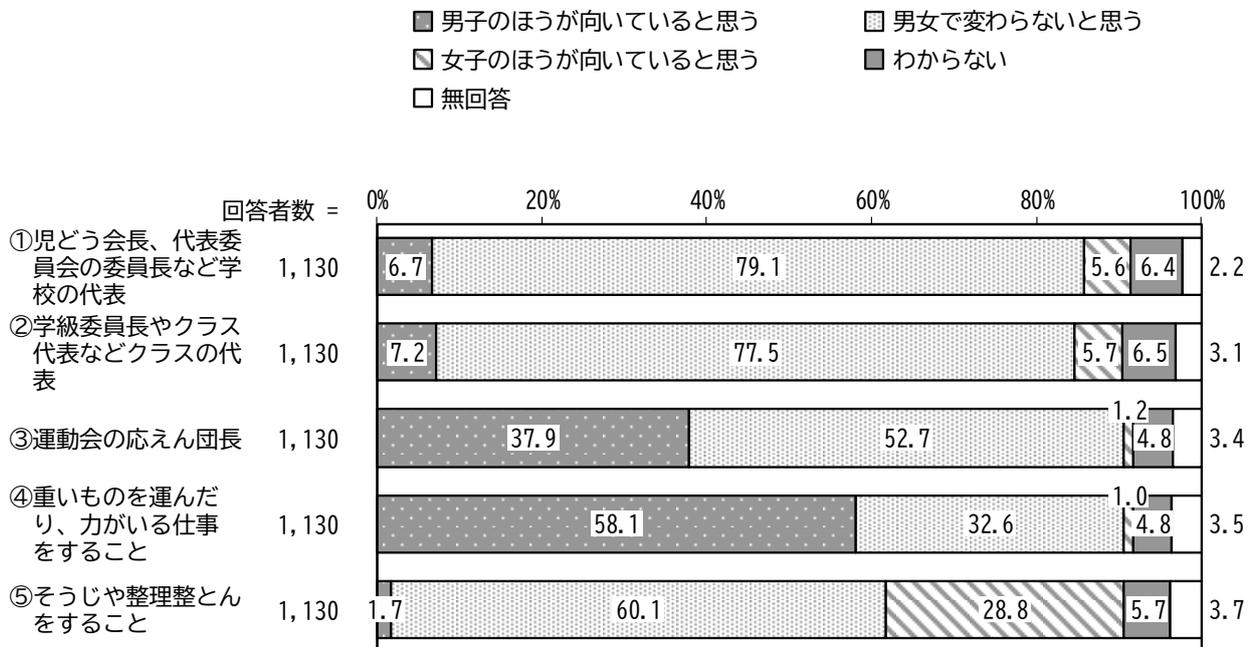
【性別】

性別にみると、男子で「よいと思う」の割合が高くなっています。



問5 学校での生活について聞きます。次のものは男女のどちらに向いていると思いますか。
(それぞれ1つだけえらぶ)

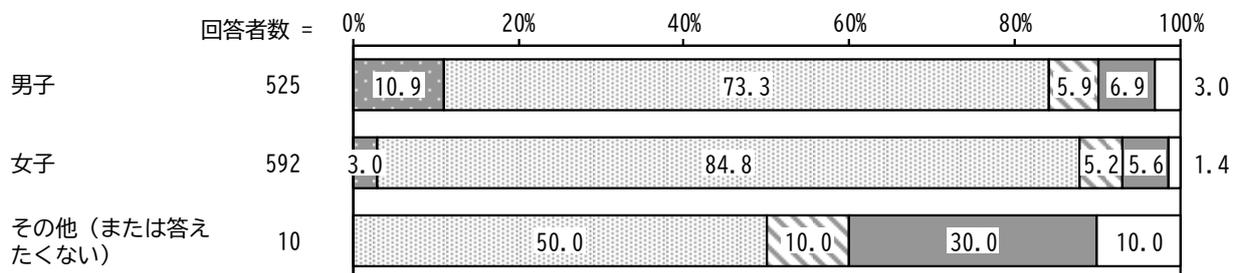
『④重いものを運んだり、力がある仕事をする』で「男子のほうが向いていると思う」の割合が、
『⑤そうじや整理整頓をすること』で「女子のほうが向いていると思う」の割合が高くなっています。



①児どう会長、代表委員会の委員長など学校の代表

【性別】

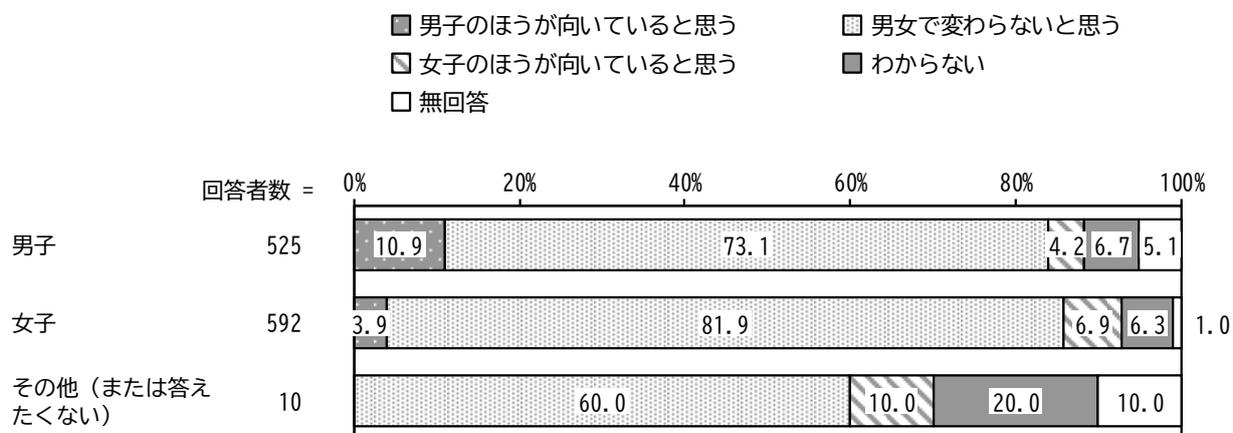
性別にみると、女子で「男女で変わらないと思う」の割合が高くなっています。



②学級委員長やクラス代表などクラスの代表

【性別】

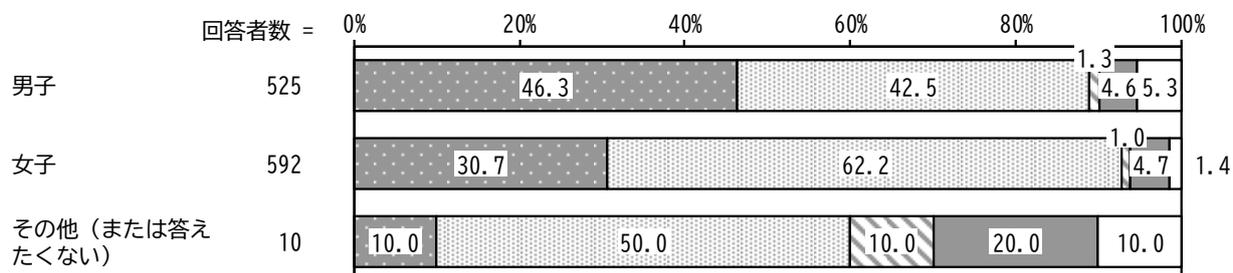
性別にみると、大きな差はみられません。



③運動会の応援団長

【性別】

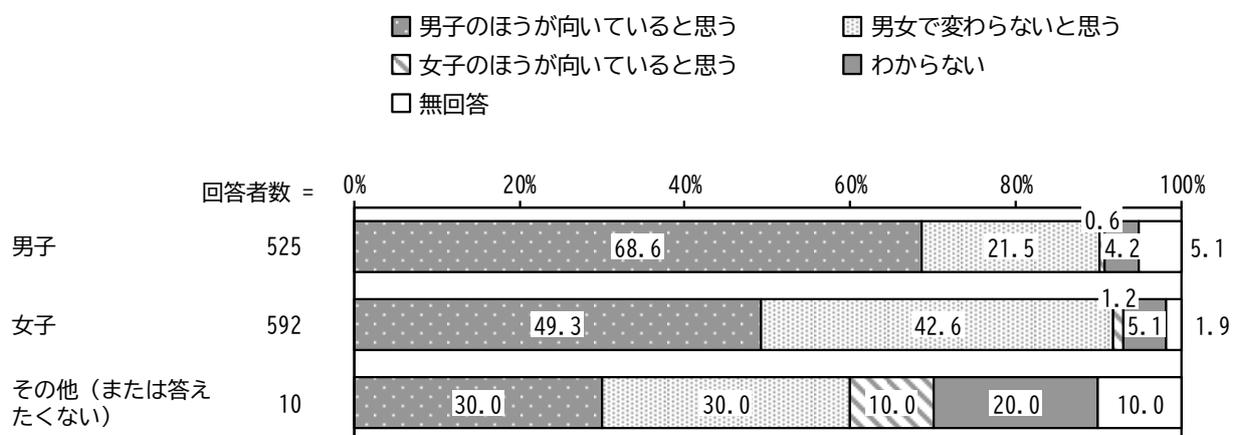
性別にみると、女子で「男女で変わらないと思う」の割合が高くなっています。



④重いものを運んだり、力がある仕事をする事

【性別】

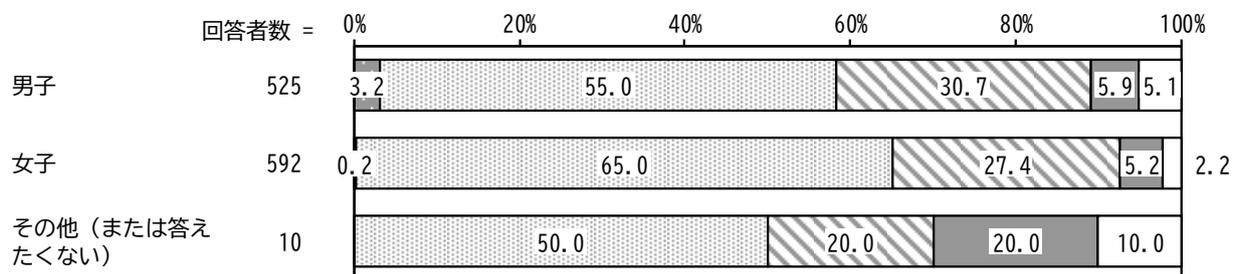
性別にみると、男子で「男子のほうが向いていると思う」の割合が高くなっています。



⑤そうじや整理整頓をすること

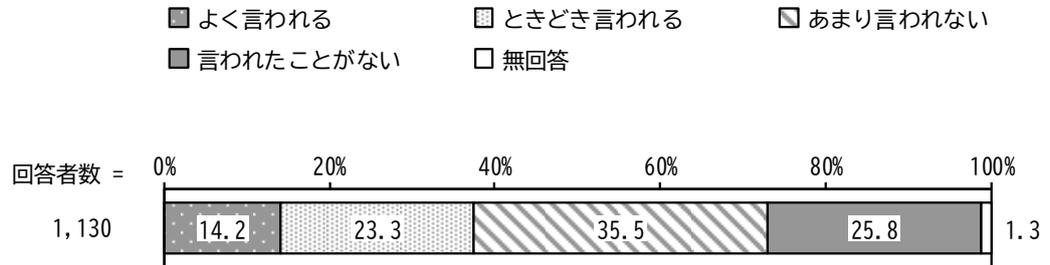
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



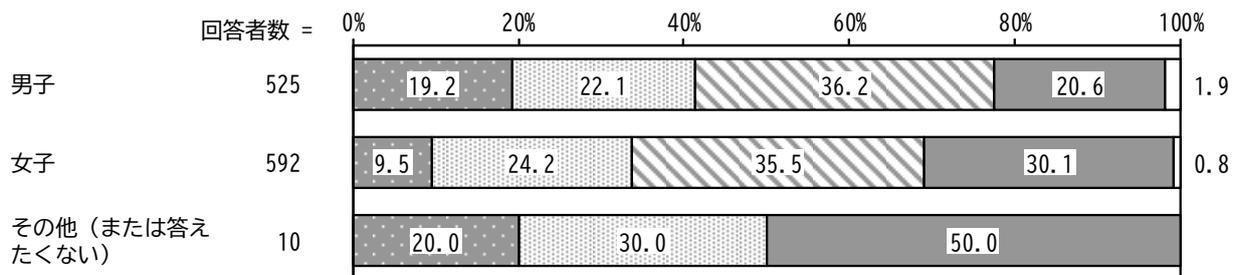
問6 あなたは、たとえば「男の子は泣いてはいけない」や「女の子はやさしく」など「男だから〇〇」や「女だから〇〇」のようにだれかに言われたことがありますか。
(1つだけえらぶ)

「あまり言われたい」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「言われたことがない」の割合が 25.8%、「ときどき言われる」の割合が 23.3%となっています。



【性別】

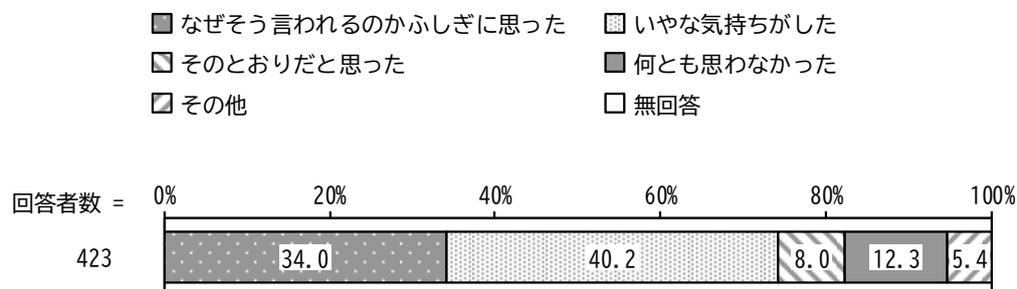
性別にみると、男子で「よく言われる」の割合が高くなっています。



【問6で「よく言われる」「ときどき言われる」をクリックした人に聞きます。】

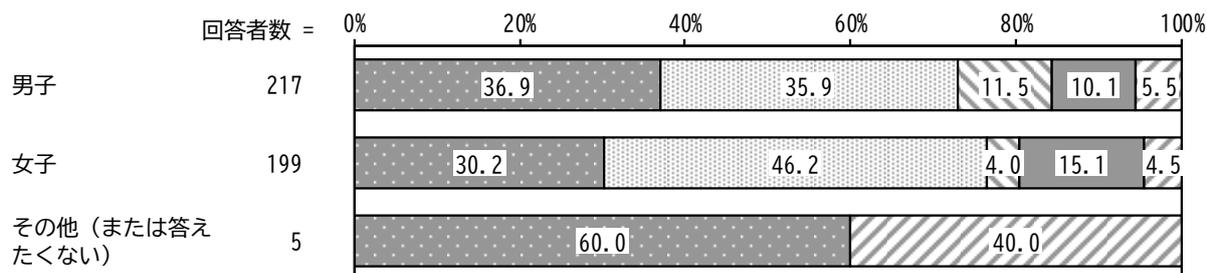
問6-1 あなたは言われた時、どんな気持ちでしたか。(1つだけえらぶ)

「いやな気持ちでした」の割合が40.2%と最も高く、次いで「なぜそう言われるのかふしぎに思った」の割合が34.0%、「何とも思わなかった」の割合が12.3%となっています。



【性別】

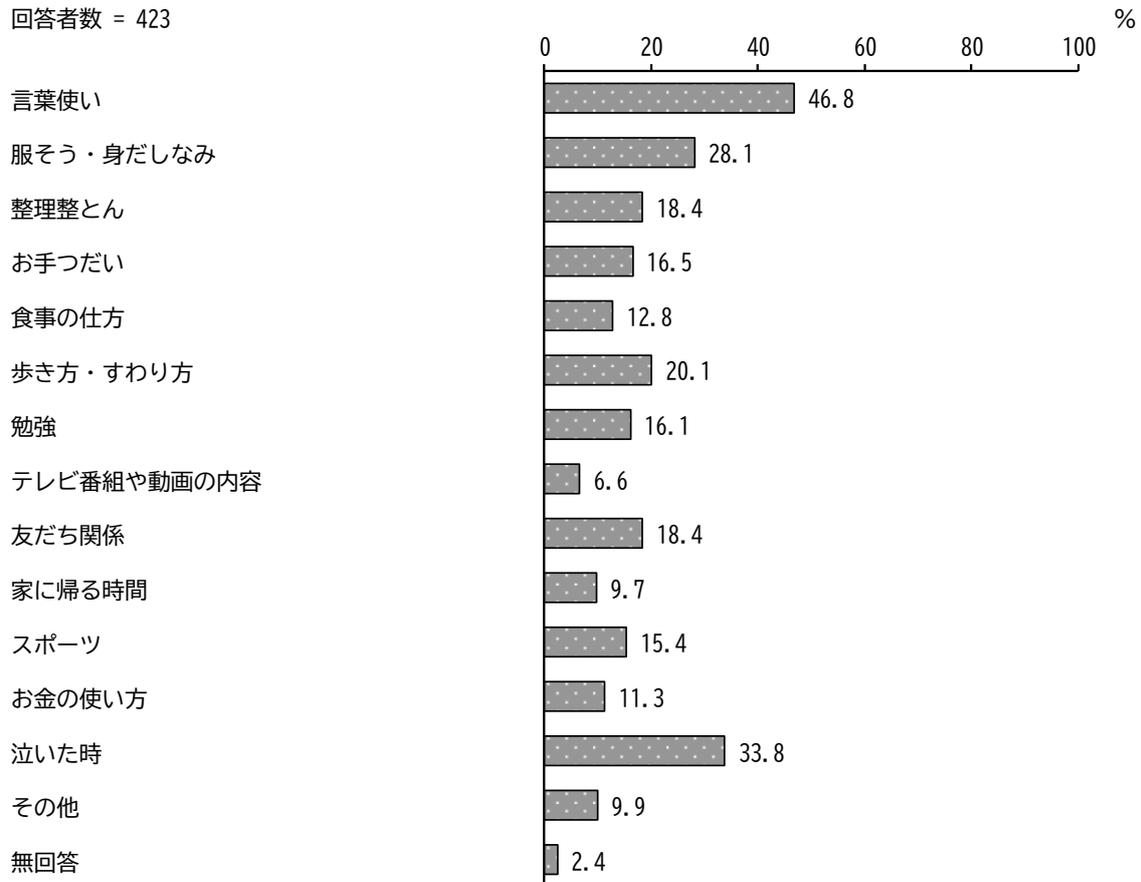
性別にみると、女子で「いやな気持ちでした」の割合が高くなっています。



問6-2 どんなことについて言われましたか。(いくつでもえらんでよい)

「言葉使い」の割合が46.8%と最も高く、次いで「泣いた時」の割合が33.8%、「服そう・身だしなみ」の割合が28.1%となっています。

回答者数 = 423



【性別】

性別にみると、男子で「泣いた時」の割合が高くなっています。

単位：％

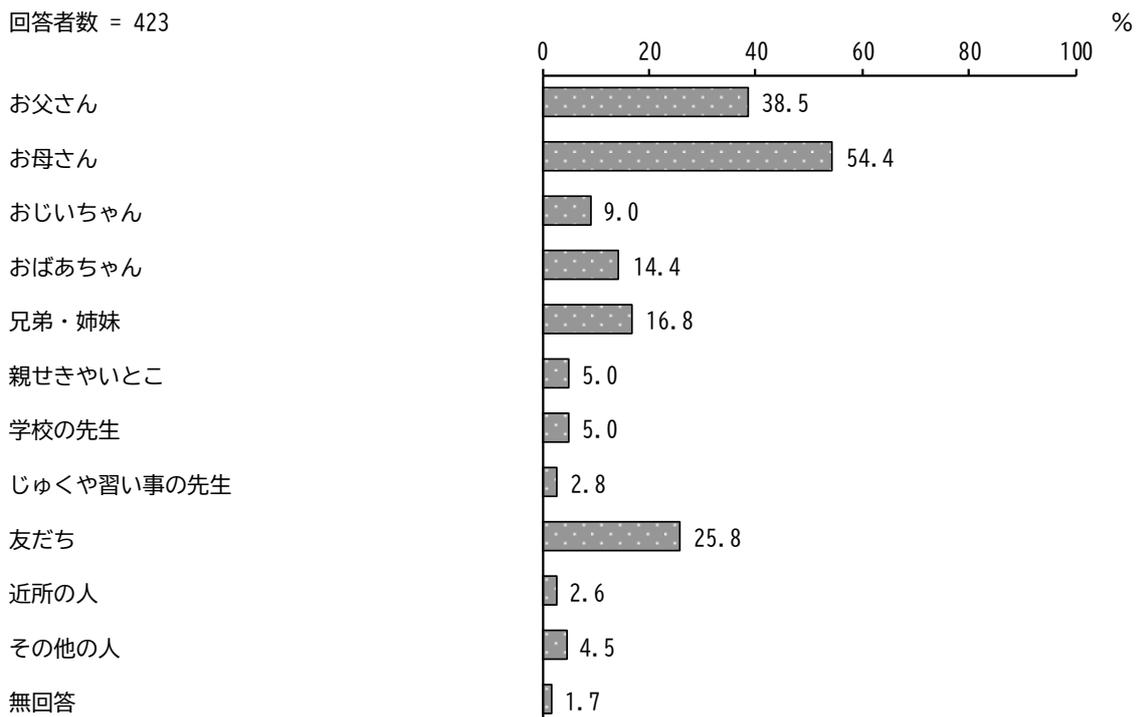
区分	回答者数(件)	言葉使い	服そつ・身だしなみ	整理整頓	お手つだい	食事の仕方	歩き方・すわり方	勉強
全 体	423	46.8	28.1	18.4	16.5	12.8	20.1	16.1
男子	217	39.6	16.1	15.7	15.7	9.7	8.3	17.1
女子	199	55.8	40.7	21.6	17.6	16.6	33.2	14.6
その他(または答えたくない)	5	—	60.0	20.0	20.0	—	20.0	40.0

区分	内容 テレビ番組や動画の	友だち関係	家に帰る時間	スポーツ	お金の使い方	泣いた時	その他	無回答
全 体	6.6	18.4	9.7	15.4	11.3	33.8	9.9	2.4
男子	6.5	22.1	11.5	19.8	14.7	51.2	9.2	4.1
女子	7.0	14.6	7.5	10.6	8.0	15.1	9.5	0.5
その他(または答えたくない)	—	20.0	20.0	20.0	—	20.0	40.0	—

問6-3 それはだれに言われましたか。(いくつでもえらんでよい)

「お母さん」の割合が54.4%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が38.5%、「友だち」の割合が25.8%となっています。

回答者数 = 423



【性別】

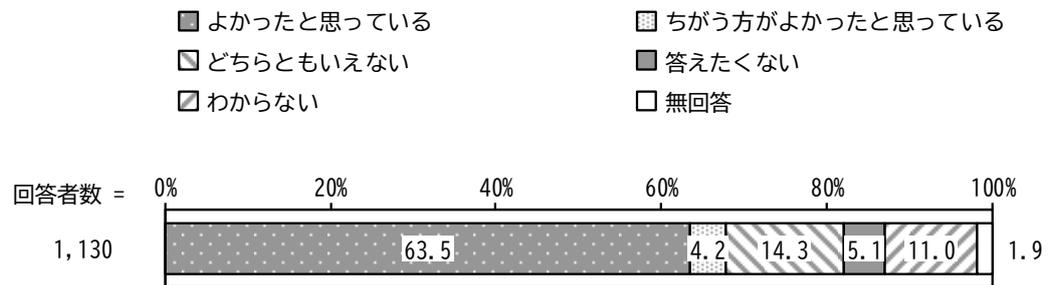
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	お父さん	お母さん	おじいちゃん	おばあちゃん	兄弟・姉妹	親せきやいごこ	学校の先生	じゅくや習い事の先生	友だち	近所の人	その他の人	無回答
全 体	423	38.5	54.4	9.0	14.4	16.8	5.0	5.0	2.8	25.8	2.6	4.5	1.7
男子	217	42.4	52.1	10.1	12.4	12.9	4.1	6.9	3.7	24.0	1.8	6.0	1.8
女子	199	34.2	56.8	8.0	17.1	21.1	5.5	2.5	2.0	27.1	3.5	2.0	1.5
その他(または答えたくない)	5	20.0	40.0	—	—	—	—	20.0	—	40.0	—	40.0	—

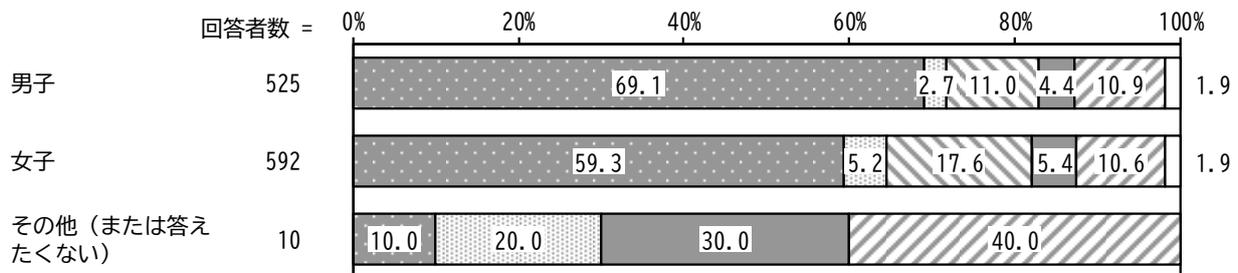
問7 あなたは自分が男子または女子に生まれたことをどのように思いますか。
(1つだけえらぶ)

「よかったと思っている」の割合が63.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が14.3%、「わからない」の割合が11.0%となっています。



【性別】

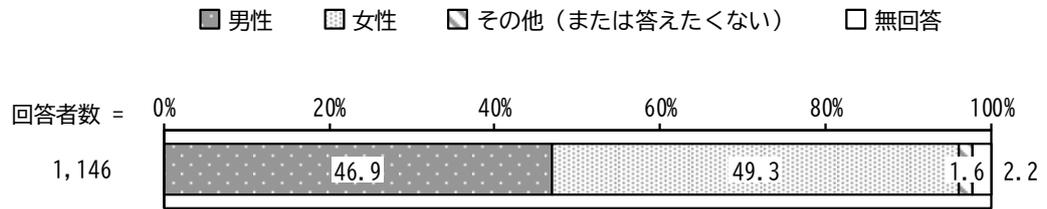
性別にみると、男子で「よかったと思っている」の割合が高くなっています。



3 中学生

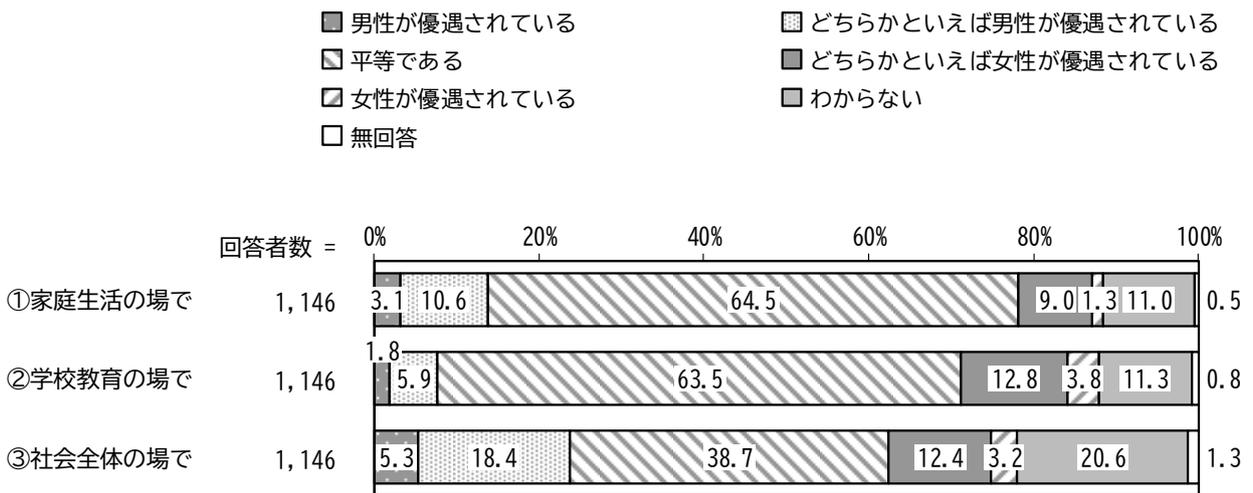
問1 あなたの性別は。(1つだけ選ぶ)

「女性」の割合が49.3%、「男性」の割合が46.9%となっています。



問2 あなたは、次の分野で男女が平等だと思いますか。(それぞれ1つだけ選ぶ)

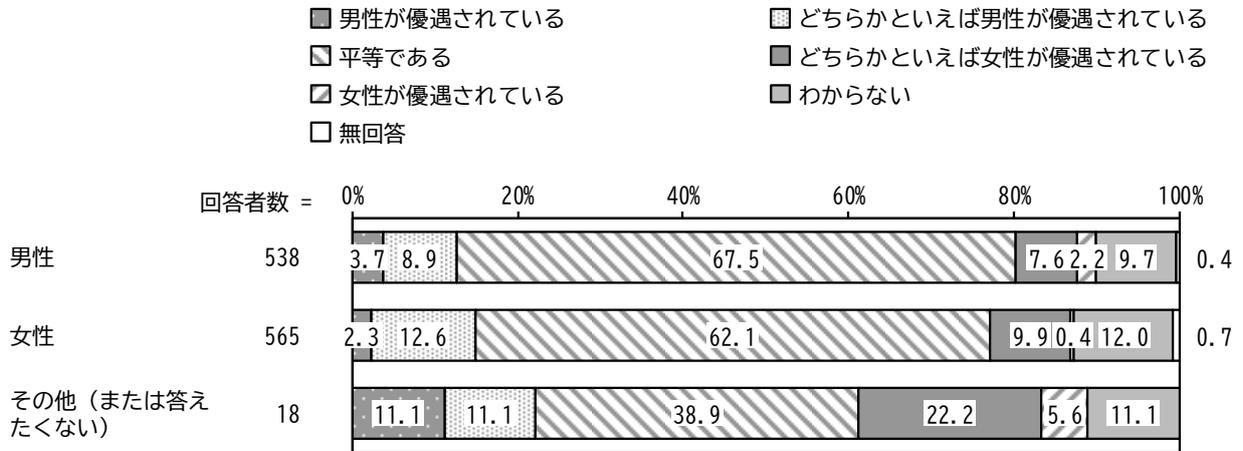
『①家庭生活の場で』『②学校教育の場で』で「平等である」の割合が、『③社会全体の場で』で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高くなっています。



①家庭生活の場で

【性別】

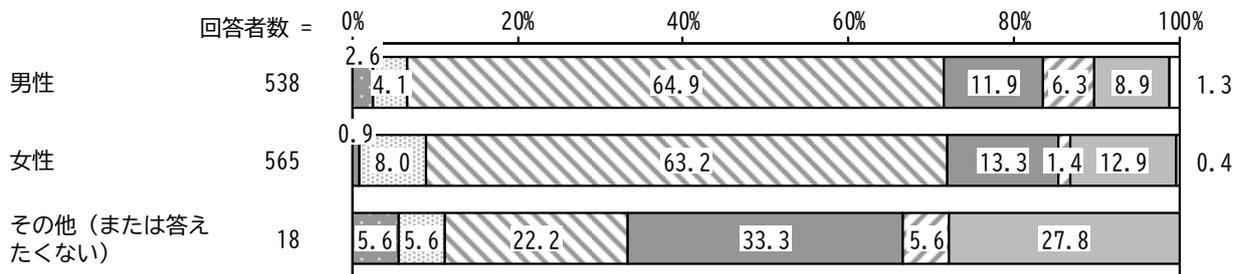
性別にみると、大きな差はみられません。



②学校教育の場で

【性別】

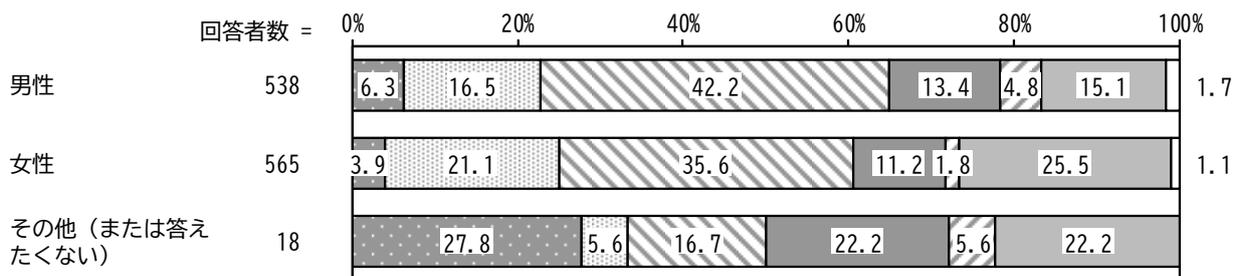
性別にみると、大きな差はみられません。



③社会全体の場で

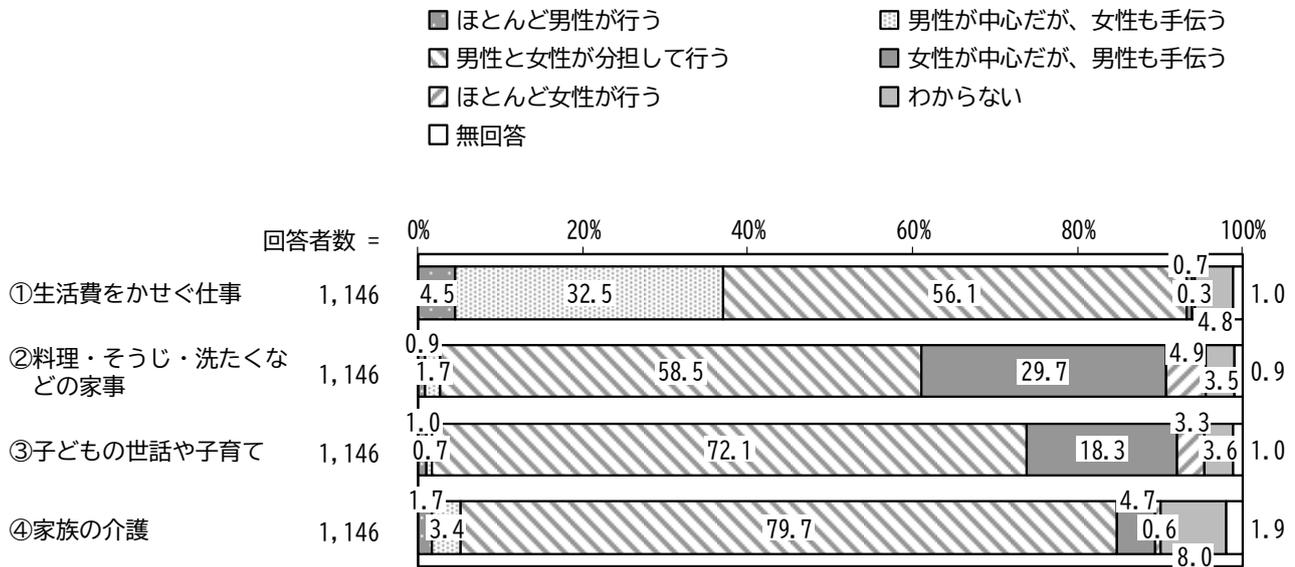
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



問3 次のことについて、あなたの希望としては、男女でどのように分担したいと思いますか。(それぞれ1つだけ選ぶ)

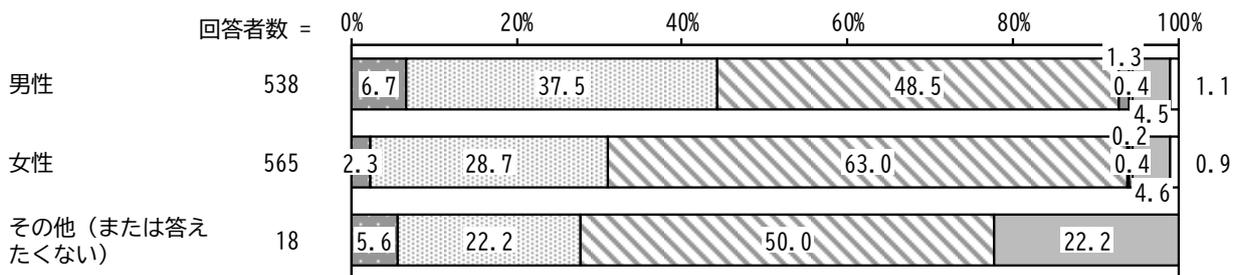
『①生活費をかせぐ仕事』で「男性が中心だが、女性も手伝う」の割合が、『②料理・そうじ・洗たくななどの家事』で「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が高くなっています。また、『④家族の介護』で「男性と女性が分担して行う」の割合が高くなっています。



①生活費をかせぐ仕事

【性別】

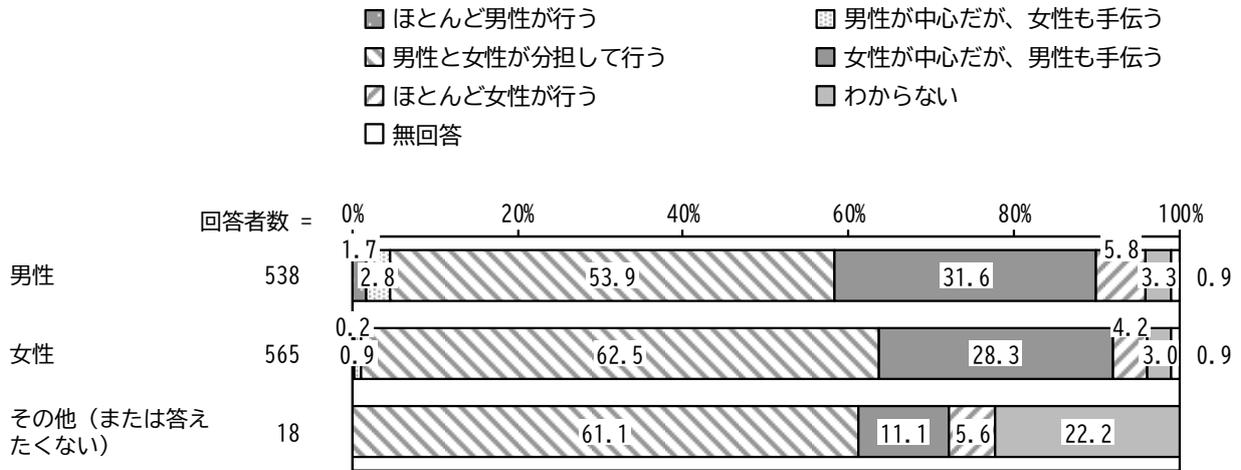
性別にみると、女性で「男性と女性が分担して行う」の割合が高くなっています。



②料理・そうじ・洗たくなどの家事

【性別】

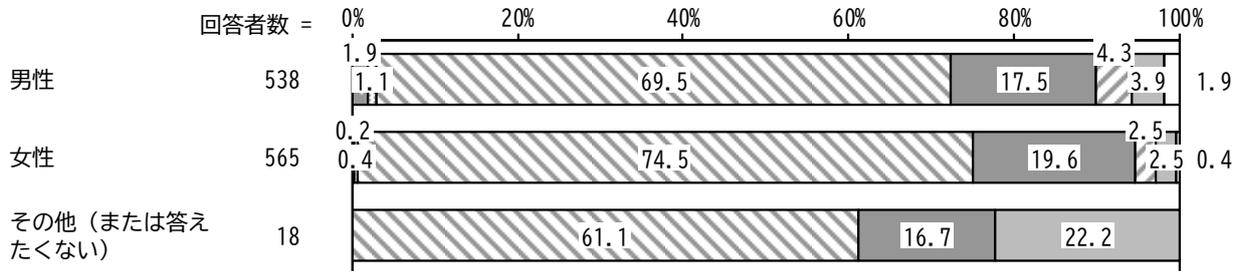
性別にみると、大きな差はみられません。



③子どもの世話や子育て

【性別】

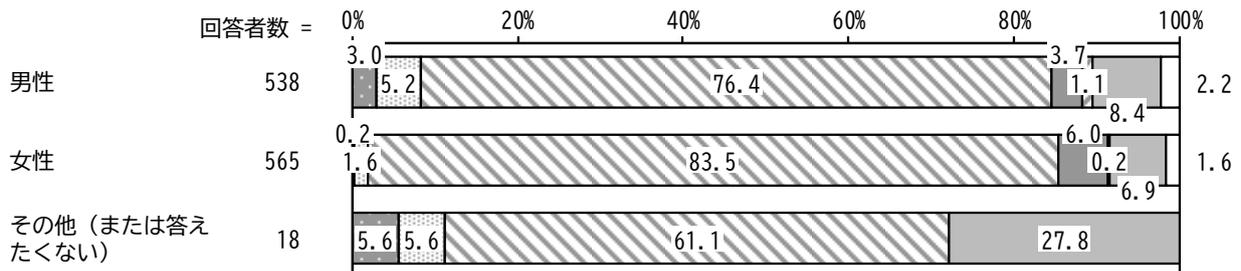
性別にみると、大きな差はみられません。



④家族の介護

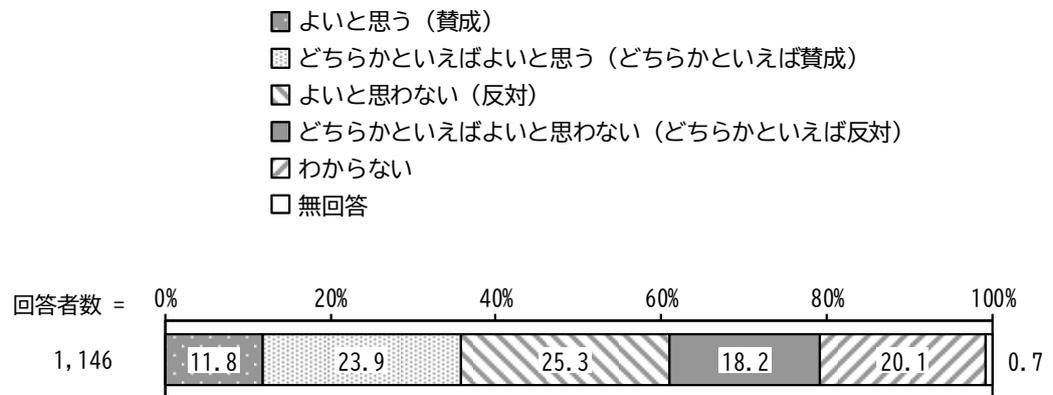
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



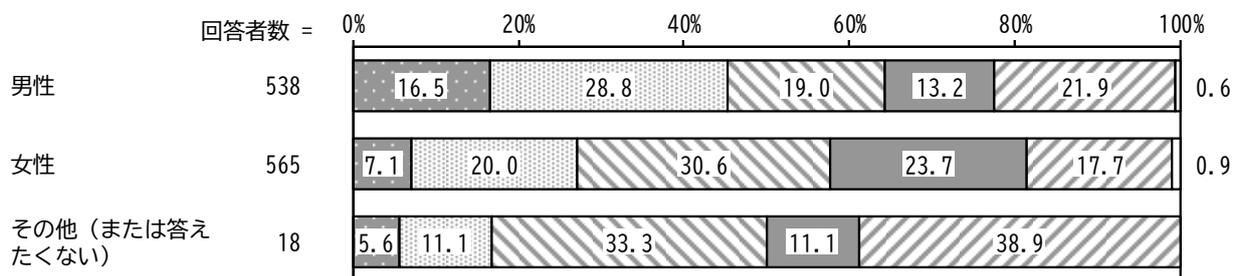
問4 「男性は外で仕事をして収入を得て、女性は家庭で家事・育児・介護をする」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。(1つだけ選ぶ)

「よいと思わない(反対)」の割合が25.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばよいと思う(どちらかといえば賛成)」の割合が23.9%、「わからない」の割合が20.1%となっています。



【性別】

性別にみると、女性で「よいと思わない(反対)」「どちらかといえばよいと思わない(どちらかといえば反対)」の割合が高くなっています。

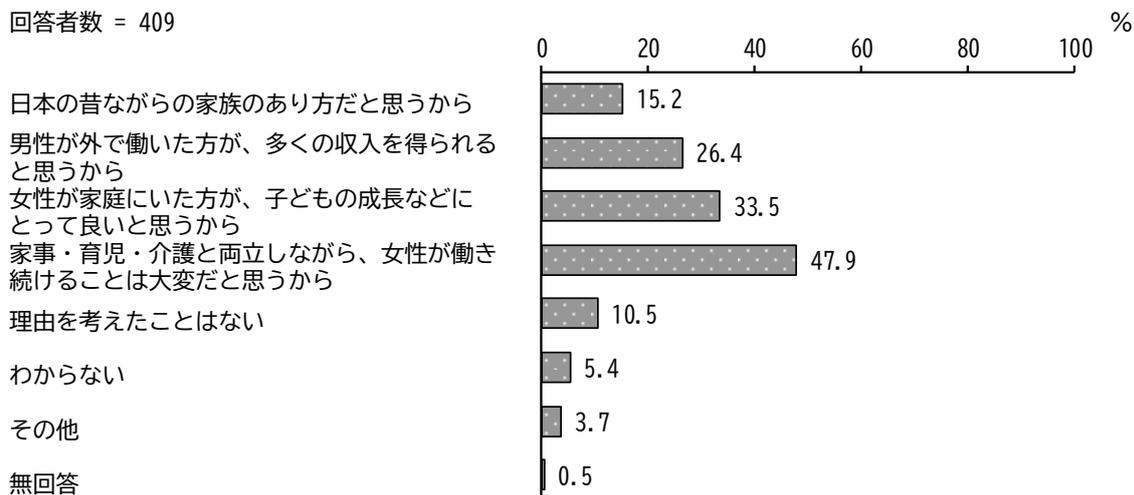


【問4で「よいと思う（賛成）」「どちらかといえばよいと思う（どちらかといえば賛成）」をクリックした人に聞きます。】

問4－1 その理由は以下のどれに近いですか。（いくつでも選んでよい）

「家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「女性が家庭にいた方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」の割合が 33.5%、「男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合が 26.4%となっています。

回答者数 = 409



【性別】

性別にみると、女性で「家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから」の割合が高くなっています。

単位：%

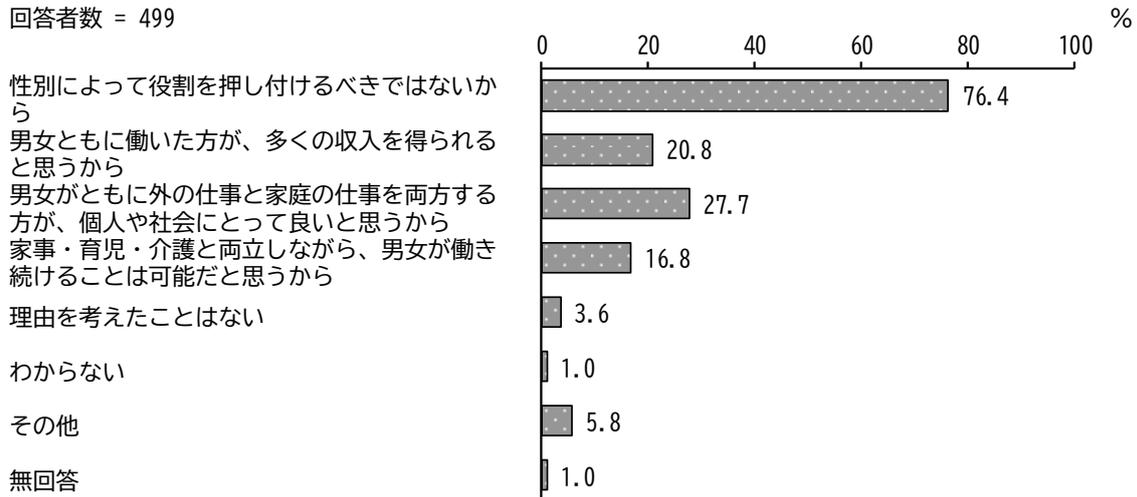
区分	回答者数(件)	日本の昔ながらの家族のあり方だと思うから	男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	女性が家庭にいた方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから	理由を考えたことはない	わからない	その他	無回答
全体	409	15.2	26.4	33.5	47.9	10.5	5.4	3.7	0.5
男性	244	17.2	27.9	36.1	41.8	10.7	6.6	3.3	—
女性	153	11.8	24.8	30.7	60.8	7.8	3.9	3.9	1.3
その他（または答えたくない）	3	—	33.3	—	—	33.3	—	33.3	—

【問4で「どちらかといえばよいと思わない（どちらかといえば反対）」「よいと思わない（反対）」をクリックした人に聞きます。】

問4-2 その理由は以下のどれに近いですか。（いくつでも選んでよい）

「性別によって役割を押し付けるべきではないから」の割合が76.4%と最も高く、次いで「男女がともに外の仕事と家庭の仕事を両方する方が、個人や社会にとって良いと思うから」の割合が27.7%、「男女ともに働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合が20.8%となっています。

回答者数 = 499



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

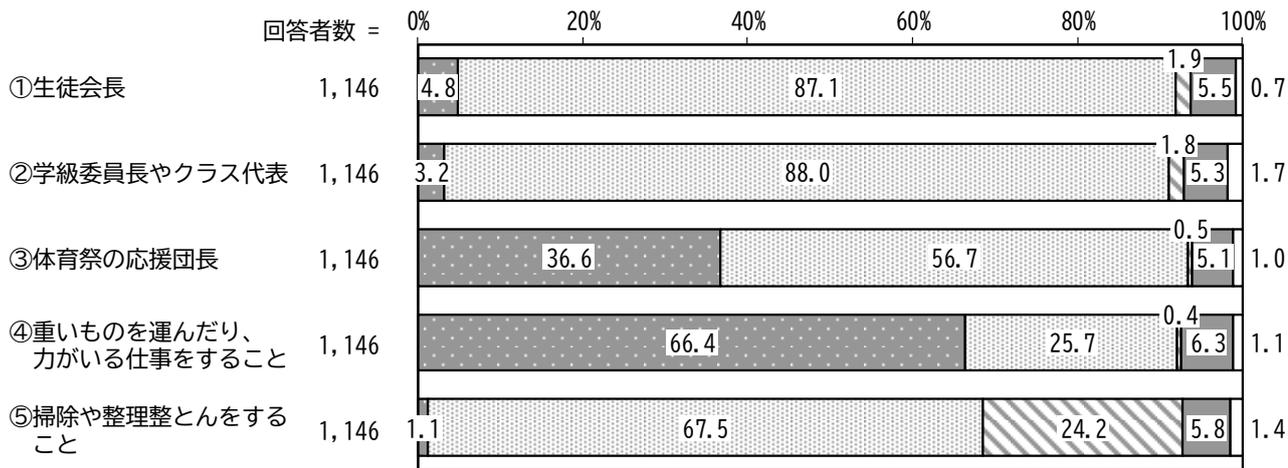
単位：%

区分	回答者数(件)	性別によって役割を押し付けるべきではないから	男女ともに働いた方が、多くの収入を得られると思うから	男女がともに外の仕事と家庭の仕事を両方する方が、個人や社会にとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、男女が働き続けることは可能だと思うから	理由を考えたことはない	わからない	その他	無回答
全体	499	76.4	20.8	27.7	16.8	3.6	1.0	5.8	1.0
男性	173	69.4	24.3	26.0	12.1	5.8	1.2	2.9	2.3
女性	307	80.8	19.9	28.7	18.9	2.3	0.7	7.5	0.3
その他(または答えたくない)	8	100.0	-	12.5	37.5	-	-	12.5	-

問5 学校での生活について聞きます。次のものは男女のどちらに向いていると思いますか。
(それぞれ1つだけ選ぶ)

『①生徒会長』『②学級委員長やクラス代表』で「男女で変わらないと思う」の割合が、『④重いものを運んだり、力がある仕事をする事』で「男子のほうに向いていると思う」の割合が高くなっています。また、『⑤掃除や整理整頓をすること』で「女子のほうに向いていると思う」の割合が高くなっています。

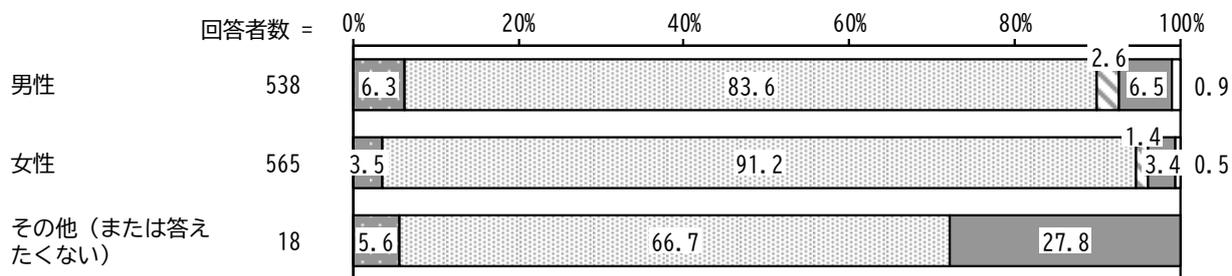
- 男子のほうに向いていると思う
- 女子のほうに向いていると思う
- 無回答
- 男女で変わらないと思う
- わからない



①生徒会長

【性別】

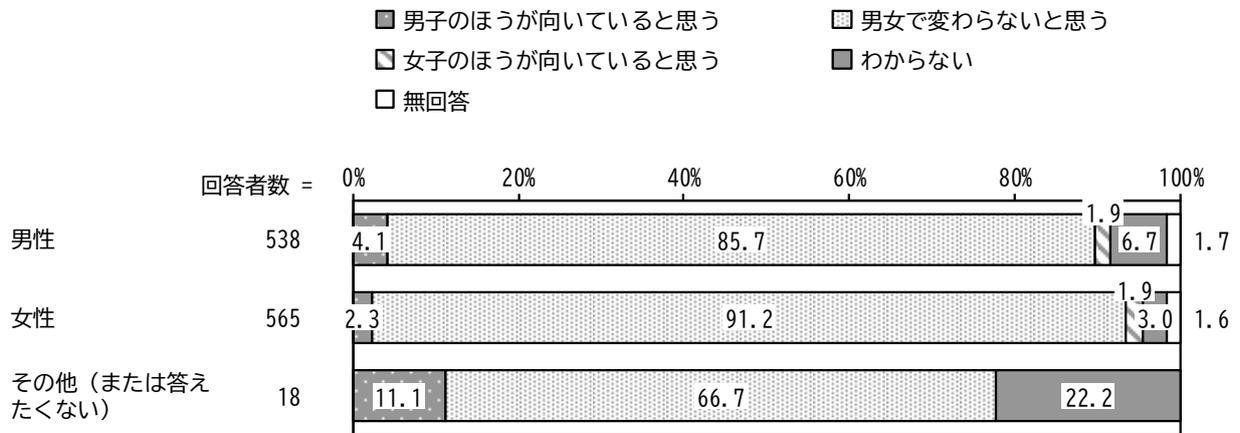
性別にみると、大きな差はみられません。



②学級委員長やクラス代表

【性別】

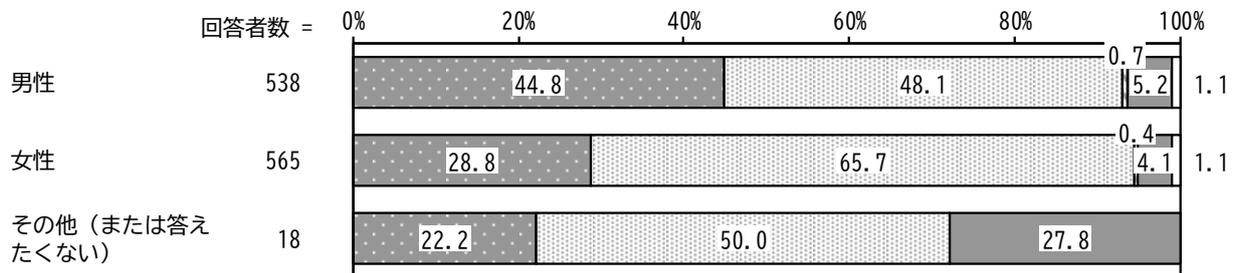
性別にみると、大きな差はみられません。



③体育祭の応援団長

【性別】

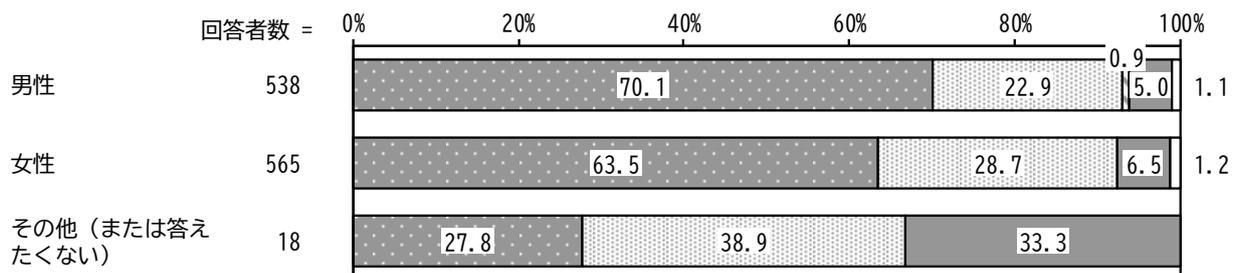
性別にみると、女性で「男女で変わらないと思う」の割合が高くなっています。



④重いものを運んだり、力がある仕事をするこ

【性別】

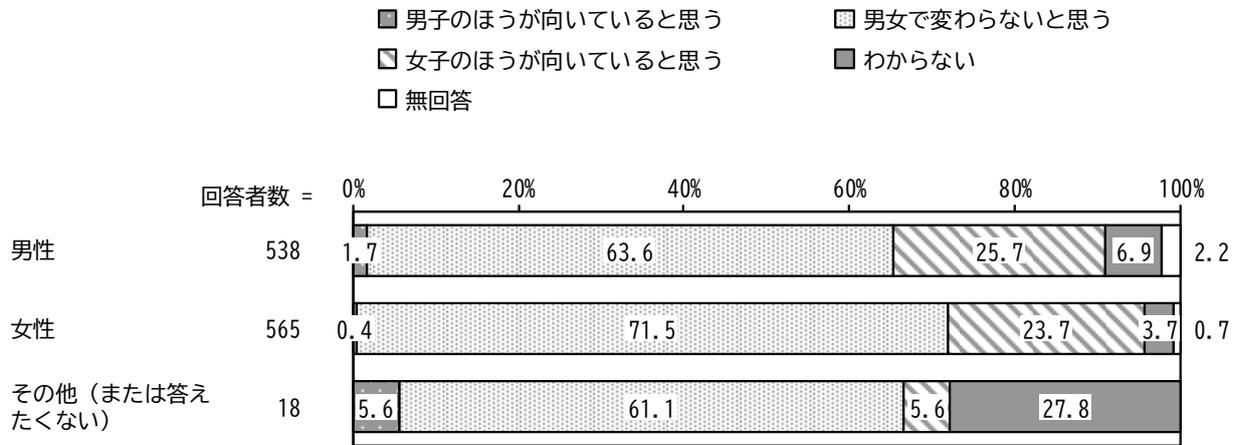
性別にみると、大きな差はみられません。



⑤掃除や整理整頓をすること

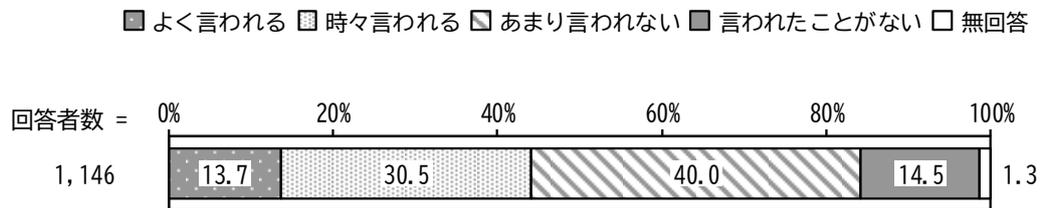
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



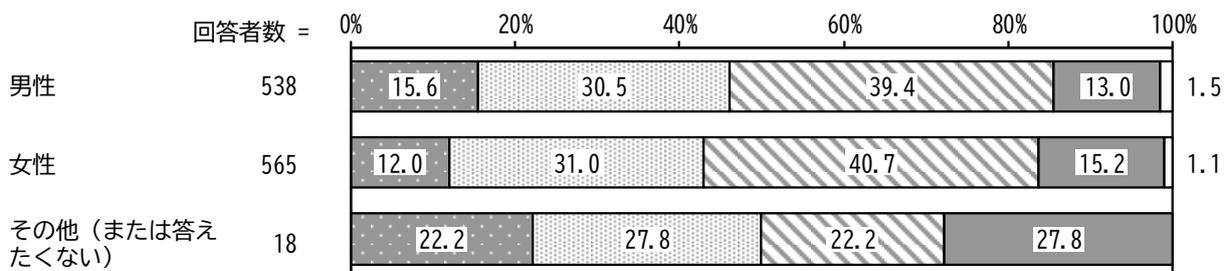
問6 あなたは、たとえば「男の子は泣いてはいけない」や「女の子はやさしく」など「男だから〇〇」や「女だから〇〇」のようにだれかに言われたことがありますか。
(1つだけ選ぶ)

「あまり言われたい」の割合が40.0%と最も高く、次いで「時々言われる」の割合が30.5%、「言われたことがない」の割合が14.5%となっています。



【性別】

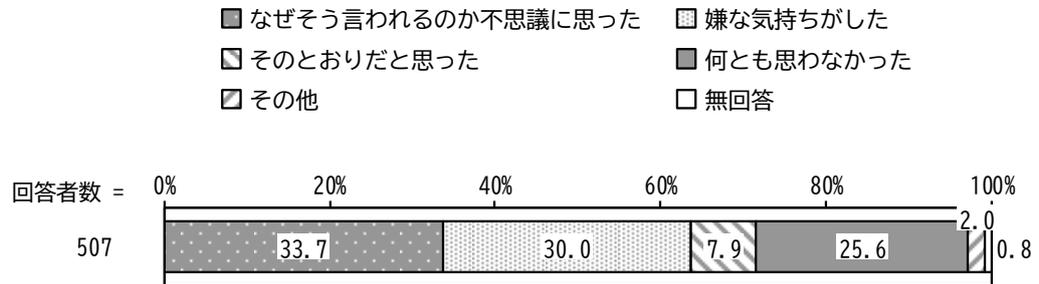
性別にみると、大きな差はみられません。



【問6で「よく言われる」「時々言われる」をクリックした人に聞きます。】

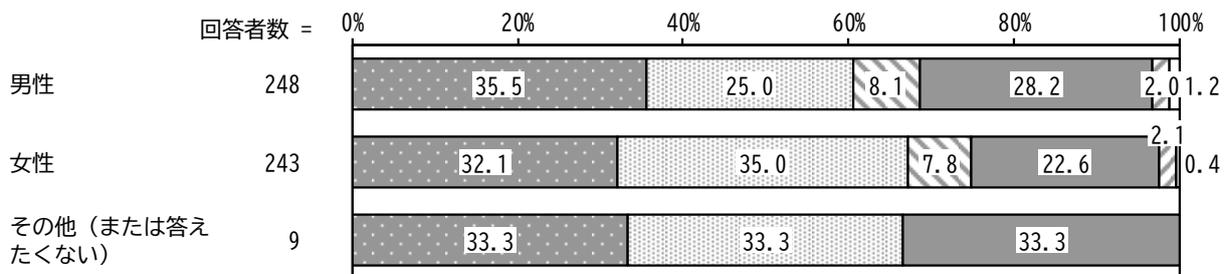
問6-1 あなたは言われた時、どんな気持ちでしたか。(1つだけ選ぶ)

「なぜそう言われるのか不思議に思った」の割合が33.7%と最も高く、次いで「嫌な気持ちでした」の割合が30.0%、「何とも思わなかった」の割合が25.6%となっています。



【性別】

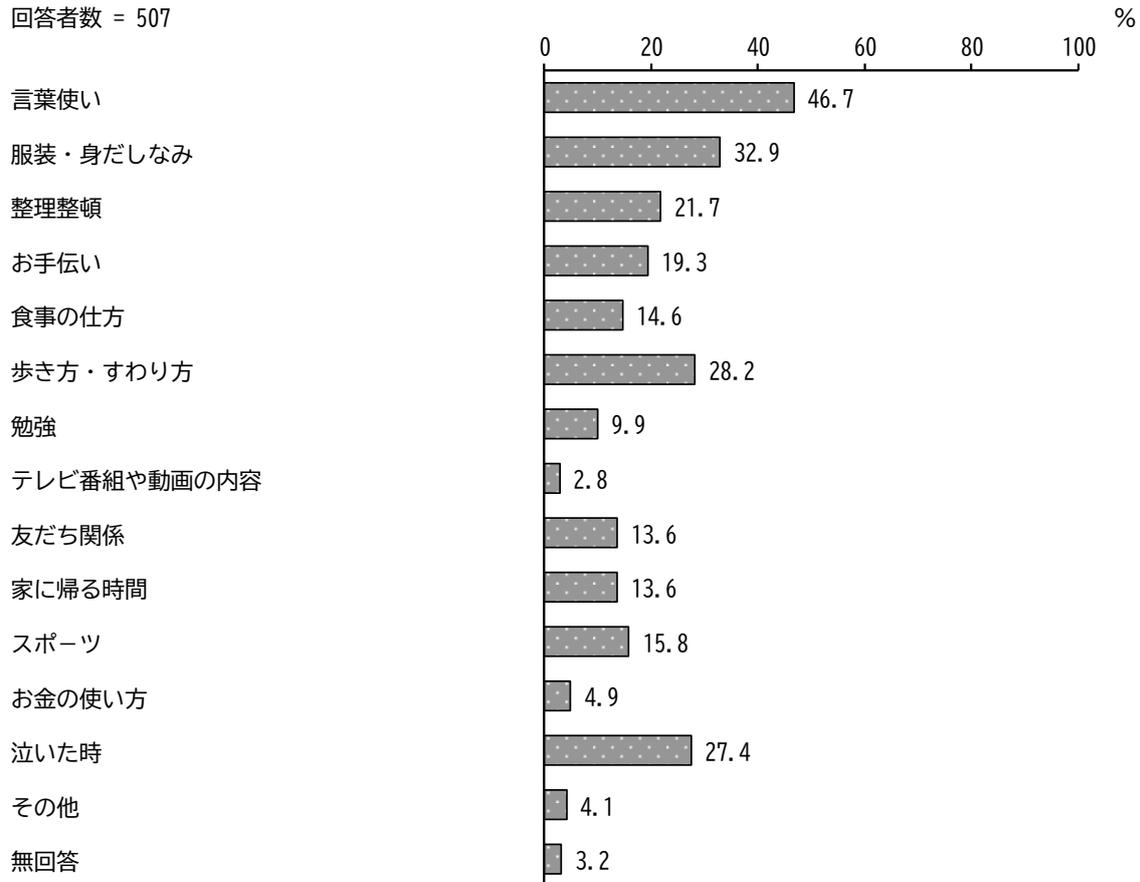
性別にみると、女性で「嫌な気持ちでした」の割合が高くなっています。



問6-2 どんなことについて言われましたか。(いくつでも選んでよい)

「言葉使い」の割合が46.7%と最も高く、次いで「服装・身だしなみ」の割合が32.9%、「歩き方・すわり方」の割合が28.2%となっています。

回答者数 = 507



【性別】

性別にみると、女性で「言葉使い」の割合が高くなっています。

単位：%

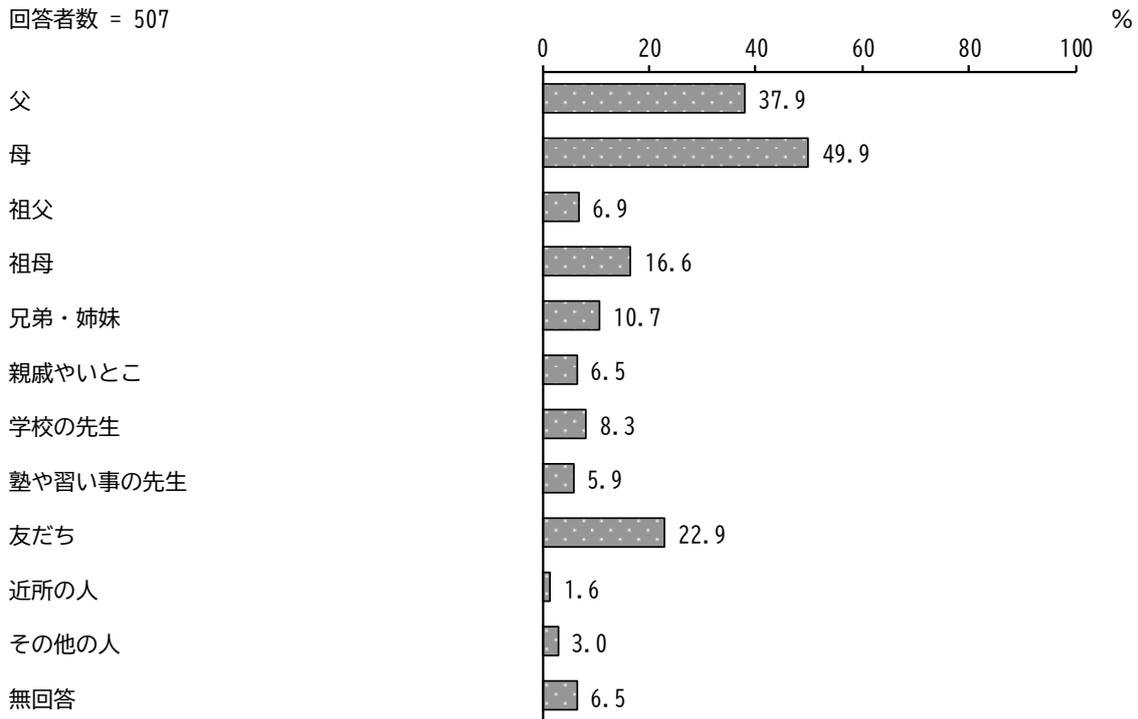
区分	回答者数 (件)	言葉使い	服装・身だしなみ	整理整頓	お手伝い	食事の仕方	歩き方・すわり方	勉強
全体	507	46.7	32.9	21.7	19.3	14.6	28.2	9.9
男性	248	23.8	14.1	12.1	10.9	8.9	6.9	11.3
女性	243	70.4	51.0	31.3	27.6	20.2	49.8	8.6
その他 (または答えたくない)	9	55.6	55.6	33.3	33.3	22.2	55.6	—

区分	テレビ番組や 動画の内容	友だち関係	家に帰る時間	スポーツ	お金の使い方	泣いた時	その他	無回答
全体	2.8	13.6	13.6	15.8	4.9	27.4	4.1	3.2
男性	1.6	11.7	4.4	26.6	4.8	45.2	6.0	4.4
女性	2.9	15.2	22.6	4.5	4.9	9.1	2.5	0.8
その他 (または答えたくない)	22.2	11.1	22.2	22.2	11.1	44.4	—	11.1

問6-3 それはだれに言われましたか。(いくつでも選んでよい)

「母」の割合が49.9%と最も高く、次いで「父」の割合が37.9%、「友だち」の割合が22.9%となっています。

回答者数 = 507



【性別】

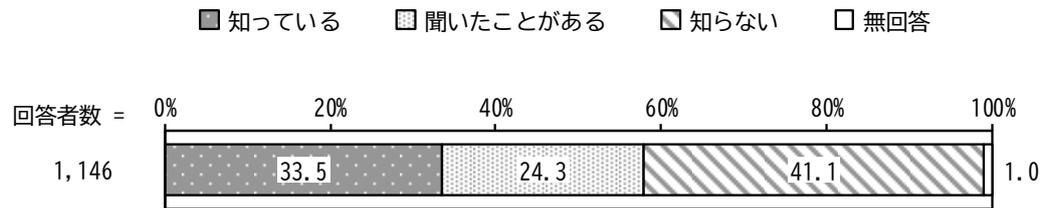
性別にみると、女性で「母」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父	母	祖父	祖母	兄弟・姉妹	親戚やいとこ	学校の先生	塾や習い事の先生	友だち	近所の人	その他の人	無回答
全体	507	37.9	49.9	6.9	16.6	10.7	6.5	8.3	5.9	22.9	1.6	3.0	6.5
男性	248	39.1	38.3	5.2	8.1	9.7	3.6	11.3	8.5	24.6	2.0	4.0	7.3
女性	243	35.8	62.1	8.6	25.1	11.9	8.6	5.8	3.3	20.6	1.2	2.1	4.9
その他(または答えたくない)	9	66.7	55.6	11.1	33.3	11.1	33.3	-	11.1	33.3	-	-	11.1

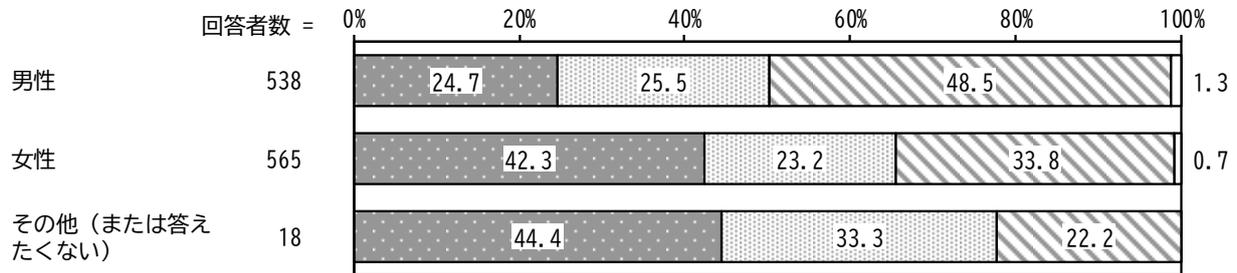
問7 あなたは、「デートDV」という言葉を知っていますか。(1つだけ選ぶ)

「知らない」の割合が41.1%と最も高く、次いで「知っている」の割合が33.5%、「聞いたことがある」の割合が24.3%となっています。



【性別】

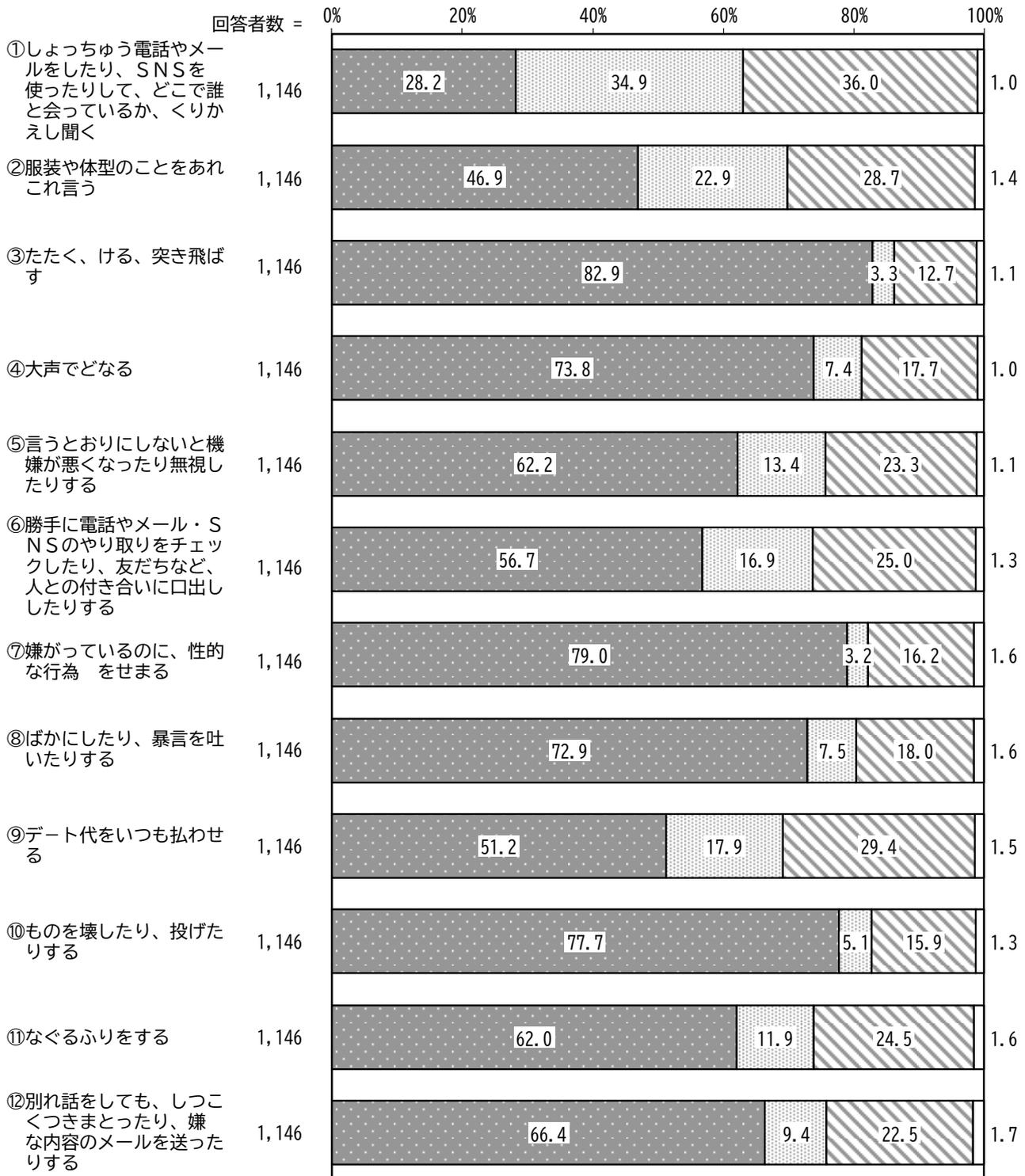
性別にみると、女性で「知っている」の割合が、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



問8 交際中の人同士で、次のようなことが行われた場合、あなたはどのように思いますか。
(それぞれ1つだけ選ぶ)

『①しょっちゅう電話やメールをしたり、SNSを使ったりして、どこで誰と会っているか、くりかえし聞く』で「デートDVではないと思う」の割合が高くなっています。

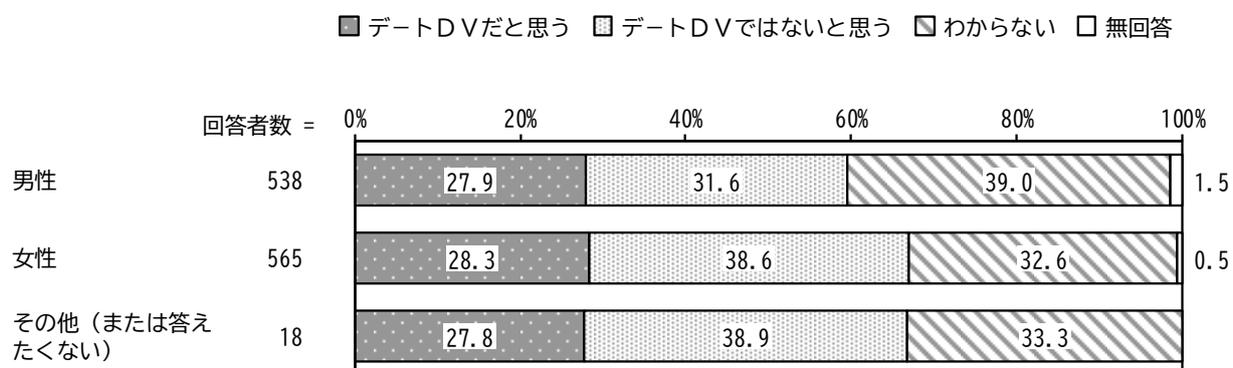
■ デートDVだと思う □ デートDVではないと思う ▨ わからない □ 無回答



①しよっちゅう電話やメールをしたり、SNSを使ったりして、どこで誰と会っているか、くりかえし聞く

【性別】

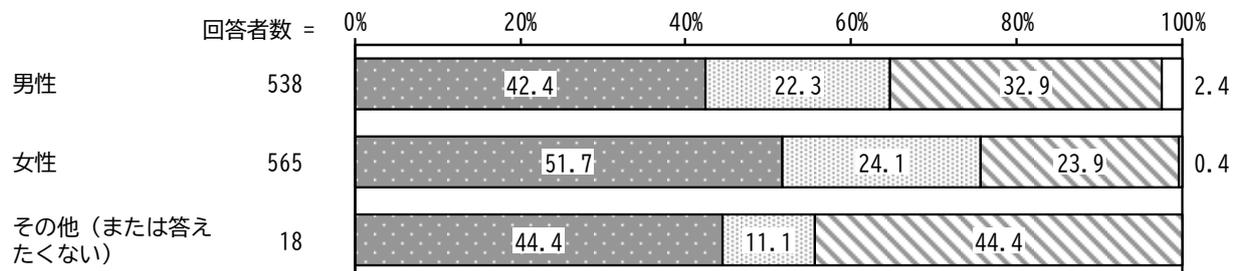
性別にみると、大きな差はみられません。



②服装や体型のことをあれこれ言う

【性別】

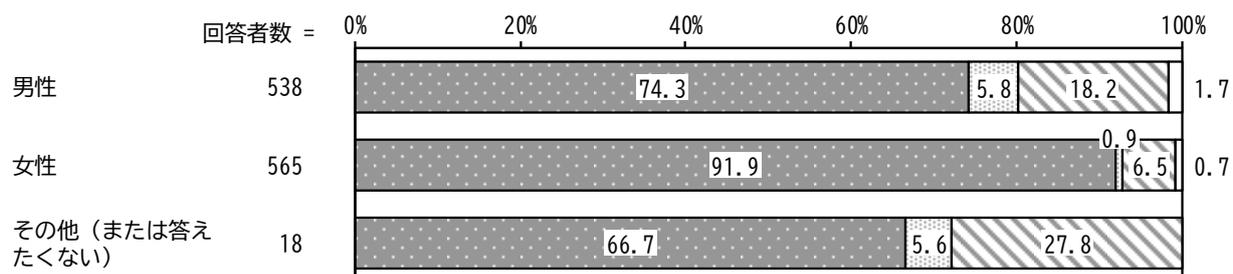
性別にみると、大きな差はみられません。



③たたく、ける、突き飛ばす

【性別】

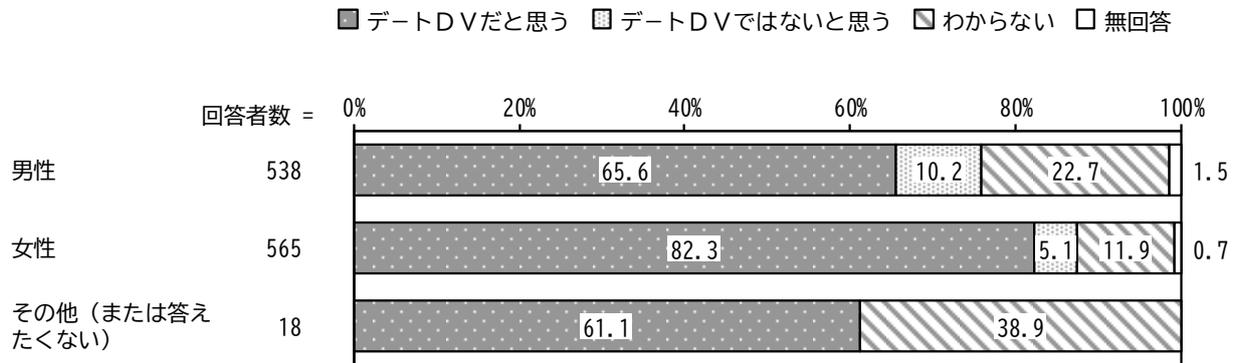
性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



④大声でどなる

【性別】

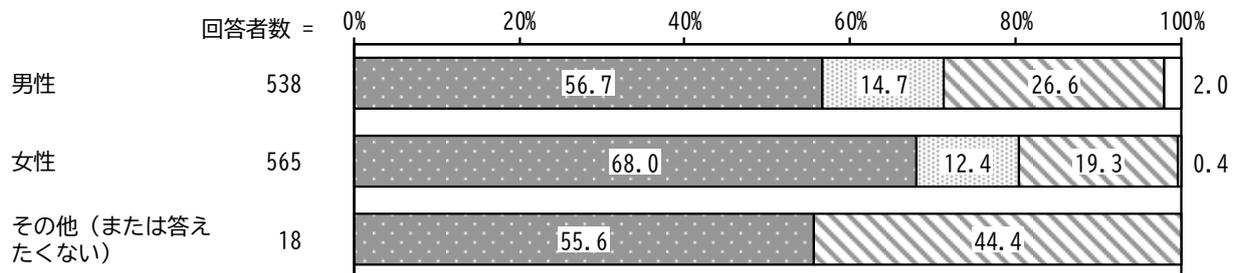
性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



⑤言うとおりにしないと機嫌が悪くなったり無視したりする

【性別】

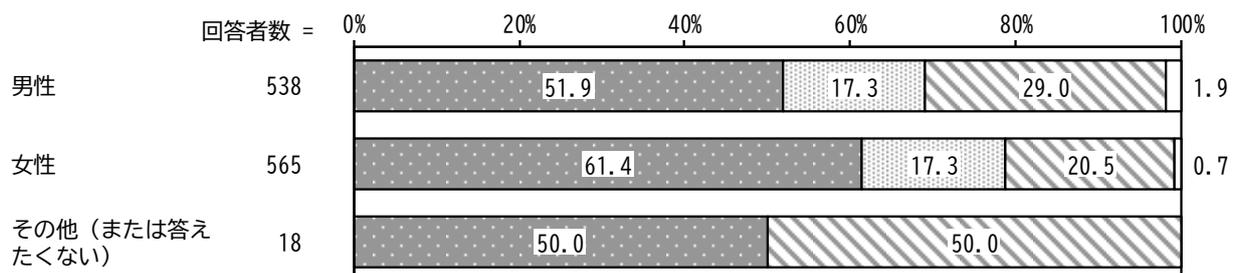
性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



⑥勝手に電話やメール・SNSのやり取りをチェックしたり、友だちなど、人との付き合いに口出ししたりする

【性別】

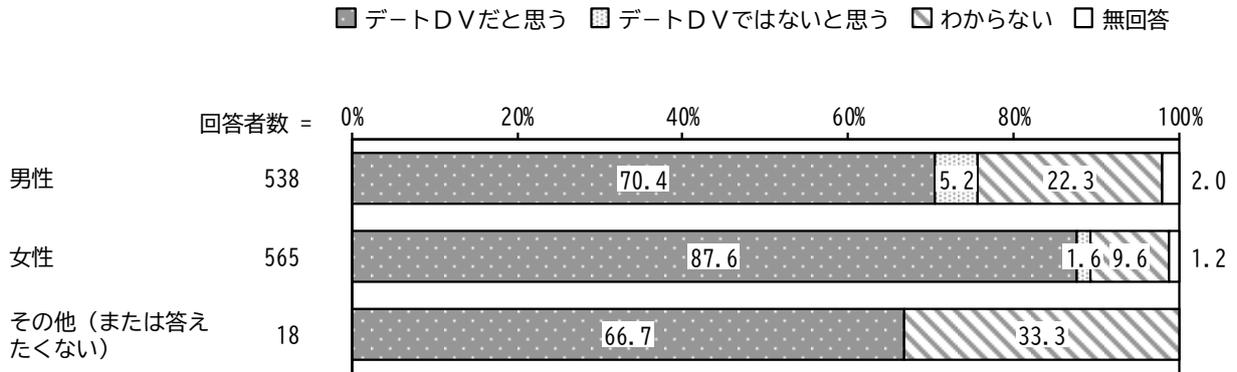
性別にみると、大きな差はみられません。



⑦嫌がっているのに、性的な行為をせまる

【性別】

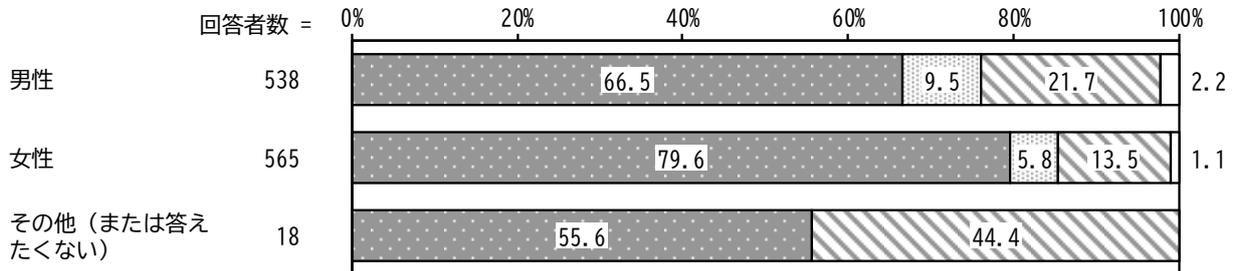
性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



⑧ばかにしたり、暴言を吐いたりする

【性別】

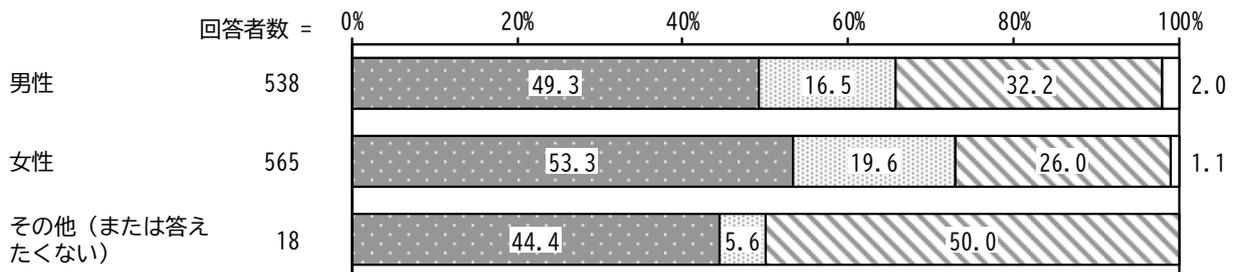
性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



⑨デート代をいつも払わせる

【性別】

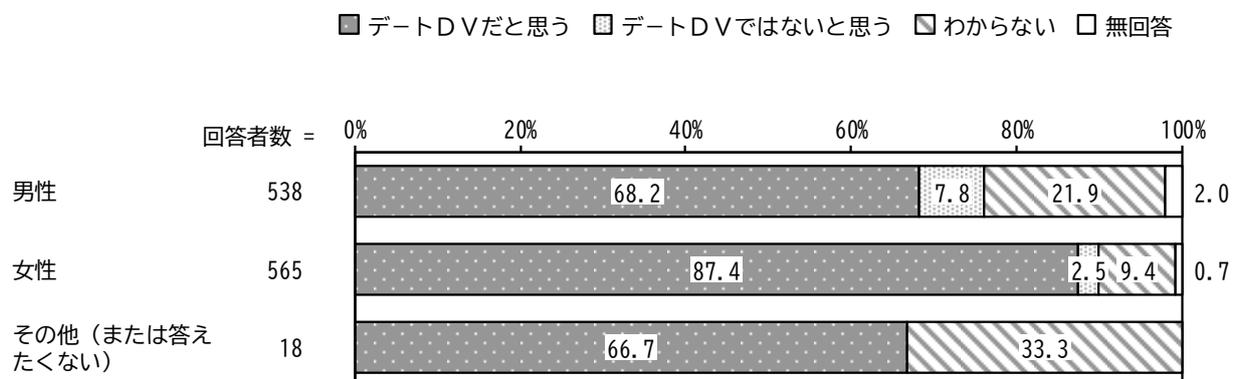
性別にみると、大きな差はみられません。



⑩ものを壊したり、投げたりする

【性別】

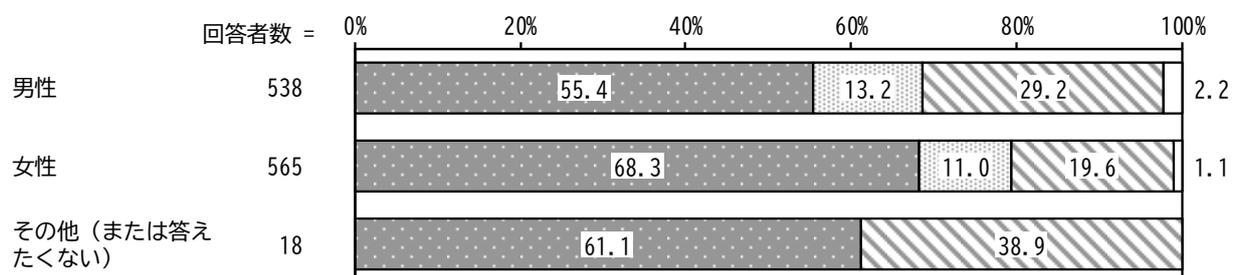
性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



⑪なぐるふりをする

【性別】

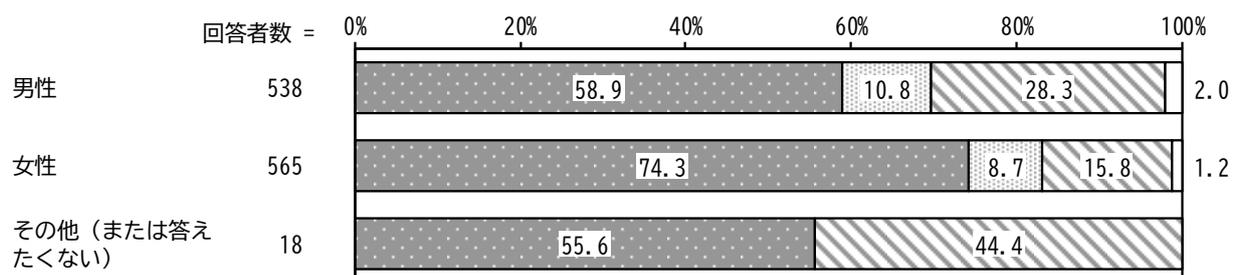
性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



⑫別れ話をしても、しつこくつきまったり、嫌な内容のメールを送ったりする

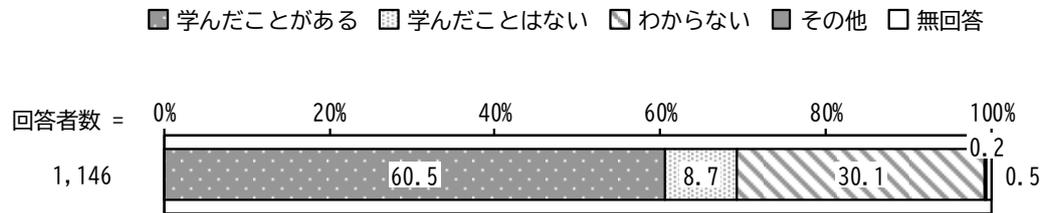
【性別】

性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



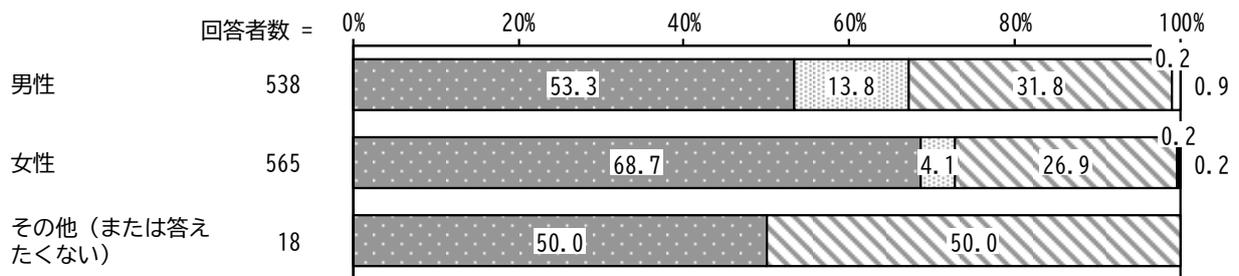
問9 あなたは小・中学校で、これまでに「男女共同参画」（以下のような内容）について、学んだことはありますか？（1つだけ選ぶ）

「学んだことがある」の割合が60.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が30.1%、「学んだことはない」の割合が8.7%となっています。



【性別】

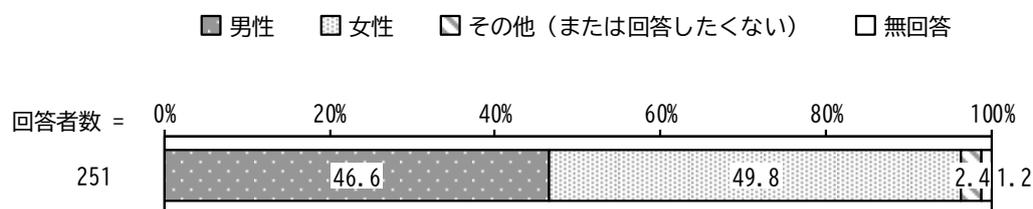
性別にみると、女性で「学んだことがある」の割合が、男性で「学んだことはない」の割合が高くなっています。



4 高校生

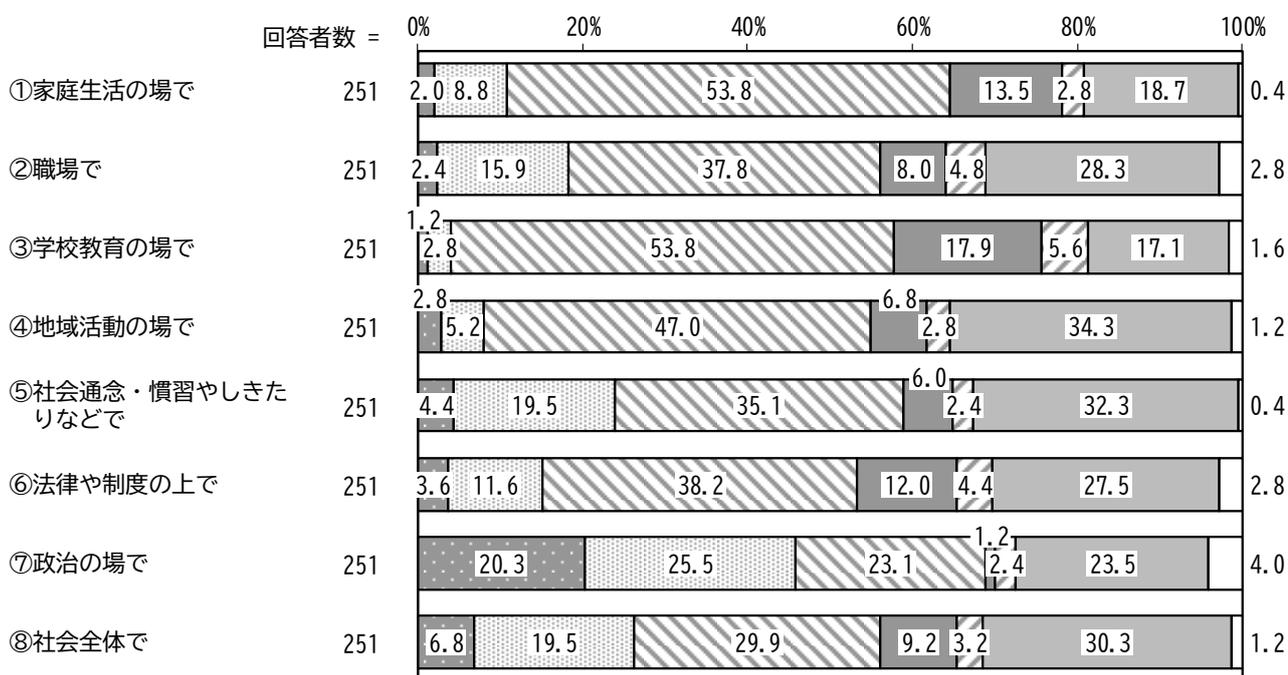
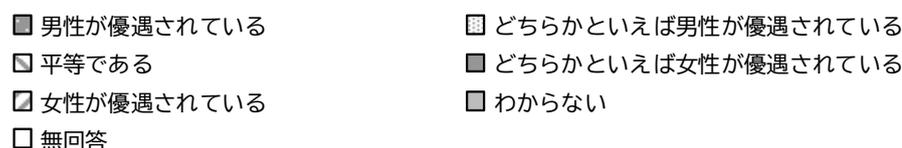
問1 あなたの性別は。(○は1つ)

「女性」の割合が49.8%、「男性」の割合が46.6%となっています。



問2 あなたは、次の分野で男女が平等であると思いますか。(それぞれに○は1つ)

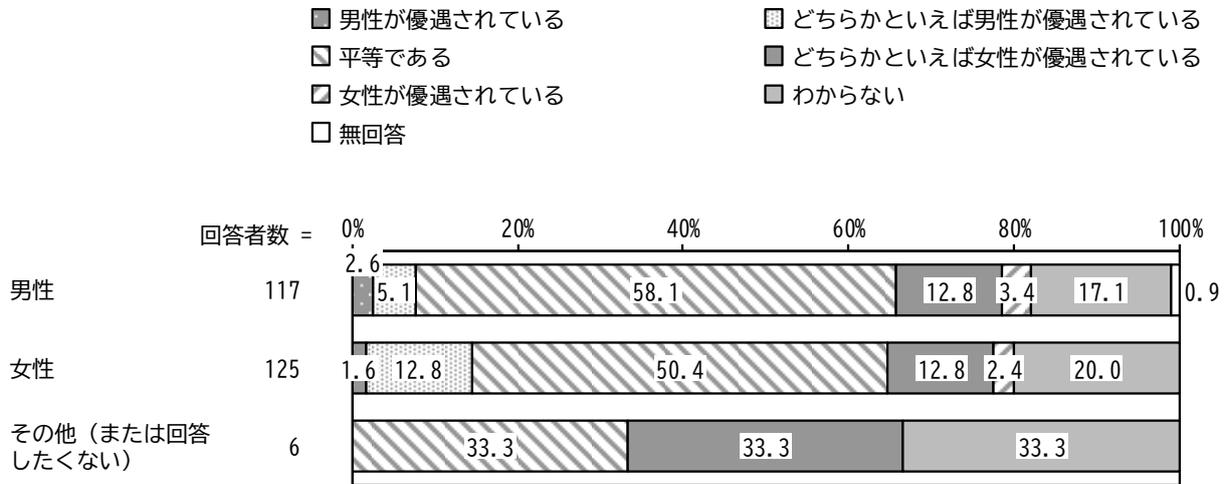
『①家庭生活の場で』『③学校教育の場で』で「平等である」の割合が、『⑦政治の場で』で「男性が優遇されている」の割合が高くなっています。



①家庭生活の中で

【性別】

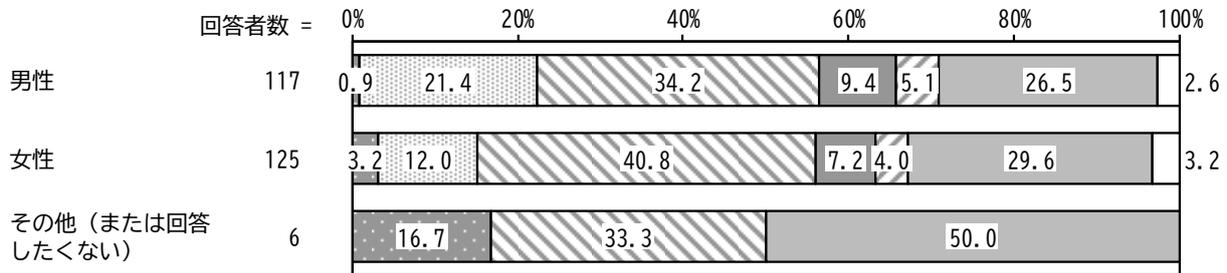
性別にみると、大きな差はみられません。



②職場で

【性別】

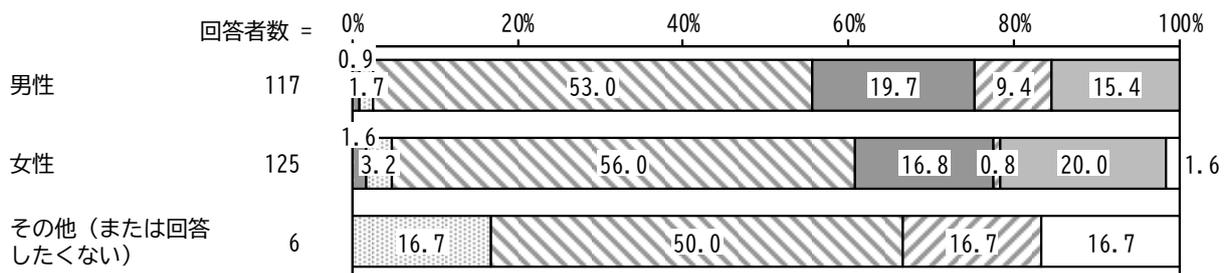
性別にみると、男性で「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高くなっています。



③学校教育の中で

【性別】

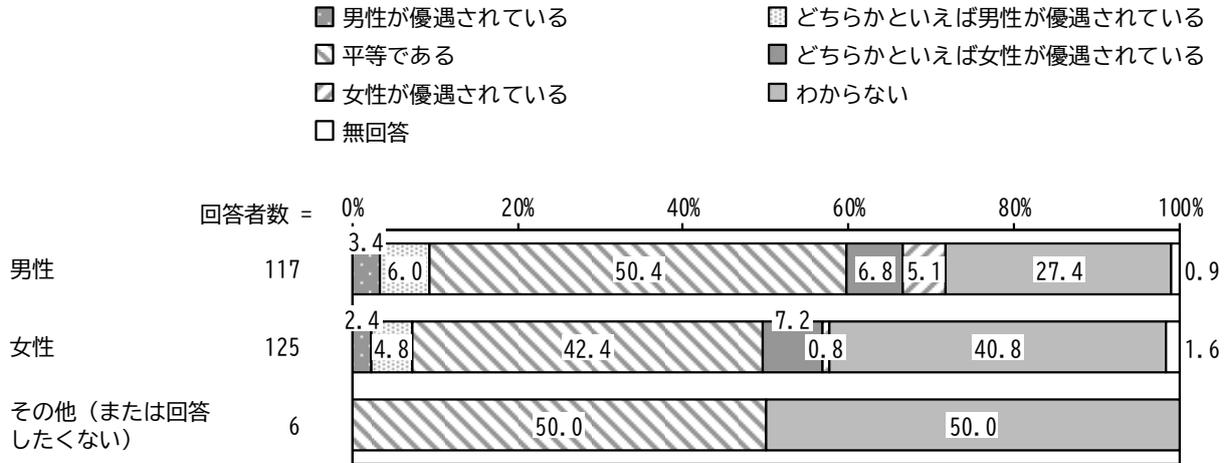
性別にみると、大きな差はみられません。



④地域活動の場で

【性別】

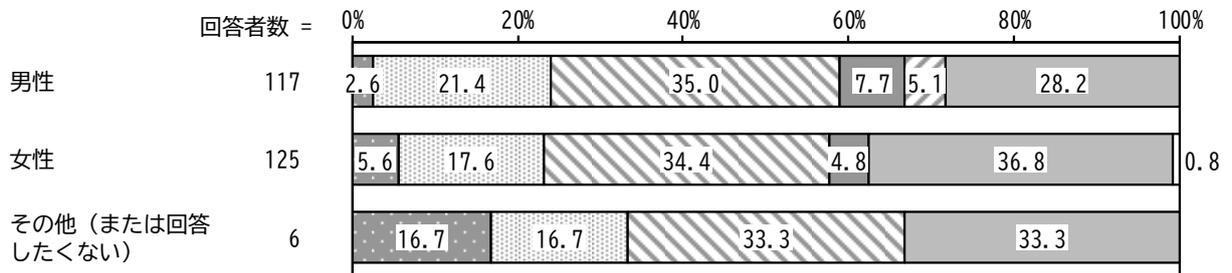
性別にみると、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



⑤社会通念・慣習やしきたりなどで

【性別】

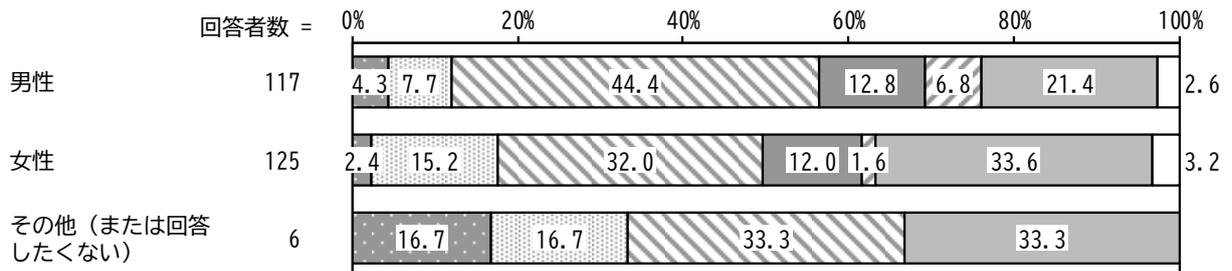
性別にみると、大きな差はみられません。



⑥法律や制度の上で

【性別】

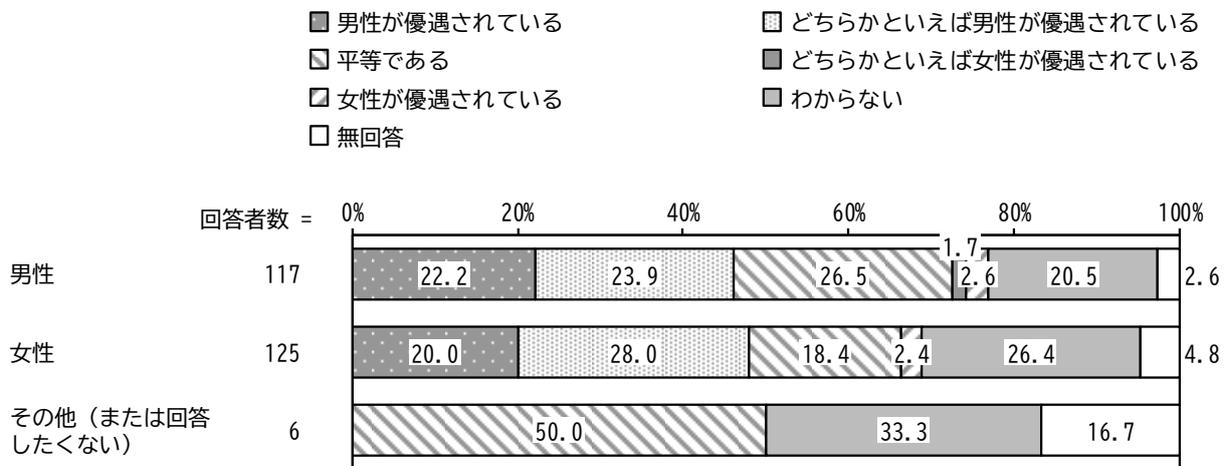
性別にみると、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



⑦政治の場で

【性別】

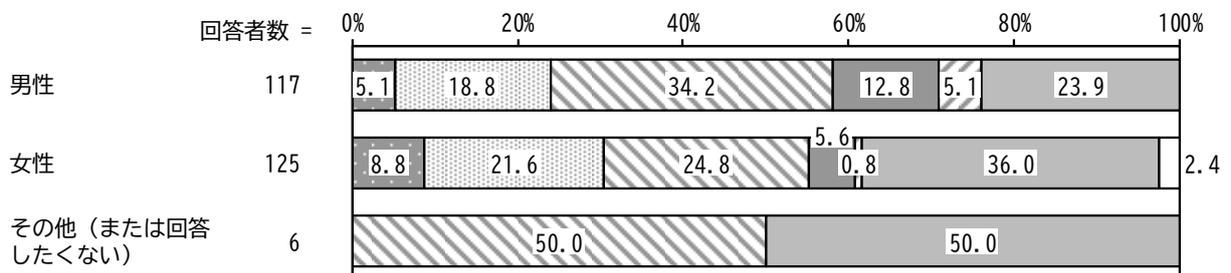
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧社会全体で

【性別】

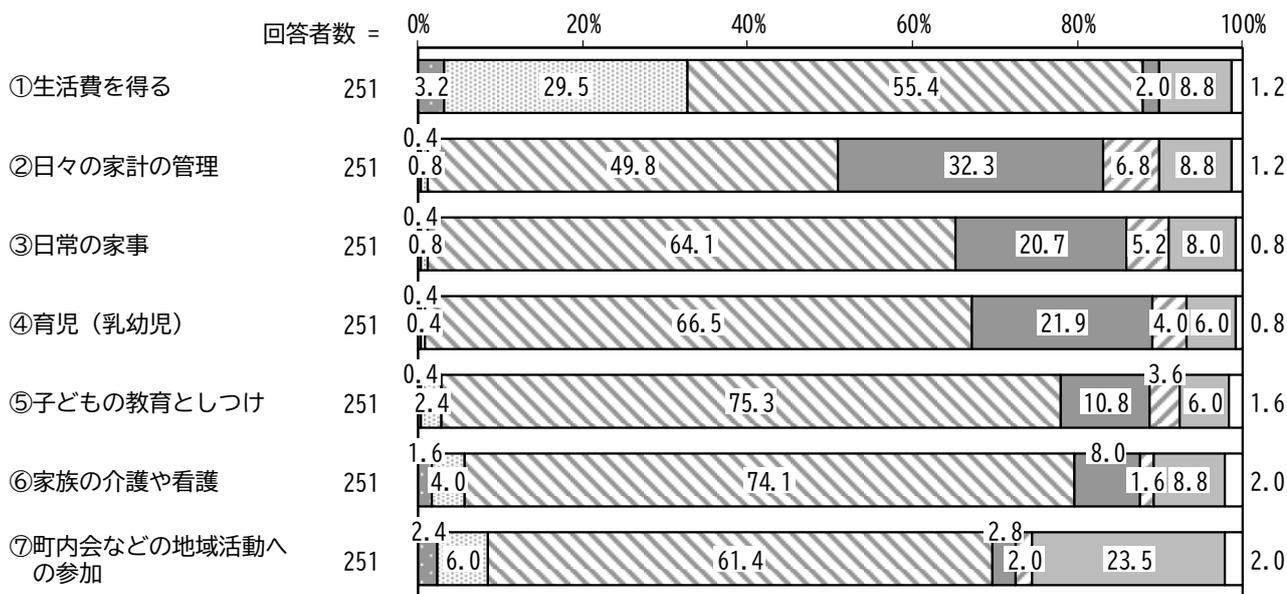
性別にみると、女性で「わからない」の割合が高くなっています。



問3 次のことについて、あなたの希望としては、男女でどのように分担したいと思いますか。(それぞれ1つだけ選ぶ)

『①生活費を得る』で「男性が中心だが、女性も手伝う」の割合が、『②日々の家計の管理』で「女性が中心だが、男性も手伝う」の割合が高くなっています。また、『⑦町内会などの地域活動への参加』で「わからない」の割合が高くなっています。

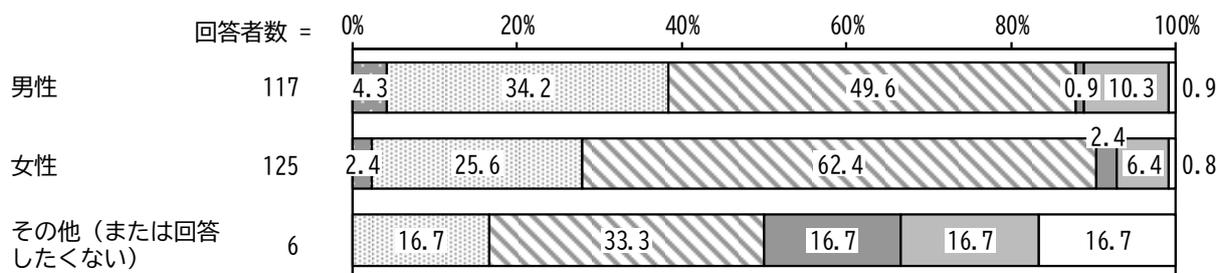
- ほとんど男性が行う
- 男性が中心だが、女性も手伝う
- 男性と女性が分担して行う
- 女性が中心だが、男性も手伝う
- ほとんど女性が行う
- わからない
- 無回答



①生活費を得る

【性別】

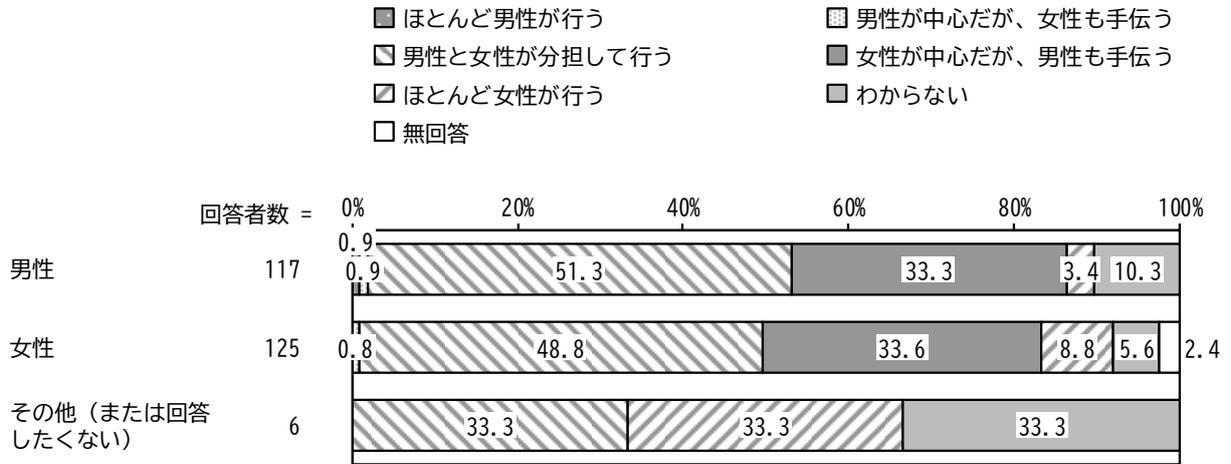
性別にみると、女性で「男性と女性が分担して行う」の割合が高くなっています。



②日々の家計の管理

【性別】

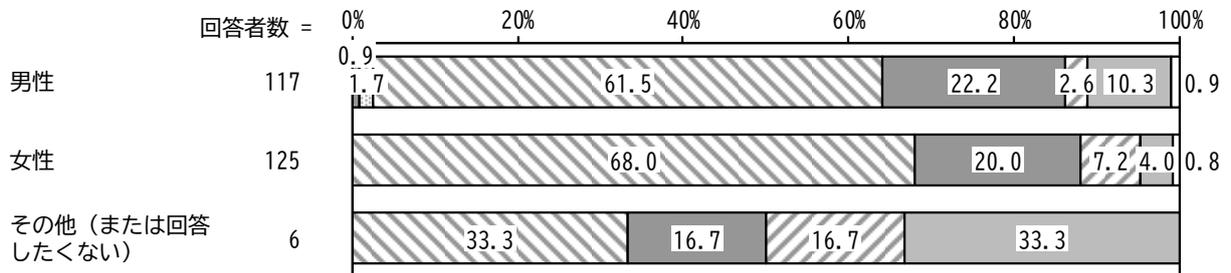
性別にみると、大きな差はみられません。



③日常の家事

【性別】

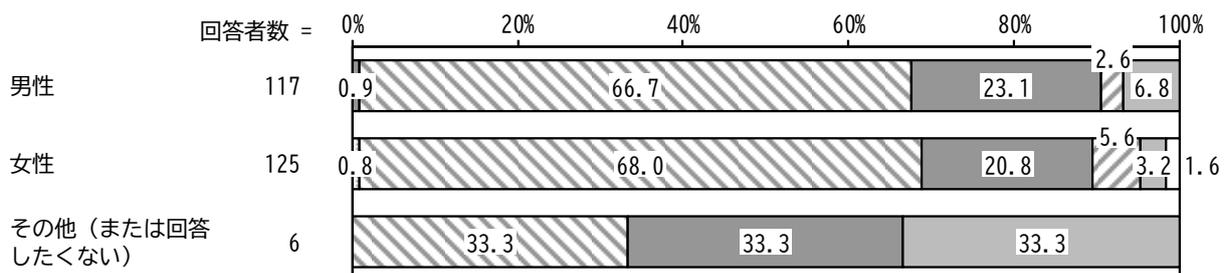
性別にみると、大きな差はみられません。



④育児 (乳幼児)

【性別】

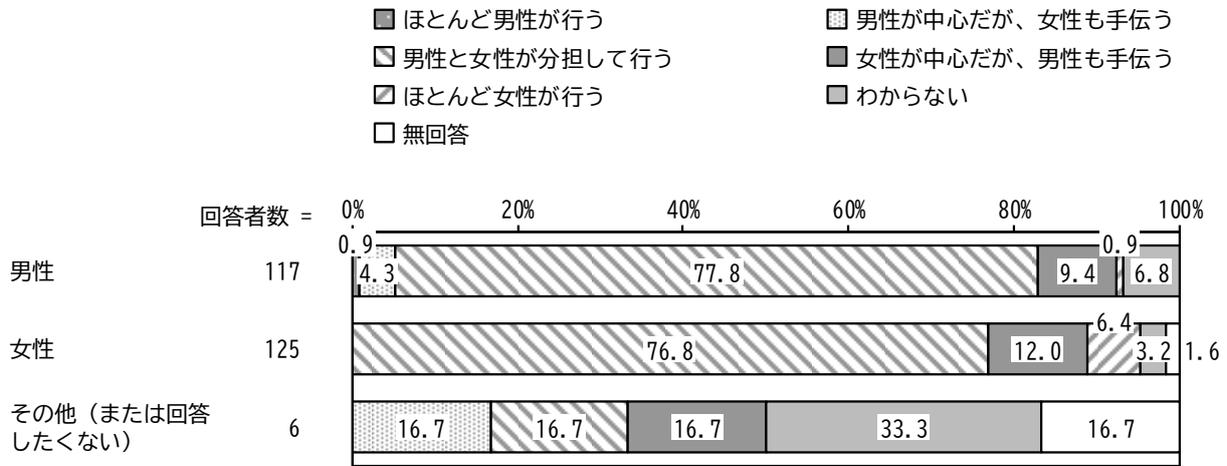
性別にみると、大きな差はみられません。



⑤子どもの教育としつけ

【性別】

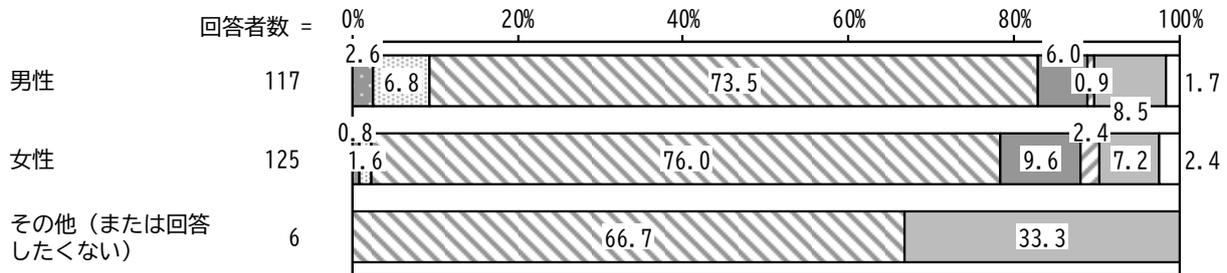
性別にみると、大きな差はみられません。



⑥家族の介護や看護

【性別】

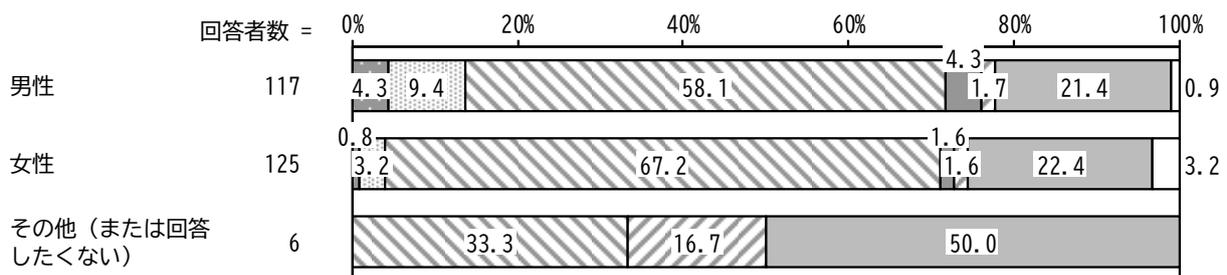
性別にみると、大きな差はみられません。



⑦町内会などの地域活動への参加

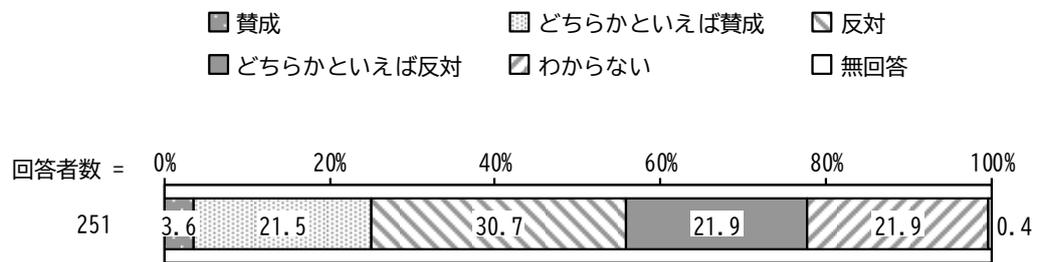
【性別】

性別にみると、女性で「男性と女性が分担して行う」の割合が高くなっています。



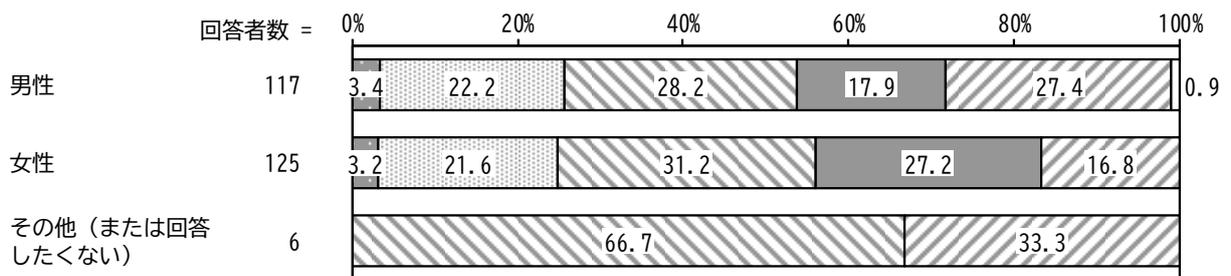
問4 あなたは、「男は仕事をし、女は家事・育児をすべきである」という考え方について、どのように思いますか。(〇は1つ)

「反対」の割合が30.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば反対」、「わからない」の割合が21.9%となっています。



【性別】

性別にみると、女性で「どちらかといえば反対」の割合が高くなっています。

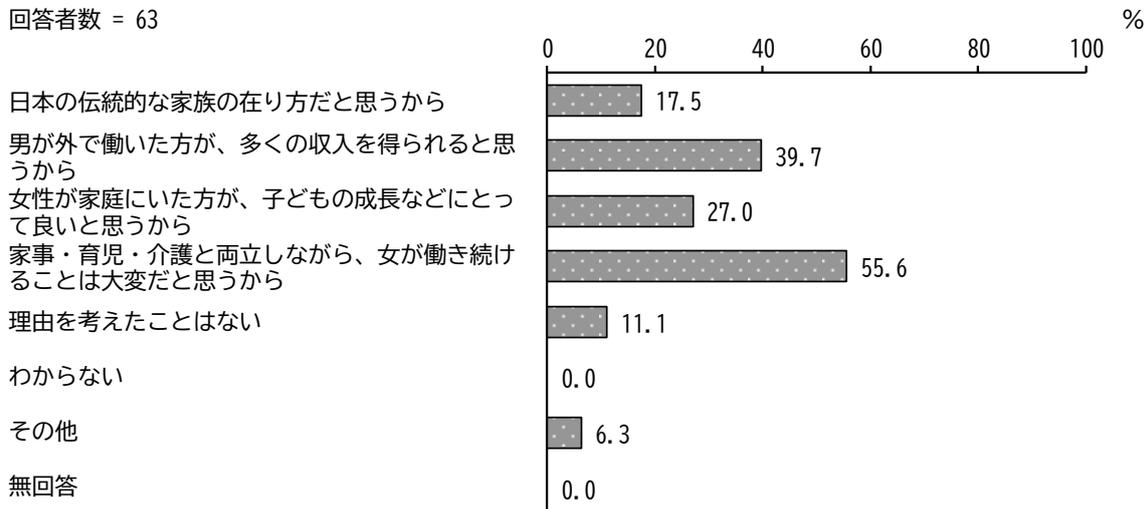


【問4で「賛成」「どちらかといえば賛成」に○をつけた方におたずねします。】

問4-1 その理由は以下のどれに近いですか。(○はいくつでも)

「家事・育児・介護と両立しながら、女が働き続けることは大変だと思うから」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「男が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」の割合が 39.7%、「女性が家庭にいた方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」の割合が 27.0%となっています。

回答者数 = 63



【性別】

性別にみると、男性で「理由を考えたことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

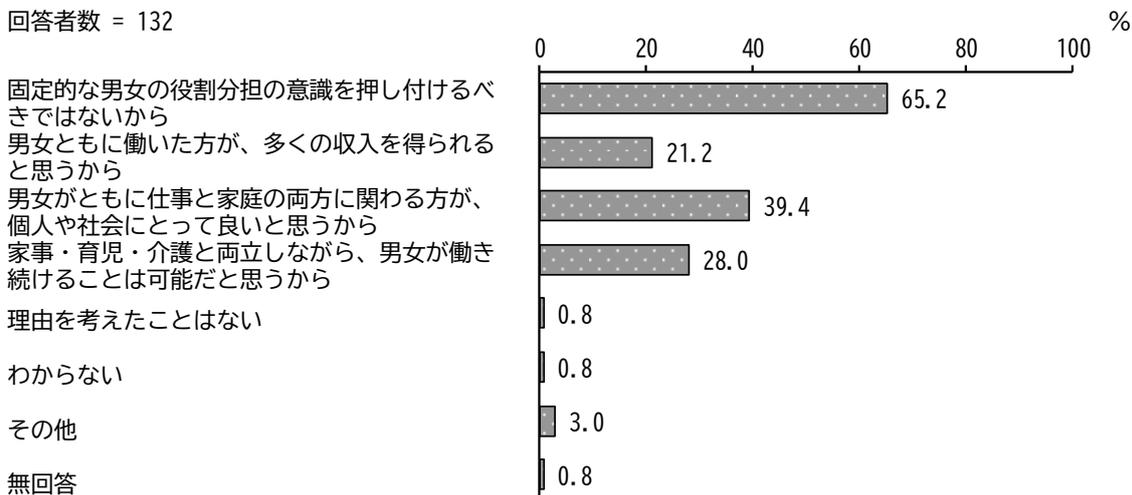
区分	回答者数(件)	日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	男が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	女性が家庭にいた方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、女が働き続けることは大変だと思うから	理由を考えたことはない	わからない	その他	無回答
全体	63	17.5	39.7	27.0	55.6	11.1	-	6.3	-
男性	30	20.0	30.0	20.0	53.3	20.0	-	3.3	-
女性	31	9.7	45.2	29.0	54.8	3.2	-	9.7	-
その他(または回答したくない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問4で「反対」「どちらかといえば反対」に○をつけた方におたずねします。】

問4-2 その理由は以下のどれに近いですか。(○はいくつでも)

「固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきではないから」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「男女がともに仕事と家庭の両方に関わる方が、個人や社会にとって良いと思うから」の割合が 39.4%、「家事・育児・介護と両立しながら、男女が働き続けることは可能だと思うから」の割合が 28.0%となっています。

回答者数 = 132



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

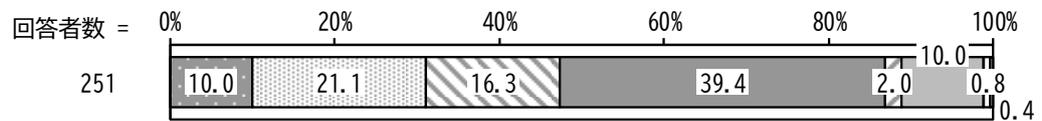
単位：%

区分	回答者数(件)	固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきではないから	男女ともに働いた方が、多くの収入を得られると思うから	男女がともに仕事と家庭の両方に関わる方が、個人や社会にとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、男女が働き続けることは可能だと思うから	理由を考えたことはない	わからない	その他	無回答
全体	132	65.2	21.2	39.4	28.0	0.8	0.8	3.0	0.8
男性	54	61.1	22.2	37.0	22.2	-	-	3.7	-
女性	73	68.5	20.5	41.1	31.5	-	1.4	-	1.4
その他(または回答したくない)	4	75.0	25.0	25.0	50.0	25.0	-	50.0	-

問5 あなたが理想と考える将来の働き方はどのようなものですか。(〇は1つ)

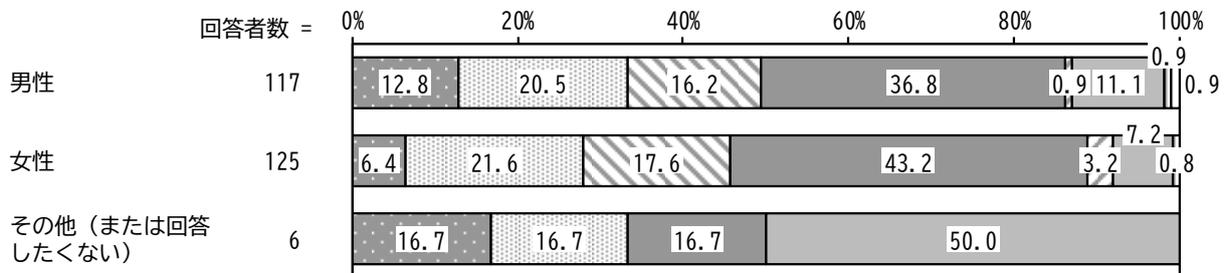
「仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「出世しなくてよいから、自分にあった仕事を長く続け、力を発揮したい」の割合が 21.1%、「家庭生活の充実を第一に考え、仕事は無理のない範囲でしたい」の割合が 16.3%となっています。

- 経営者や管理職になり、仕事で自分の力を発揮したい
- ▨ 出世しなくてよいから、自分にあった仕事を長く続け、力を発揮したい
- ▩ 家庭生活の充実を第一に考え、仕事は無理のない範囲でしたい
- 仕事と家庭を両立し、どちらも充実した生活のできる働き方をしたい
- ▨ できれば仕事はせず、家庭で家事・子育てをしたい
- わからない
- ▨ その他
- 無回答



【性別】

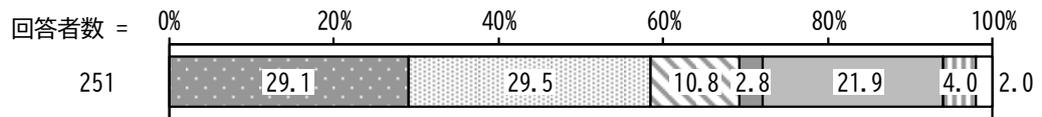
性別にみると、大きな差はみられません。



問6 女性が職業をもつことについて、あなたはどのように考えますか。(〇は1つ)

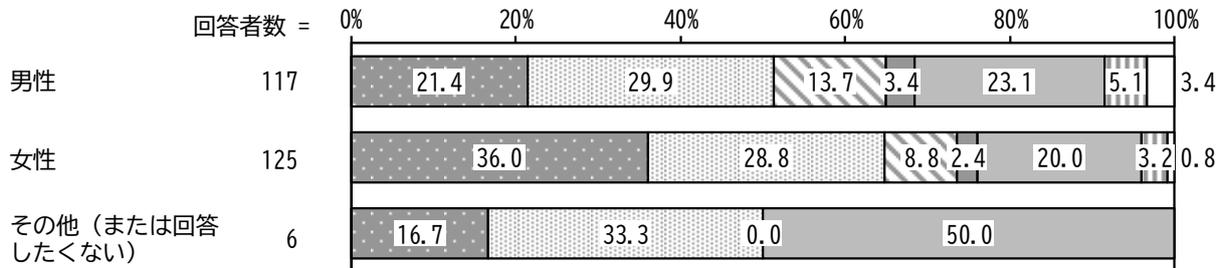
「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合が29.5%と最も高く、次いで「職業をもち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける方がよい」の割合が29.1%、「わからない」の割合が21.9%となっています。

- 職業をもち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける方がよい
- ▨ 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- ▩ 子どもができるまでは職業をもつ方がよい
- 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- ▨ 女性は職業をもたない方がよい
- わからない
- ▨ その他
- 無回答



【性別】

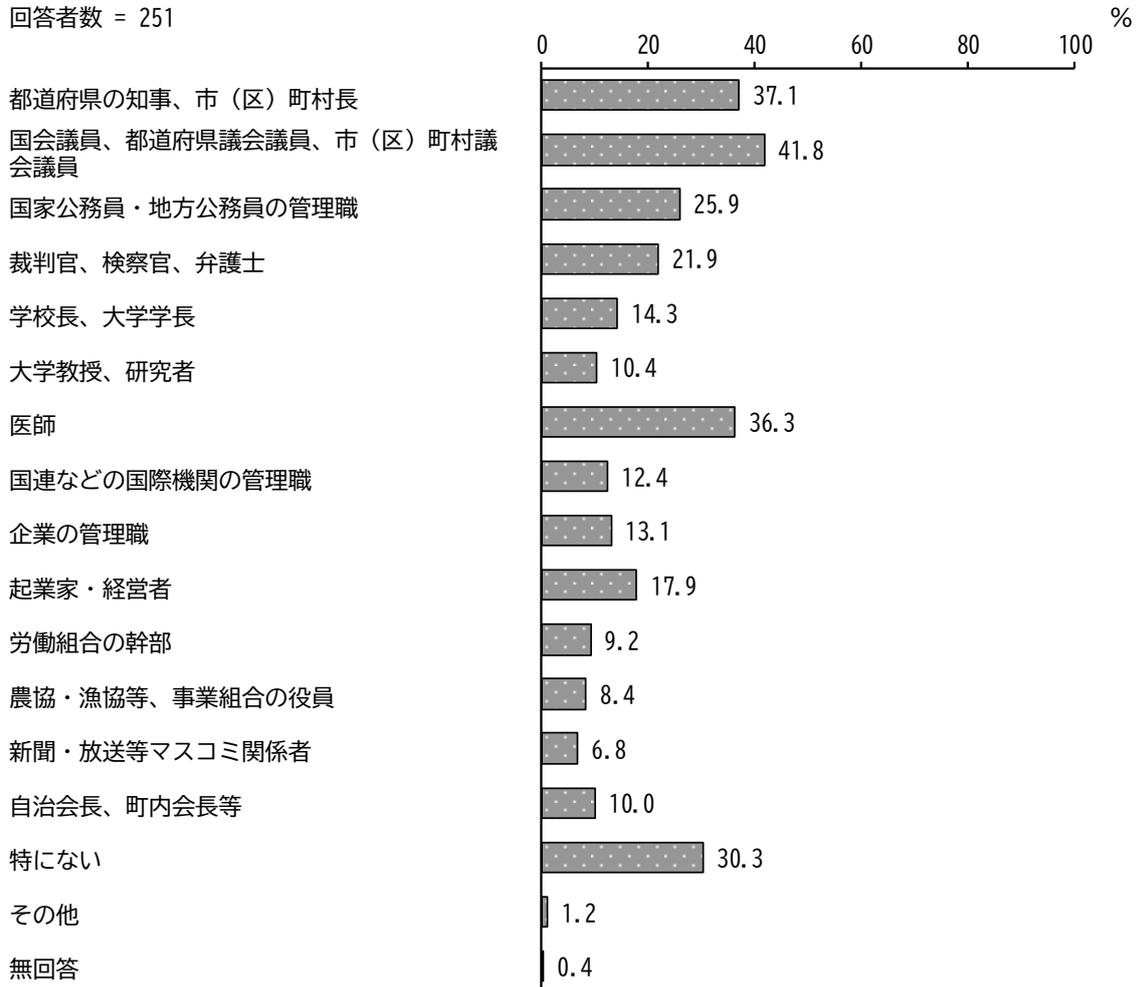
性別にみると、女性で「職業をもち、結婚や出産に関わらず仕事を続ける方がよい」の割合が高くなっています。



問7 次にあげるような職業や役職において、今後女性がもっと増える方が良いと思うのはどれですか。(〇はいくつでも)

「国会議員、都道府県議会議員、市（区）町村議会議員」の割合が41.8%と最も高く、次いで「都道府県の知事、市（区）町村長」の割合が37.1%、「医師」の割合が36.3%となっています。

回答者数 = 251



【性別】

性別にみると、女性で「医師」の割合が高くなっています。

単位：％

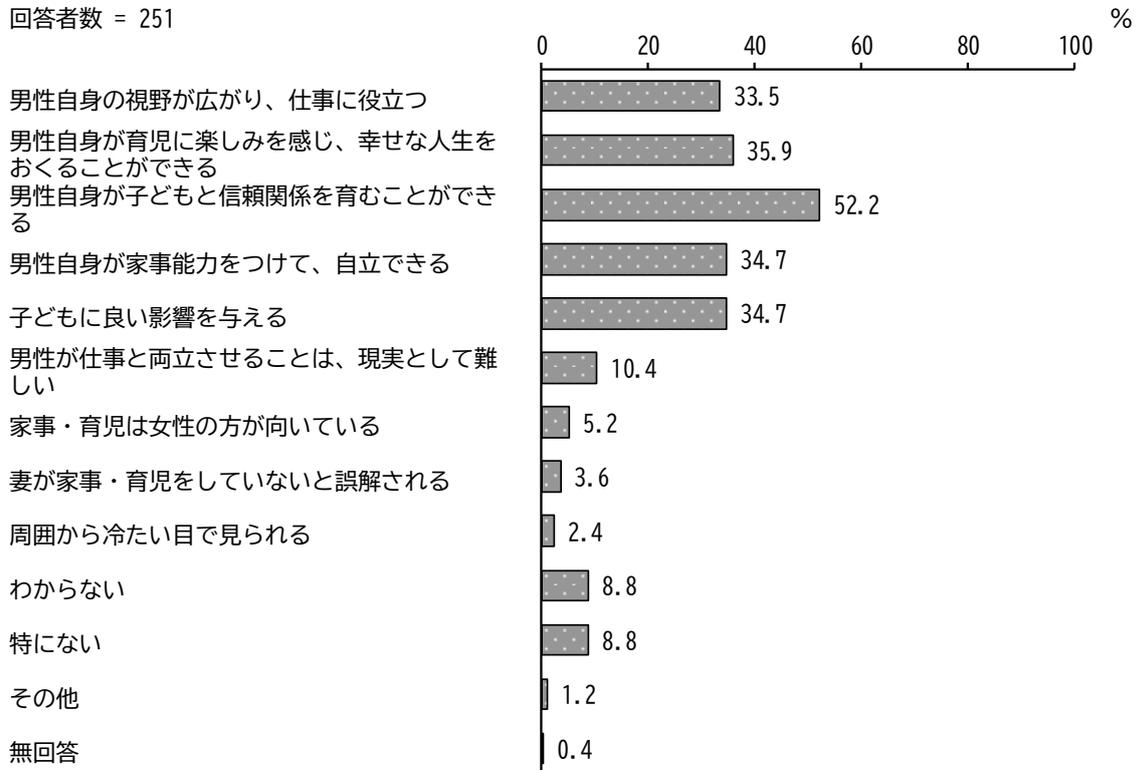
区分	回答者数(件)	都道府県の知事、市(区)町村長	国会議員、都道府県議会議員、市(区)町村議会議員	国家公務員・地方公務員の管理職	裁判官、検察官、弁護士	学校長、大学学長	大学教授、研究者	医師	国連などの国際機関の管理職
全体	251	37.1	41.8	25.9	21.9	14.3	10.4	36.3	12.4
男性	117	34.2	37.6	22.2	17.1	12.0	9.4	23.1	11.1
女性	125	39.2	45.6	30.4	25.6	16.0	11.2	48.0	13.6
その他(または回答したくない)	6	50.0	33.3	—	33.3	—	—	33.3	—

区分	企業の管理職	起業家・経営者	労働組合の幹部	農協・漁協等、事業組合の役員	新聞・放送等マスコミ関係者	自治会長、町内会長等	特にない	その他	無回答
全体	13.1	17.9	9.2	8.4	6.8	10.0	30.3	1.2	0.4
男性	13.7	17.1	7.7	6.8	8.5	12.0	34.2	2.6	—
女性	12.8	17.6	9.6	9.6	4.8	8.0	25.6	—	0.8
その他(または回答したくない)	—	16.7	16.7	—	—	—	50.0	—	—

問8 男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージを持っていますか。
(〇はいくつでも)

「男性自身が子どもと信頼関係を育むことができる」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「男性自身が育児に楽しみを感じ、幸せな人生をおくることができる」の割合が 35.9%、「男性自身が家事能力をつけて、自立できる」、「子どもに良い影響を与える」の割合が 34.7%となっています。

回答者数 = 251



【性別】

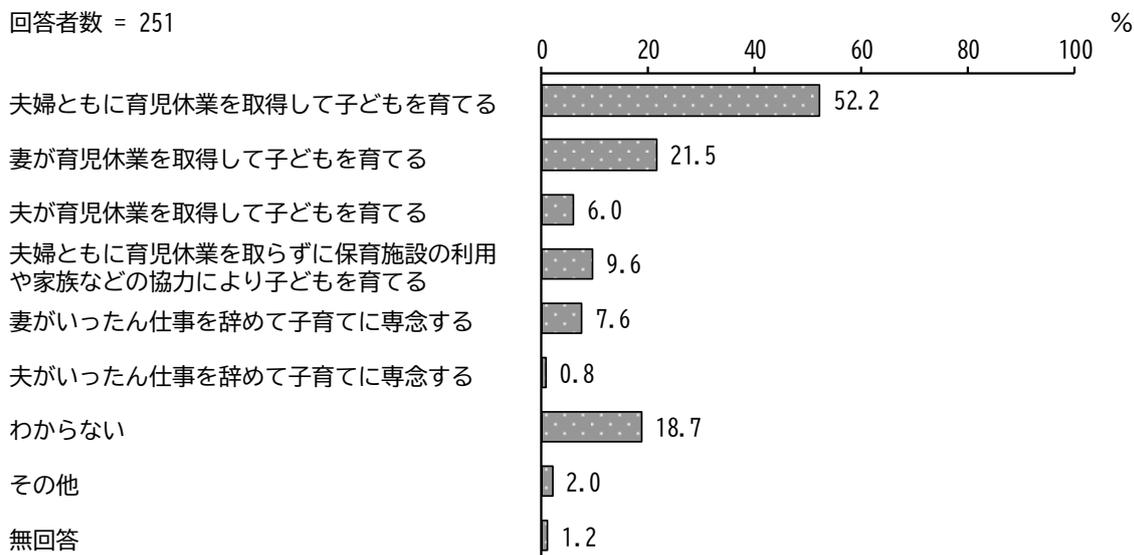
性別にみると、女性で「男性自身が子どもと信頼関係を育むことができる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	男性自身の視野が広がり、仕事に役立つ	男性自身が育児に楽しみを感じ、幸せな人生をおくることができる	男性自身が子どもと信頼関係を育むことができる	男性自身が家事能力をつけて、自立できる	子どもに良い影響を与える	男性が仕事と両立させることは、現実として難しい	家事・育児は女性の方が向いている	妻が家事・育児をしていないと誤解される	周囲から冷たい目で見られる	わからない	特にない	その他	無回答
全体	251	33.5	35.9	52.2	34.7	34.7	10.4	5.2	3.6	2.4	8.8	8.8	1.2	0.4
男性	117	32.5	34.2	43.6	29.1	29.1	13.7	6.8	0.9	0.9	9.4	11.1	—	—
女性	125	33.6	36.0	59.2	39.2	39.2	7.2	3.2	4.0	2.4	8.0	5.6	1.6	0.8
その他 (または回答したくない)	6	16.7	33.3	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	—

問9 もしあなたが将来子どもを持ったとき、子育てをどのように行っていきたいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「妻が育児休業を取得して子どもを育てる」の割合が 21.5%、「わからない」の割合が 18.7%となっています。



【性別】

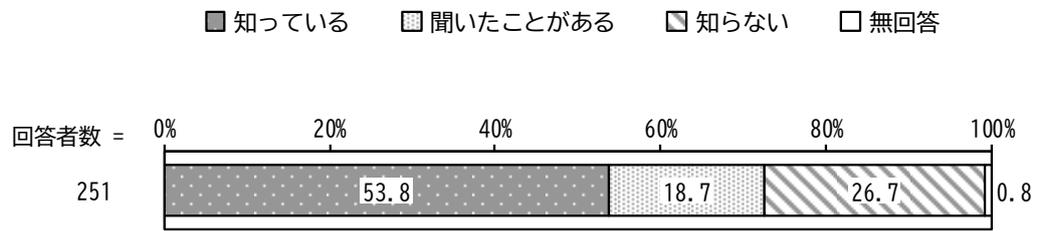
性別にみると、男性で「わからない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	夫婦ともに育児休業を取得して子どもを育てる	妻が育児休業を取得して子どもを育てる	夫が育児休業を取得して子どもを育てる	夫婦ともに育児休業を取らずに保育施設の利用や家族などの協力により子どもを育てる	妻がいったん仕事を辞めて子育てに専念する	夫がいったん仕事を辞めて子育てに専念する	わからない	その他	無回答
全体	251	52.2	21.5	6.0	9.6	7.6	0.8	18.7	2.0	1.2
男性	117	50.4	17.9	5.1	7.7	4.3	1.7	24.8	2.6	0.9
女性	125	56.8	23.2	4.8	10.4	10.4	—	12.8	1.6	0.8
その他 (または回答したくない)	6	16.7	50.0	16.7	33.3	—	—	33.3	—	16.7

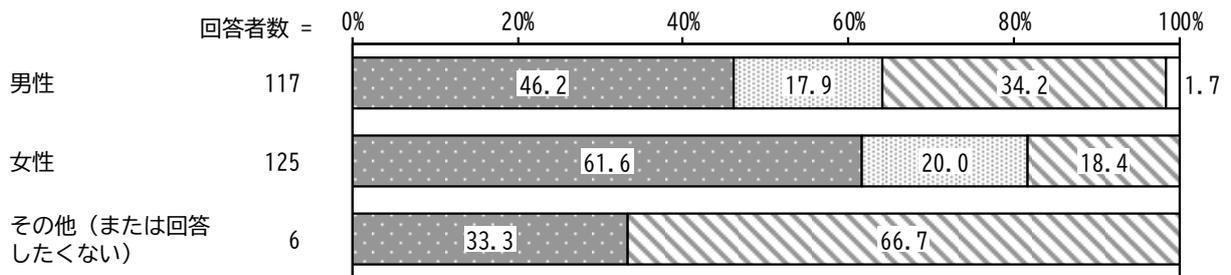
問10 あなたは、「デートDV」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

「知っている」の割合が53.8%と最も高く、次いで「知らない」の割合が26.7%、「聞いたことがある」の割合が18.7%となっています。



【性別】

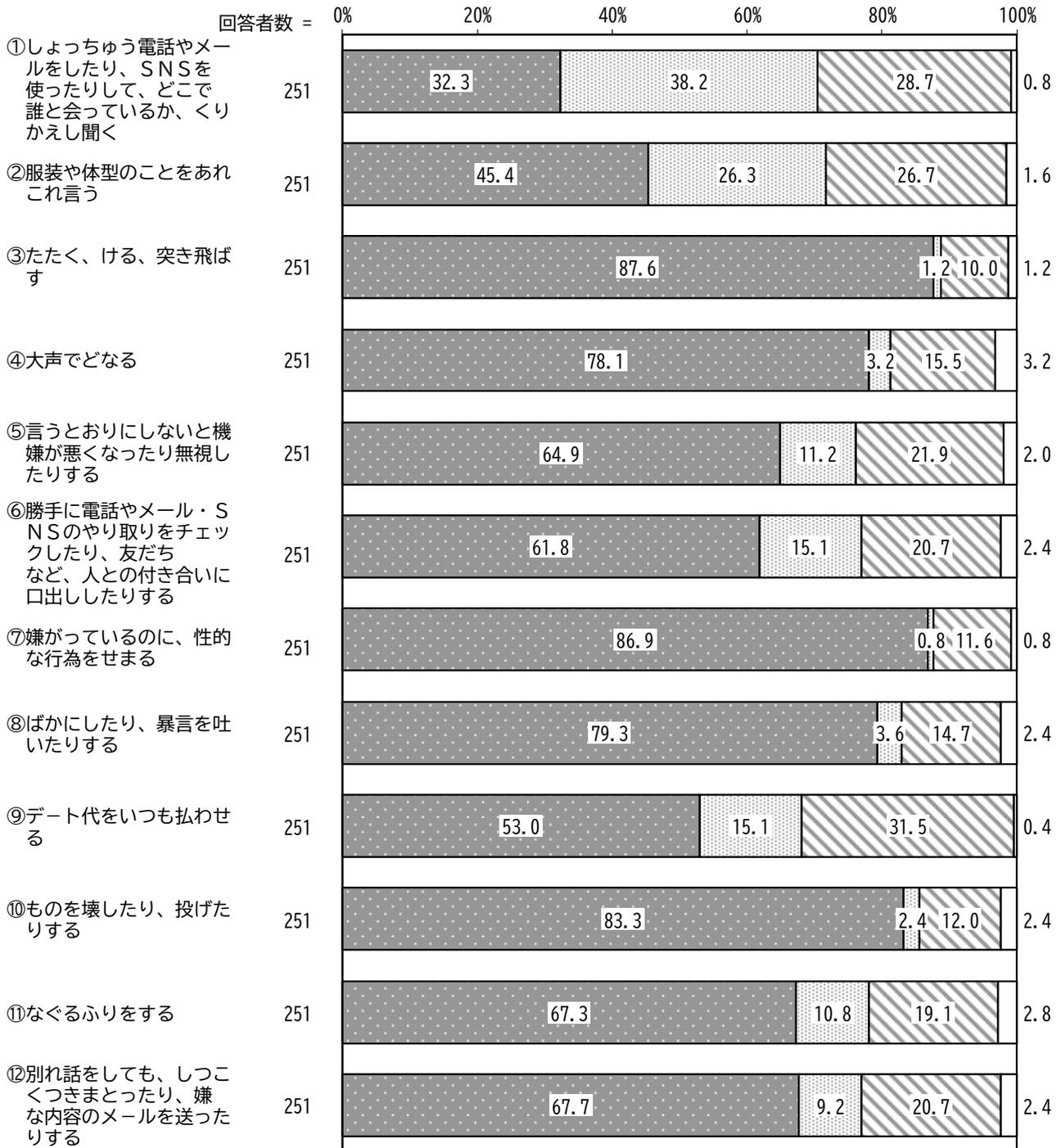
性別にみると、女性で「知っている」の割合が高くなっています。



問 11 交際中の人同士で、次のようなことが行われた場合、あなたはどのように思いますか。
(○はそれぞれ1つ)

『①しょっちゅう電話やメールをしたり、SNSを使ったりして、どこで誰と会っているか、くりかえし聞く』で「デートDVではないと思う」の割合が高くなっています。

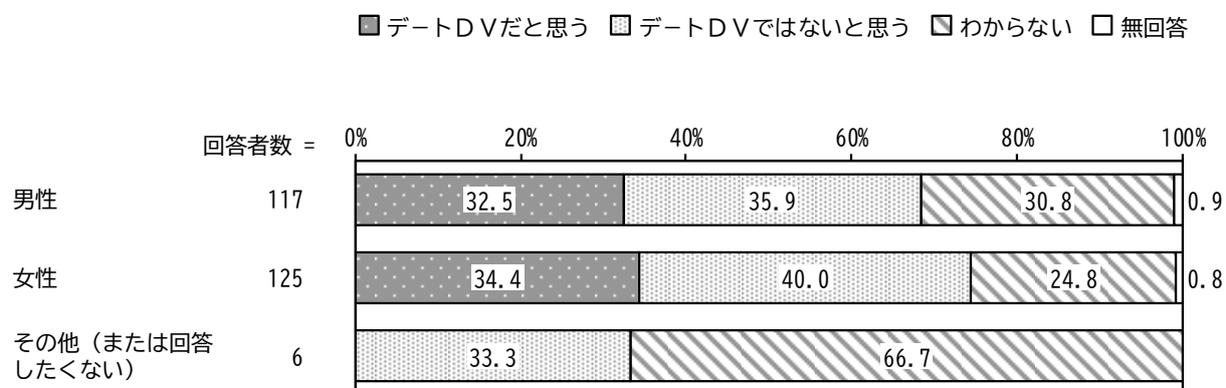
■ デートDVだと思う ■ デートDVではないと思う ■ わからない □ 無回答



①しょっちゅう電話やメールをしたり、SNSを使ったりして、どこで誰と会っているか、くりかえし聞く

【性別】

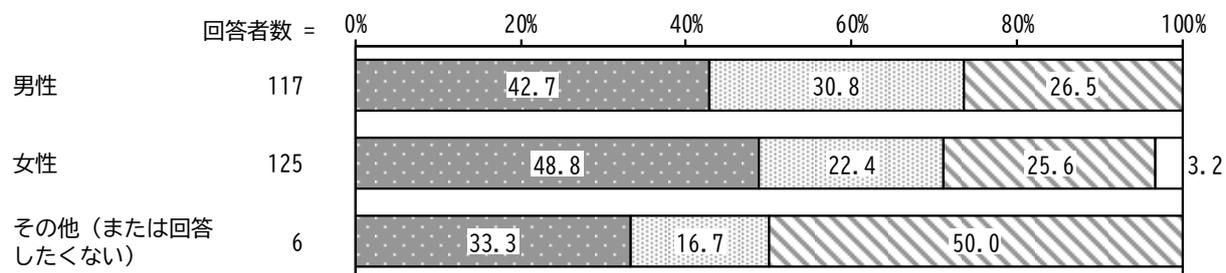
性別にみると、大きな差はみられません。



②服装や体型のことをあれこれ言う

【性別】

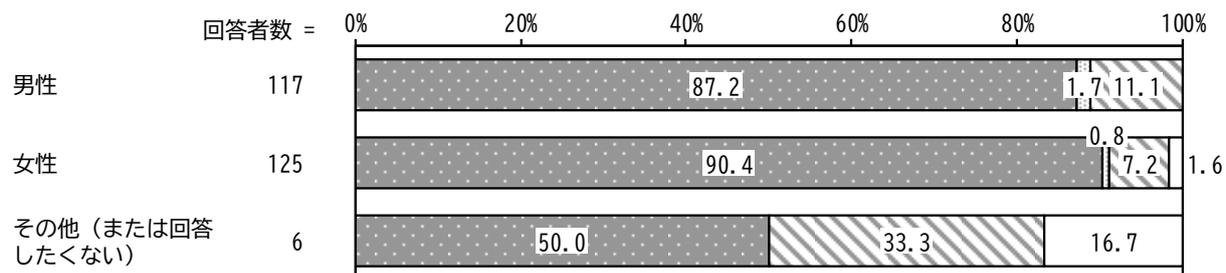
性別にみると、大きな差はみられません。



③たたく、ける、突き飛ばす

【性別】

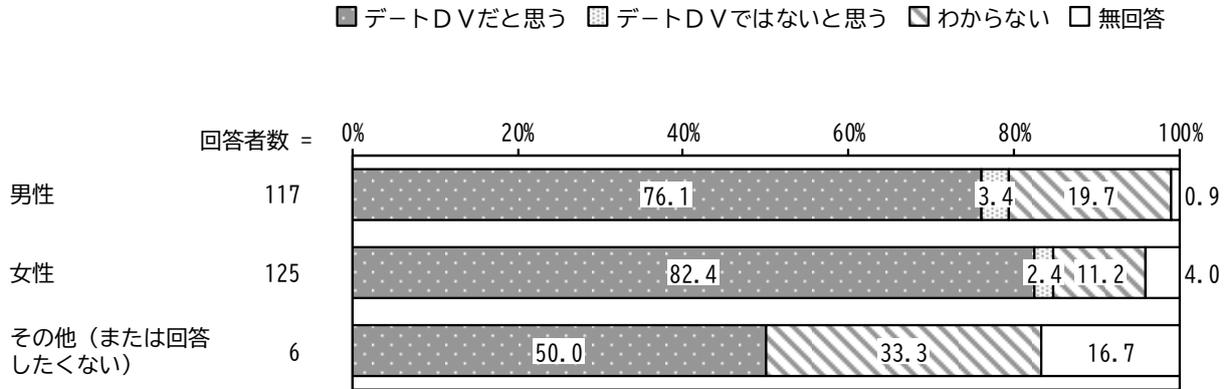
性別にみると、大きな差はみられません。



④大声でどなる

【性別】

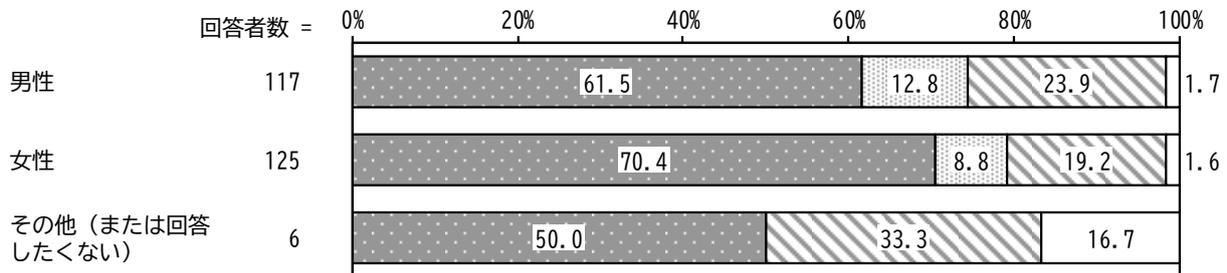
性別にみると、大きな差はみられません。



⑤言うとおりにしないと機嫌が悪くなったり無視したりする

【性別】

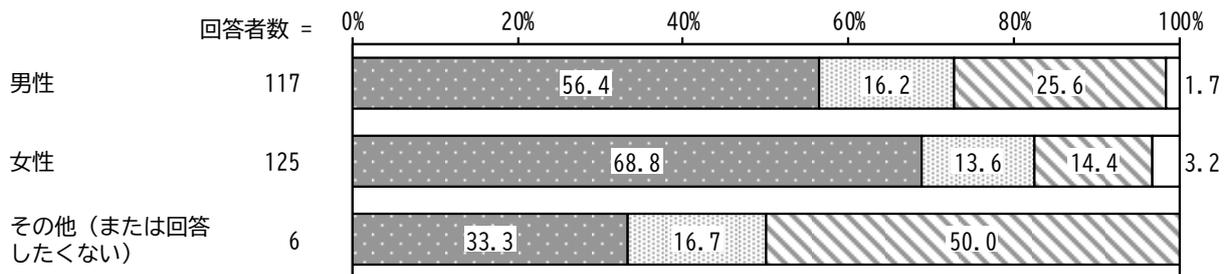
性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



⑥勝手に電話やメール・SNSのやり取りをチェックしたり、友だちなど、人との付き合いに口出ししたりする

【性別】

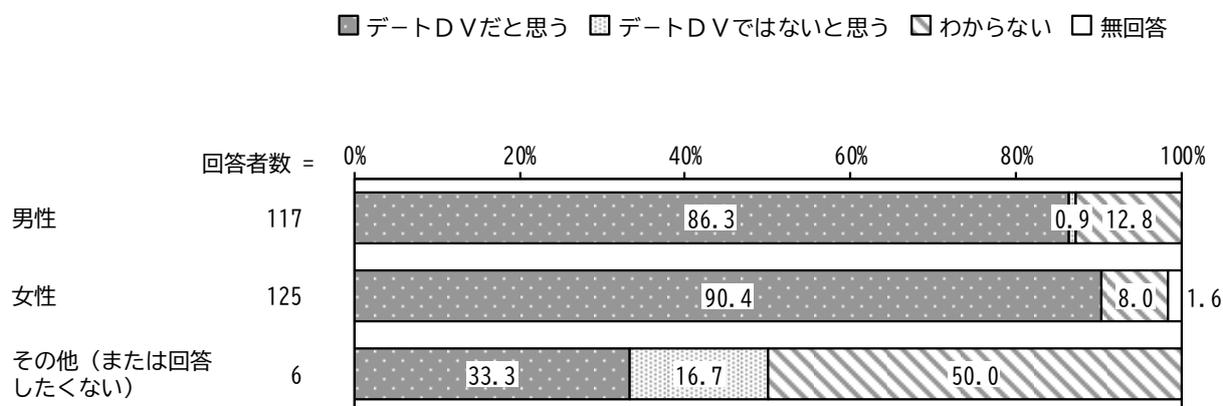
性別にみると、女性で「デートDVだと思う」の割合が高くなっています。



⑦嫌がっているのに、性的な行為をせまる

【性別】

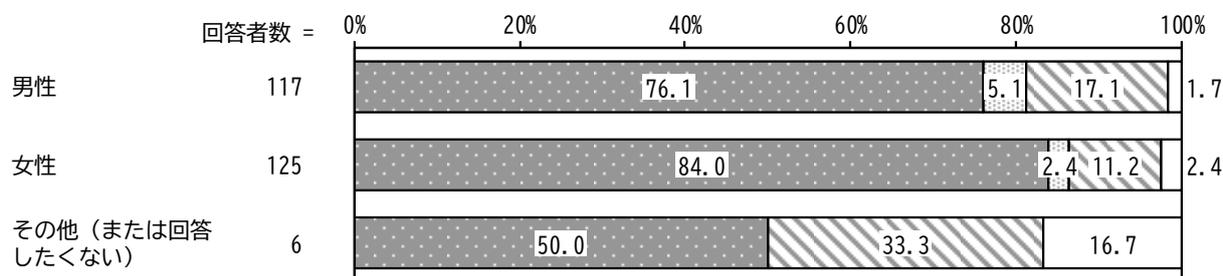
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧ばかにしたり、暴言を吐いたりする

【性別】

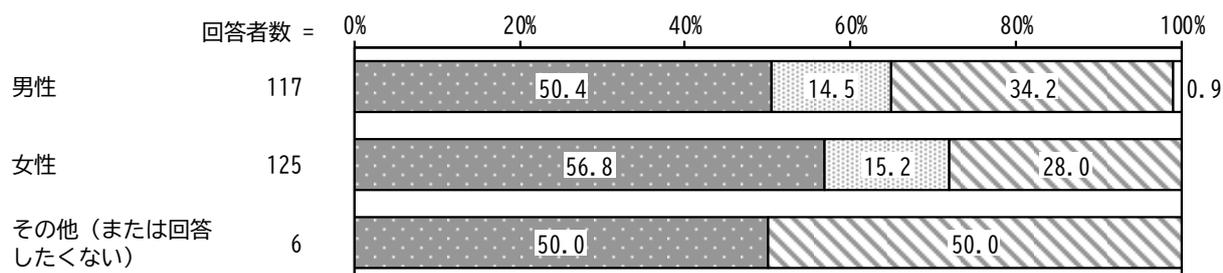
性別にみると、大きな差はみられません。



⑨デート代をいつも払わせる

【性別】

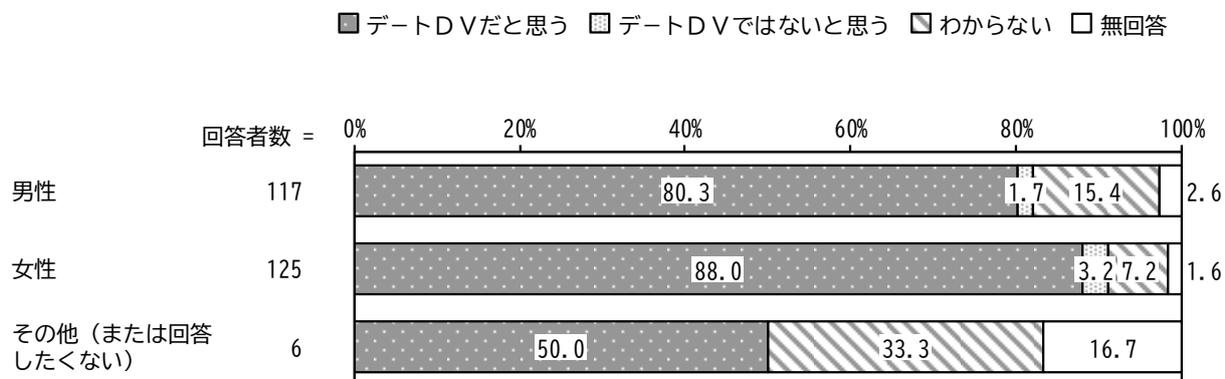
性別にみると、大きな差はみられません。



⑩ものを壊したり、投げたりする

【性別】

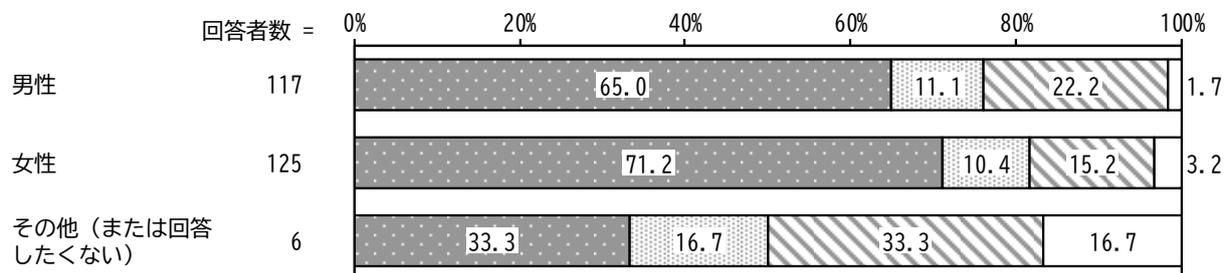
性別にみると、大きな差はみられません。



⑪なぐるふりをする

【性別】

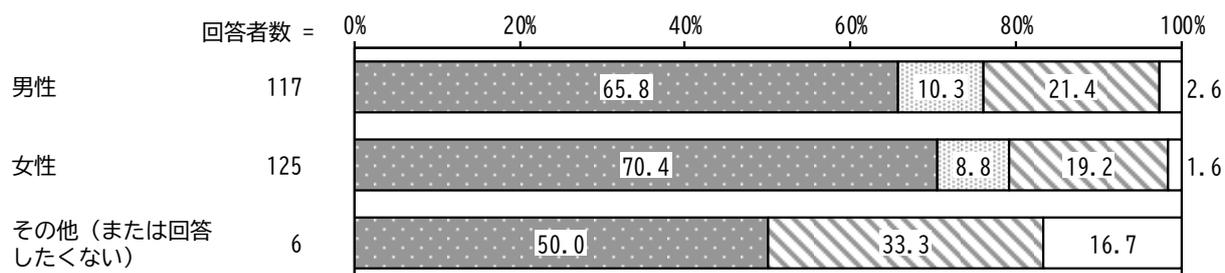
性別にみると、大きな差はみられません。



⑫別れ話をしても、しつこくつきまったり、嫌な内容のメールを送ったりする

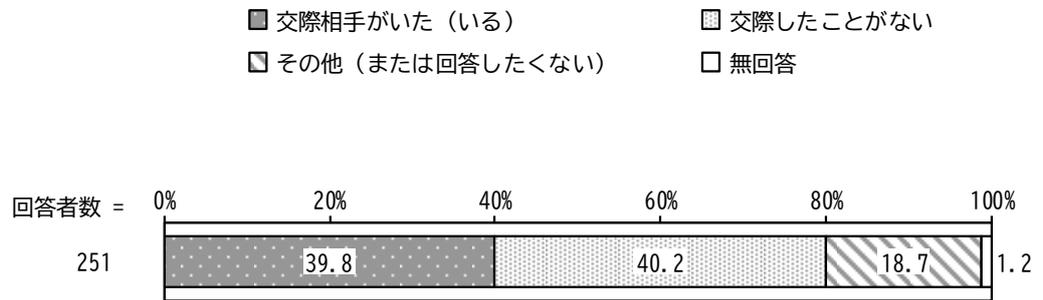
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



問 12 あなたには、これまでに交際相手がありましたか。(1つだけ選ぶ)

「交際したことがない」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「交際相手があった (いる)」の割合が 39.8%、「その他 (または回答したくない)」の割合が 18.7%となっています。

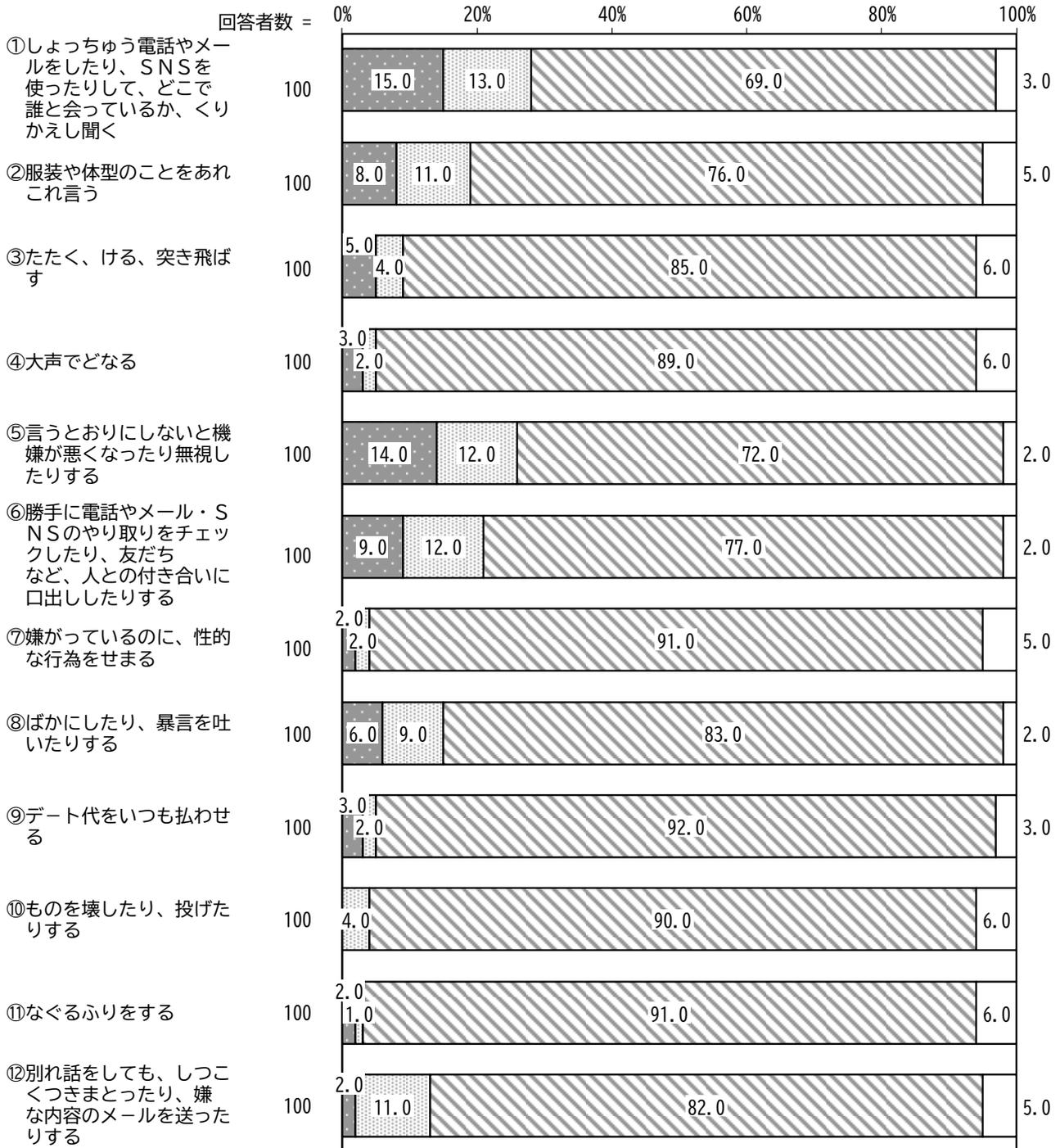


【問12で「交際相手がいた（いる）」に○をつけた方におたずねします。】

問12-1 あなたは、これまでに交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。（○はそれぞれ1つ）

『①しょっちゅう電話やメールをしたり、SNSを使ったりして、どこで誰と会っているか、くりかえし聞く』『⑤言うとおりにしないと機嫌が悪くなったり無視したりする』で「何度もあった（ある）」の割合が高くなっています。

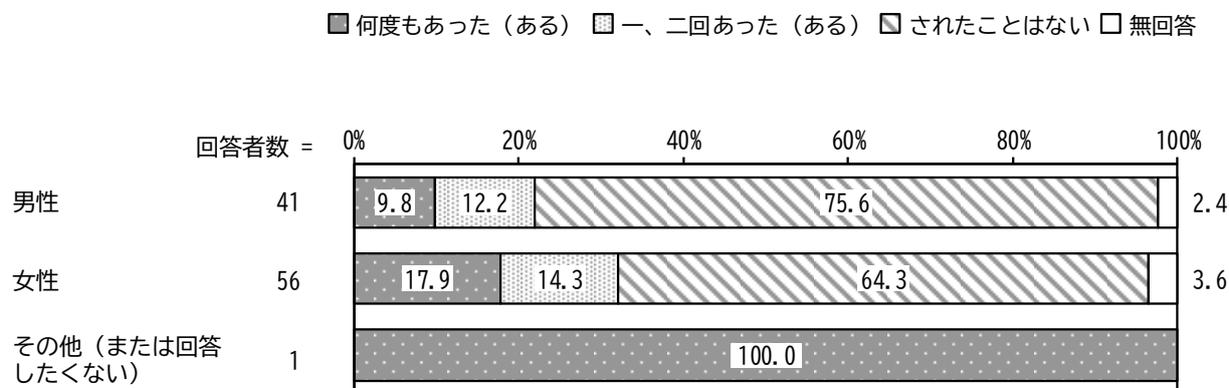
■ 何度もあった（ある） ■ 一、二回あった（ある） ▨ されたことはない □ 無回答



①しよっちゅう電話やメールをしたり、SNSを使ったりして、どこで誰と会っているか、くりかえし聞く

【性別】

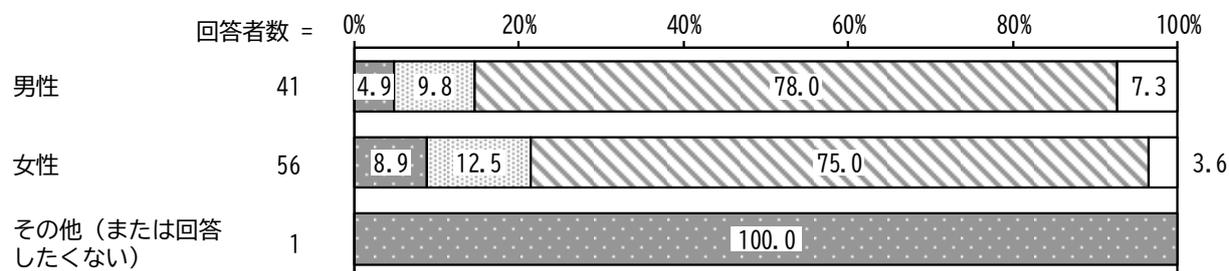
性別にみると、男性で「されたことはない」の割合が高くなっています。



②服装や体型のことをあれこれ言う

【性別】

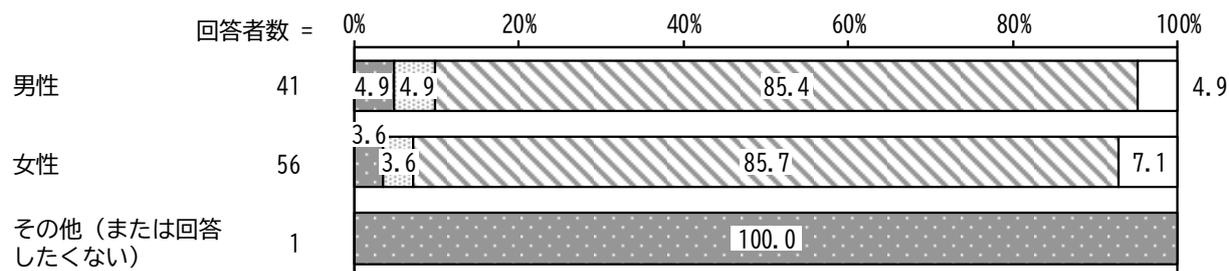
性別にみると、大きな差はみられません。



③たたく、ける、突き飛ばす

【性別】

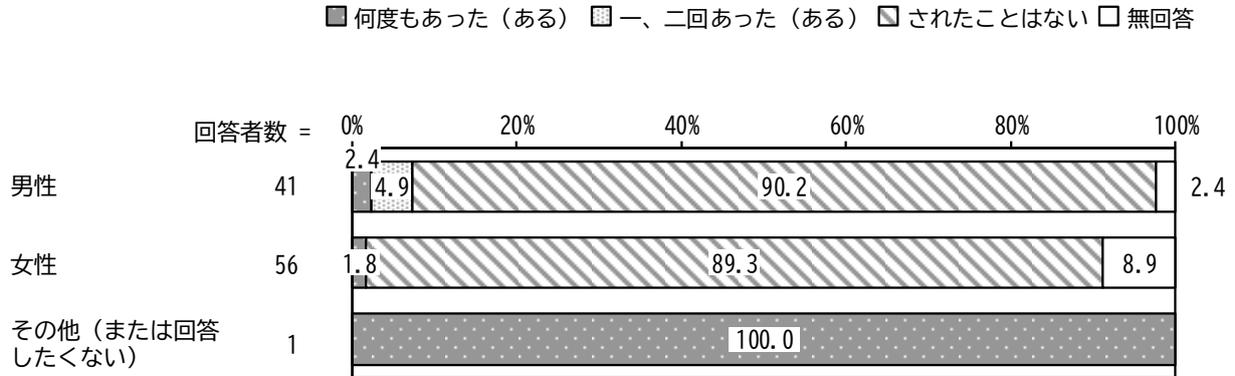
性別にみると、大きな差はみられません。



④大声でどなる

【性別】

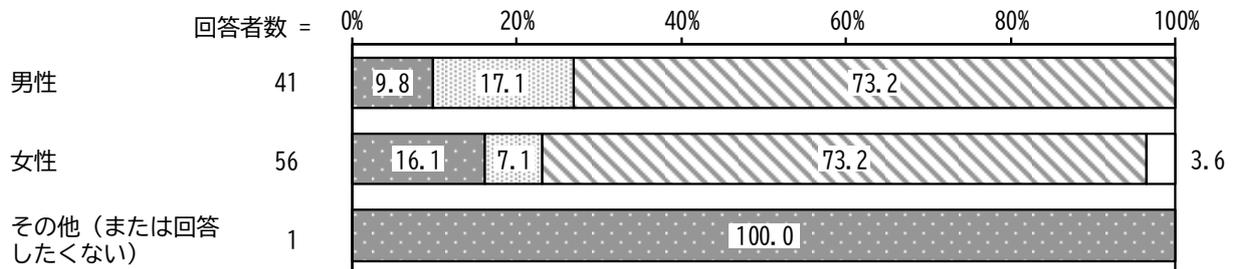
性別にみると、大きな差はみられません。



⑤言うとおりにしないと機嫌が悪くなったり無視したりする

【性別】

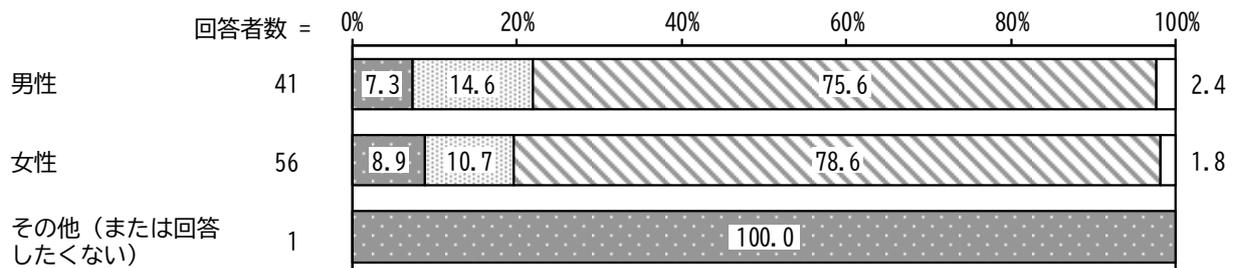
性別にみると、男性で「一、二回あった（ある）」の割合が高くなっています。



⑥勝手に電話やメール・SNSのやり取りをチェックしたり、友だちなど、人との付き合いに口出ししたりする

【性別】

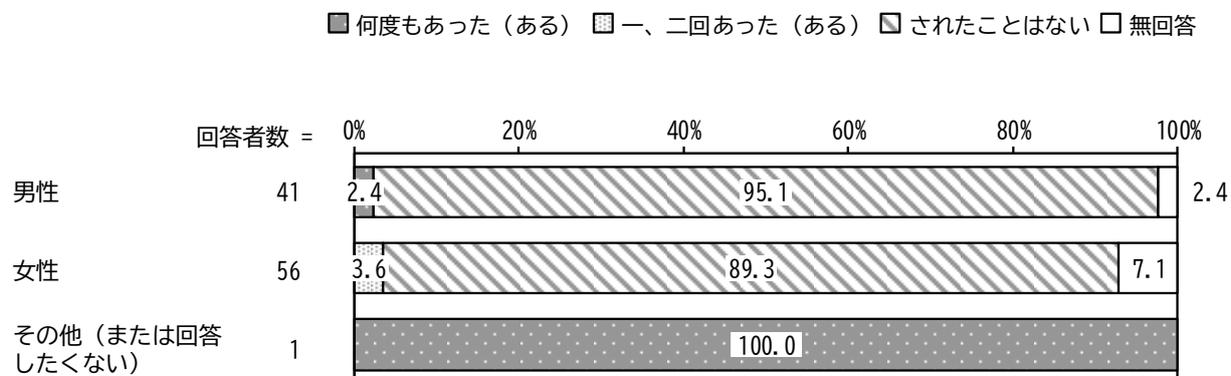
性別にみると、大きな差はみられません。



⑦嫌がっているのに、性的な行為をせまる

【性別】

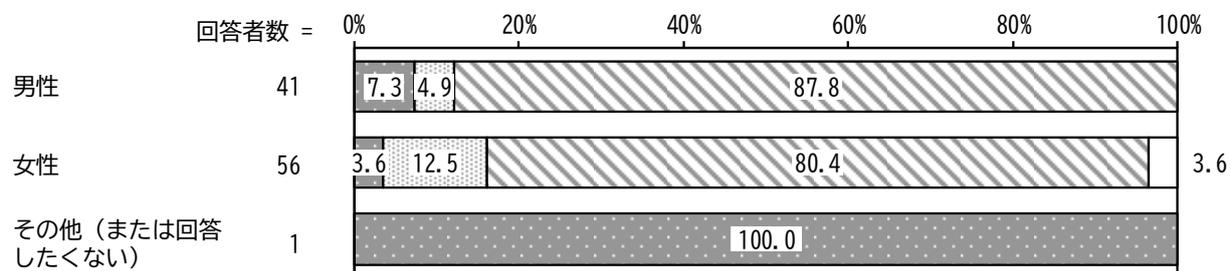
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧ばかにしたり、暴言を吐いたりする

【性別】

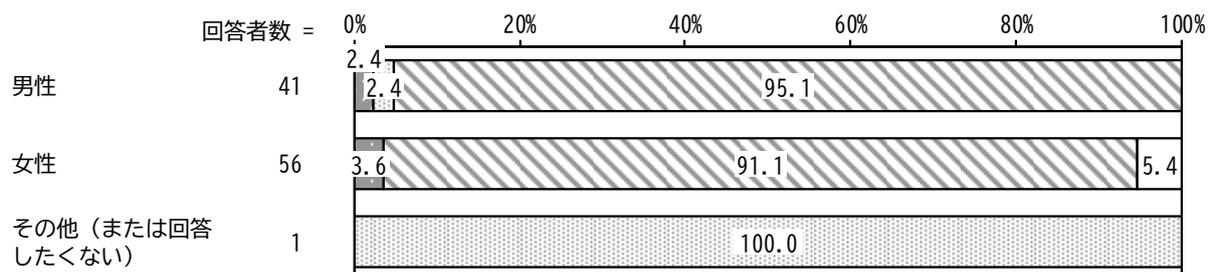
性別にみると、大きな差はみられません。



⑨デート代をいつも払わせる

【性別】

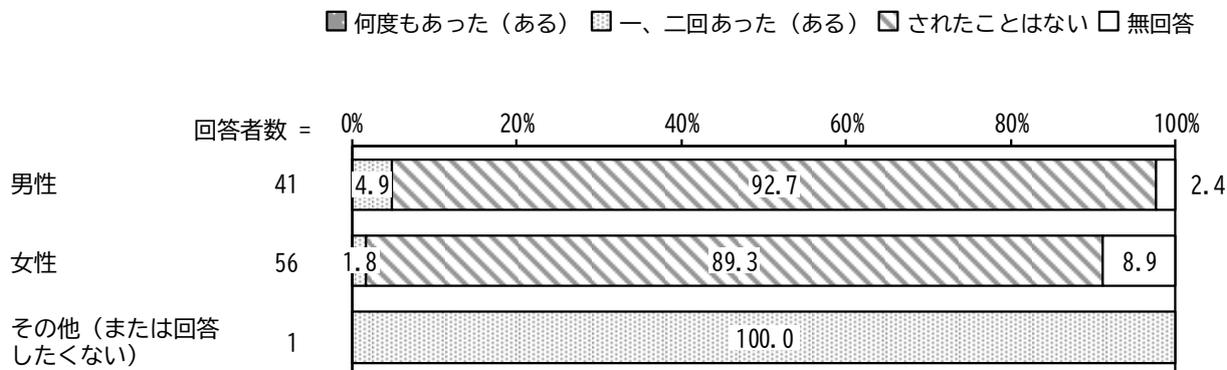
性別にみると、大きな差はみられません。



⑩ものを壊したり、投げたりする

【性別】

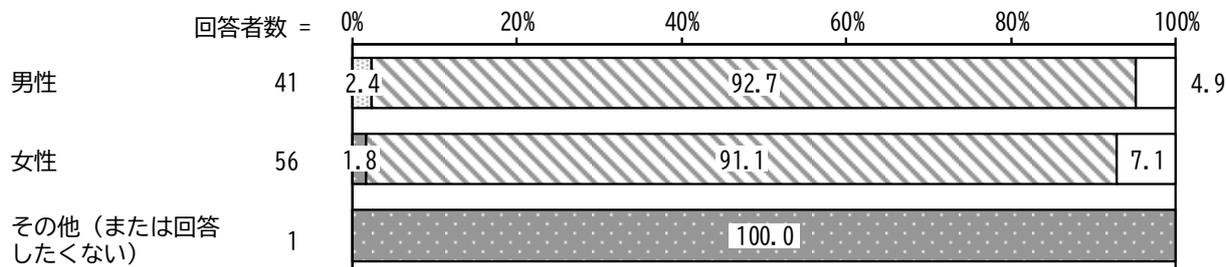
性別にみると、大きな差はみられません。



⑪なぐるふりをする

【性別】

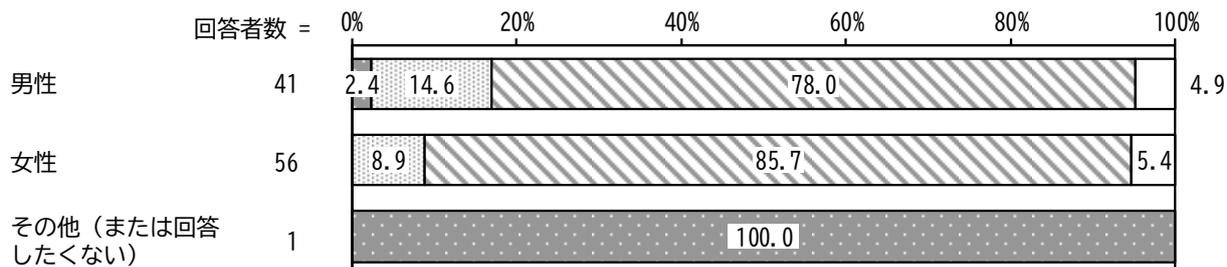
性別にみると、大きな差はみられません。



⑫別れ話をしても、しつこくつきまったり、嫌な内容のメールを送ったりする

【性別】

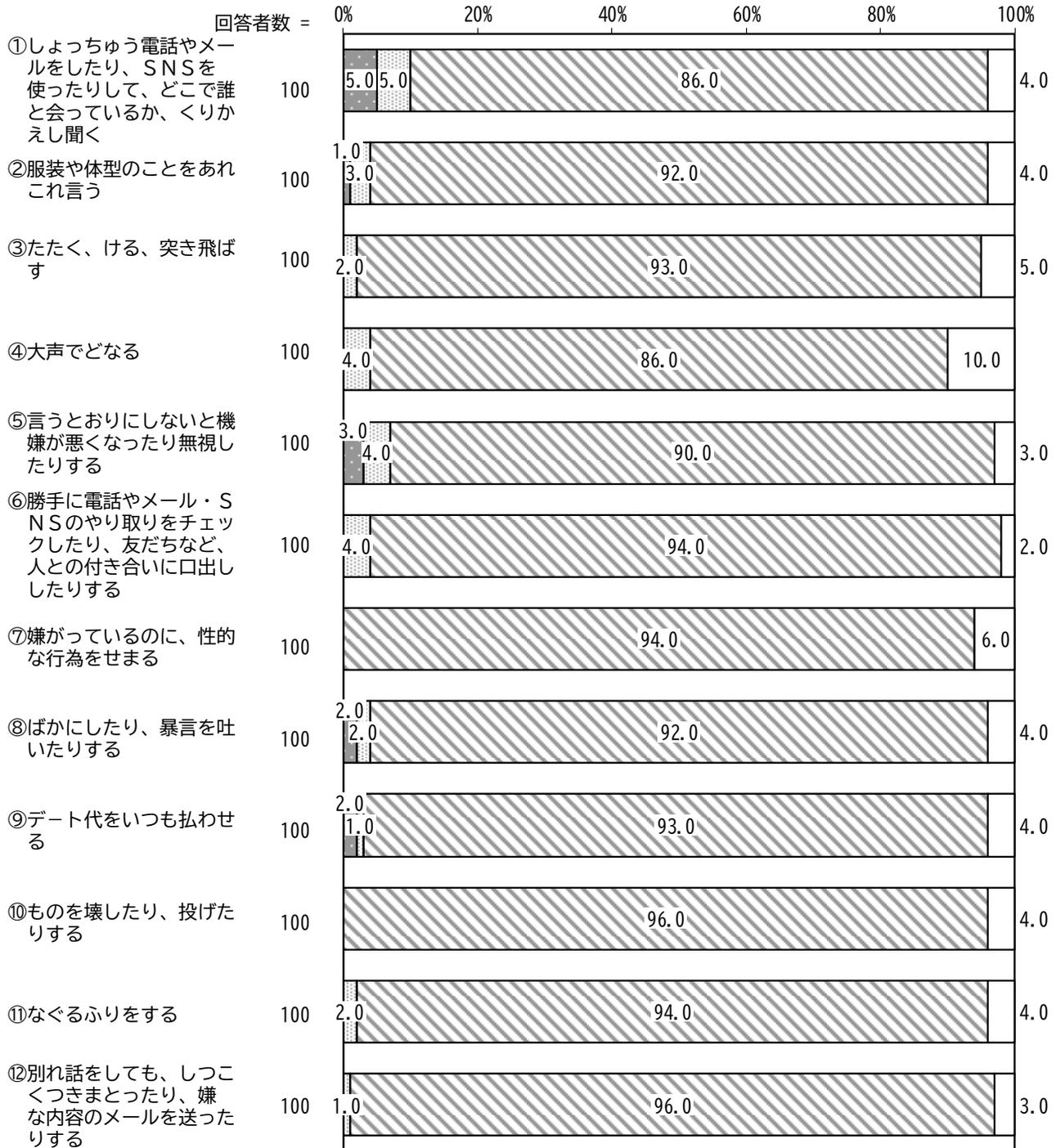
性別にみると、大きな差はみられません。



問 12-2 あなたは、これまでに交際相手に、次のようなことをしたことがありますか。
(○はそれぞれ1つ)

『⑩ものを壊したり、投げたりする』『⑫別れ話をしても、しつこくつきまとったり、嫌な内容のメールを送ったりする』で「したことはない」の割合が高くなっています。

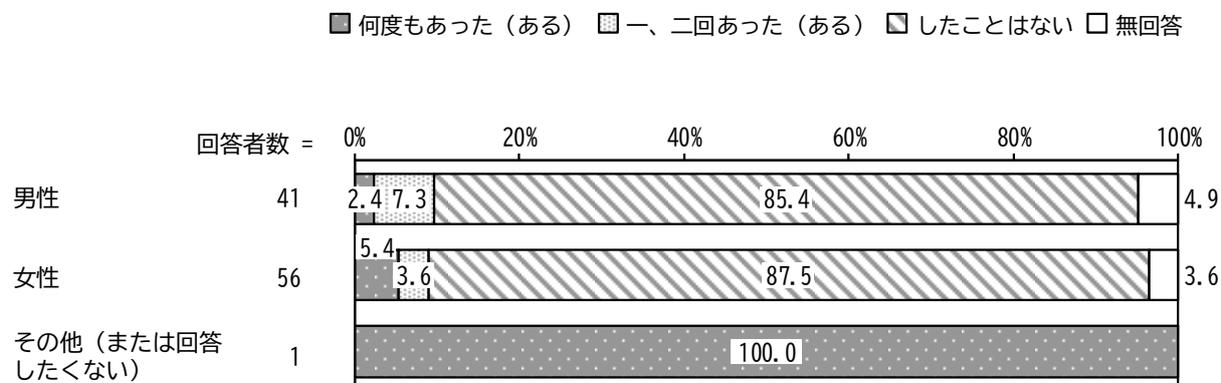
■ 何度もあった（ある） ■ 一、二回あった（ある） ■ したことはない □ 無回答



①しよっちゅう電話やメールをしたり、SNSを使ったりして、どこで誰と会っているか、くりかえし聞く

【性別】

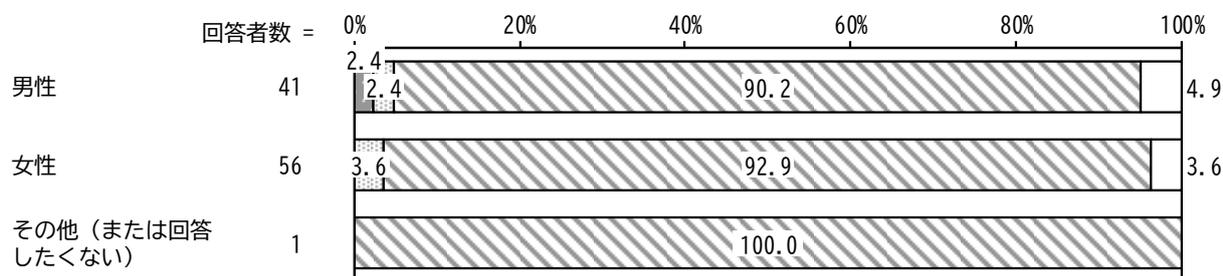
性別にみると、大きな差はみられません。



②服装や体型のことをあれこれ言う

【性別】

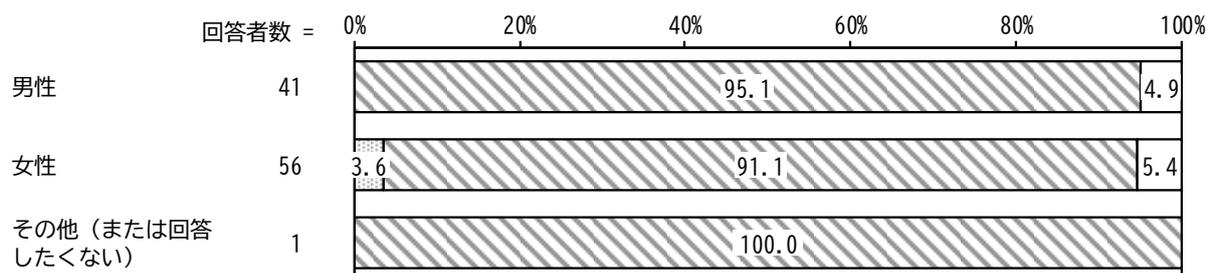
性別にみると、大きな差はみられません。



③たたく、ける、突き飛ばす

【性別】

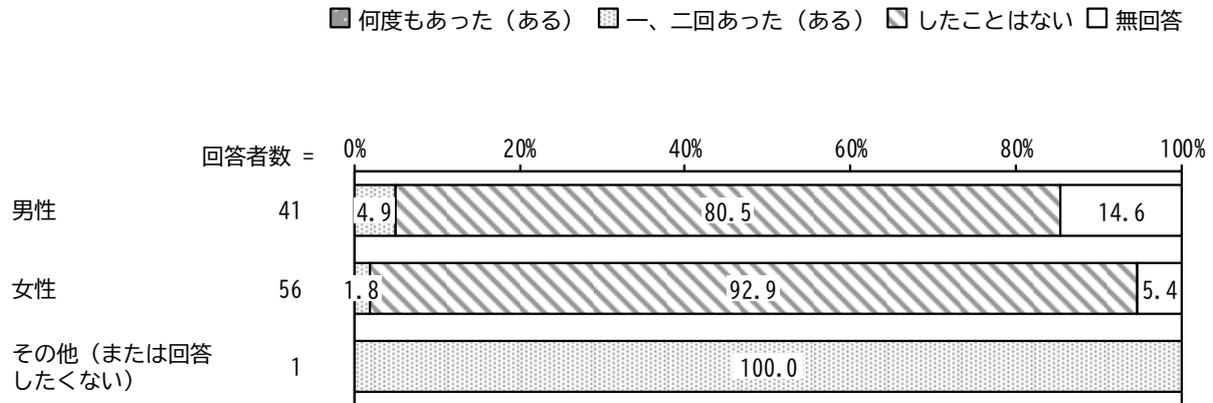
性別にみると、大きな差はみられません。



④大声でどなる

【性別】

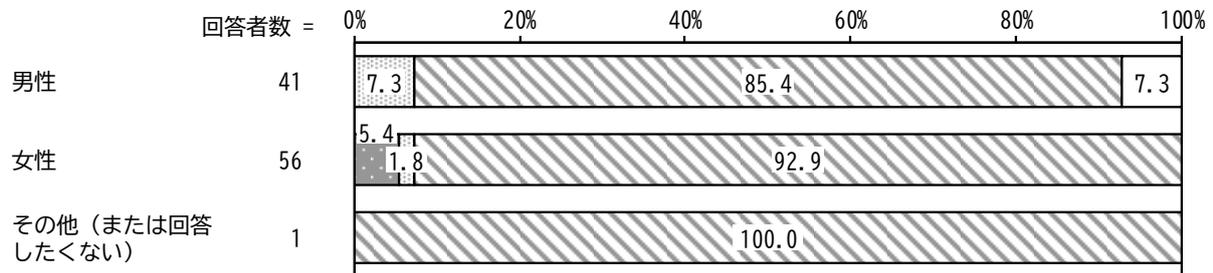
性別にみると、女性で「したことはない」の割合が高くなっています。



⑤言うとおりにしないと機嫌が悪くなったり無視したりする

【性別】

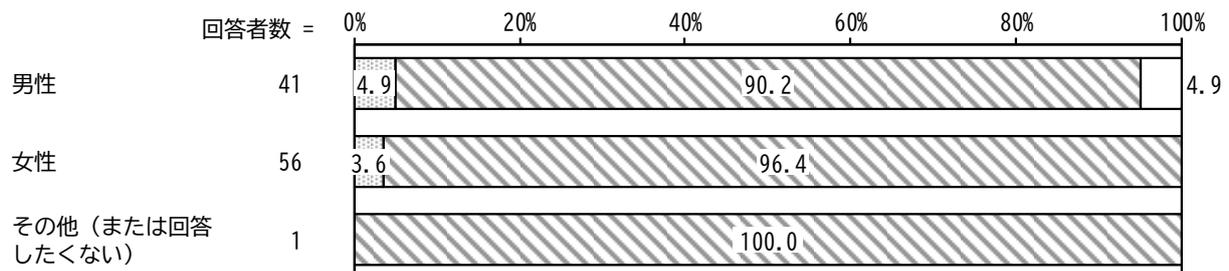
性別にみると、大きな差はみられません。



⑥勝手に電話やメール・SNSのやり取りをチェックしたり、友だちなど、人との付き合いに口出ししたりする

【性別】

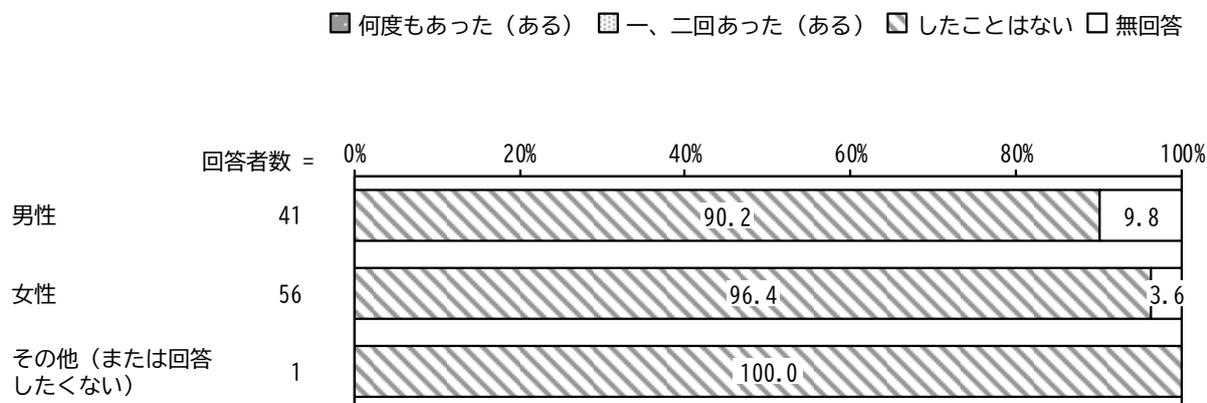
性別にみると、大きな差はみられません。



⑦嫌がっているのに、性的な行為をせまる

【性別】

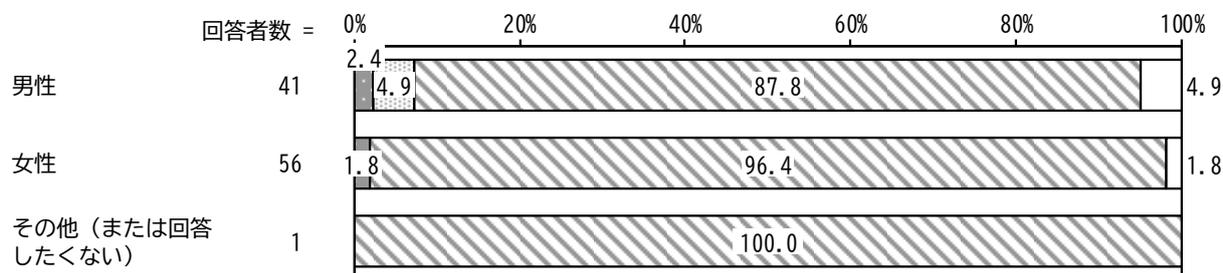
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧ばかにしたり、暴言を吐いたりする

【性別】

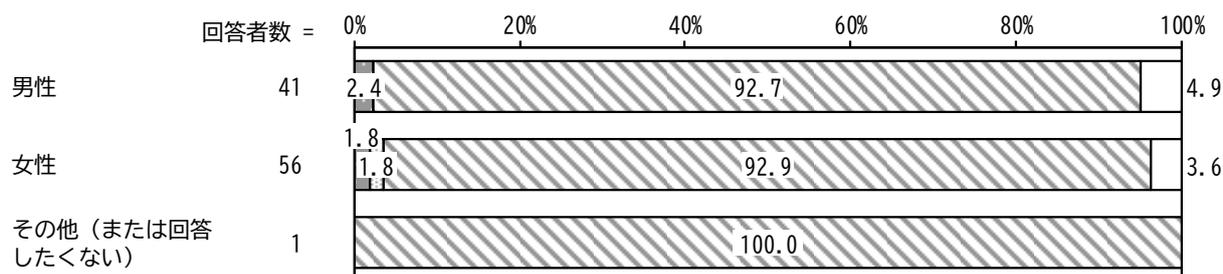
性別にみると、大きな差はみられません。



⑨デート代をいつも払わせる

【性別】

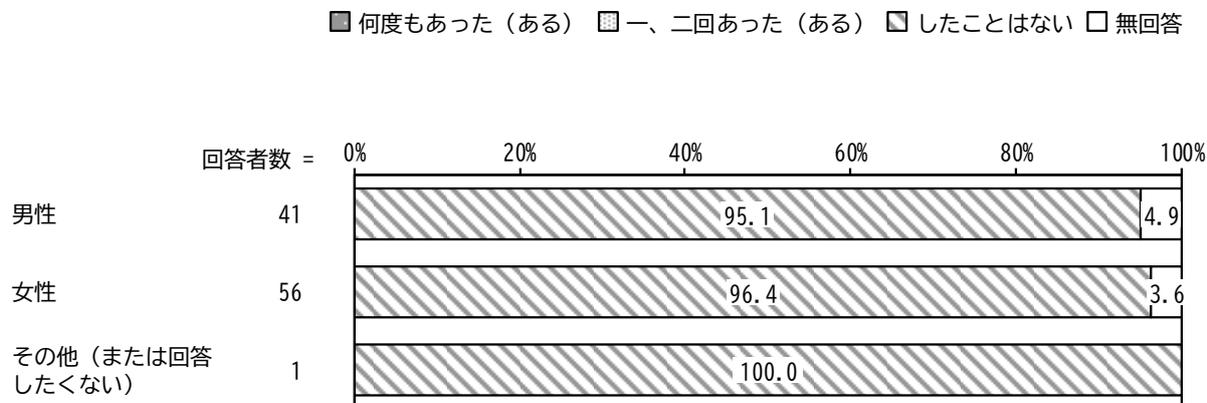
性別にみると、大きな差はみられません。



⑩ものを壊したり、投げたりする

【性別】

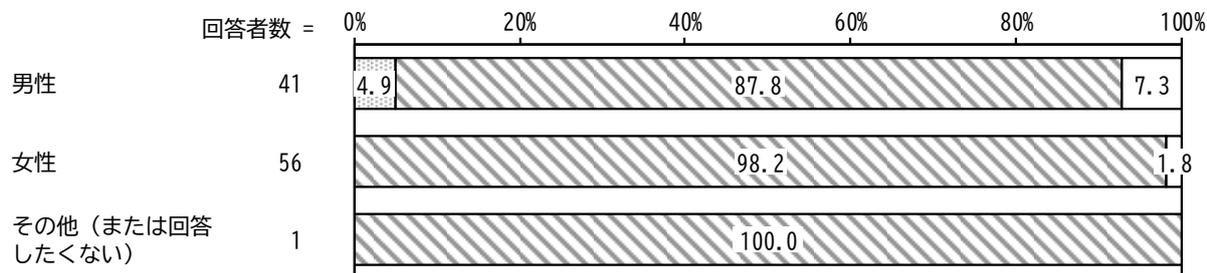
性別にみると、大きな差はみられません。



⑪なぐるふりをする

【性別】

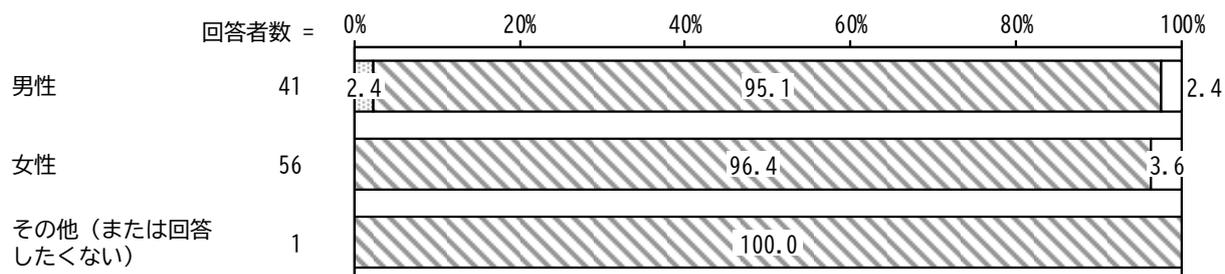
性別にみると、大きな差はみられません。



⑫別れ話をしても、しつこくつきまったり、嫌な内容のメールを送ったりする

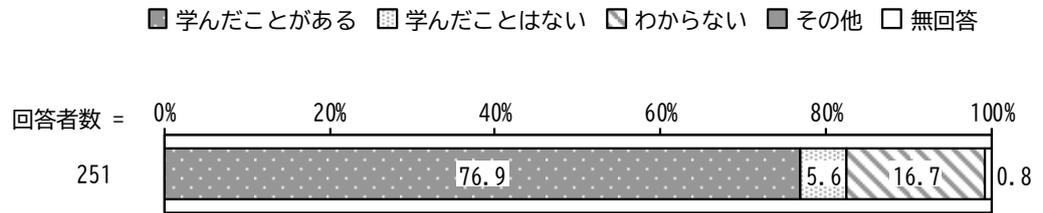
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



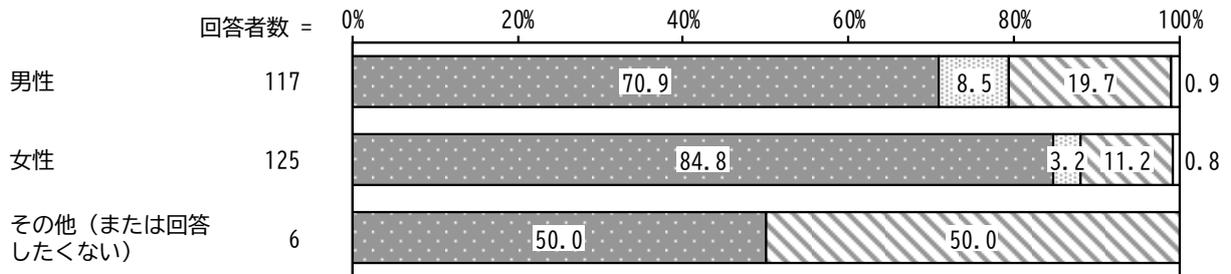
問13 あなたは小・中学校・高校で、これまでに「男女共同参画」（以下のような内容）について、学んだことはありますか？（1つだけ選ぶ）

「学んだことがある」の割合が76.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が16.7%、「学んだことはない」の割合が5.6%となっています。



【性別】

性別にみると、女性で「学んだことがある」の割合が高くなっています。



男女共同参画に関するアンケート調査
調査結果報告書

発行年：令和7年1月

発行：